
青梅市 介護保険サービス利用者等実態調査

(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

－ 報告書 －

令和2年 5月

東京都 青梅市

～ 目 次 ～

I 調査の概要.....	9
1. 調査の概要.....	3
2. 回答者の属性.....	5
II 調査結果の詳細.....	16
国の統一設問	
1. あなたのご家族や生活状況について-----	16
(1) 家族構成.....	16
(2) 介護・介助の必要性.....	17
(2-1) 介護・介助が必要になった主な原因.....	19
(2-2) 主な介護者・介助者.....	20
(3) 経済の状況.....	21
(4) 住居形態.....	21
2. からだを動かすことについて-----	24
(1) 階段の昇り方.....	24
(2) 椅子からの立ち上がり方.....	24
(3) 歩ける時間.....	25
(4) 転倒の有無.....	25
(5) 転倒に対する不安.....	26
(6) 外出状況.....	27
(7) 外出回数の減少.....	28
(8) 外出を控えているか.....	29
(8-1) 外出を控えている理由.....	30
(9) 外出時の移動手段.....	32
3. 食べることについて-----	35
(1) BMI.....	35
(2) 固いものの食べにくさ.....	35
(3) お茶などでむせるか.....	36
(4) 口の渇き.....	36
(5) 歯磨き.....	37
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況.....	37
(6-1) 歯の噛み合わせ.....	38
(6-2) 入れ歯の手入れ.....	39
(7) 体重減少の有無.....	39
(8) 共食の機会.....	40
4. 毎日の生活について-----	41
(1) 物忘れの状況.....	41
(2) 電話の利用の可否.....	41
(3) 日にちの理解.....	42
(4) 1人での外出.....	42
(5) 買い物可否.....	43

(6) 食事の用意	43
(7) 請求書の支払い	44
(8) 預貯金の出し入れ	44
(9) 書類書き	45
(10) 新聞	45
(11) 読書	46
(12) 健康についての関心	46
(13) 訪問	47
(14) 相談	48
(15) お見舞い	49
(16) 話しかけ	49
(17) 趣味	50
(18) 生きがい	51
5 地域での活動について	52
(1) 会・グループ等の参加頻度	52
(2) 地域づくりの活動への参加者としての参加	63
(3) 企画・運営者としての参加意向	71
6 たすけあいについて	73
(1) 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人	73
(2) 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人	74
(3) 看病や世話をしてくれる人	75
(4) 看病や世話をしてあげる人	76
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手	77
(6) 友人・知人と会う頻度	78
(7) この1か月間に合った友人・知人	78
(8) よく会う友人・知人	79
7 健康について	80
(1) 現在の健康状態	80
(2) 幸福度	82
(3) ゆううつな気持ち	83
(4) 興味の低下	83
(5) 飲酒	84
(6) 喫煙の有無	84
(7) 治療中の病気	85
8 認知症にかかる相談窓口の把握について	87
(1) 自身もしくは家族に認知症の症状があるか	87
(2) 認知症に関する相談窓口の把握	88
市独自の設問	
9 介護サービスと住まい（暮らし）の意向について	89
(1-1) 介護サービスの利用状況	89
(1-2) 介護サービスを利用していない理由	90
(2) 介護についての希望	91

(3) 元気なうちの住まいの希望.....	93
(4-1) 介護が必要になったとき.....	95
(4-2) 自宅に住み続けたい理由.....	96
10 生きがいや充実感、週1回以上の活動状況について -----	97
(1) どのようなことに生きがいを感じるか.....	97
(2-1) 所属する団体について.....	99
(2-2) 団体・活動の種類.....	100
11 ボランティア活動について -----	102
(1-1) ボランティア活動への参加状態.....	102
(1-2) 活動の種類.....	103
(2-1) 市の介護ボランティア制度への関心.....	104
(2-2) 活動の頻度.....	104
(2-3) 活動の時間.....	105
(2-4) 活動の内容.....	106
(2-5) やりたくない理由.....	111
12 日常生活での不安・心配について -----	113
(1) 不安を感じたり心配になること.....	113
(2) どのような手助けがあればよいか.....	114
13 認知症の対策について -----	117
(1) 市の認知症の対策とその認知状況.....	117
(2) 認知症の人が在宅で暮らすために必要なもの.....	125
(3) 認知症の人やその家族のためにできそうなこと.....	127
14 市が充実させるべき取り組みについて -----	128
(1) 市が充実させるべき高齢者施策.....	128
(2) 市が行うべき災害対策.....	130
15 フレイルについて -----	131
(1) 「フレイル」という言葉の認知状況.....	131
(2) 介護状態にならないために取り組んでいること.....	132
(3) 今後もっと取り組みたいこと.....	134
16 高齢者福祉サービス全般について -----	136
(1) 事業ごとの利用状況と今後の希望.....	136
17 自由記入欄 -----	170
(1) 今後の高齢者施策についての希望.....	170
18 各種リスクの状況 -----	171
(1) 運動機能の低下している高齢者割合.....	171
(2) 転倒リスクのある高齢者割合.....	172
(3) 閉じこもり傾向のある高齢者割合.....	173
(4) 低栄養状態にある高齢者割合.....	174
(5) 口腔機能の低下している高齢者割合.....	175
(6) うつ傾向の高齢者割合.....	176
(7) 日常生活圏域別にみたリスク項目別指標の比較（市域全体を100とした場合）.....	177

第1章 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の概要

【調査の目的】

第8期青梅市高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画の策定に向け、高齢者のリスクや社会参加状況の把握などの国が定める設問と、青梅市の高齢者施策や介護保険事業等に関する市独自の設問によるアンケート調査を実施することで、高齢者保健福祉施策と介護保険事業のより一層の充実を図ることを目的として実施した。

【調査対象】

市内在住の65歳以上高齢者3,200名

(施設入所者および介護認定要介護1から5までの被保険者を除く)

【調査項目】

調査名	調査項目	
青梅市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1. あなたのご家族や生活状況について	全国統一の設問
	2. からだを動かすことについて	
	3. 食べることについて	
	4. 毎日の生活について	
	5. 地域での活動について	
	6. たすけあいについて	
	7. 健康について	
	8. 認知症にかかる相談窓口の把握について	
	9. 介護サービスと住まい（暮らし）の意向について	青梅市独自の設問
	10. 生きがいや充実感、週1回以上の活動状況について	
	11. ボランティア活動について	
	12. 日常生活での不安・心配について	
	13. 認知症の対策について	
	14. 市が充実させるべき取り組みについて	
	15. フレイルについて	
	16. 高齢者福祉サービス全般について	

【調査方法】

郵送配布・回収

【調査期間】

令和元年（2019年）12月23日～令和2年（2020年）1月20日

【回収結果】

配布数	3,200 人
有効回収数	2,567 人
有効回収率	80.2%

【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした設問（複数回答）の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 図表中に示すnは、比率算出上の基数（標本数）である。
- (4) 「性別」「年齢」「地区」「介護度」については、基本情報から項目を追加し、集計した。

第6期・第7期・第8期ニーズ調査の概要

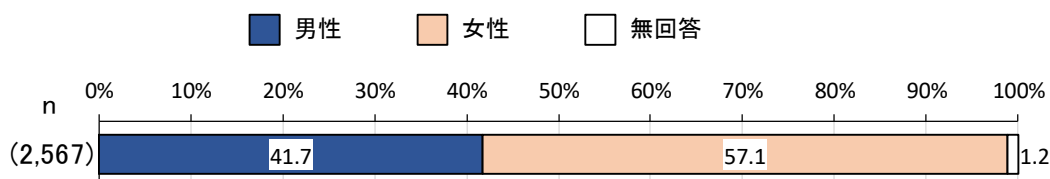
名称	(第6期)日常生活圏域ニーズ調査	(第7期)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	(第8期)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
目的 (調査票の作成段階での想定)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の身体機能の状況、閉じこもり、認知症等のリスク要因や世帯状況など地域の高齢者の状況を把握した上で、地域が抱える課題に対応したサービスや事業の目標設定を行い、計画に位置づけ、介護保険事業計画策定に活用すること 調査で把握されたリスクのある高齢者に対する介護予防事業への誘導などの支援を行うこと <p>地域診断 + 個別介入</p>	<ul style="list-style-type: none"> 要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定すること 新しい介護予防・日常生活支援総合事業の管理・運営に活用すること 介護保険事業計画における新総合事業部分の策定に活用すること <p>地域診断 見える化システム</p>	<ul style="list-style-type: none"> 要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定すること 介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用すること <p>地域診断 見える化システム</p>
調査対象	特に限定なし	要介護1～5以外の高齢者	
調査項目数	96問	必須項目33問(見える化への登録、地域診断の活用を想定) オプション項目30問	
設問の内容	「リスクの発生状況」の把握	<ul style="list-style-type: none"> 運動器の機能向上 栄養改善 口腔機能の向上 閉じこもり予防・支援 認知症予防・支援 うつ予防・支援 <p>25項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> 運動器の機能低下 低栄養の傾向 口腔機能の低下 閉じこもり傾向 認知機能の低下 <p>※うつ予防・支援項目は主観的幸福感とうつ病スクリーニングの二質問法の設問を採用</p> <p>必須4項目 重複あり</p> <p>必須13項目 オプション7項目</p>
	「社会資源」等の把握	<ul style="list-style-type: none"> ADL/老研式指標(IADL・社会参加・社会的役割) 転倒リスク/認知機能(CPS) 	<ul style="list-style-type: none"> IADL/転倒リスク <p>IADL: 必須5項目 オプション0項目 転倒リスク: 必須1項目 オプション0項目</p>
標準的な実施方法	解説や案内なし	「実施の手引き」の提示	「実施の手引き」の提示等
見える化システムへの登録	なし	あり(標準的な実施方法により得られた必須項目への回答)	あり(標準的な実施方法により得られた必須項目、オプション項目への回答)

出典：「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」（厚生労働省）

2. 回答者の属性

(1) 性別

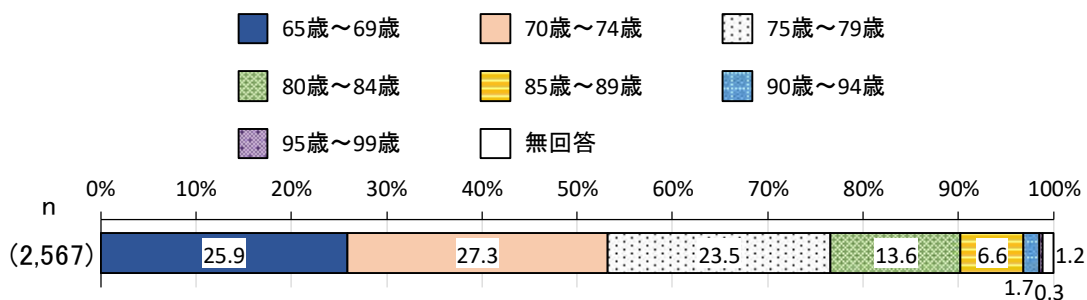
回答者の性別構成は、「男性」が41.7%、「女性」が57.1%となっている。



(2) 年齢

回答者の年齢構成は、「65歳～69歳」が25.9%、「70歳～74歳」が27.3%、「75歳～79歳」が23.5%、「80歳～84歳」が13.6%、「85歳～89歳」が6.6%、「90歳～94歳」が1.7%、「95歳～99歳」が0.3%となっている。

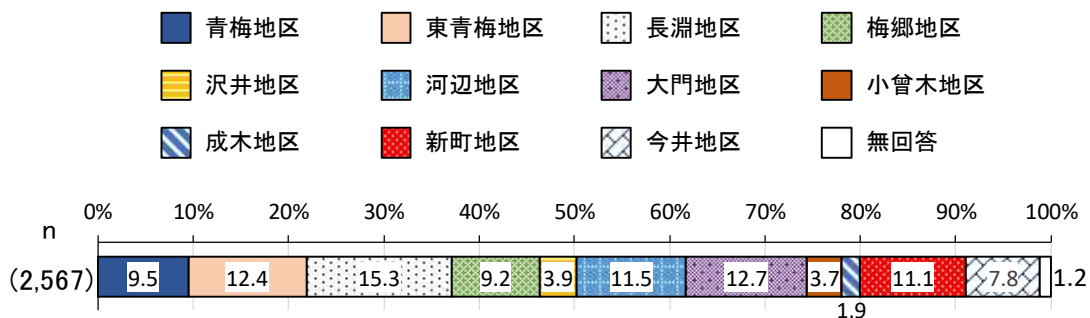
前期高齢者は53.2%、後期高齢者は45.7%となっている。



(3) 居住地区

居住地区は、「青梅地区」が9.5%、「東青梅地区」が12.4%、「長淵地区」が15.3%、「梅郷地区」が9.2%、「沢井地区」が3.9%、「河辺地区」が11.5%、「大門地区」が12.7%、「小曾木地区」が3.7%、「成木地区」が1.9%、「新町地区」が11.1%、「今井地区」が7.8%となっている。

日常生活圏域では、「第1地区」が21.9%、「第2地区」が39.9%、「第3地区」が37.2%となっている。



■ 青梅市日常生活圏域



区分	地域包括支援センター	地区	地区名
第1地区	青梅市地域包括支援センター (青梅市役所 高齢介護課内)	勝沼、西分町、住江町、本町、仲町、 上町、森下町、裏宿町、天ヶ瀬町、滝 ノ上町、大柳町、日向和田	青梅地区
		東青梅、根ヶ布、師岡町	東青梅地区
第2地区	青梅市地域包括支援センター うめぞの (メディケア梅の園内)	駒木町、長淵、友田町、千ヶ瀬町	長淵地区
		畑中、和田町、梅郷、柚木町	梅郷地区
		二俣尾、沢井、御岳本町、御岳、御岳 山	沢井地区
		河辺町	河辺地区
第3地区	青梅市地域包括支援センター すえひろ (青梅すえひろ苑内)	吹上、野上町、大門、塩船、谷野、木 野下、今寺	大門地区
		富岡、小曾木、黒沢	小曾木地区
		成木	成木地区
		新町、末広町	新町地区
		藤橋、今井	今井地区

第2章 調査結果の詳細

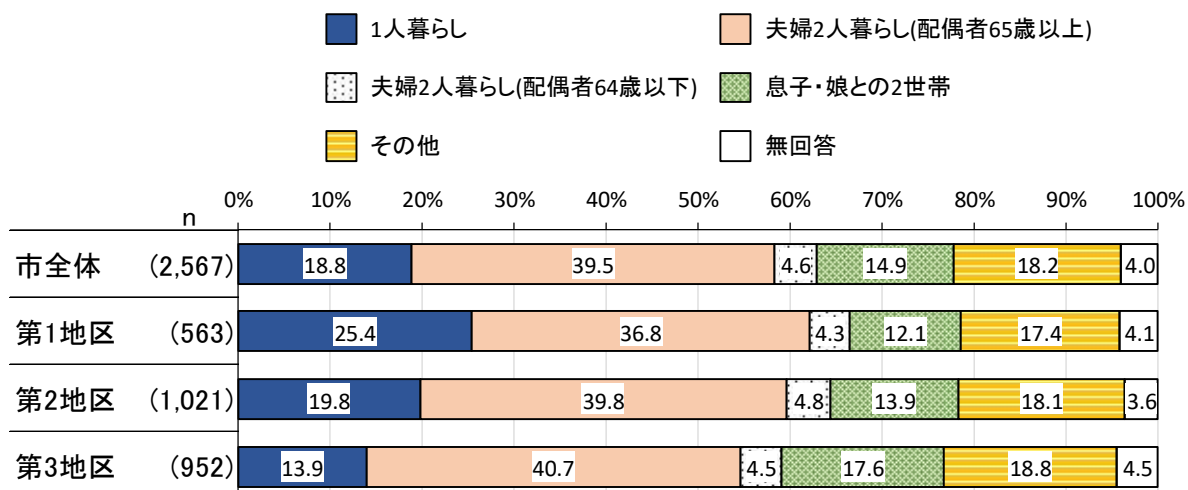
II 調査結果の詳細

§ 国の統一設問

1. あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成

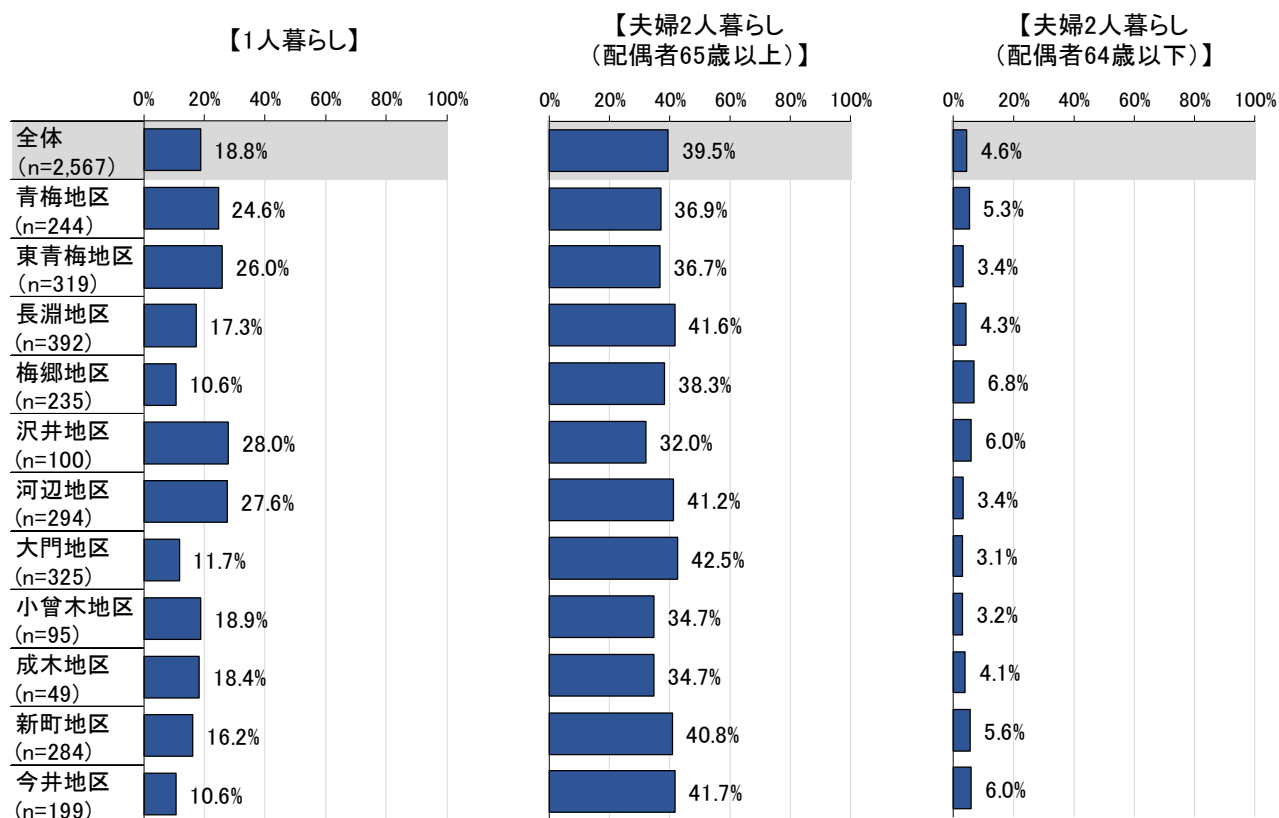
問1 (1) 家族構成をお教えてください

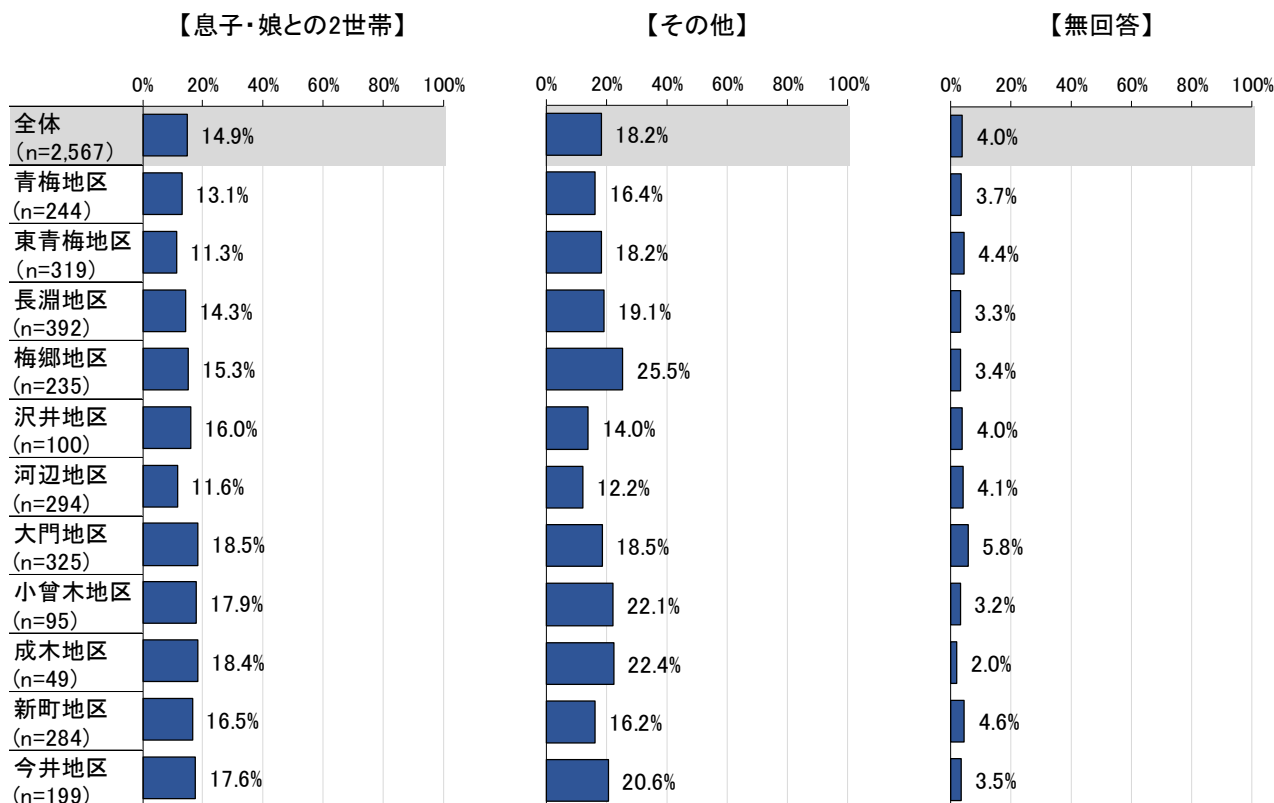


家族構成は、市全体では「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が39.5%と最も多く、「1人暮らし」が18.8%と続いている。

地区別では、第1地区で「1人暮らし」が25.4%と、他の地区を上回っており、約4人に1人が「1人暮らし」と答えている。

○11 地区別

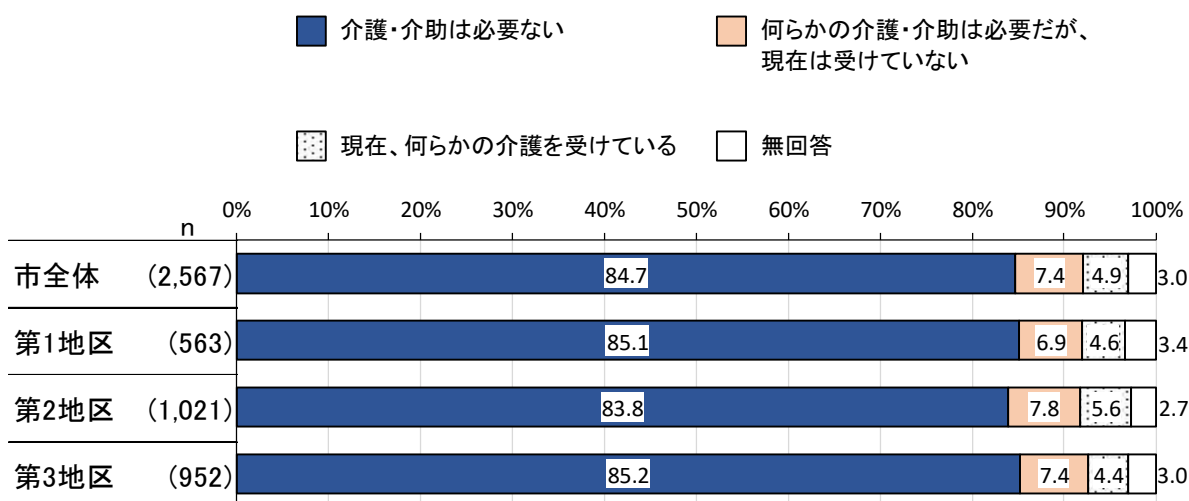




11 地区別では、「夫婦 2 人暮らし（夫婦 65 歳以上）」の比率が全体的に高く、どの地区も 3 割を超えており、大門地区が 42.5%と最も多い。

(2) 介護・介助の必要性

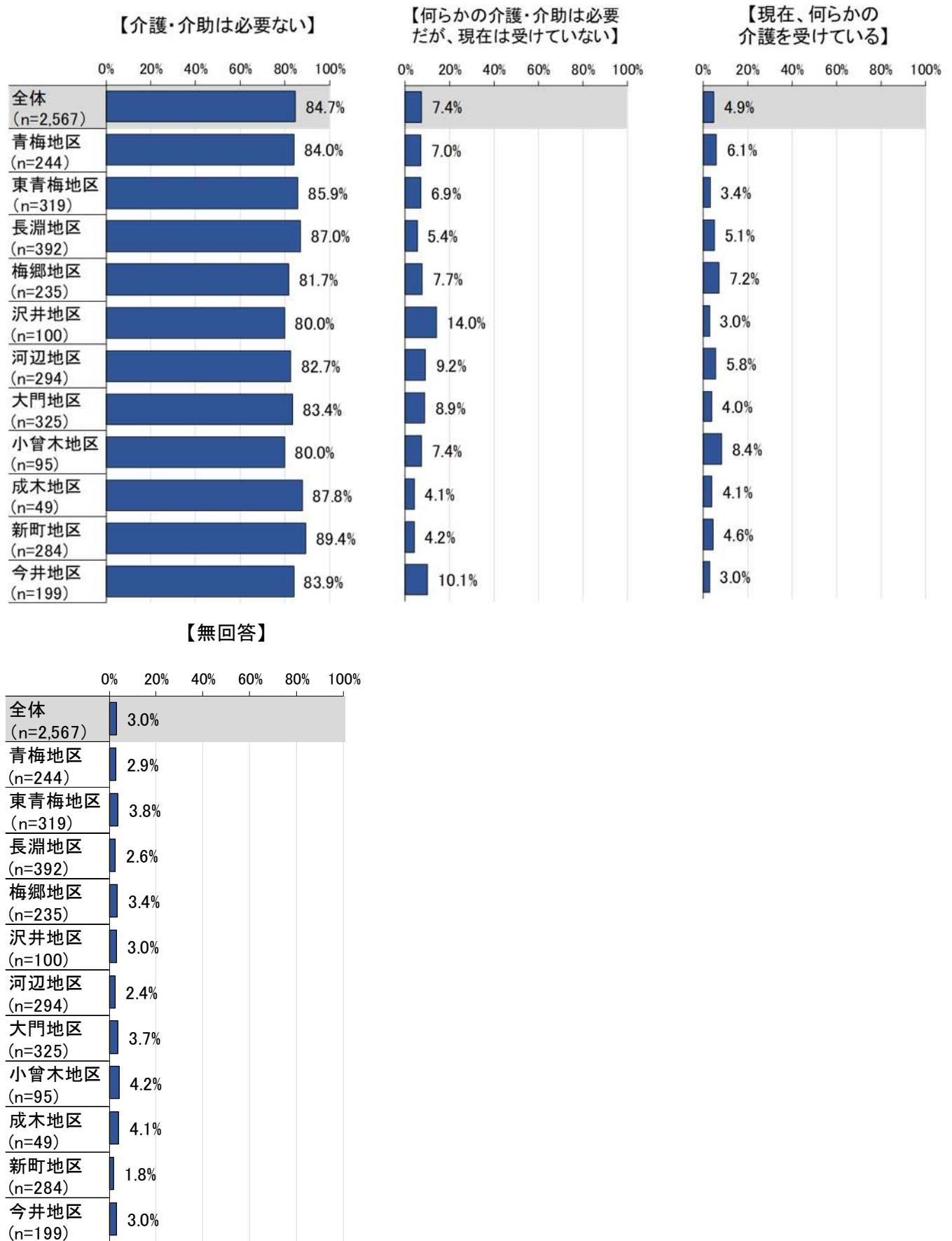
問 1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか



介護・介助の必要性は、市全体では「介護・介助は必要ない」が 84.7%である。地区別では、「現在、何らかの介護を受けている」は第1地区が 4.6%、第2地区が 5.6%、第3地区が 4.4%となっている。

第2章 調査結果の詳細

○11 地区別

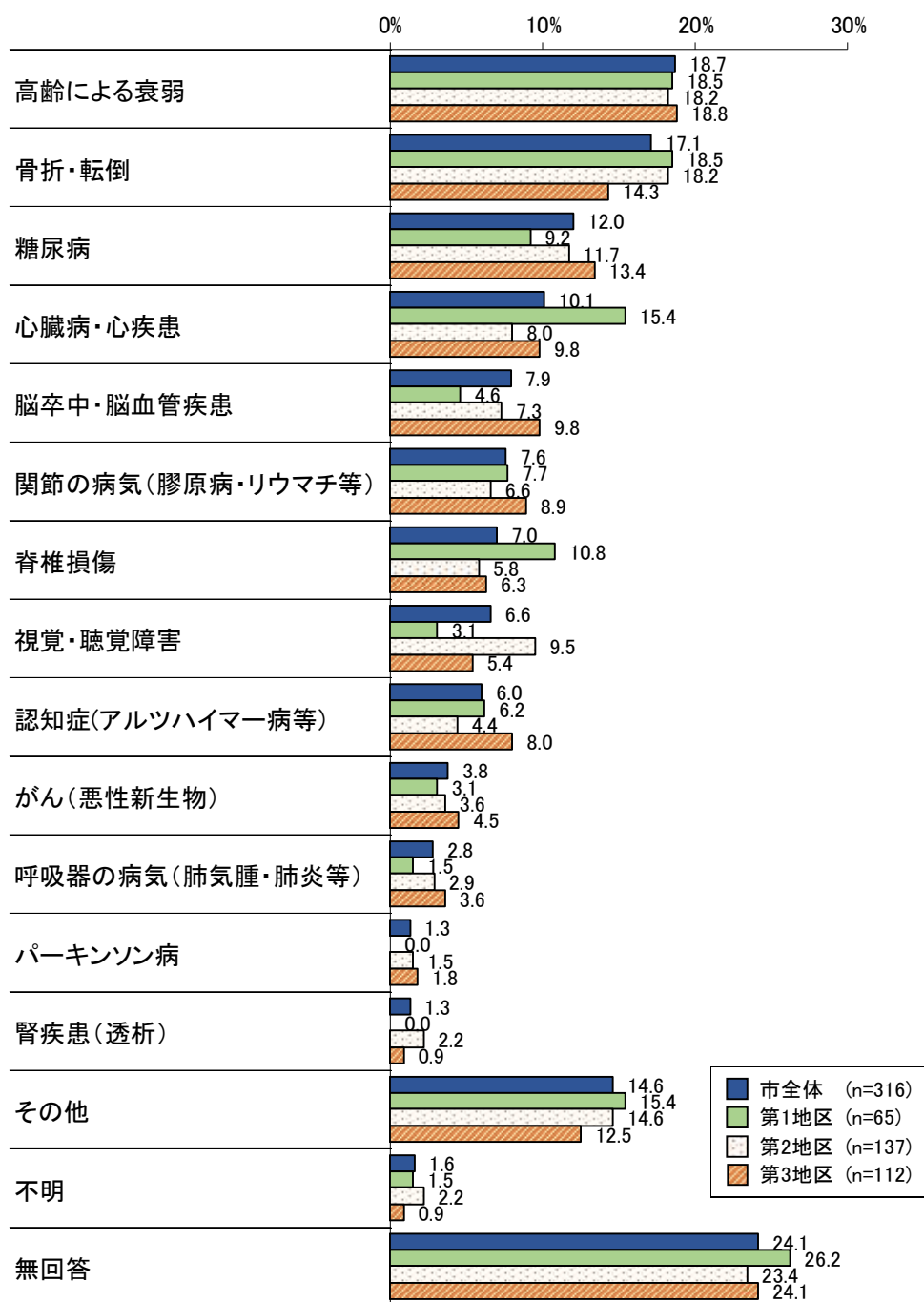


11 地区別では、「介護・介助は必要ない」の割合が最も高く、どの地区も8割を超えている。「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は沢井地区で14.0%、今井地区で10.1%となっている。

(2-1) 介護・介助が必要になった主な原因

【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)

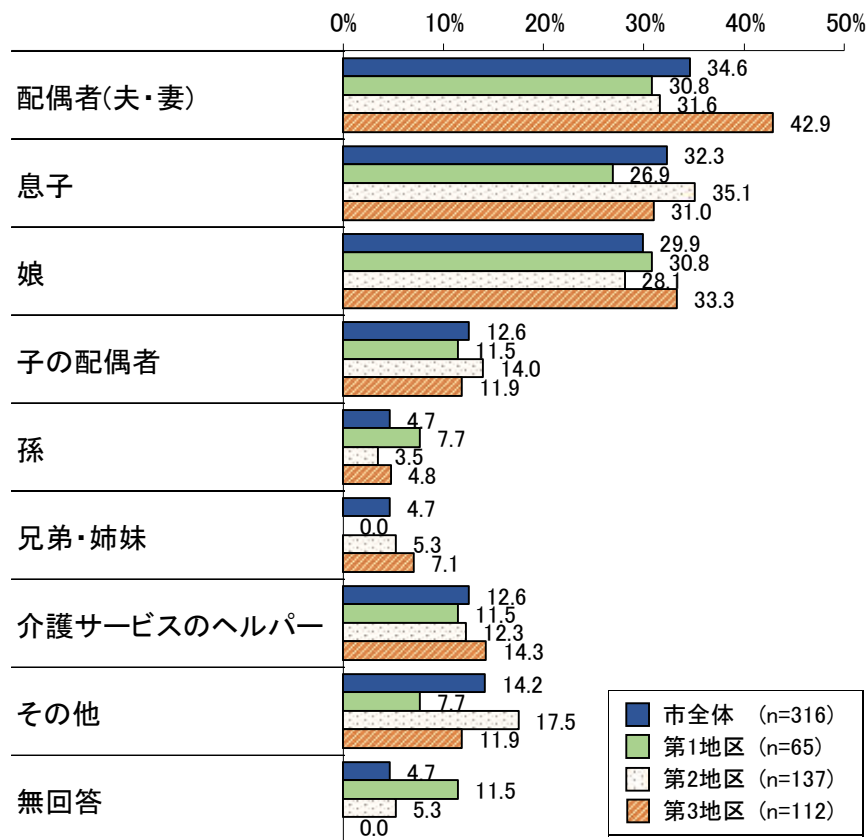


介護・介助が必要になった主な原因は、市全体では「高齢による衰弱」が18.7%で最も多い。地区別では、第1地区は「高齢による衰弱」「骨折・転倒」(各18.5%)、第2地区も「高齢による衰弱」「骨折・転倒」(各18.2%)、第3地区は「高齢による衰弱」(18.8%)がそれぞれ最も多い。

(2-2) 主な介護者・介助者

【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

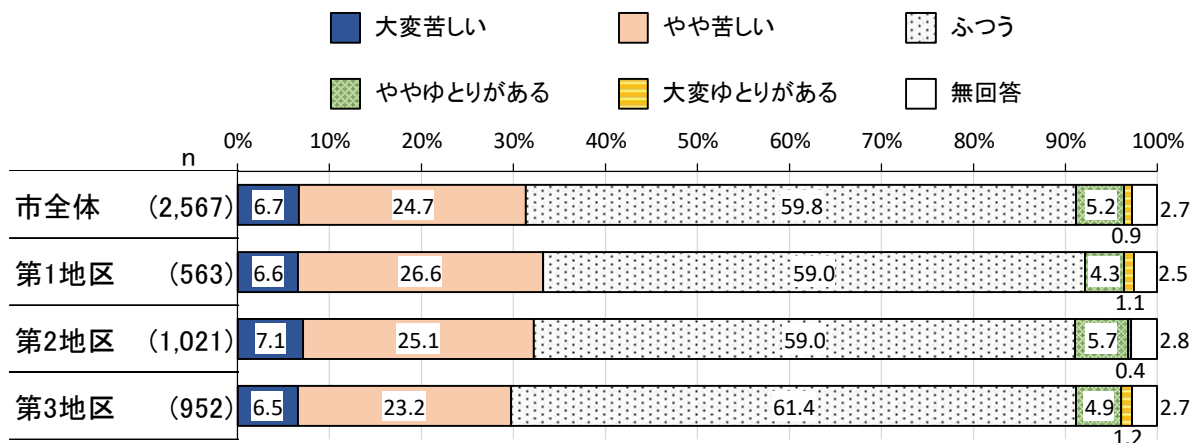
② 主にどなたの介護、介助を受けていますか (いくつでも)



主な介護者・介助者は、市全体では「配偶者（夫・妻）」が34.6%で最も多い。地区別では、第1地区は「配偶者（夫・妻）」「娘」（各30.8%）、第2地区は「息子」（35.1%）、第3地区は「配偶者（夫・妻）」（42.9%）がそれぞれ最も多い。

(3) 経済の状況

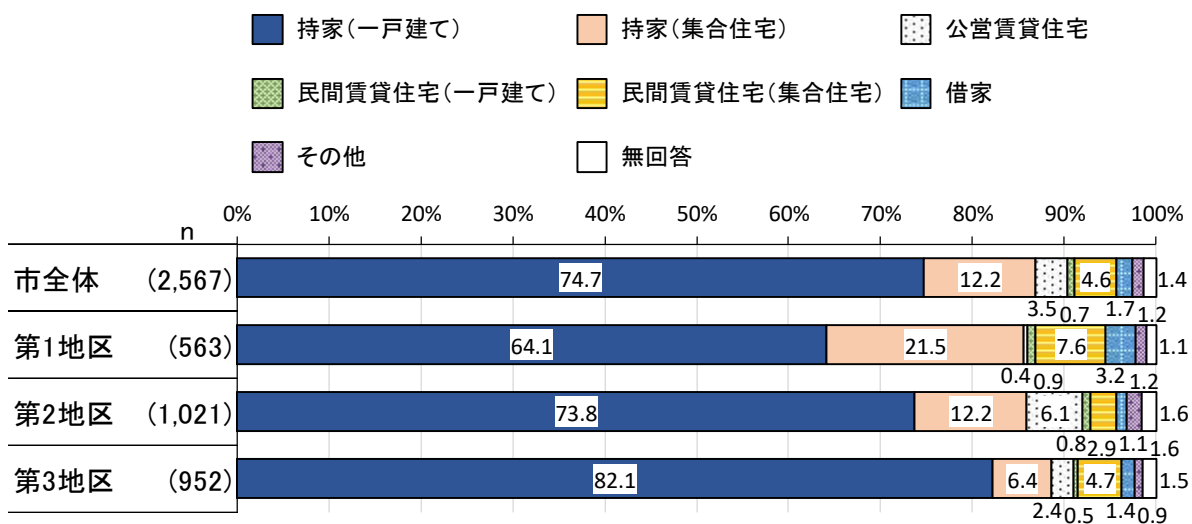
問1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか



経済の状況は、市全体では「ふつう」が59.8%である。
 地区別では、「ふつう」は第1地区・第2地区が各59.0%、第3地区が61.4%となっている。

(4) 住居形態

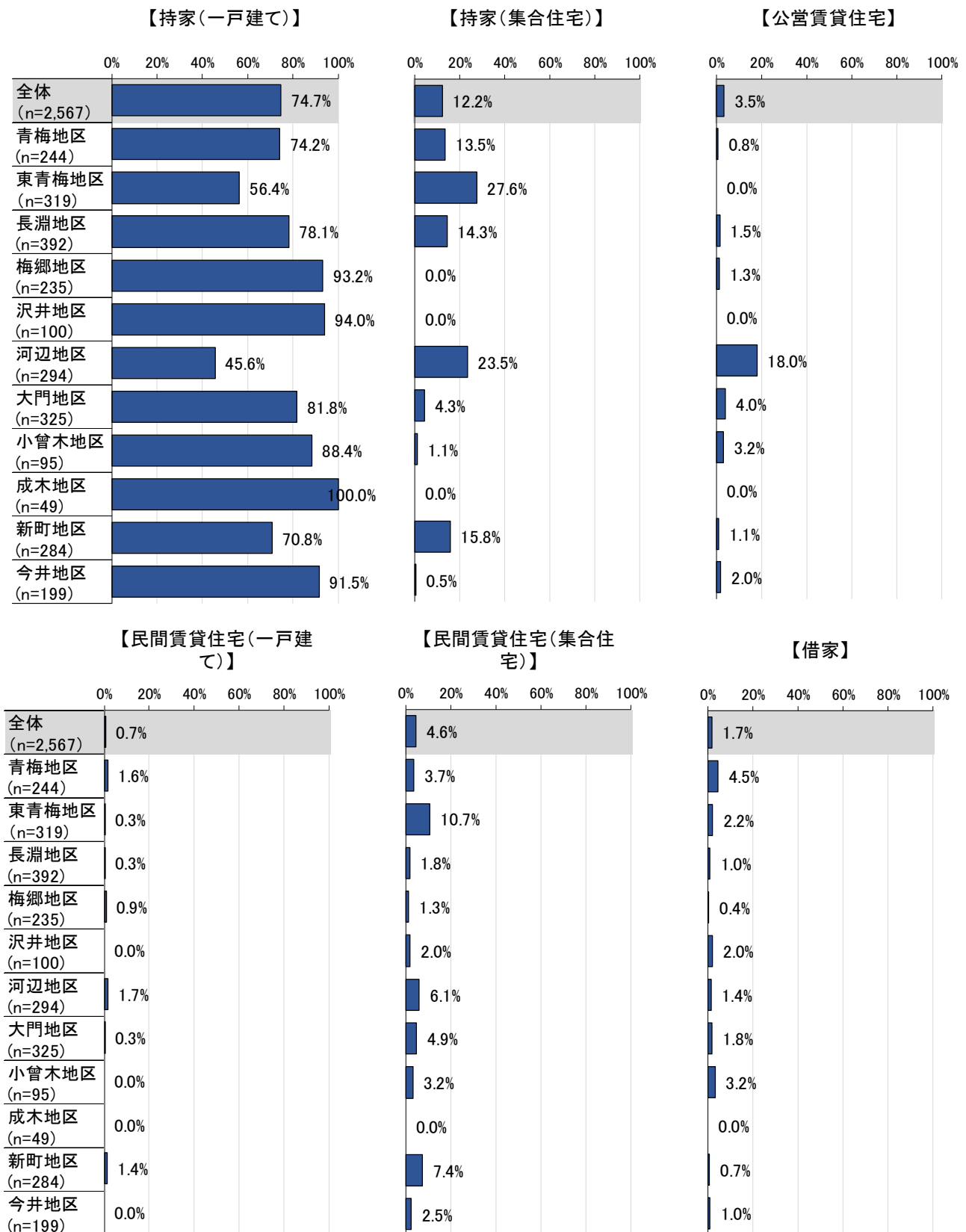
問1 (4) お住まいは一人建て、または集合住宅のどちらですか

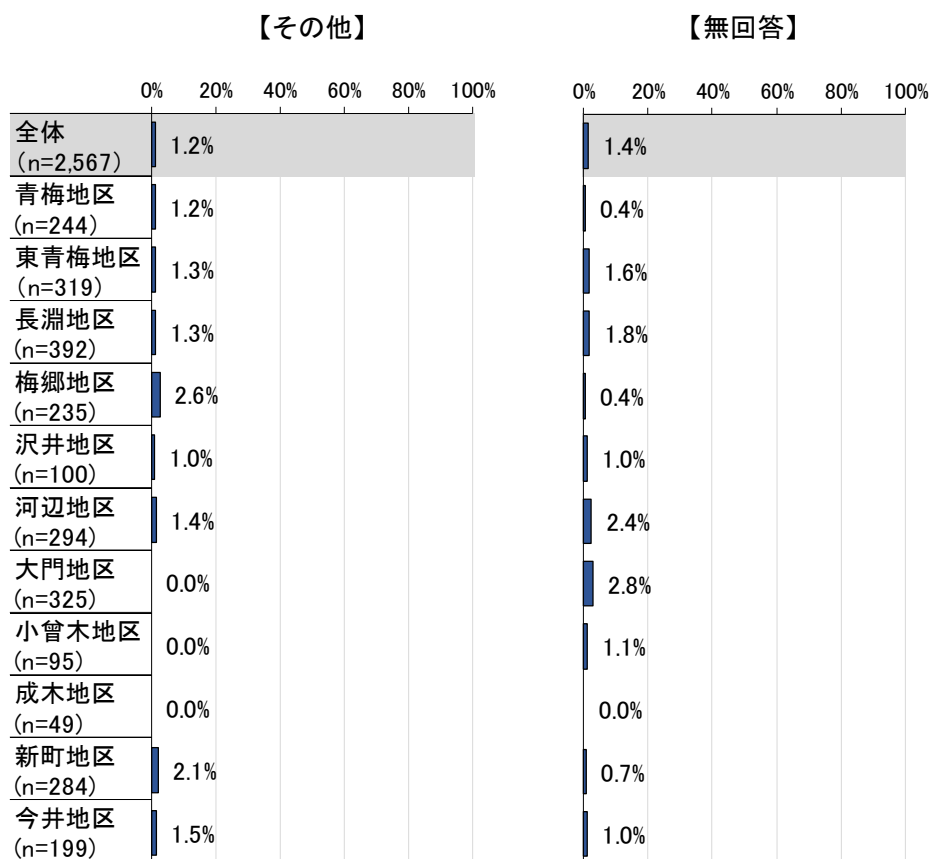


住居形態は、市全体では「持家（一人建て）」が74.7%で最も多い。
 地区別では、各地区ともに「持家（一人建て）」が最も多く、6割を超えている。
 特に第3地区は82.1%で「持家（一人建て）」の割合が最も多い。

第2章 調査結果の詳細

○11 地区別



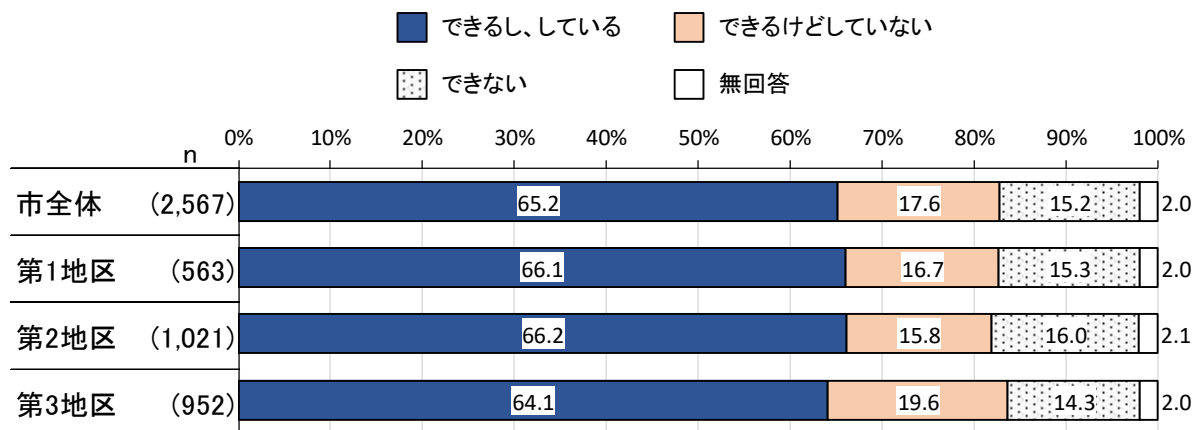


11 地区別では「持家（一戸建て）」の割合が全体的に高くなっているが、最も低い地区の河辺地区で 45.6% となった一方、成木地区では 100.0% とその差が大きくなっている。

2. からだを動かすことについて

(1) 階段の昇り方

問2 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

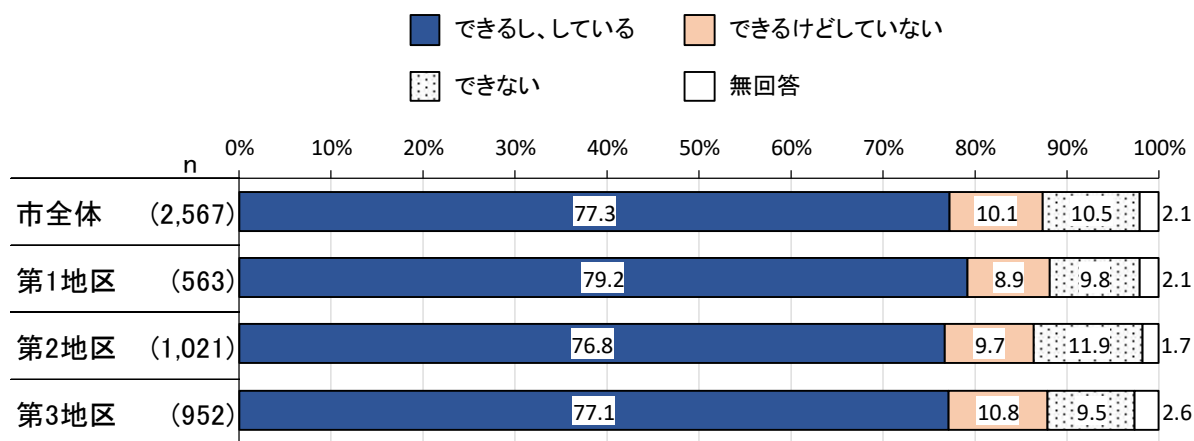


階段の昇り方については、市全体では手すりや壁をつたわずに階段を上ることが「できるし、している」人が65.2%である。

地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(2) 椅子からの立ち上がり方

問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

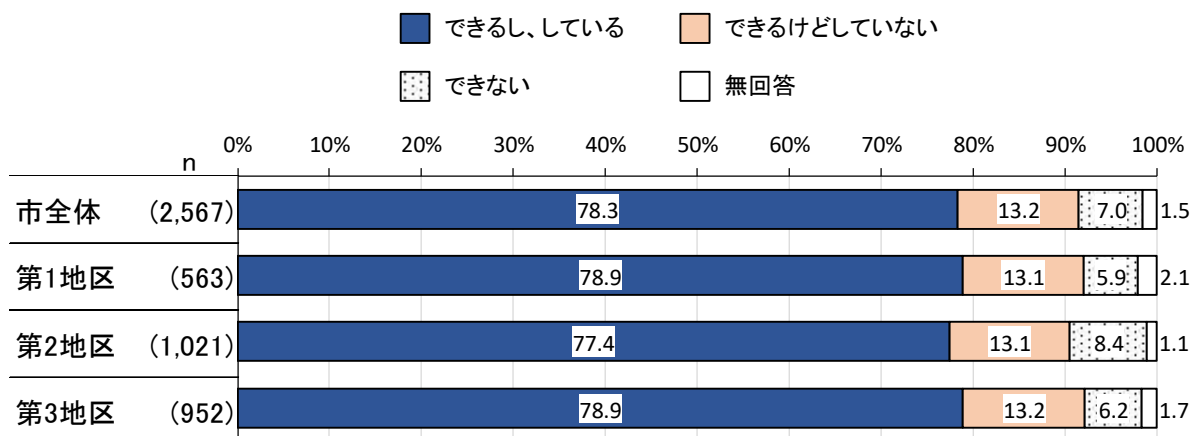


椅子からの立ち上がり方は、市全体では椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることが「できるし、している」人が77.3%である。

地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(3) 歩ける時間

問2 (3) 15分位続けて歩いていますか

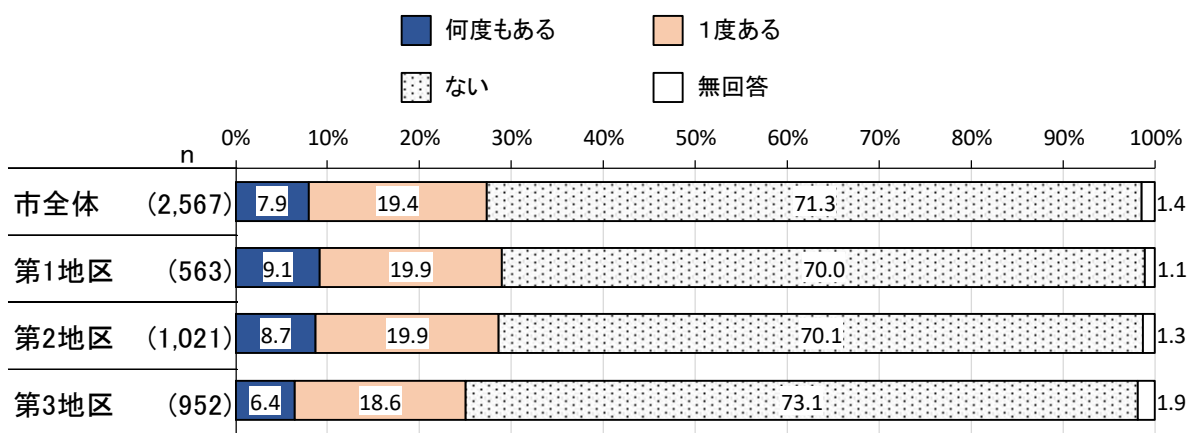


歩ける時間は、市全体では15分位続けて歩くことが「できるし、している」人が78.3%である。

地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(4) 転倒の有無

問2 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

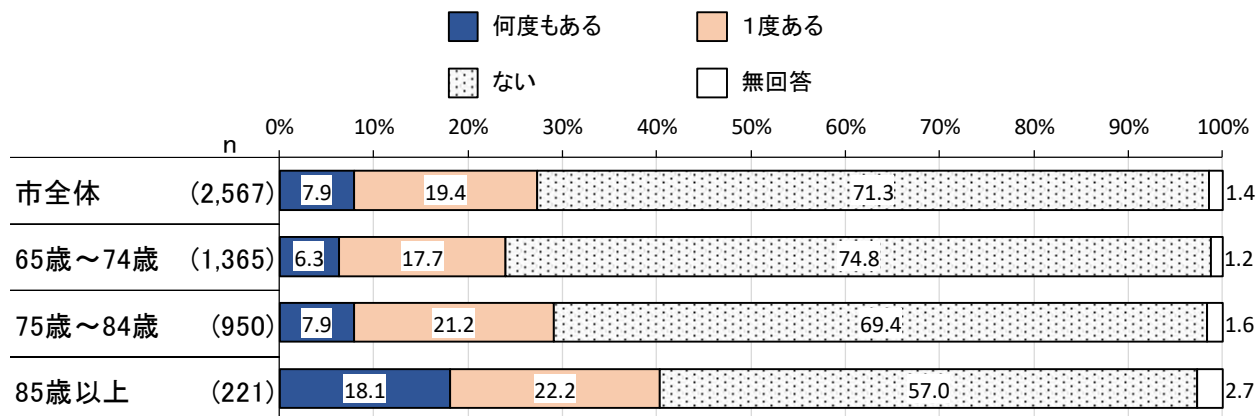


転倒の有無は、市全体では過去1年間に転んだ経験が「1度ある」人が19.4%である。

地区別では、過去1年間に転んだ経験が「1度ある」人は、第1地区・第2地区が各19.9%、第3地区が18.6%となっている。

第2章 調査結果の詳細

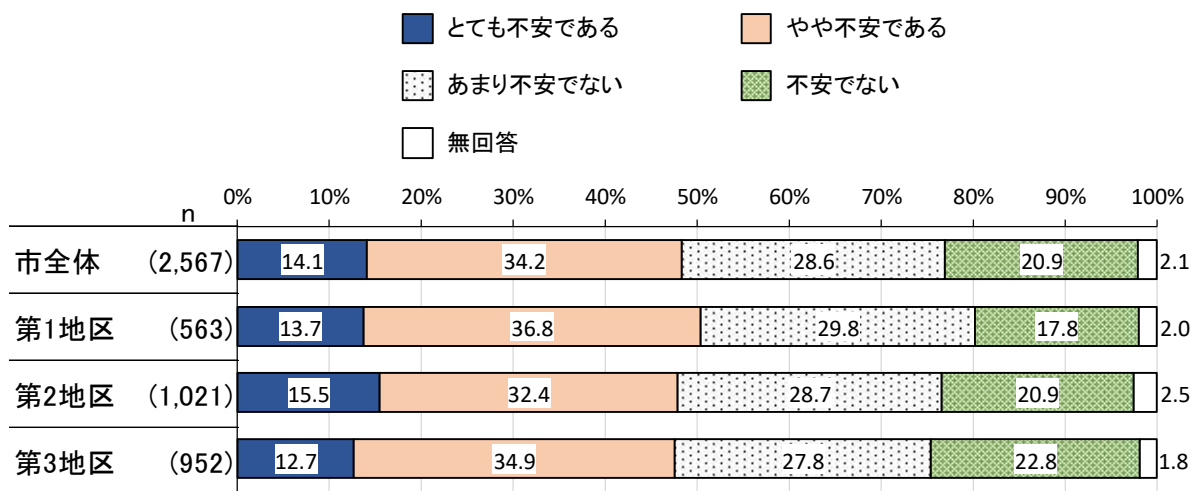
○年齢別



年齢別では、「何度もある」人が85歳以上で18.1%と高くなっており、「1度ある」人は65歳~74歳では17.7%に対し、75歳~84歳では21.2%、85歳以上では22.2%となっている。

(5) 転倒に対する不安

問2(5) 転倒に対する不安は大きいですか

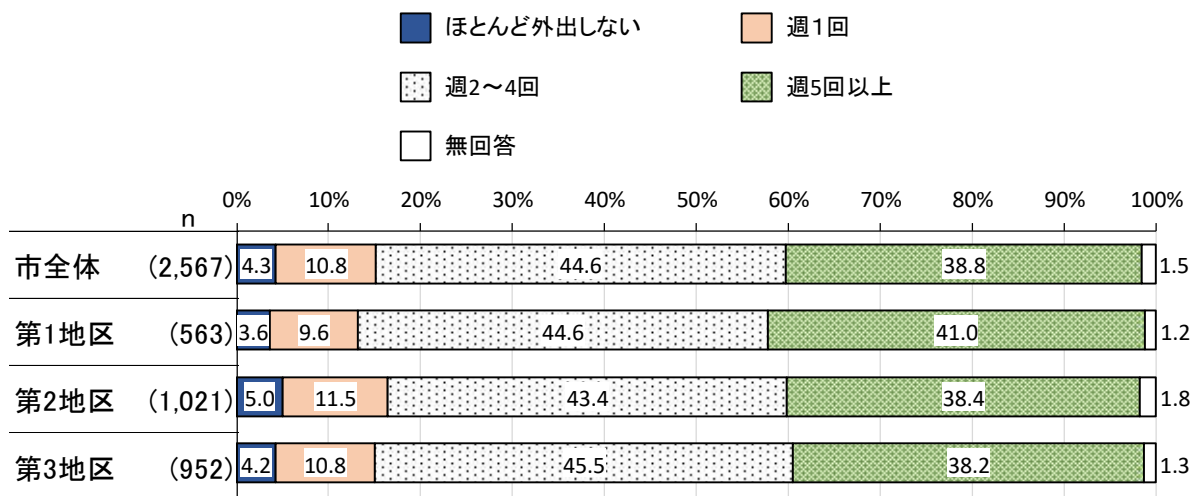


転倒に対する不安は、市全体では「とても不安である」「やや不安である」を合わせた《不安である》人が48.3%である。

地区別では、《不安である》人は、第1地区が50.5%、第2地区では47.9%、第3地区では47.6%となっている。

(6) 外出状況

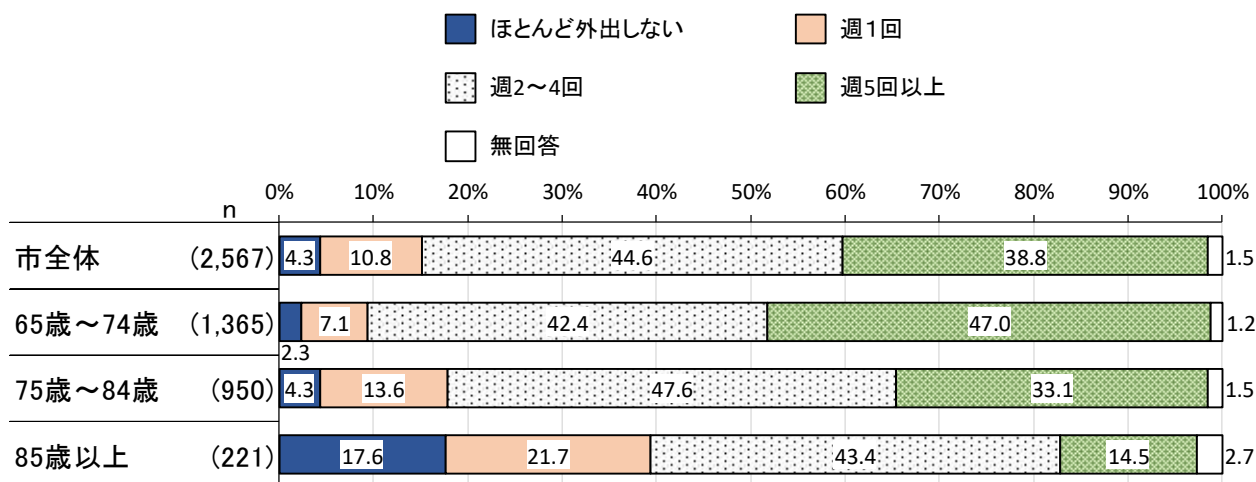
問2(6) 週に1回以上は外出していますか。(〇は一つ)



外出状況については、「週2~4回」の割合が44.6%と最も高く、次いで「週5回以上」(38.8%)、「週1回」(10.8%)の順となっている。

地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

○年齢別

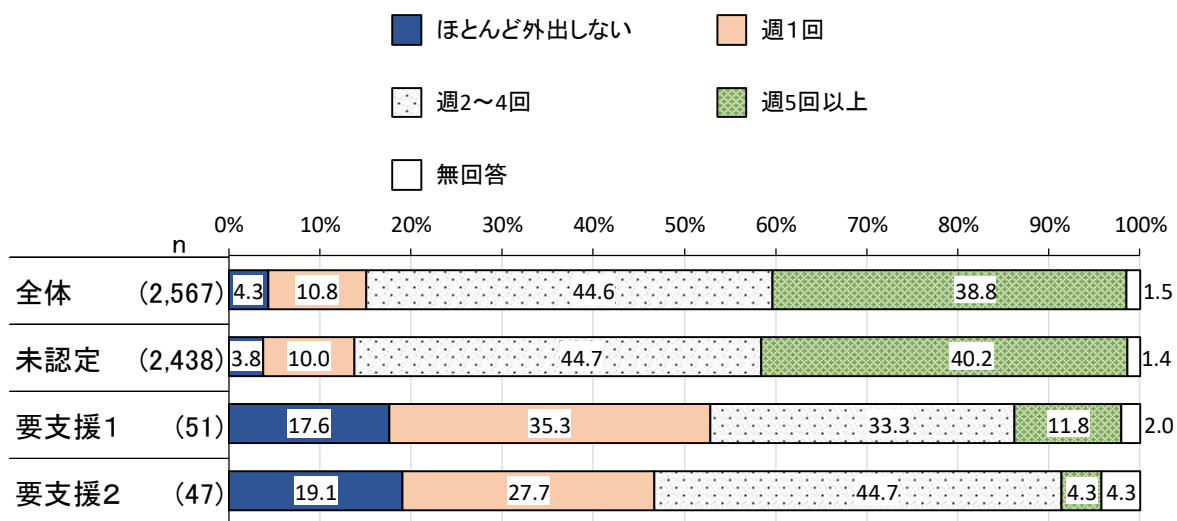


年齢別では、「ほとんど外出しない」の割合が85歳以上では17.6%と最も高く、次いで75歳~84歳が4.3%、65歳~74歳が2.3%の順となっている。

「週5回以上」の割合は65歳~74歳が47.0%と最も高く、年齢が上がるにしたがって外出頻度は下がっている。

第2章 調査結果の詳細

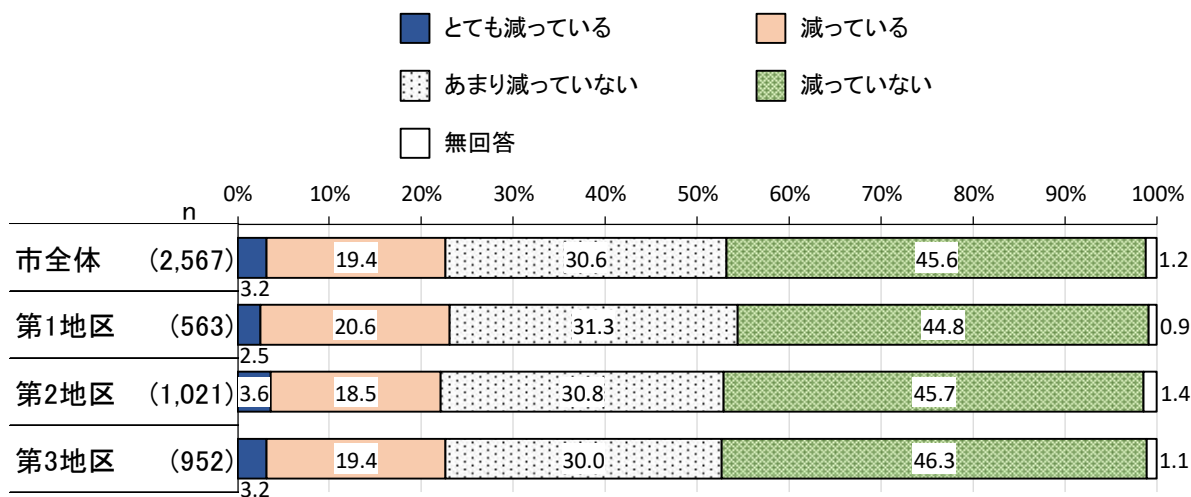
○介護認定別



介護認定別では、「ほとんど外出しない」は未認定の方が3.8%に対して、要支援1の方で17.6%、要支援2の方で19.1%と高くなっており、未認定の方と比較すると外出頻度が大きく下がっている。

(7) 外出回数の減少

問2(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

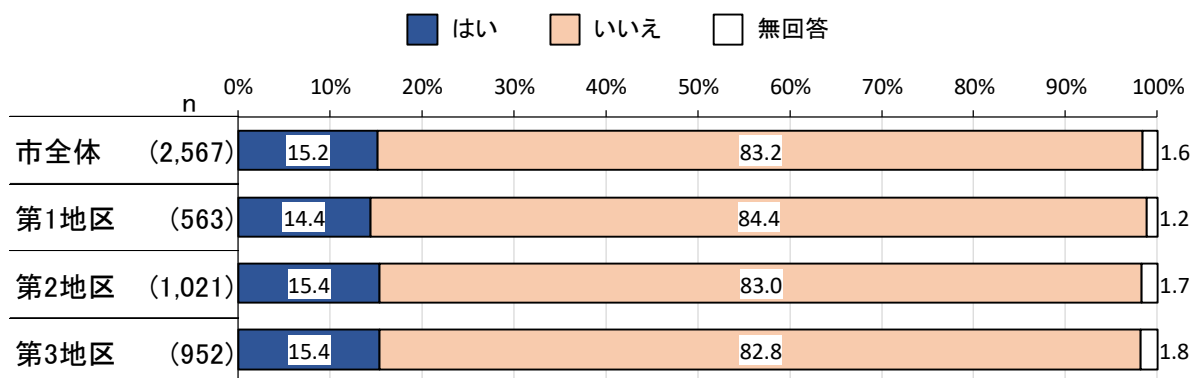


昨年と比べて外出の回数は、市全体では「とても減っている」「減っている」を合わせた《減っている》人が22.6%である。

地区別では、《減っている》人は、第1地区が23.1%、第2地区では22.1%、第3地区では22.6%となっている。

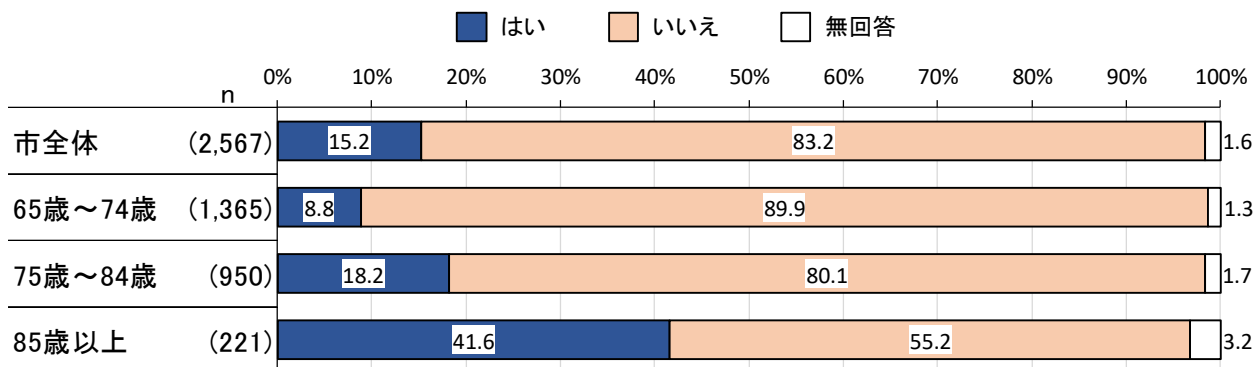
(8) 外出を控えているか

問2(8) 外出を控えていますか



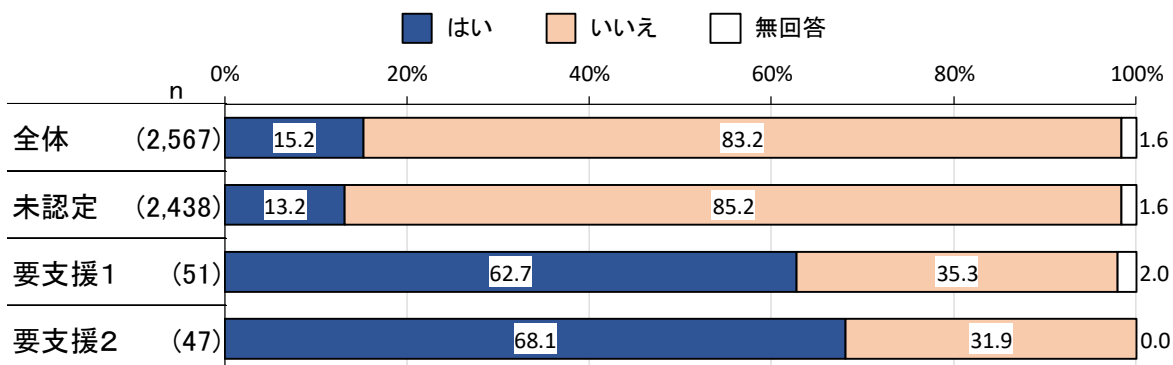
外出を控えている人は、市全体では15.2%である。
 地区別では、外出を控えている人は、第1地区が14.4%、第2地区・第3地区では各15.4%となっている。

○年齢別



年齢別では、外出を控えている人は65歳～74歳では8.8%であるのに対し、75歳～84歳では18.2%、85歳以上では22.6%となっている。

○介護認定別

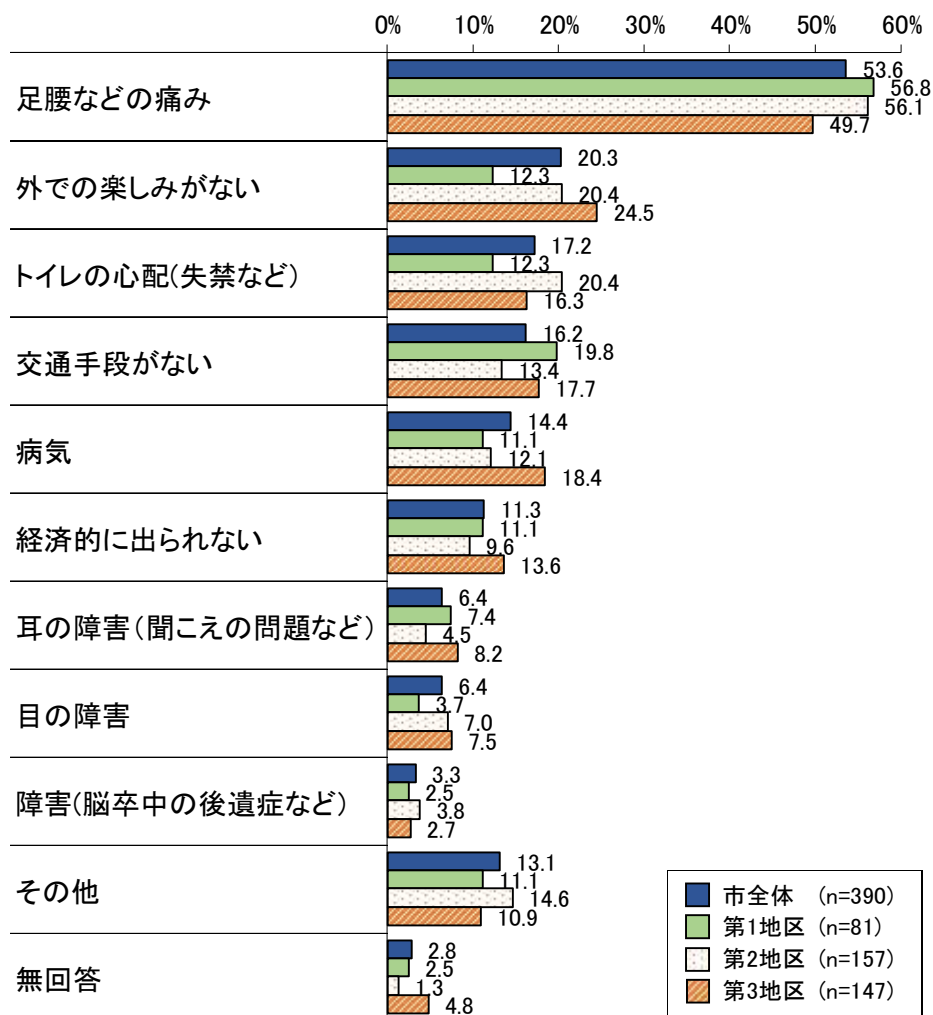


介護認定別では、外出を控えている人は未認定では13.2%であるのに対し、要支援1では62.7%、要支援2では68.1%となっている。

(8-1) 外出を控えている理由

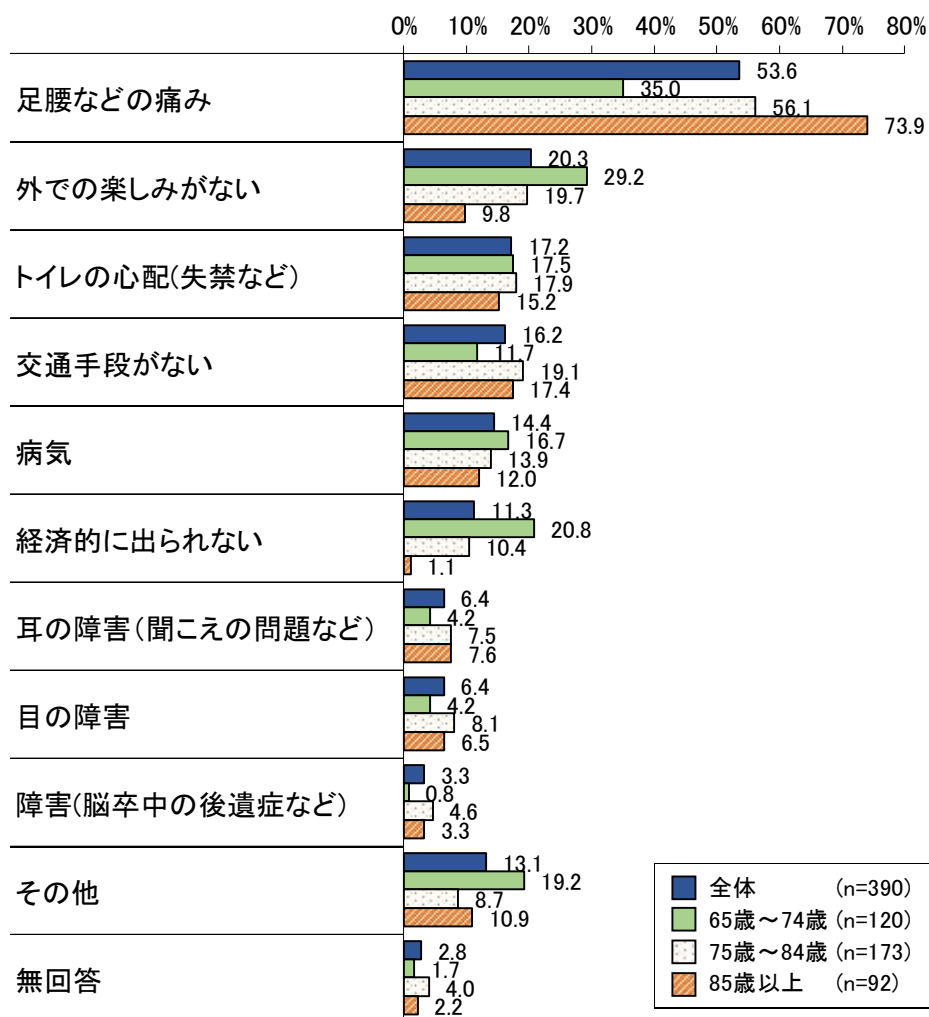
【(8)で「はい」(外出を控えている)の方のみ】

問2(8)① 外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)



外出を控えている理由は、市全体では「足腰などの痛み」が53.6%で最も多い。地区別では、どの地区も「足腰などの痛み」が最も多い。

○年齢別

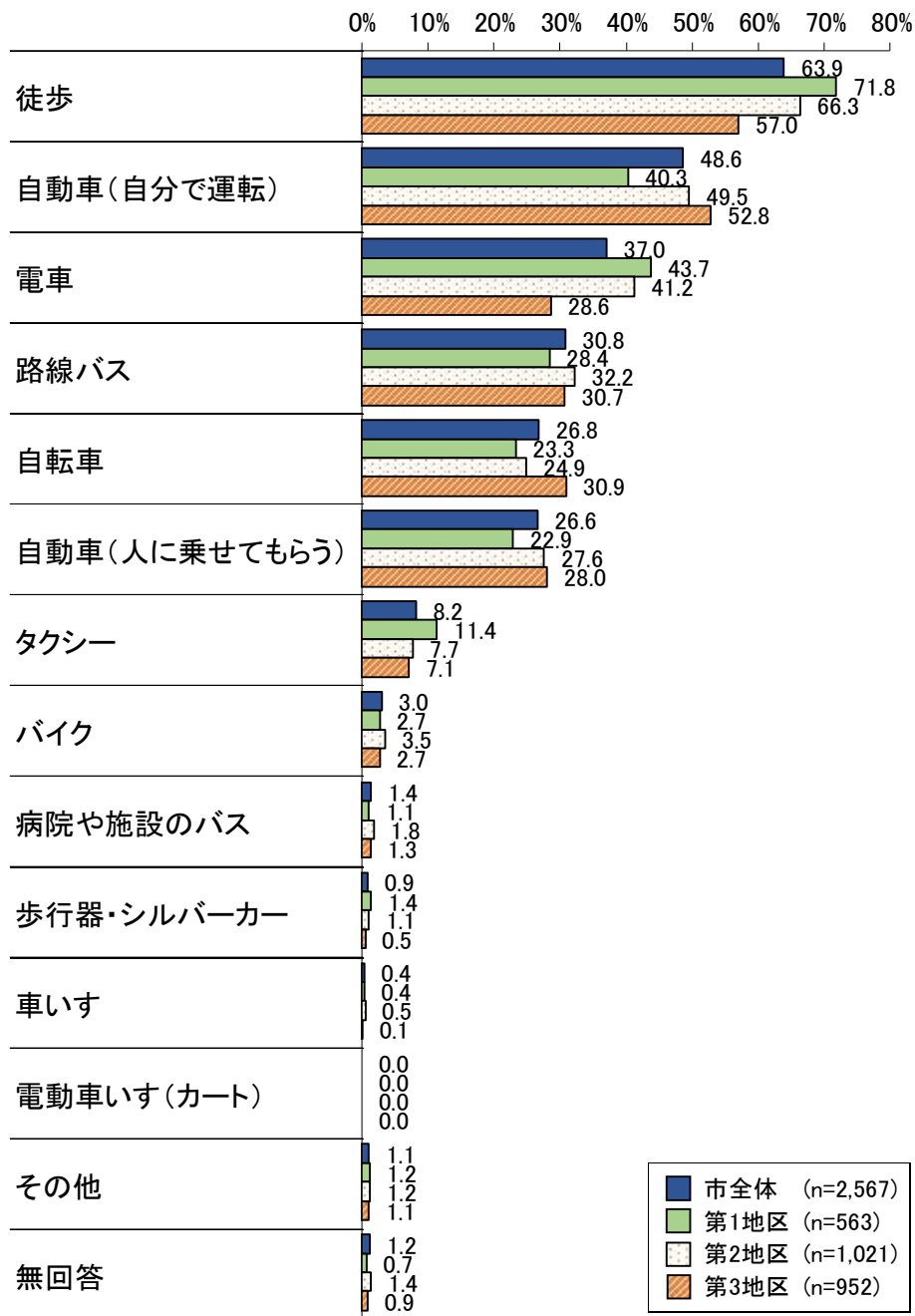


年齢別では、全ての年代で「足腰などの痛み」が最も高くなっていますが、65歳~74歳は35.0%と最も低い一方、85歳以上では73.9%となっている。

65歳~74歳では「外での楽しみがない」、「経済的に出られない」の割合が高い。

(9) 外出時の移動手段

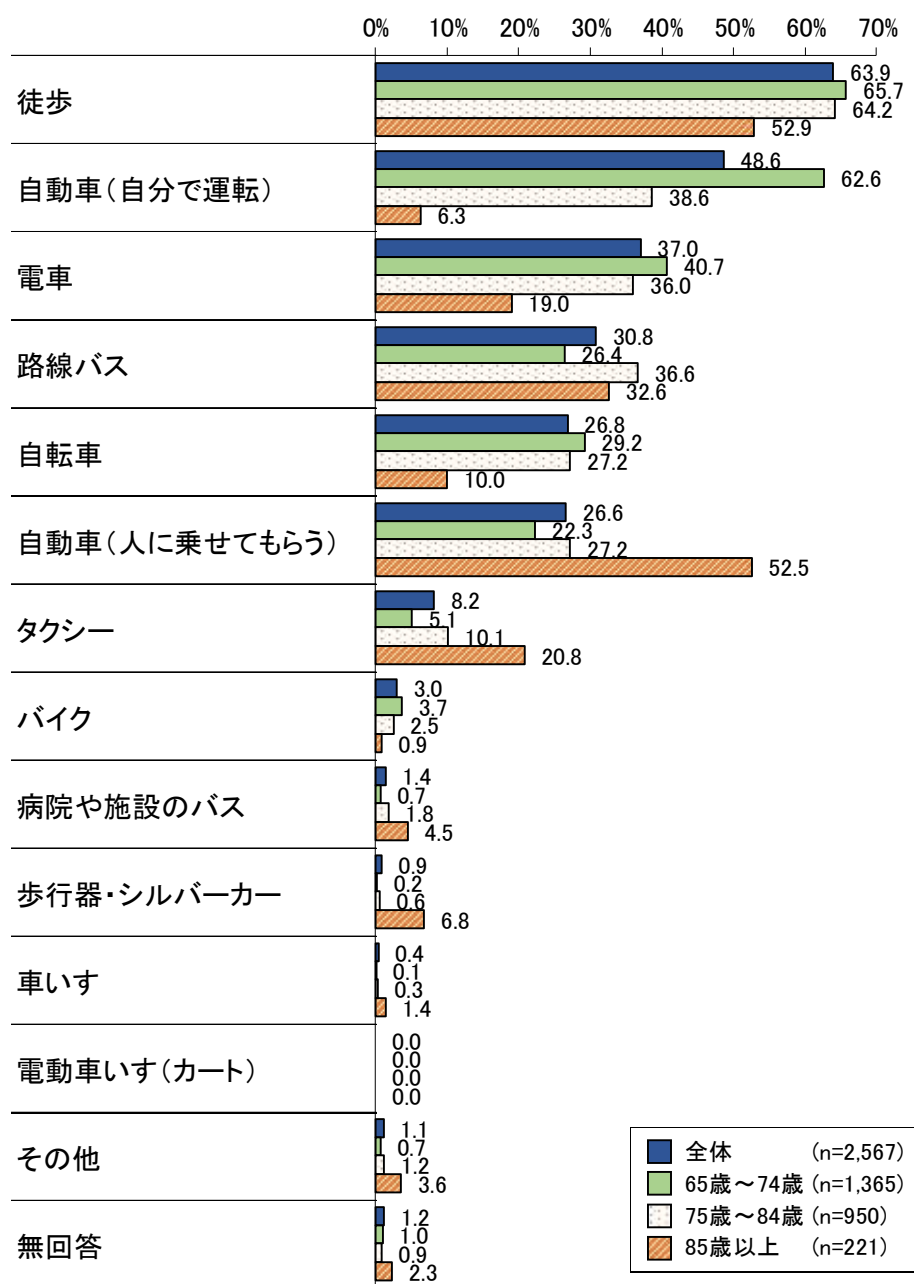
問2(9) 外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも)



外出時の移動手段は、市全体では「徒歩」が63.9%で最も多い。

地区別では、どの地区も「徒歩」が最も多い。また、「自動車(自分で運転)」は第3地区で52.8%と多くなっている

○年齢別

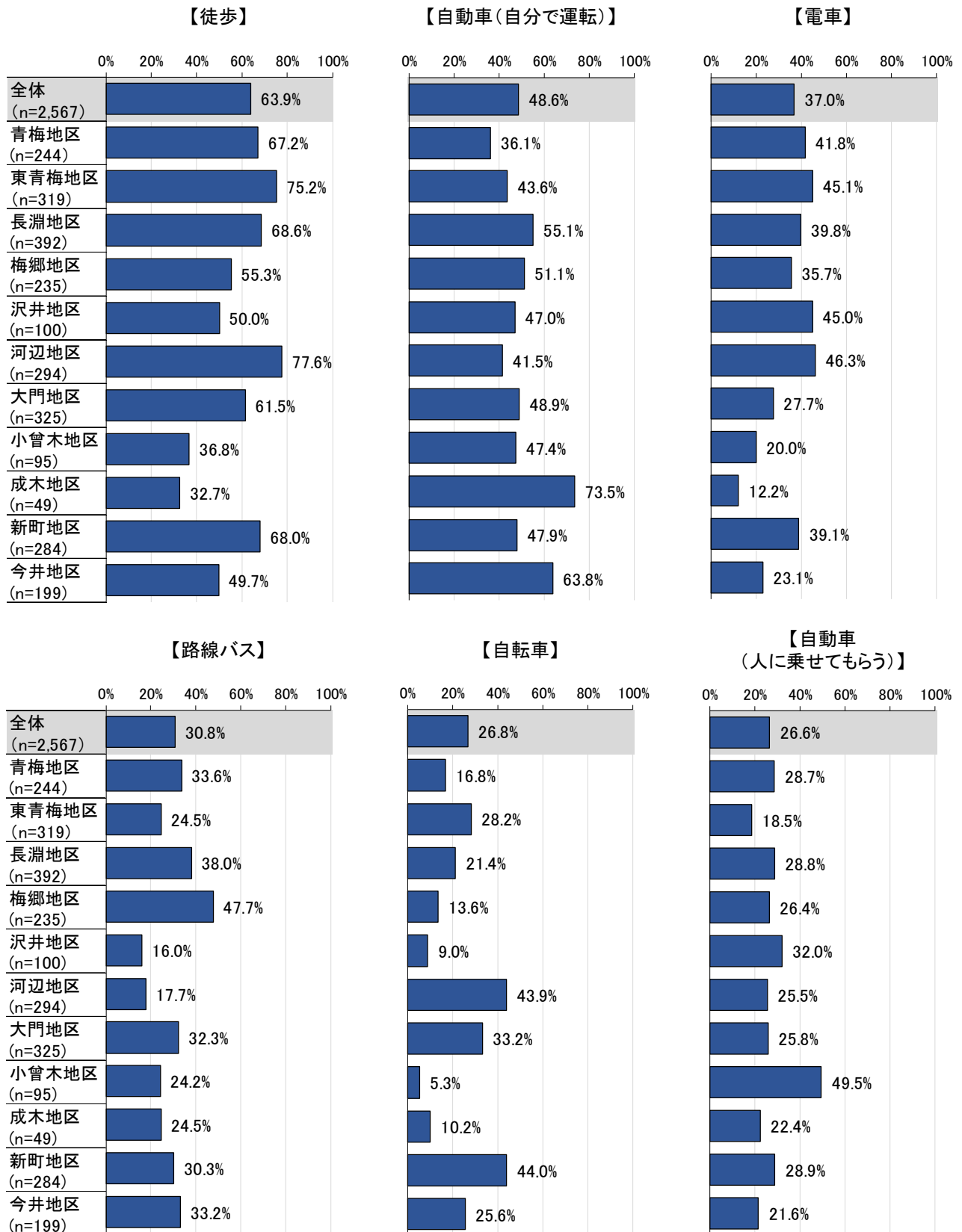


年齢別では、65歳~74歳で「徒歩」、「自動車(自分で運転)」、「電車」、「自転車」、などで多くなっている。

75歳~84歳では「路線バス」、85歳以上では「自動車(人に乗せてもらう)」、「タクシー」などが多くなっている。

第2章 調査結果の詳細

○11 地区別（上位6項目）

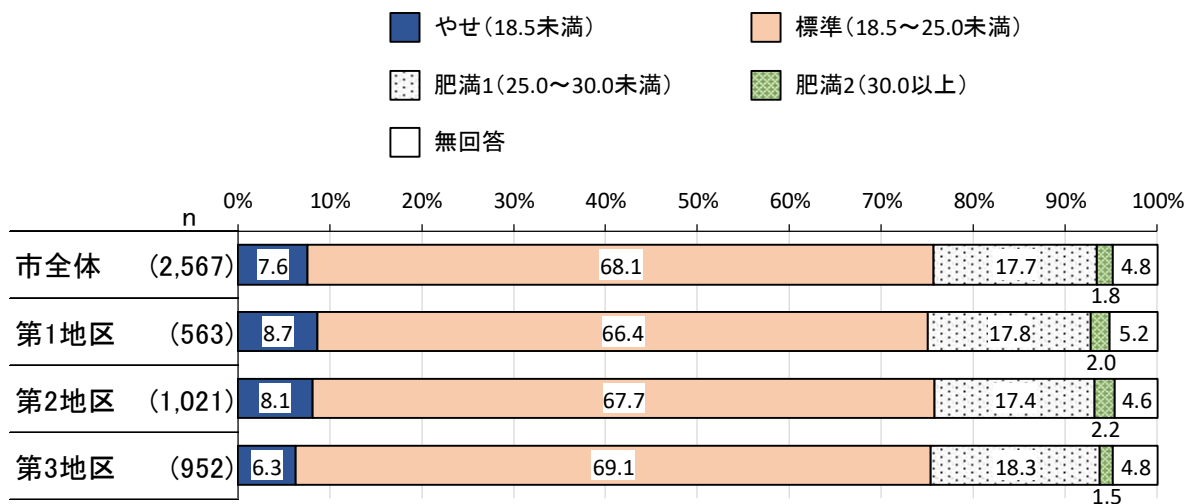


地区別では、「徒歩」の割合は河辺地区が77.6%と最も高く、次いで東青梅地区が75.2%となっている。最も低い成木地区では32.7%と、その差が大きくなっている。

3 食べることについて

(1) BMI

問3(1) 身長・体重

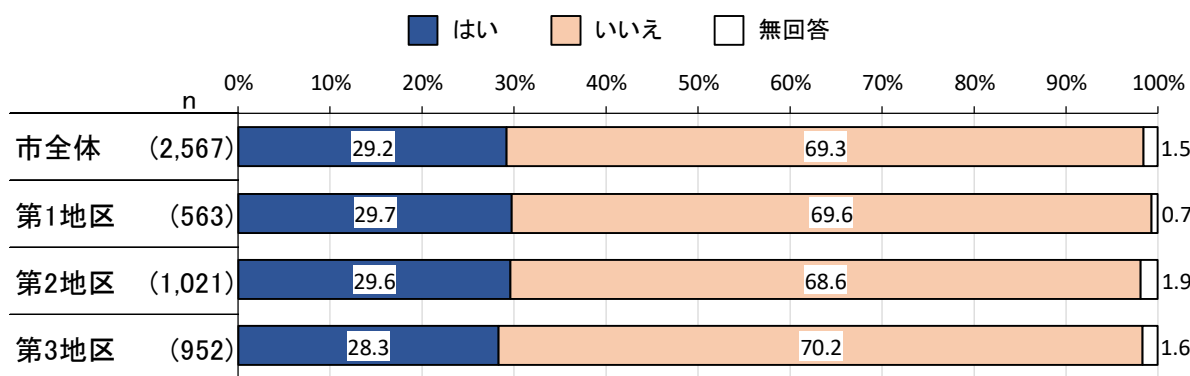


身長と体重の関係からBMI指数を算出した。市民の肥満の割合をみると、市全体では、18.5未満の「やせ型」が7.6%、18.5~25.0未満の「標準」が68.1%、25.0~30.0未満の「肥満1」が17.7%、30.0以上の肥満2が1.8%だった。

地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(2) 固いものの食べにくさ

問3(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか



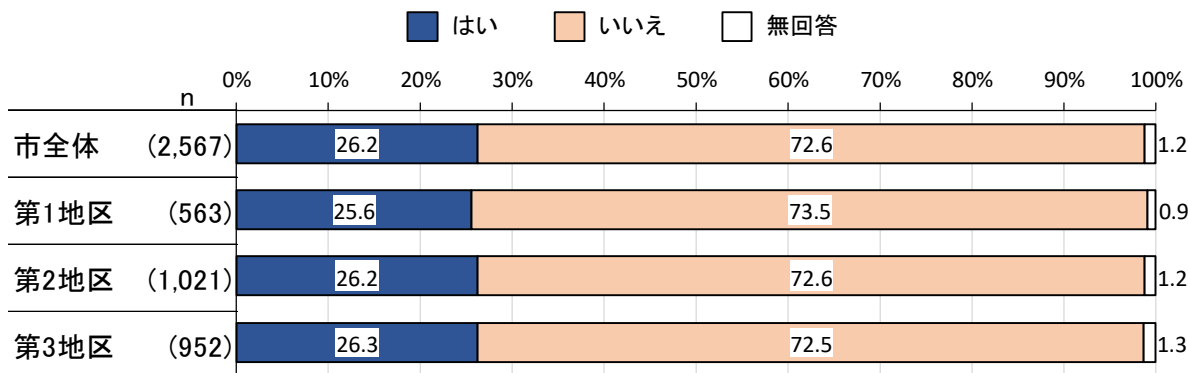
半年前に比べて固いものが食べにくくなった人は、市全体では29.2%である。

地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

第2章 調査結果の詳細

(3) お茶などでむせるか

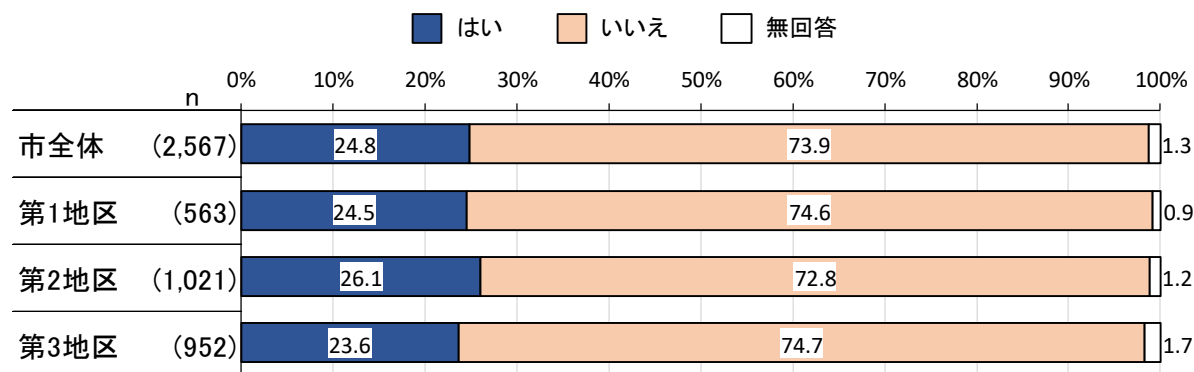
問3 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか



お茶などでむせるかは、市全体ではお茶や汁物等でむせることがある人が26.2%である。地区別では、お茶や汁物等でむせることがある人は、第1地区が25.6%、第2地区が26.2%、第3地区が26.3%となっている。

(4) 口の渇き

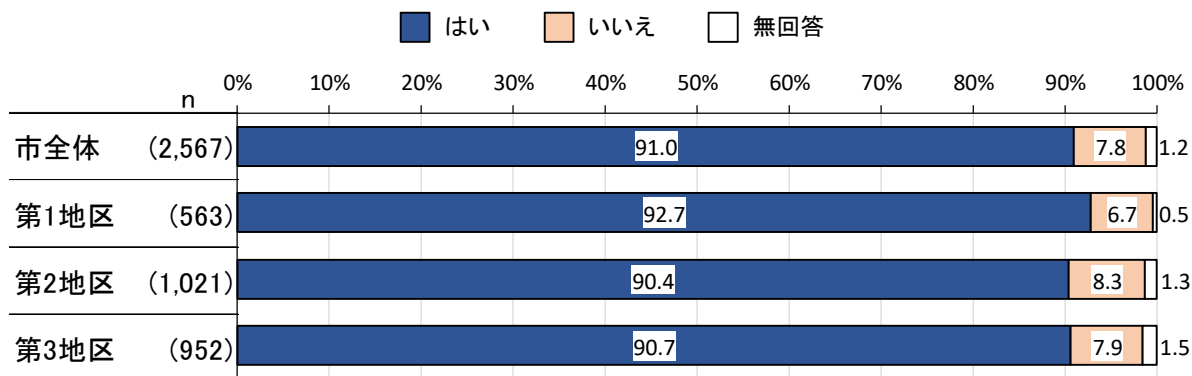
問3 (4) 口の渇きが気になりますか



口の渇きは、市全体では口の渇きが気になる人が24.8%である。地区別では、口の渇きが気になる人は、第1地区が24.5%、第2地区が26.1%、第3地区が23.6%となっている。

(5) 歯磨き

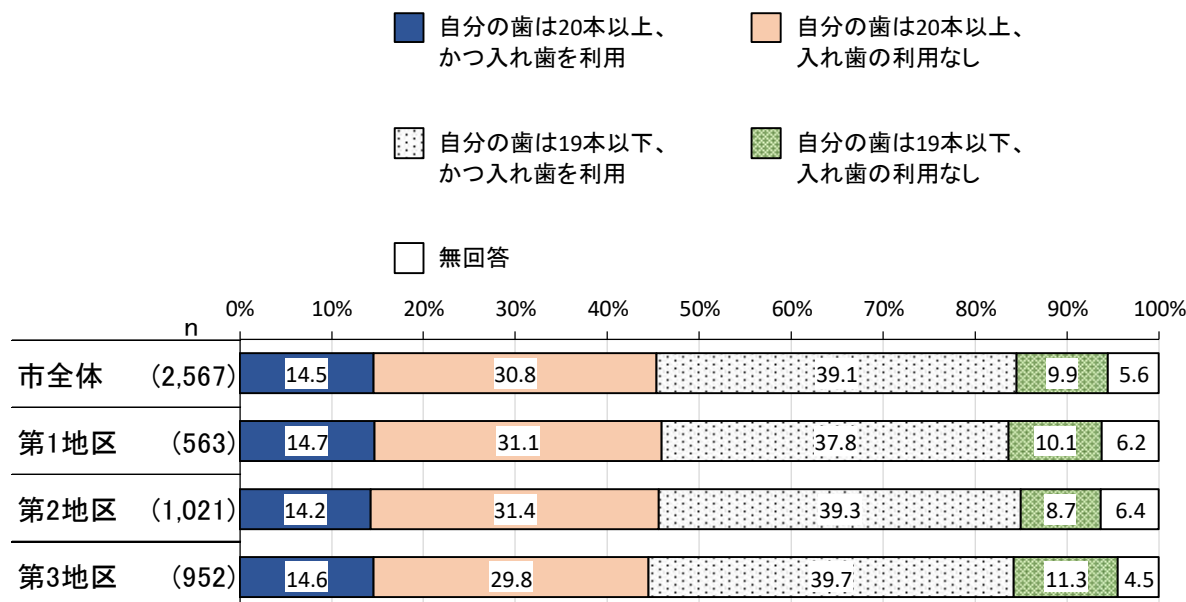
問3 (5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか



歯磨きは、市全体では毎日している人が91.0%である。
 地区別では、毎日している人は、第1地区が92.7%、第2地区が90.4%、第3地区が90.7%となっており、全ての地区で9割を超えている。

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況

問3 (6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

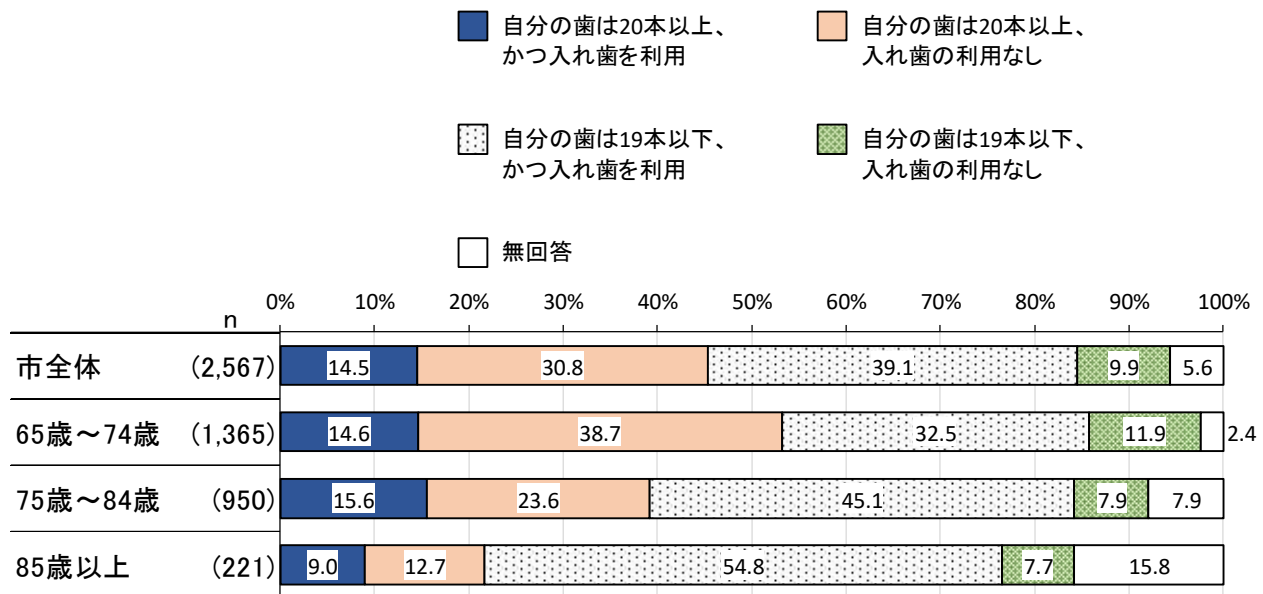


歯の数と入れ歯の利用状況は、市全体では「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を合計した《入れ歯を利用している》は53.6%である。

地区別では、《入れ歯を利用している》は、第1地区が52.5%、第2地区が53.5%、第3地区が54.3%となっている。

第2章 調査結果の詳細

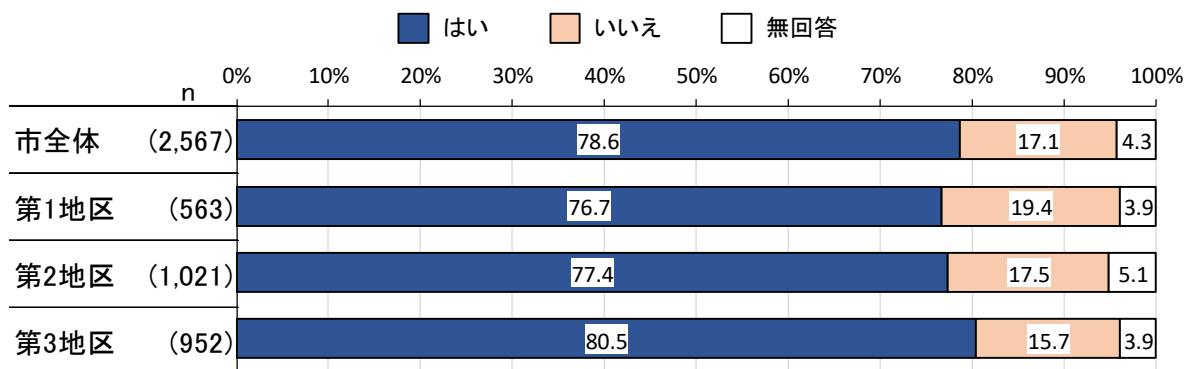
○年齢別



年齢別では、《入れ歯を利用している》は、65歳～74歳が47.1%、75歳～84歳が60.7%、85歳以上が63.8%となっている。

(6-1) 歯の噛み合わせ

問3 (6-1) ① 噛み合わせは良いですか

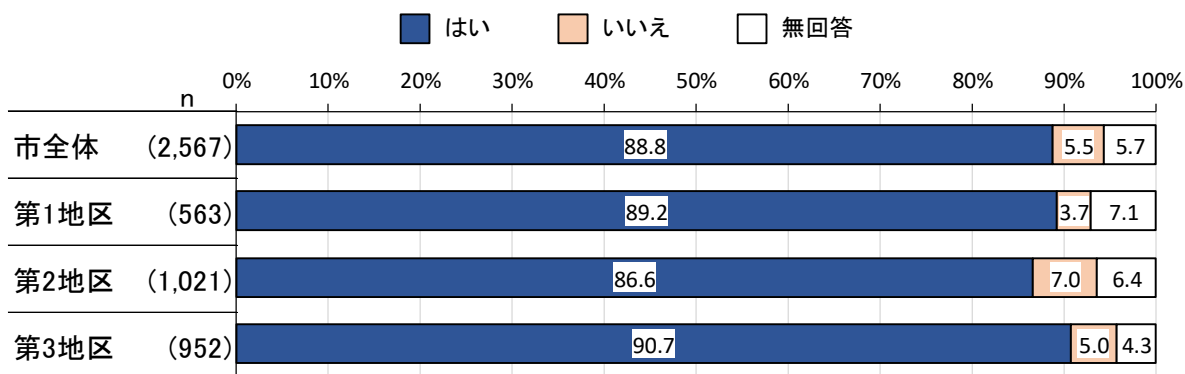


噛み合わせは、市全体では噛み合わせは良い人が78.6%である。地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(6-2) 入れ歯の手入れ

【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

問3 (6-1) ② 毎日入れ歯の手入れをしていますか

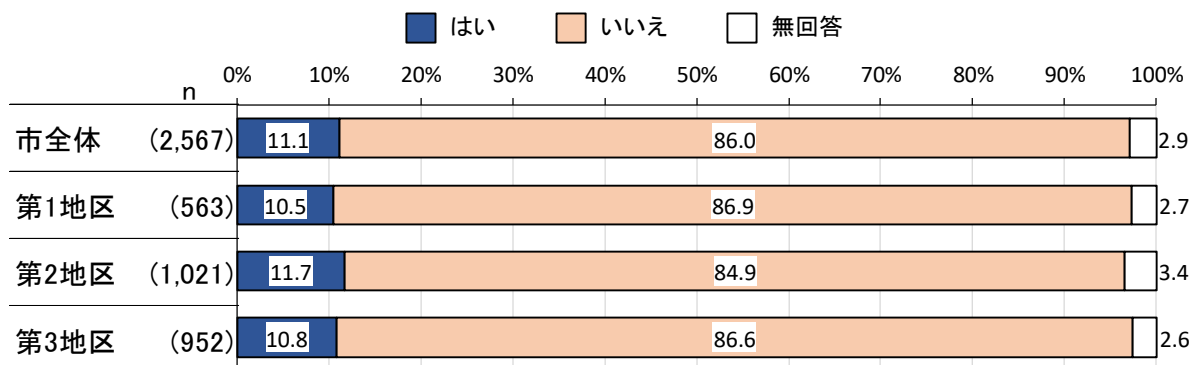


入れ歯の手入れの状況は、市全体では入れ歯をしている人のうち、毎日入れ歯の手入れをしている人は88.8%である。

地区別では、毎日入れ歯の手入れをしている人は、第1地区では89.2%、第2地区では86.6%、第3地区では90.7%となっている。

(7) 体重減少の有無

問3 (7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

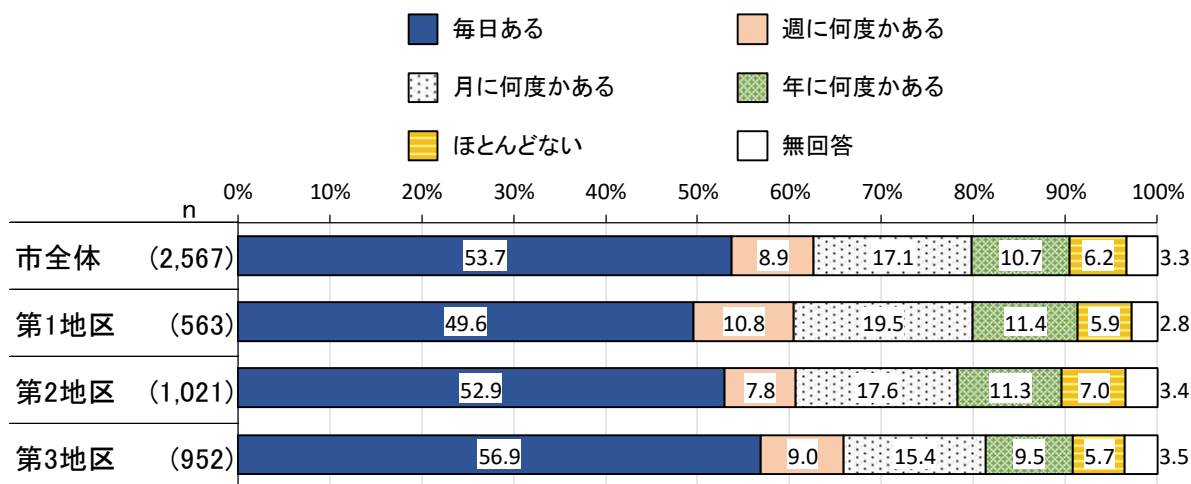


体重減少については、市全体では6か月間で2～3kg以上の体重減少があった人は11.1%である。

地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(8) 共食の機会

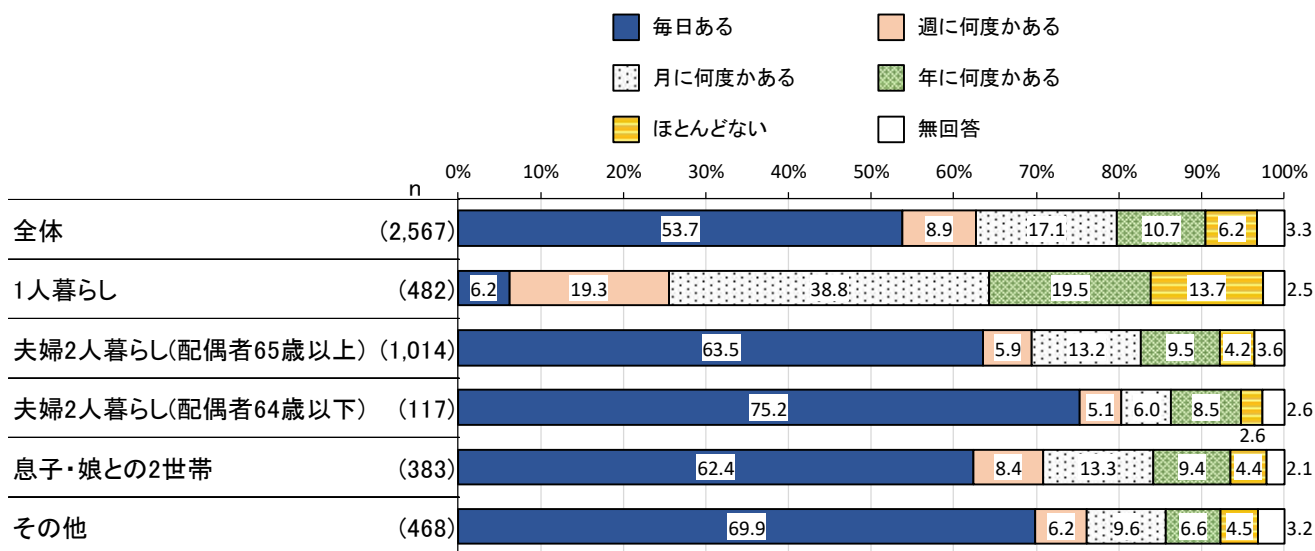
問3(8) どなたかと食事をとる機会がありますか



共食の機会は、市全体ではだれかと食事をとる機会が「毎日ある」人が53.7%である。

地区別では、「毎日ある」は、第1地区が49.6%、第2地区が52.9%、第3地区が56.9%となっている。

○家族構成別

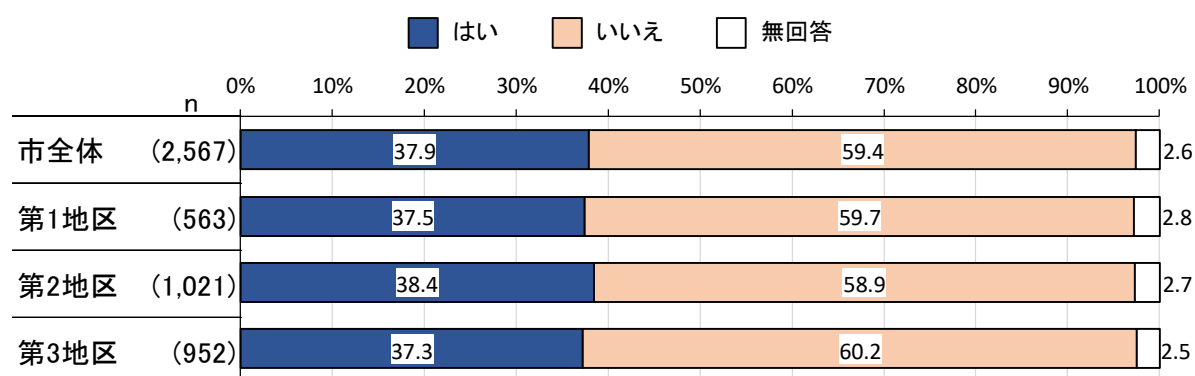


家族構成別では、1人暮らしの共食の機会が、他と比べて非常に少なくなっている。

4 毎日の生活について

(1) 物忘れの状況

問4(1) 物忘れが多いと感じますか

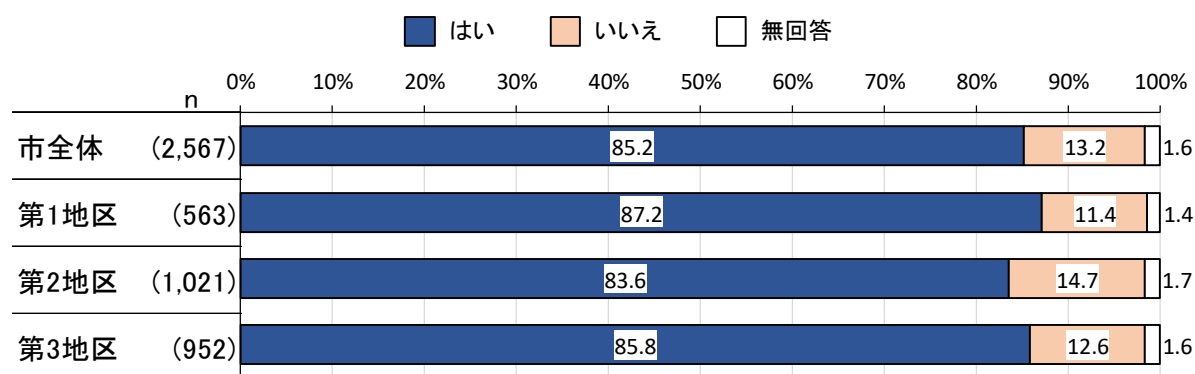


物忘れについては、市全体では物忘れが多いと感じる人が37.9%である。

地区別では、物忘れが多いと感じる人は、第1地区が37.5%、第2地区が38.4%、第3地区が37.3%となっている。

(2) 電話の利用の可否

問4(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか



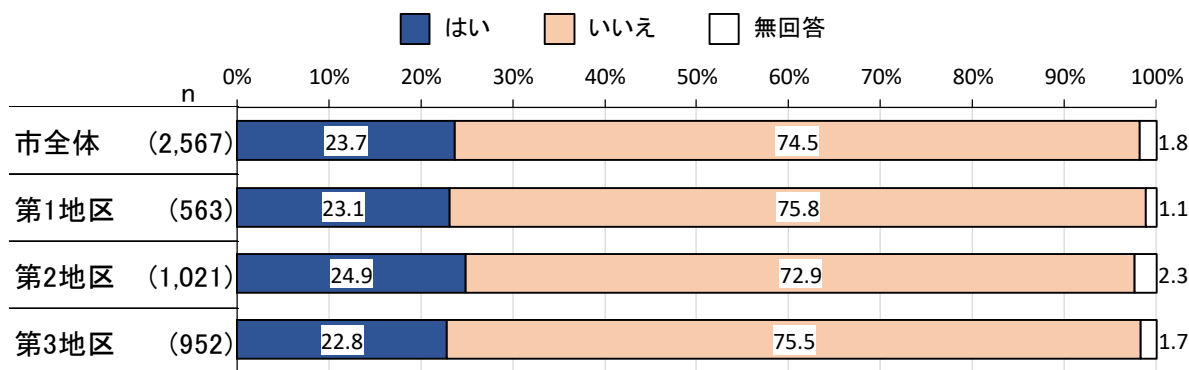
電話の利用の可否は、市全体では、自分で電話番号を調べて電話をかけることをしている人が85.2%である。

地区別では、自分で電話番号を調べて電話をかけることをしている人は、第1地区が87.2%、第2地区が83.6%、第3地区が85.8%となっている。

第2章 調査結果の詳細

(3) 日にちの理解

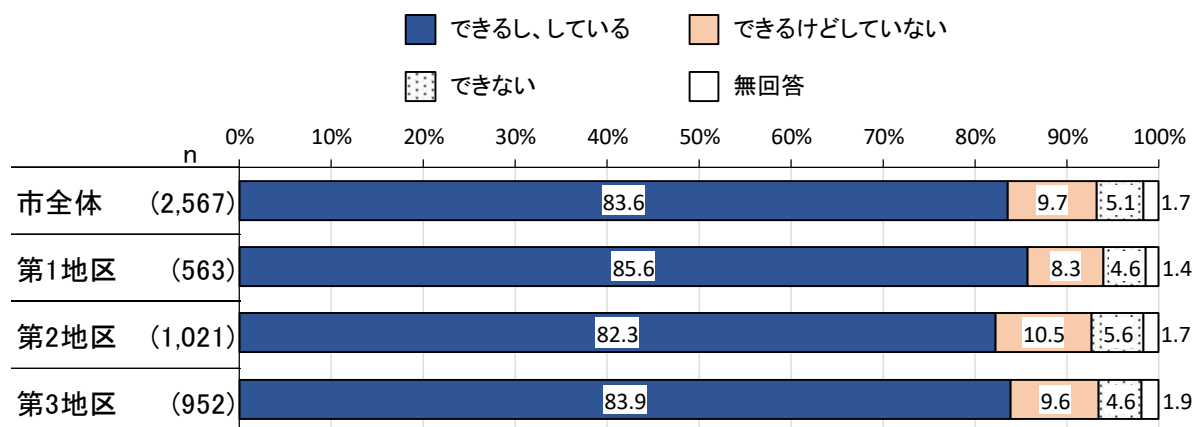
問4(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか



日にちの理解は、市全体では今日が何月何日かわからない時がある人が23.7%である。地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(4) 1人での外出

問4(4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)

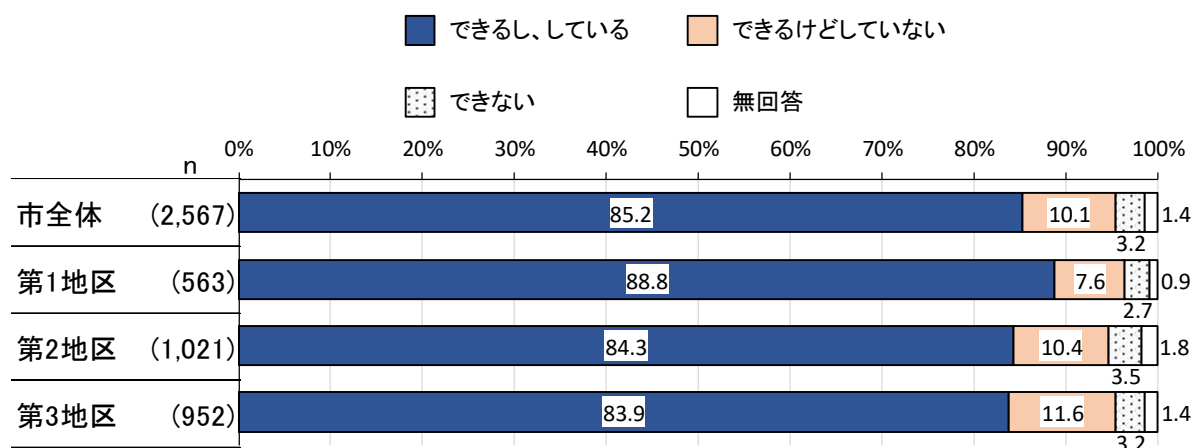


1人での外出は、市全体ではバスや電車を使って1人で外出することが「できるし、している」人が83.6%である。

地区別では、バスや電車を使って1人で外出することが「できるし、している」人は、第1地区が85.6%、第2地区が82.3%、第3地区が83.9%となっている。

(5) 買い物の可否

問4(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

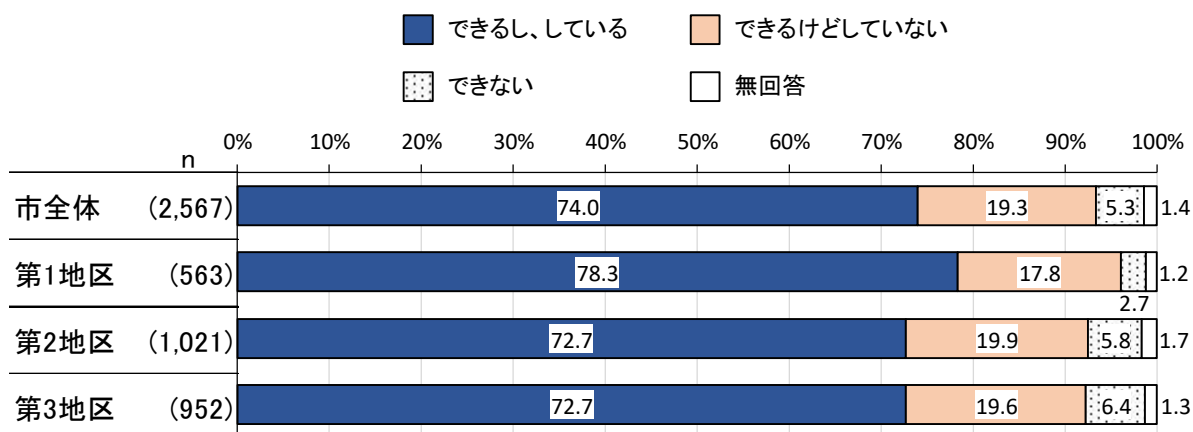


買い物の可否は、市全体では自分で食品・日用品の買物を「できるし、している」人が85.2%である。

地区別では、自分で食品・日用品の買物を「できるし、している」人は、第1地区が88.8%、第2地区が84.3%、第3地区が83.9%となっている。

(6) 食事の用意

問4(6) 自分で食事の用意をしていますか



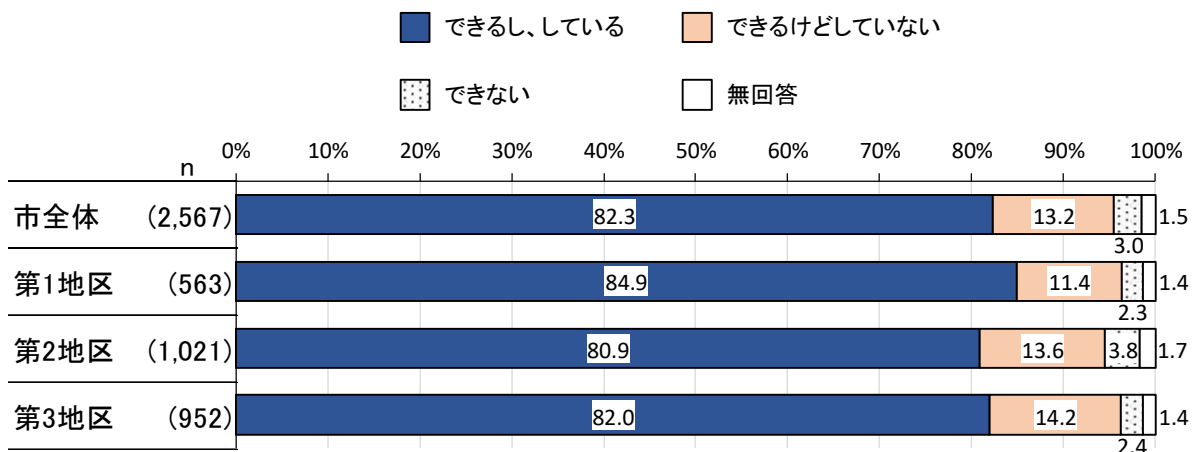
食事の用意は、市全体では自分で食事の用意を「できるし、している」人が74.0%である。

地区別では、自分で食事の用意を「できるし、している」人は、第1地区が78.3%、第2地区・第3地区が各72.7%となっている。

第2章 調査結果の詳細

(7) 請求書の支払い

問4(7) 自分で請求書の支払いをしていますか

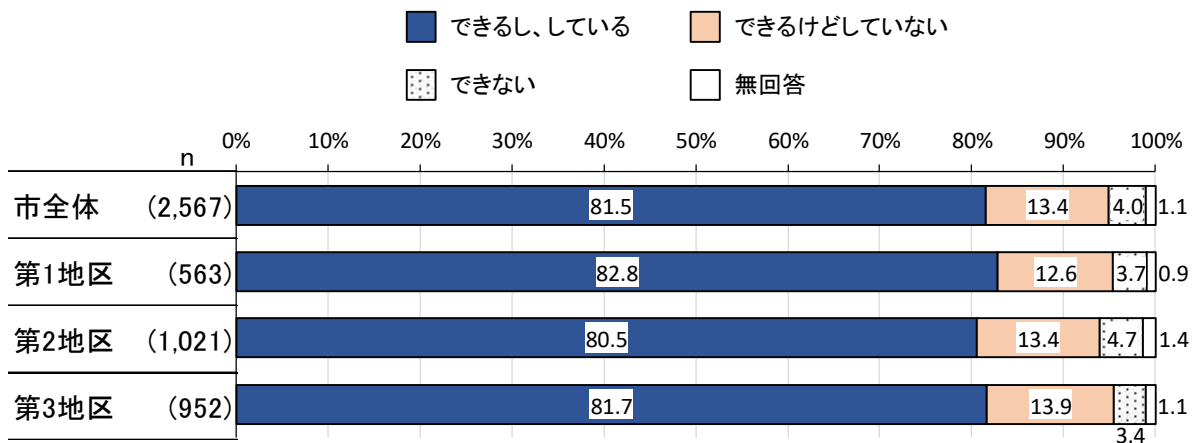


請求書の支払いは、市全体では自分で請求書の支払いを「できるし、している」人が82.3%である。

地区別では、自分で請求書の支払いを「できるし、している」人は、第1地区が84.9%、第2地区が80.9%、第3地区が82.0%となっている。

(8) 預貯金の出し入れ

問4(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

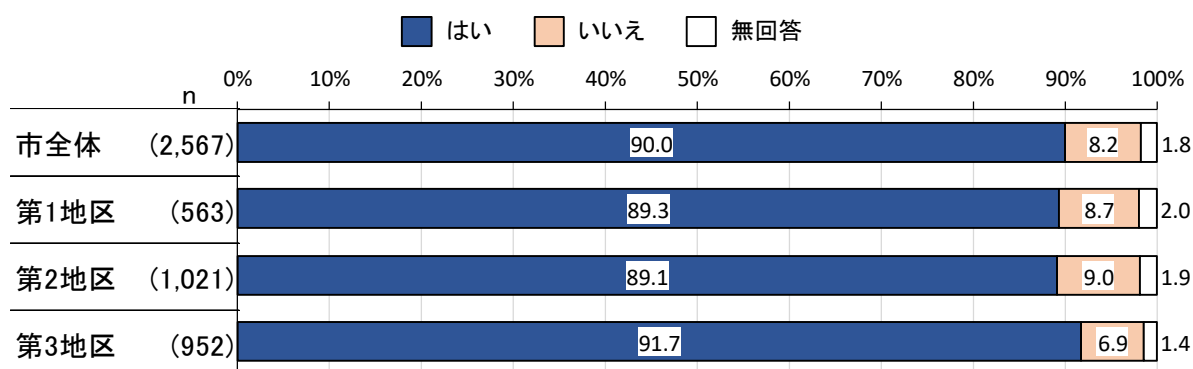


預貯金の出し入れは、市全体では自分で預貯金の出し入れを「できるし、している」人が81.5%である。

地区別では、自分で預貯金の出し入れを「できるし、している」人は、第1地区が82.8%、第2地区80.5%、第3地区が81.7%となっている。

(9) 書類書き

問4(9) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか

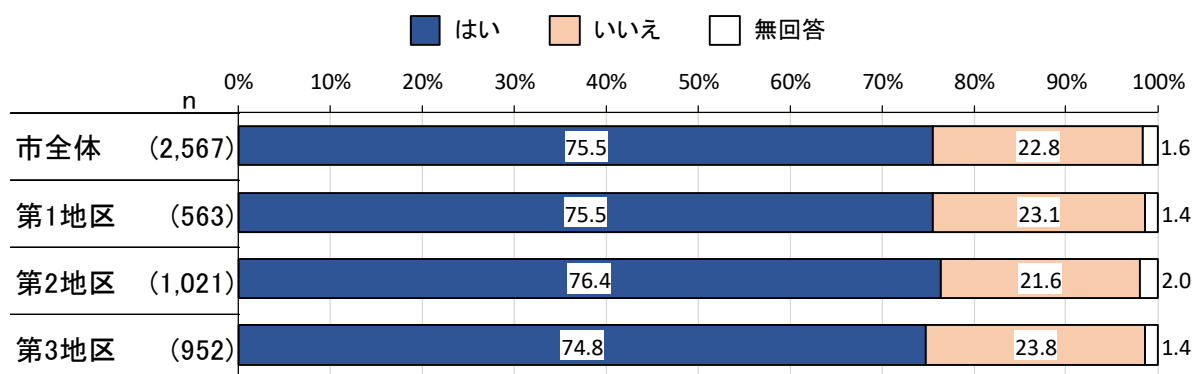


書類書きは、市全体では年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書ける人が90.0%である。

地区別では、年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書ける人は、第1地区が89.3%、第2地区89.1%、第3地区が91.7%となっている。

(10) 新聞

問4(10) 新聞を読んでいますか



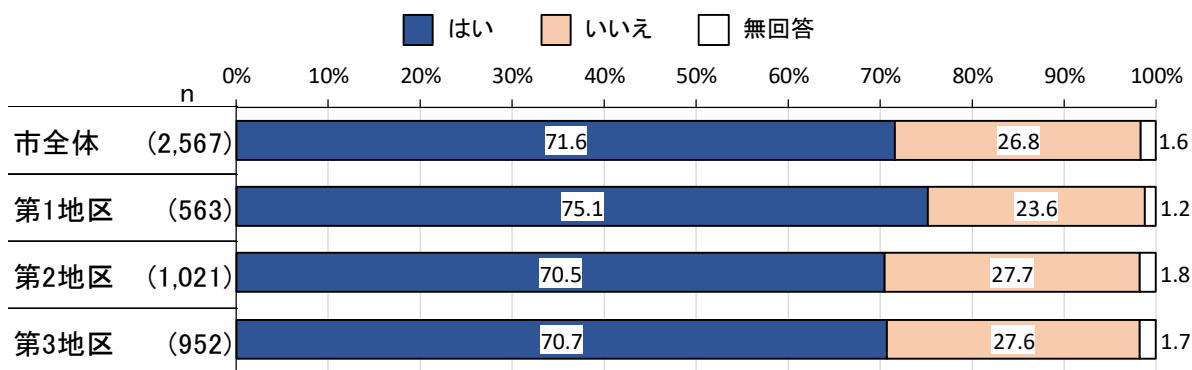
新聞については、市全体では新聞を読んでいる人が75.5%である。

地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

第2章 調査結果の詳細

(11) 読書

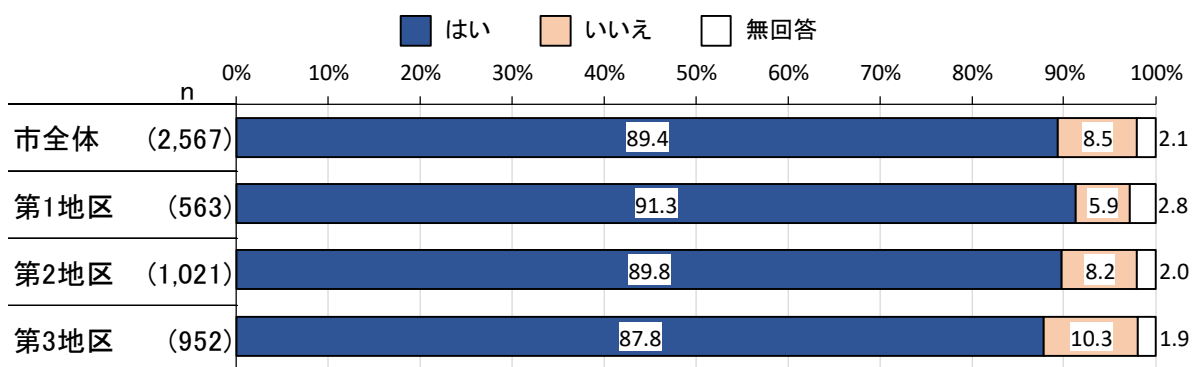
問4 (11) 本や雑誌を読んでいますか



本・雑誌については、市全体では本や雑誌を読んでいる人が71.6%である。
 地区別では、本や雑誌を読んでいる人は、第1地区が75.1%、第2地区70.5%、第3地区が70.7%となっている。

(12) 健康についての関心

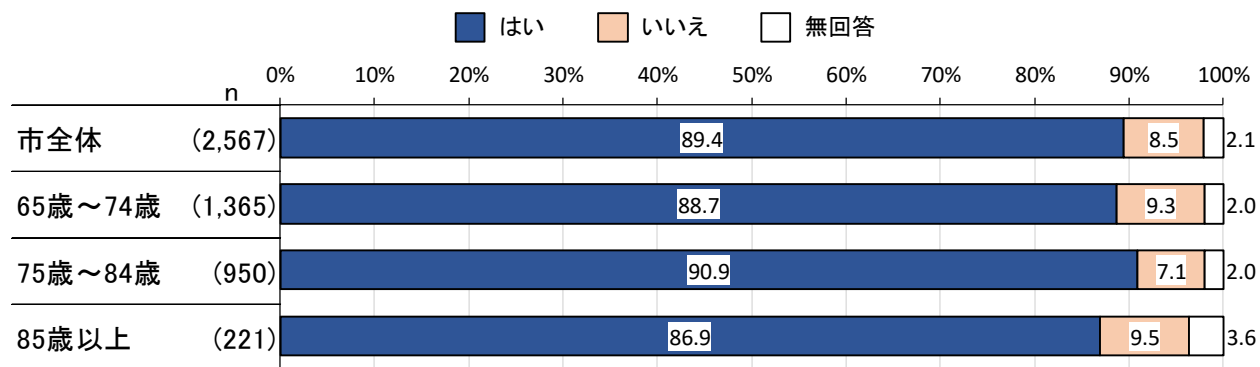
問4 (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか



健康についての関心は、市全体では健康についての記事や番組に関心がある人が89.4%である。

地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

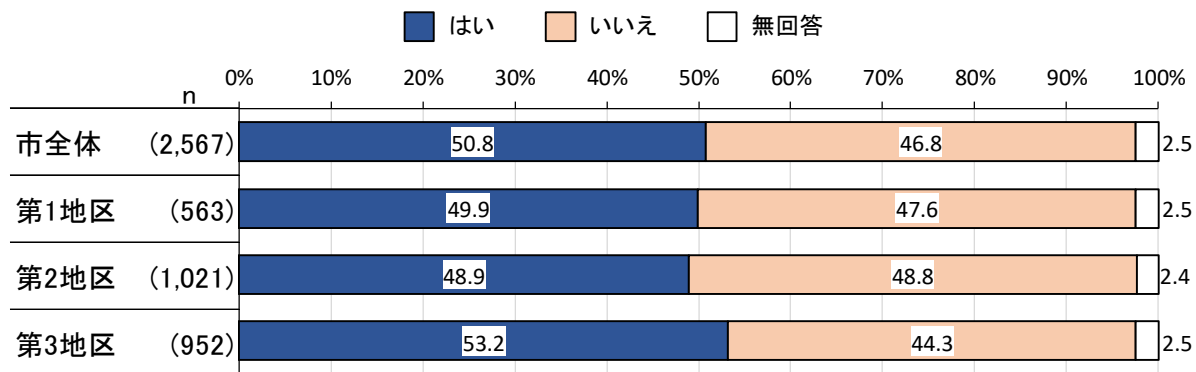
○年齢別



年齢別では、どの年齢も健康についての記事や番組に関心がある人の割合が8割を超えており、75歳～84歳では90.9%と最も高くなっている。

(13) 訪問

問4 (13) 友人の家を訪ねていますか

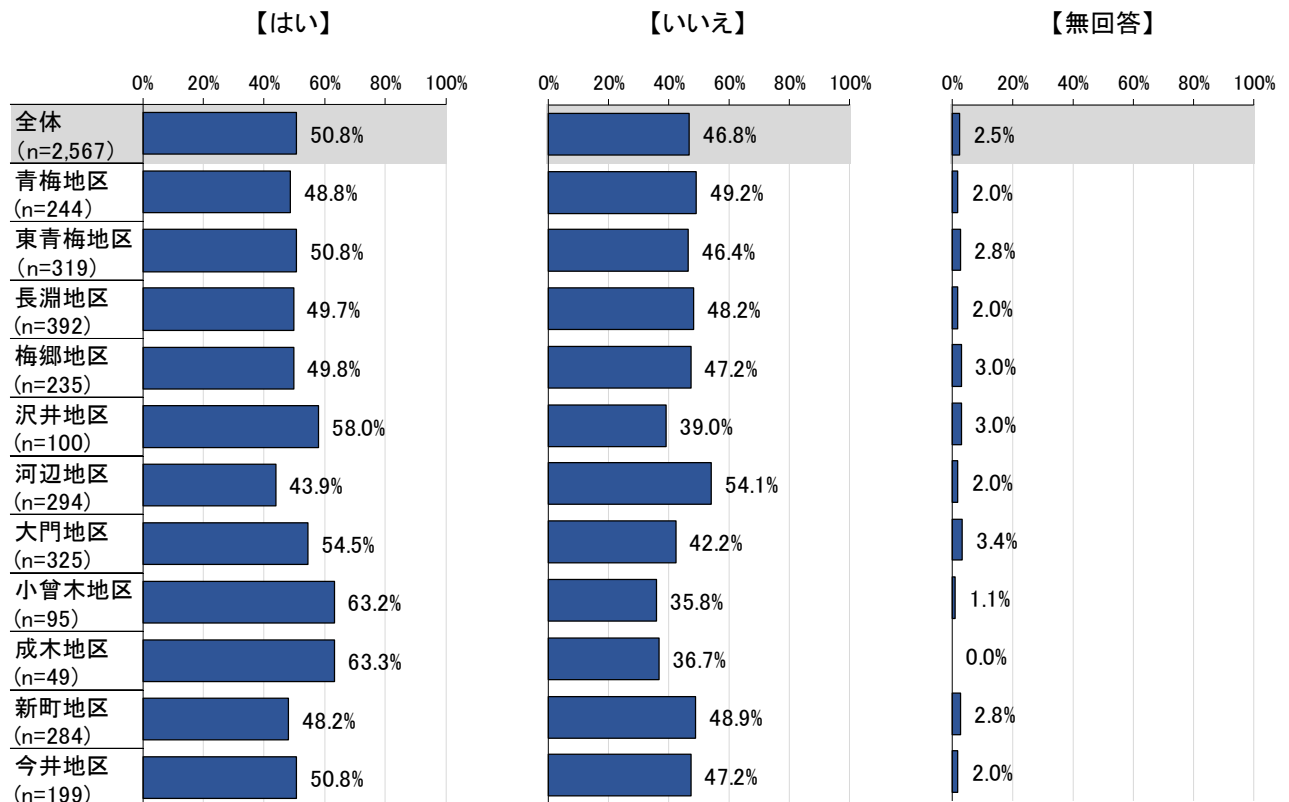


訪問の状況は、市全体では友人の家を訪ねている人が50.8%である。

地区別では、友人の家を訪ねている人は、第1地区が49.9%、第2地区が48.9%、第3地区が53.2%となっている。

第2章 調査結果の詳細

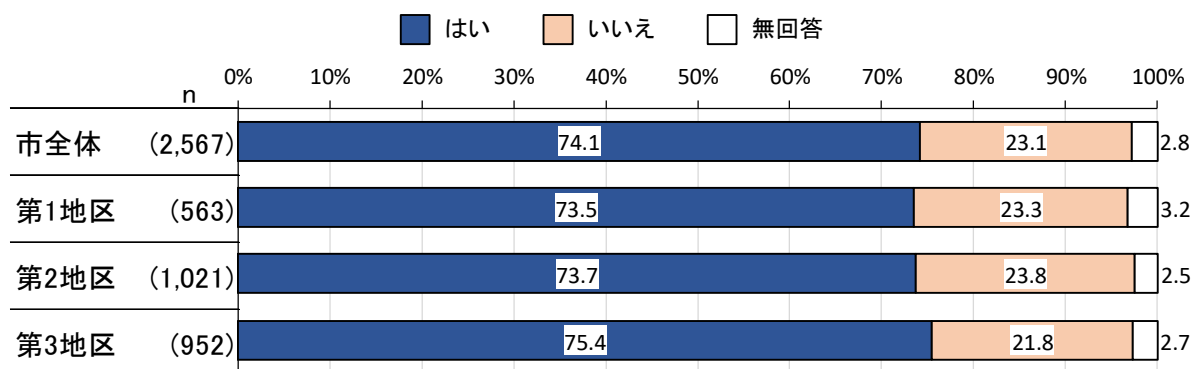
○11 地区別



地区別では、友人の家を訪ねている人は、成木地区が63.3%と最も高く、次いで、小曾木地区が63.2%、沢井地区が58.0%の順となっている。

(14) 相談

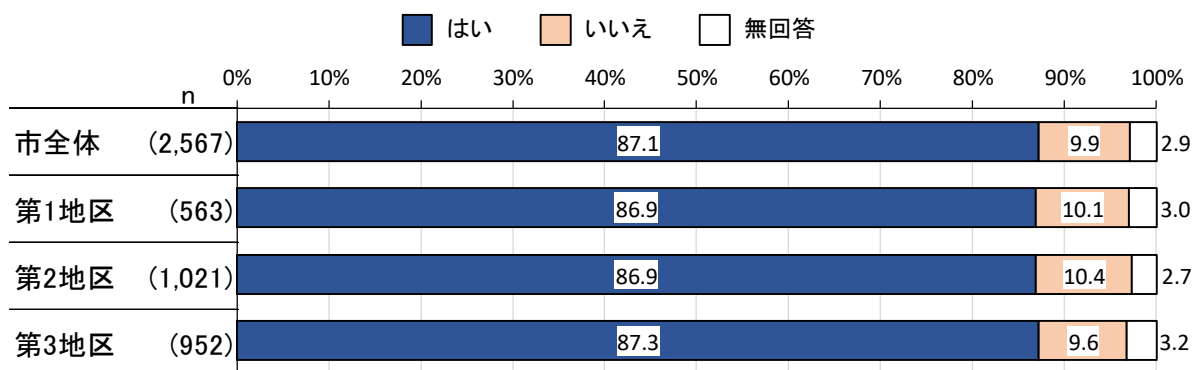
問4 (14) 家族や友人の相談にのっていますか



相談については、市全体では家族や友人の相談にのっている人が74.1%である。地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(15) お見舞い

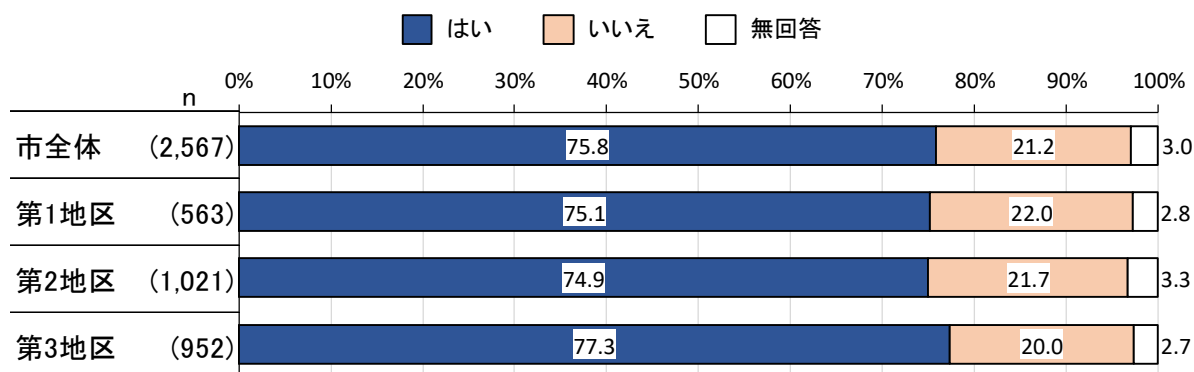
問4 (15) 病人を見舞うことができますか



お見舞いについては、市全体では病人を見舞うことができる人が87.1%である。地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(16) 話しかけ

問4 (16) 若い人に自分から話しかけることがありますか。



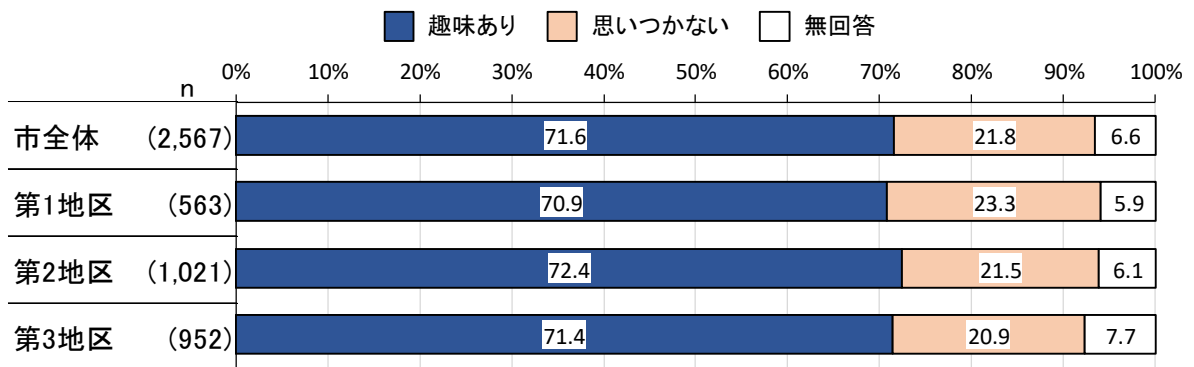
話しかけの状況は、市全体では若い人に自分から話しかけることがある人が75.8%である。

地区別では、若い人に自分から話しかけることがある人は、第1地区が75.1%、第2地区が74.9%、第3地区が77.3%となっている。

第2章 調査結果の詳細

(17) 趣味

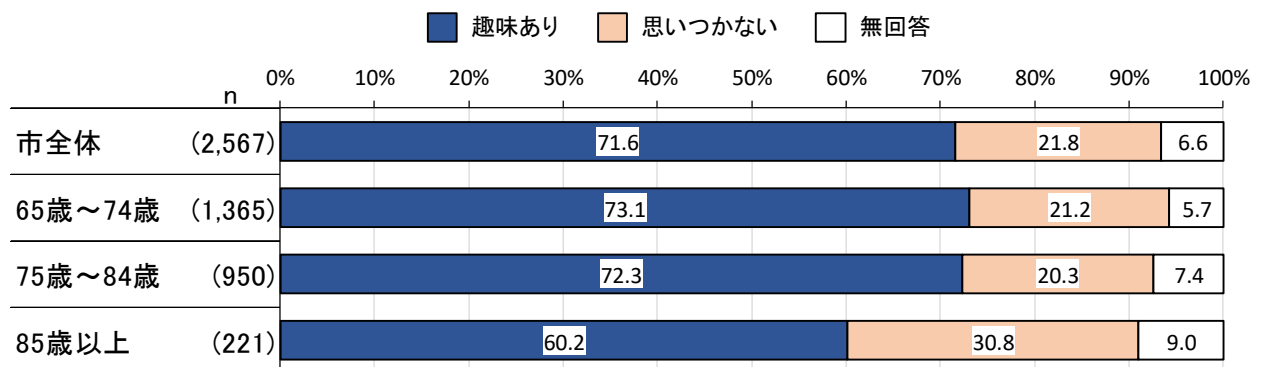
問4 (17) 趣味はありますか



趣味の状況は、市全体では「趣味あり」が71.6%である。

地区別では、「趣味あり」は、第1地区が70.9%、第2地区が72.4%、第3地区が71.4%となっている。

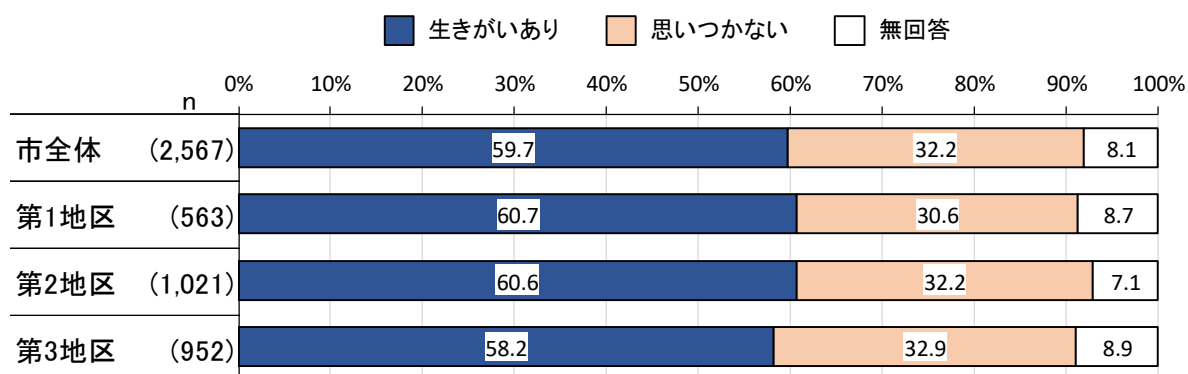
○年齢別



年齢別では、「趣味あり」は、65歳～74歳が73.1%、75歳～84歳が72.3%、85歳以上が60.2%となっている。

(18) 生きがい

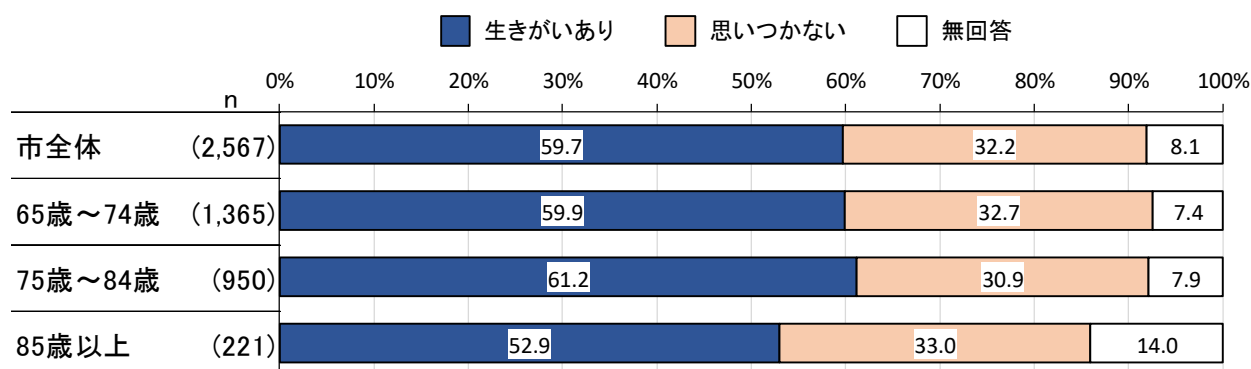
問4 (18) 生きがいはありますか



生きがいの状況は、市全体では「生きがいあり」が59.7%である。

地区別では、「生きがいあり」は、第1地区が60.7%、第2地区が60.6%、第3地区が58.2%となっている。

○年齢別



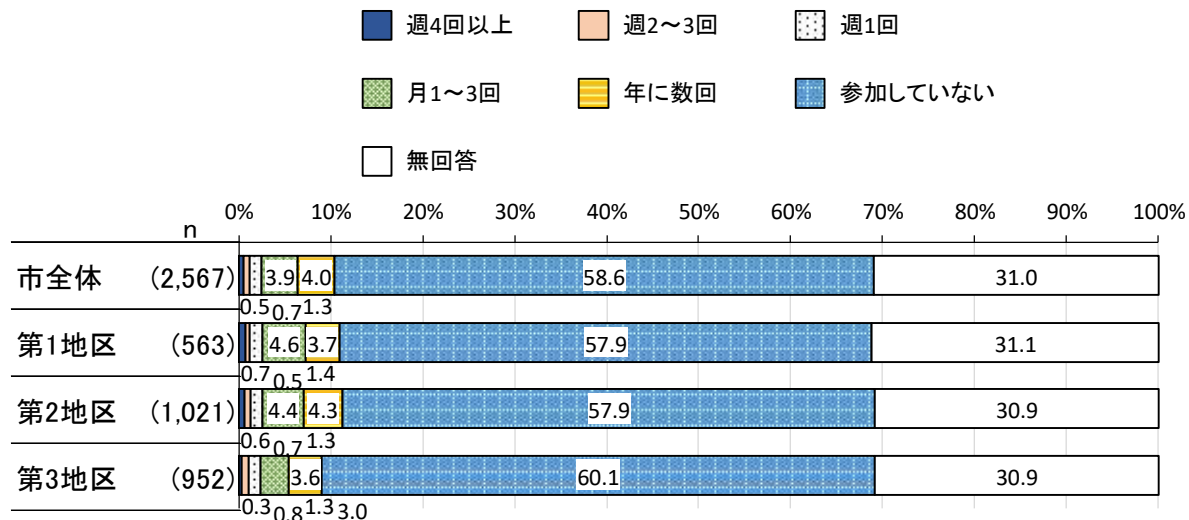
年齢別では、「生きがいあり」は、65歳～74歳が59.9%、75歳～84歳が61.2%、85歳以上が52.9%となっている。

5 地域での活動について

(1) 会・グループ等の参加頻度

問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
 ※①-⑧それぞれに回答してください

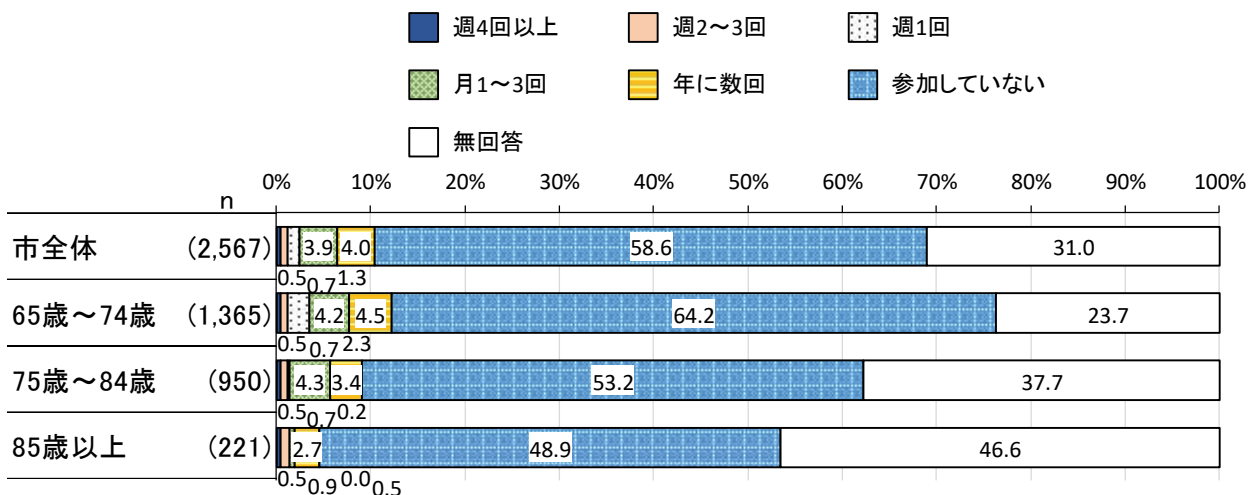
① ボランティアのグループ



ボランティアのグループの参加頻度は、市全体では「週4回以上」～「年に数回」を合わせた《参加している》人は10.4%である。

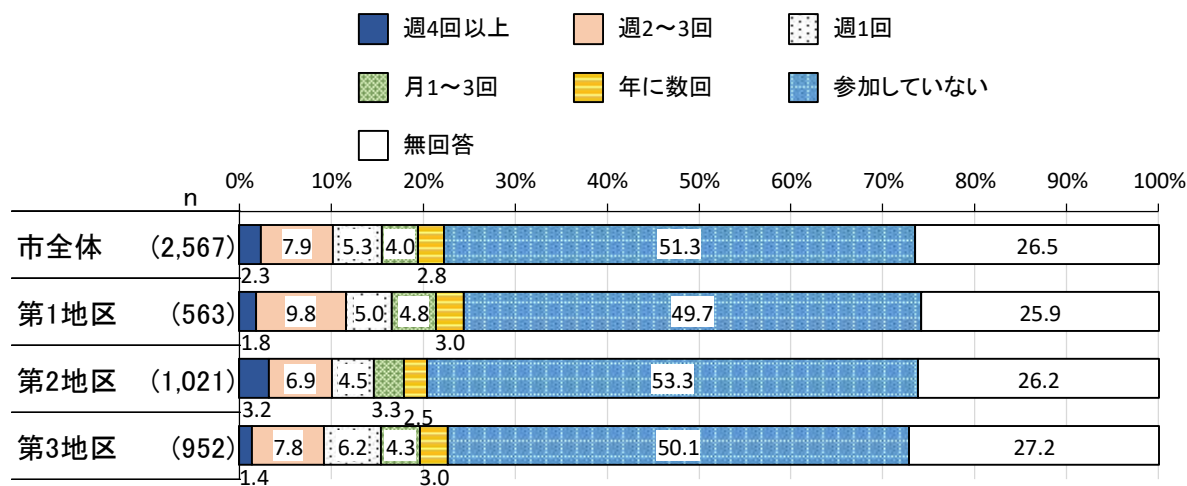
地区別では、《参加している》人は、第1地区が10.9%、第2地区では11.3%、第3地区では9.0%となっている。

○ 年齢別



年齢別では、《参加している》人は、65歳～74歳が12.2%、75歳～84歳が9.1%、85歳以上が4.6%となっている。

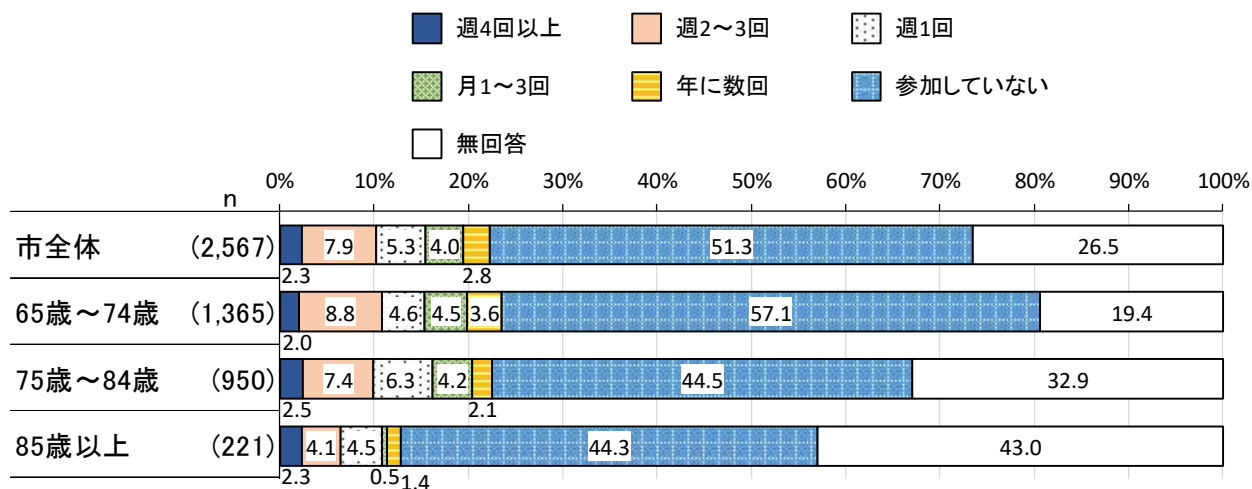
②スポーツ関係のグループやクラブ



スポーツ関係のグループやクラブの参加頻度は、市全体では「週4回以上」～「年に数回」を合わせた《参加している》人は22.3%である。

地区別では、《参加している》人は、第1地区が24.4%、第2地区では20.4%、第3地区では22.7%となっている。

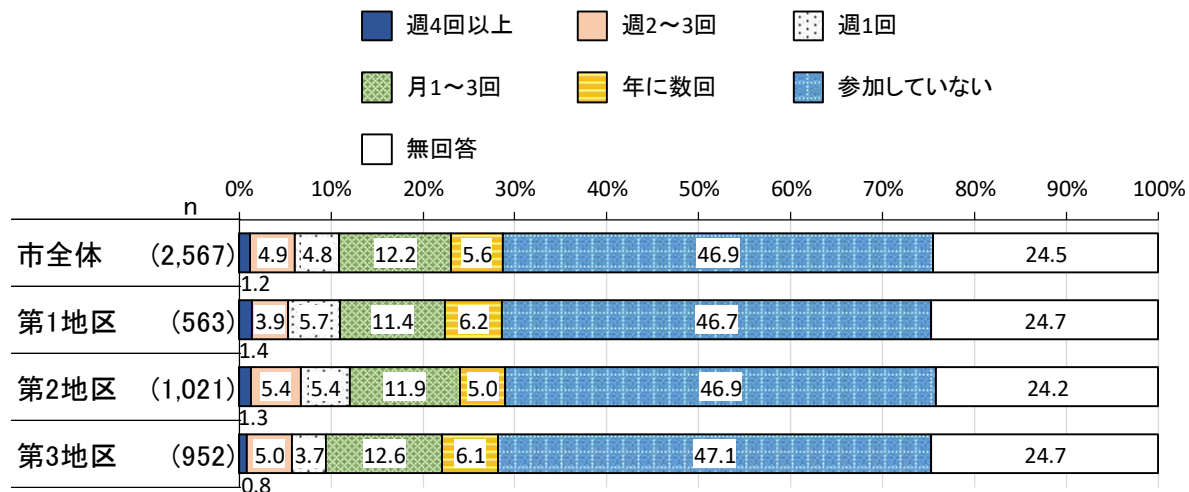
○年齢別



年齢別では、《参加している》人は、65歳～74歳が23.5%、75歳～84歳が22.5%、85歳以上が12.8%となっている。

第2章 調査結果の詳細

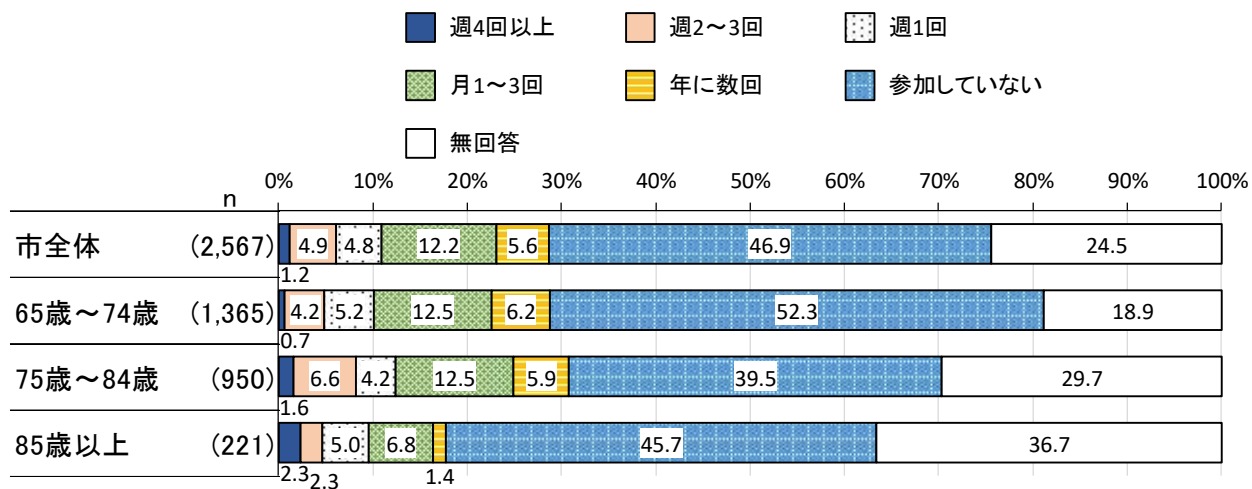
③趣味関係のグループ



趣味関係のグループの参加頻度は、市全体では「週4回以上」～「年に数回」を合わせた《参加している》人は28.7%である。

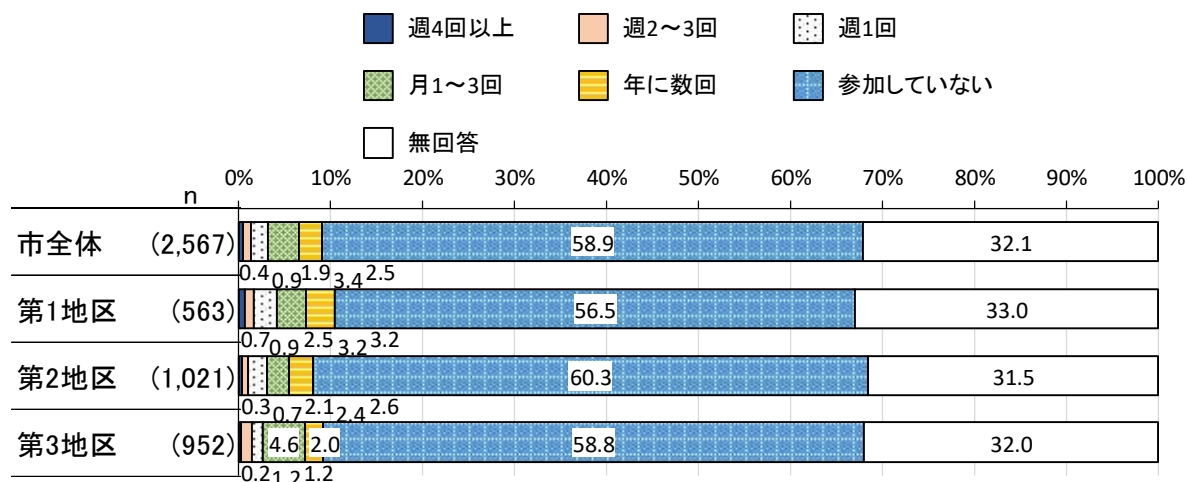
地区別では、《参加している》人は、第1地区が28.6%、第2地区では29.0%、第3地区では28.2%となっている。

○年齢別



年齢別では、《参加している》人は、65歳~74歳が28.8%、75歳~84歳が30.8%、85歳以上が17.8%となっている。

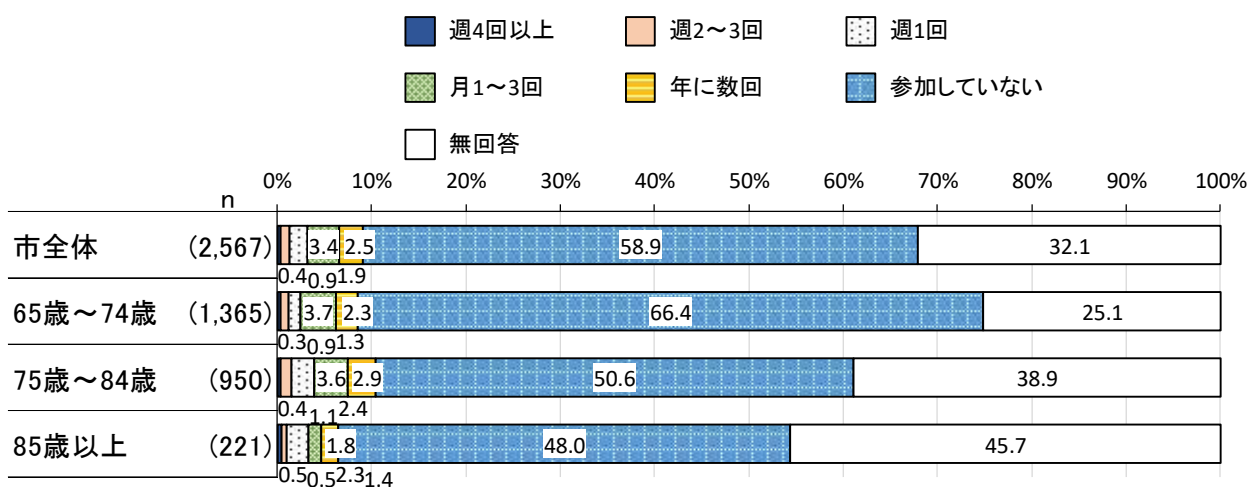
④学習・教養サークル



学習・教養サークルの参加頻度は、市全体では「週4回以上」～「年に数回」を合わせた《参加している》人は9.1%である。

地区別では、《参加している》人は、第1地区が10.5%、第2地区では8.1%、第3地区では9.2%となっている。

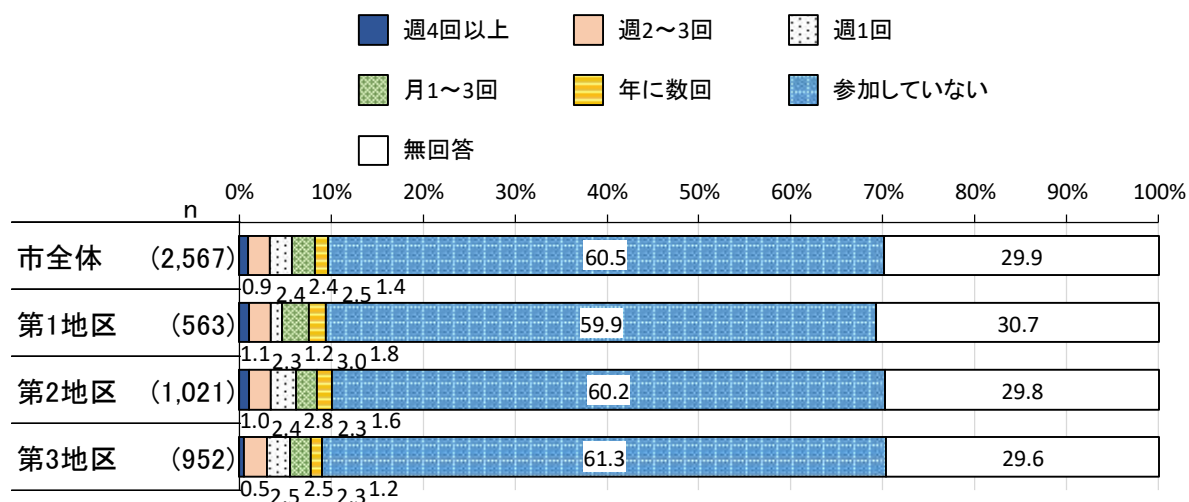
○年齢別



年齢別では、《参加している》人は、65歳~74歳が8.5%、75歳~84歳が10.4%、85歳以上が6.5%となっている。

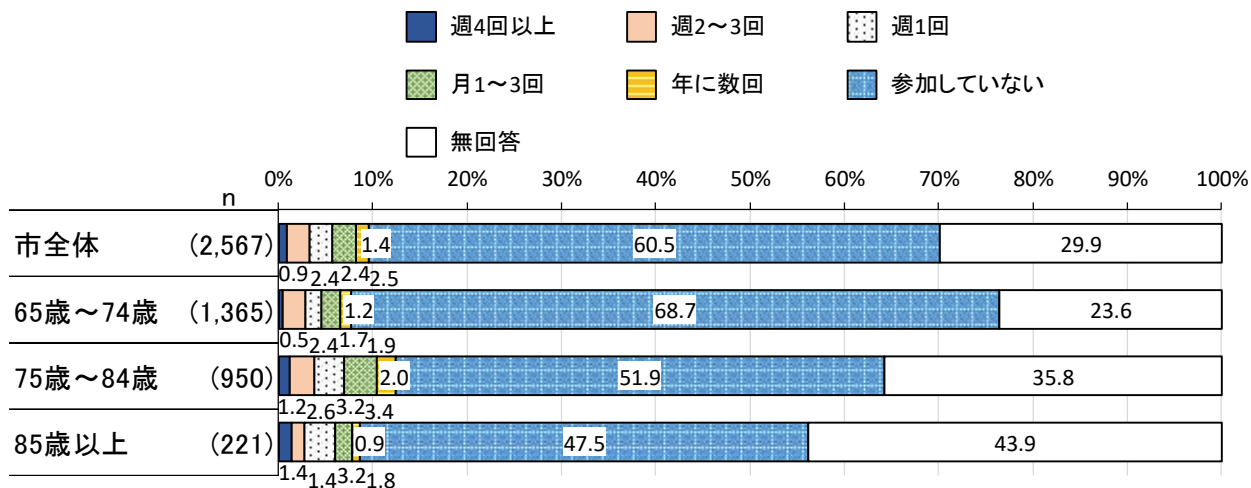
第2章 調査結果の詳細

⑤健康教室、介護予防自主グループなど、介護予防のための通いの場



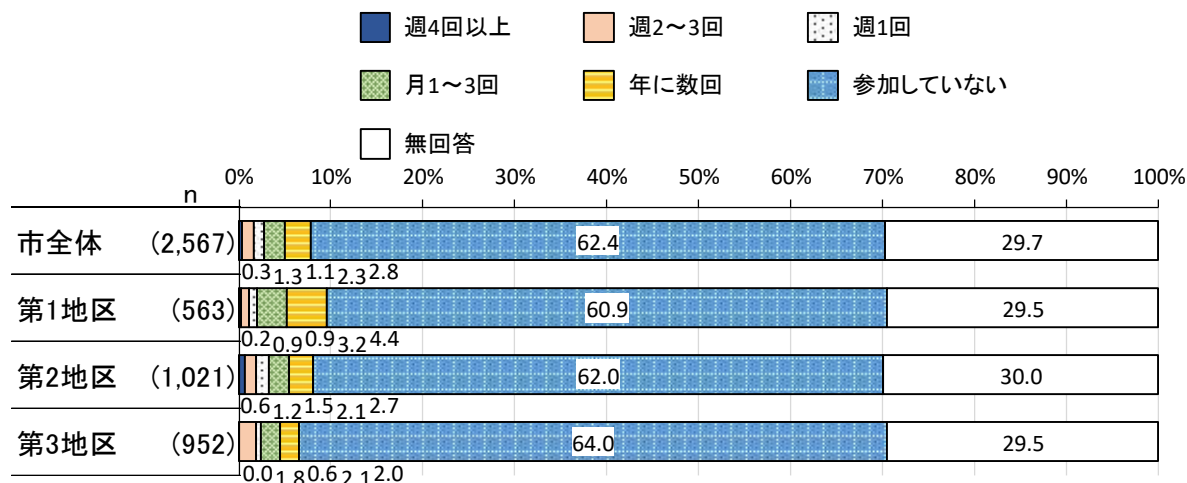
健康教室、介護予防自主グループなど、介護予防のための通いの場への参加頻度は、市全体では「週4回以上」～「年に数回」を合わせた《参加している》人は9.6%である。地区別では、《参加している》人は、第1地区が9.4%、第2地区では10.1%、第3地区では9.0%となっている。

○年齢別



年齢別では、《参加している》人は、65歳~74歳が7.7%、75歳~84歳が12.4%、85歳以上が8.7%となっている。

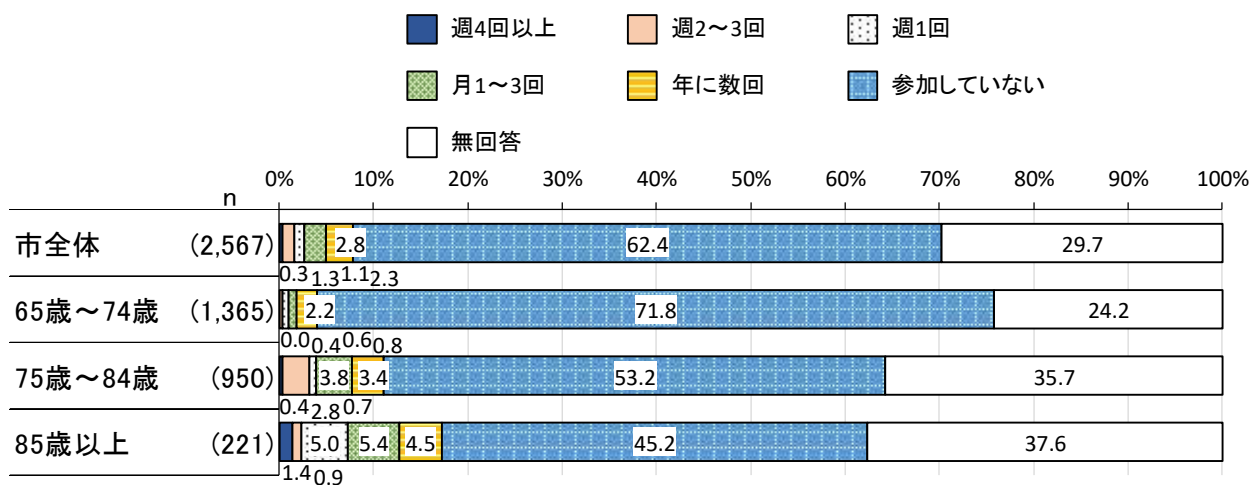
⑥高齢者クラブ



高齢者クラブの参加頻度は、市全体では「週4回以上」～「年に数回」を合わせた《参加している》人は7.8%である。

地区別では、《参加している》人は、第1地区が9.6%、第2地区では8.1%、第3地区では6.5%となっている。

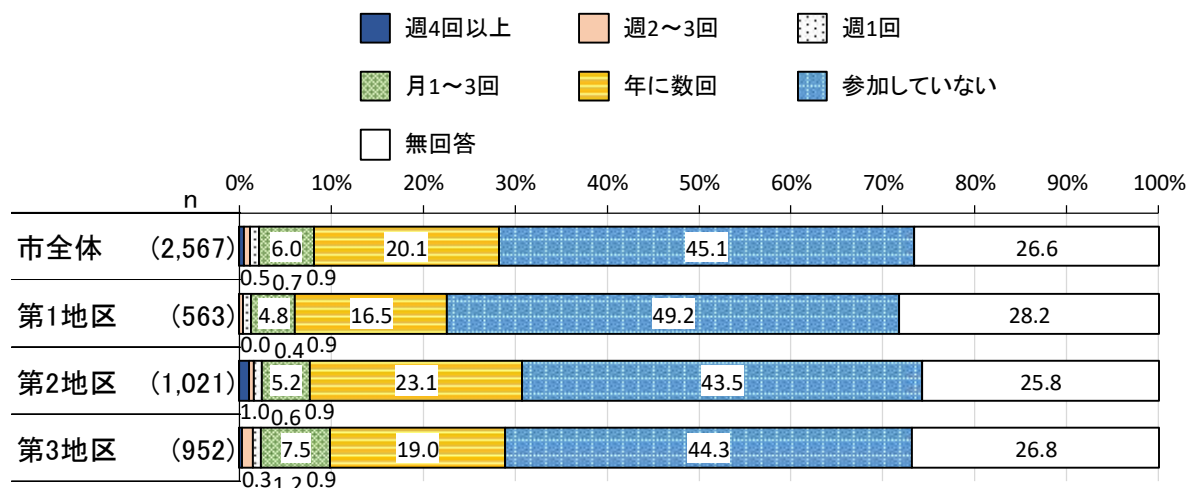
○年齢別



年齢別では、《参加している》人は、65歳~74歳が4.0%、75歳~84歳が11.1%、85歳以上が17.2%となっている。

第2章 調査結果の詳細

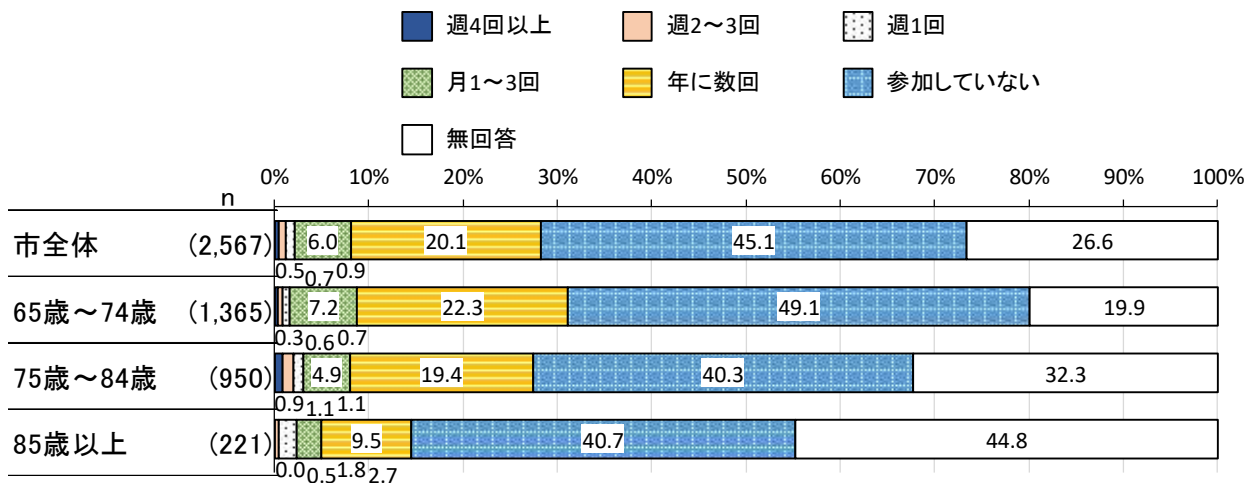
⑦町内会・自治会



町内会・自治会の参加頻度は、市全体では「週4回以上」～「年に数回」を合わせた《参加している》人は28.2%である。

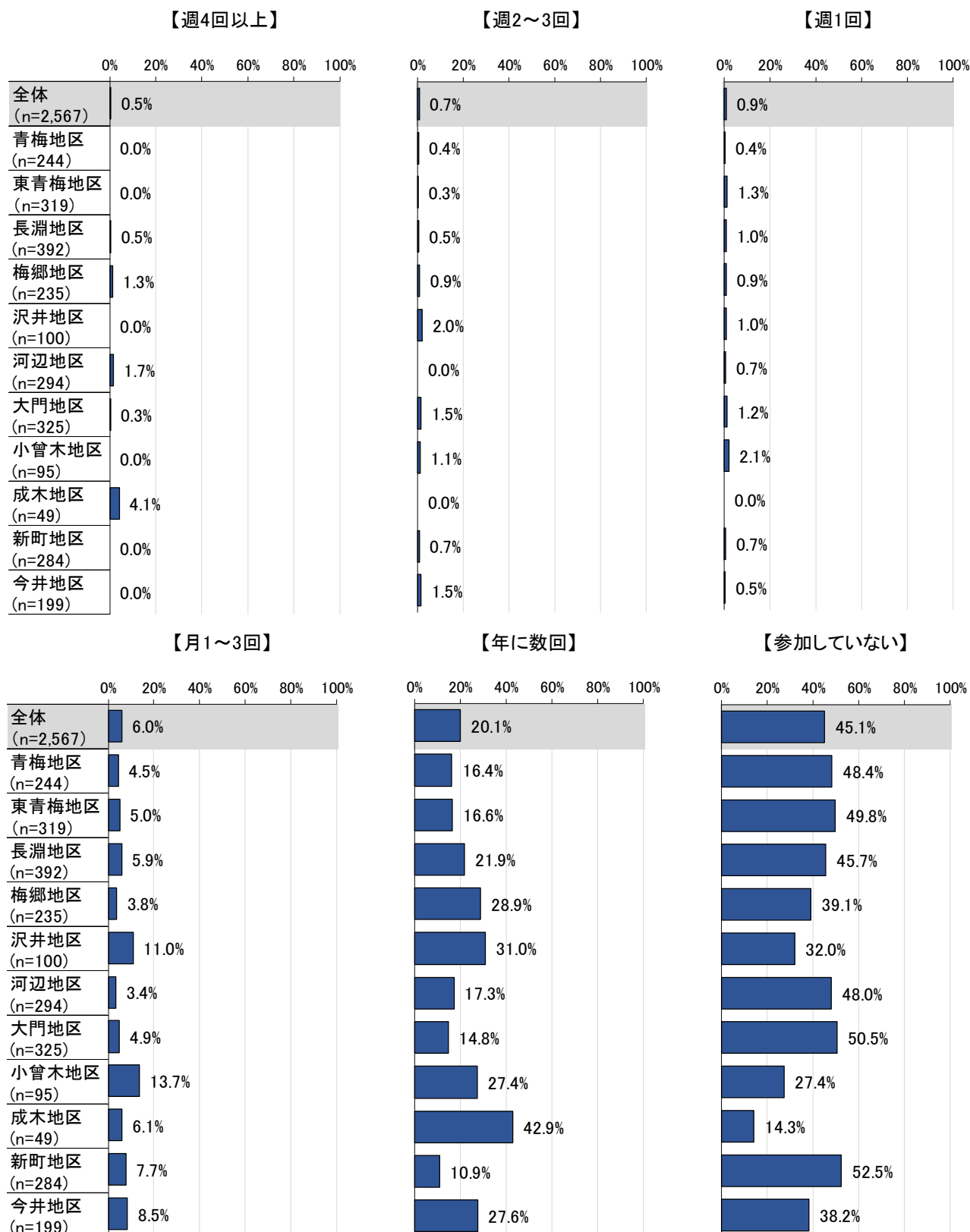
地区別では、《参加している》人は、第1地区が22.6%、第2地区では30.8%、第3地区では28.9%となっている。

○年齢別



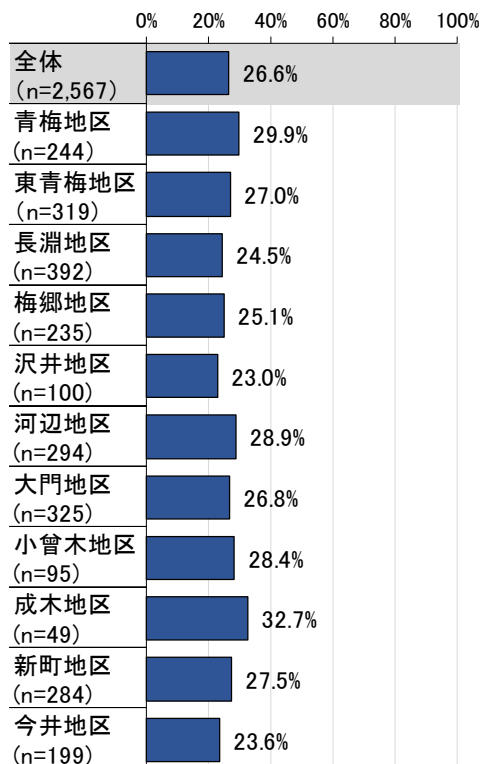
年齢別では、《参加している》人は、65歳~74歳が31.1%、75歳~84歳が27.4%、85歳以上が14.5%となっている。

○11 地区別



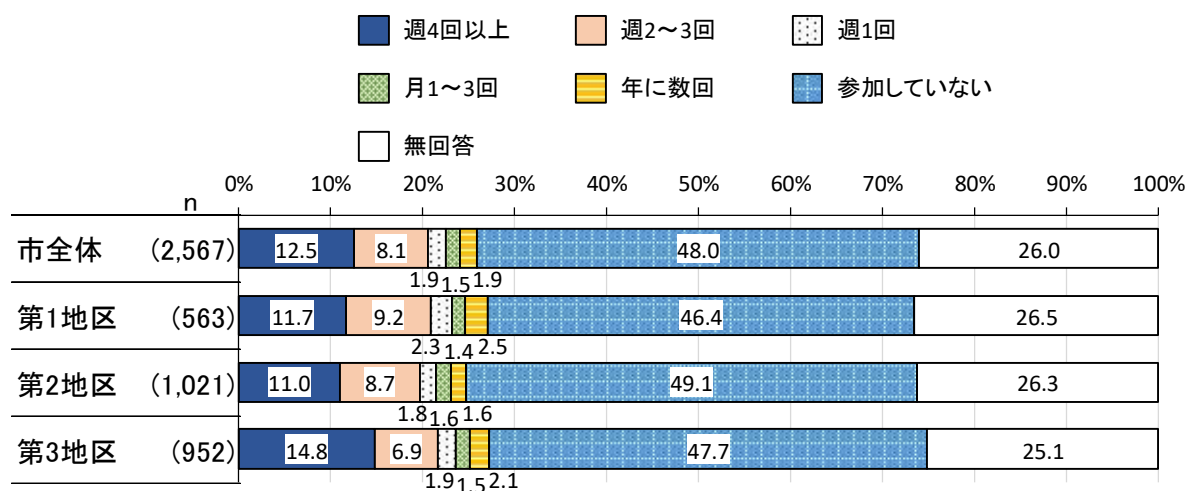
第2章 調査結果の詳細

【無回答】



地区別では、「年に数回」の参加頻度は、成木地区が42.9%と割合が最も高く、次いで、沢井地区が31.0%、梅郷地区が28.9%の順となっている。

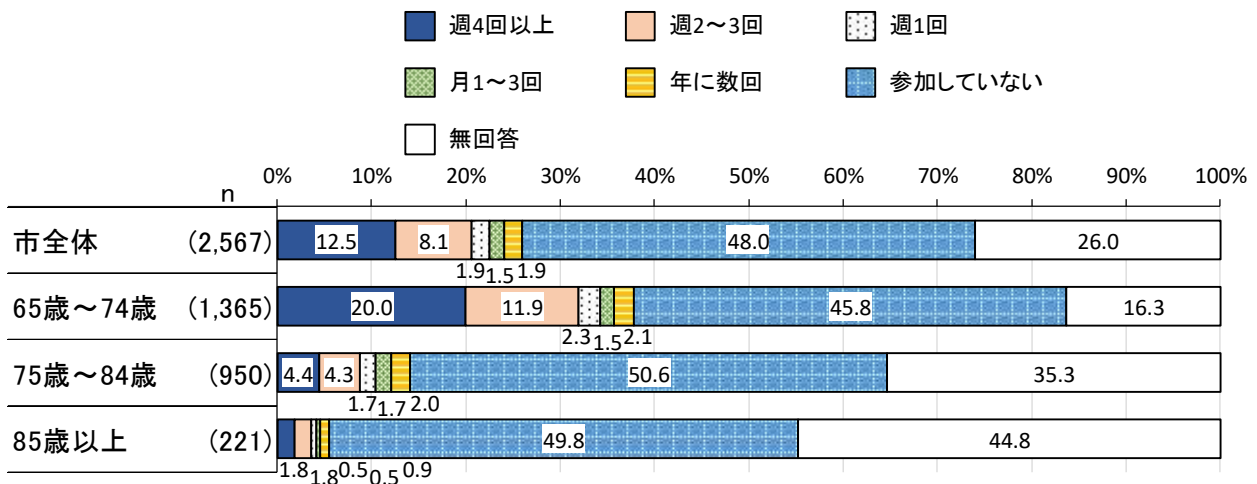
⑧収入のある仕事



収入のある仕事の参加頻度は、市全体では「週4回以上」～「年に数回」を合わせた《参加している》人は25.9%である。

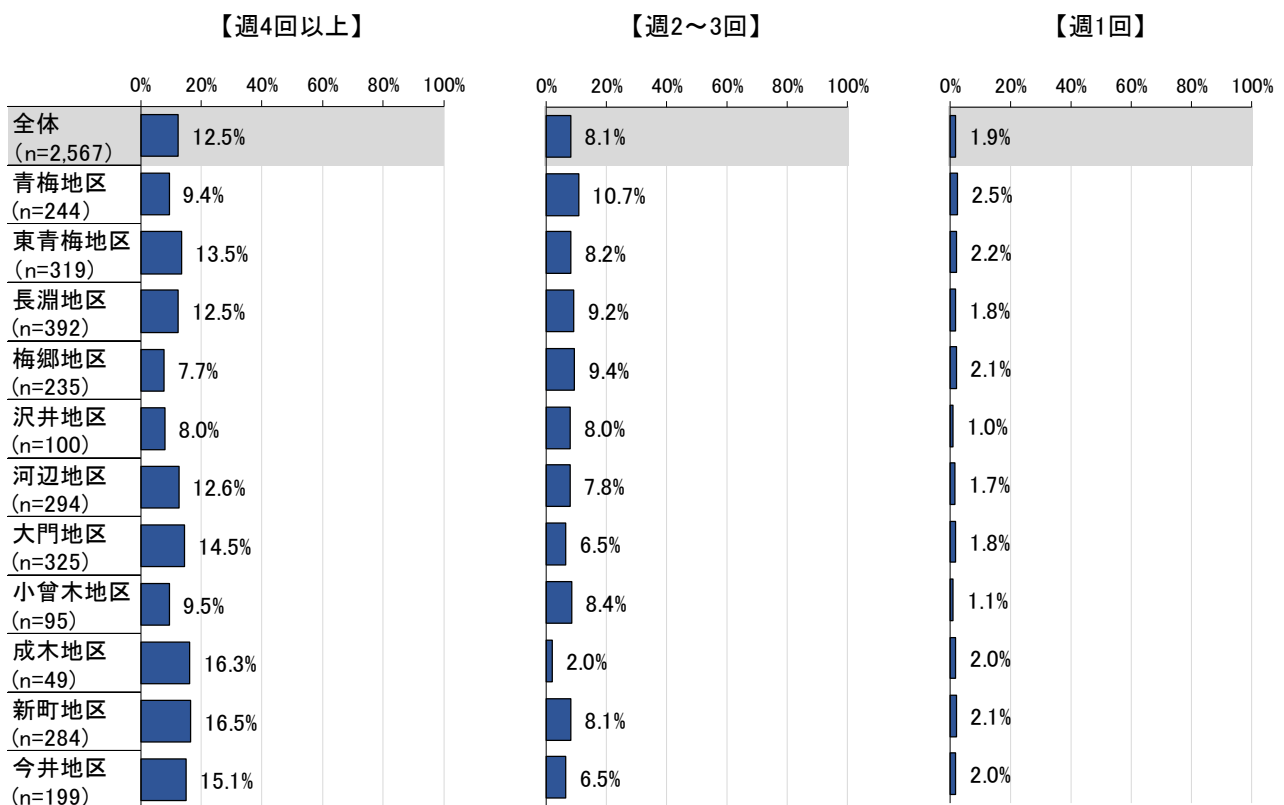
地区別では、《参加している》人は、第1地区が27.1%、第2地区では24.7%、第3地区では27.2%となっている。

○年齢別

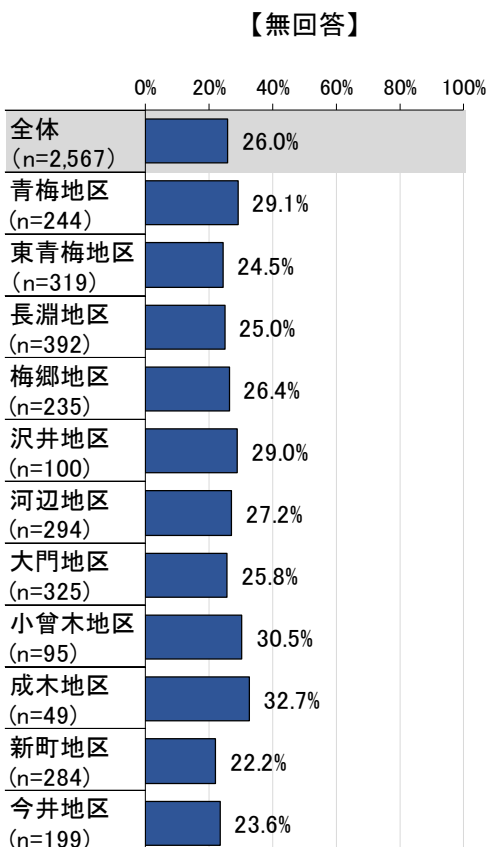
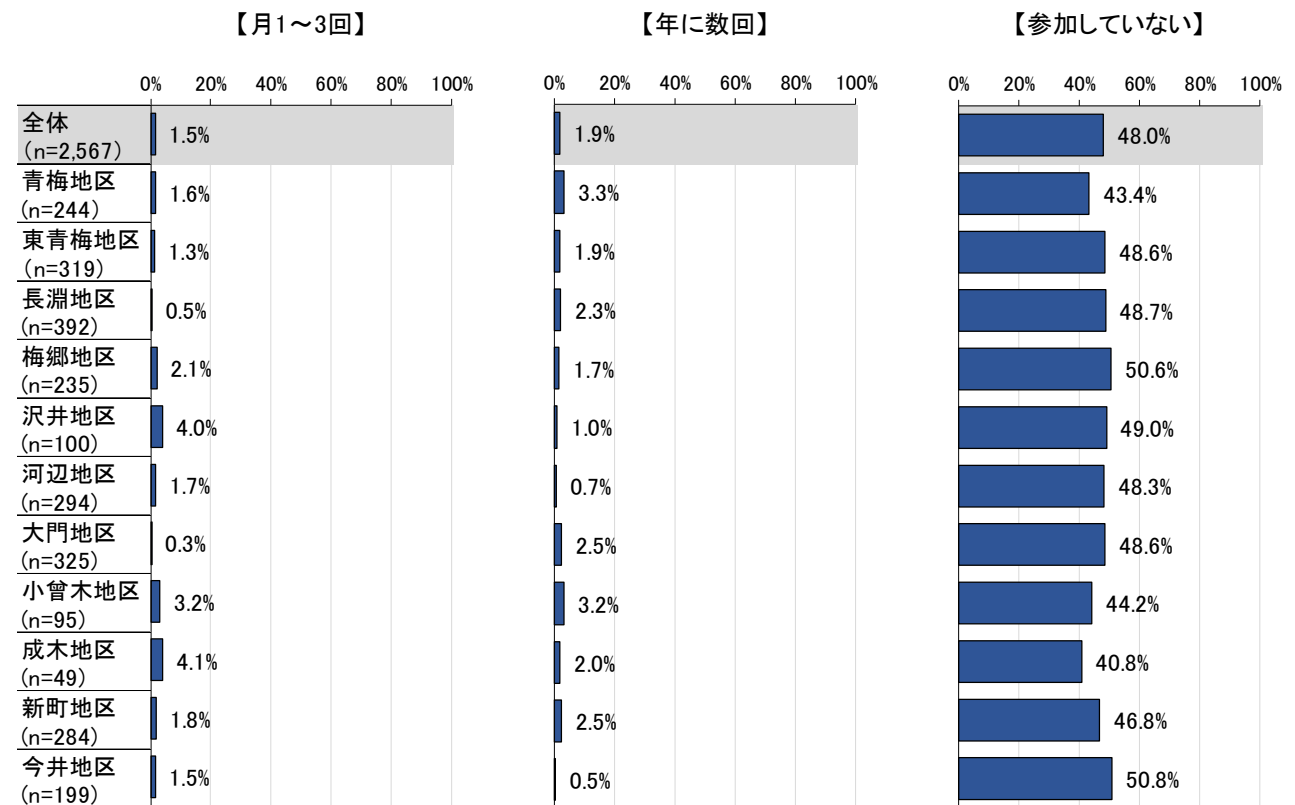


年齢別では、《参加している》人は、65歳~74歳が37.8%、75歳~84歳が14.1%、85歳以上が5.5%となっている。

○11地区別



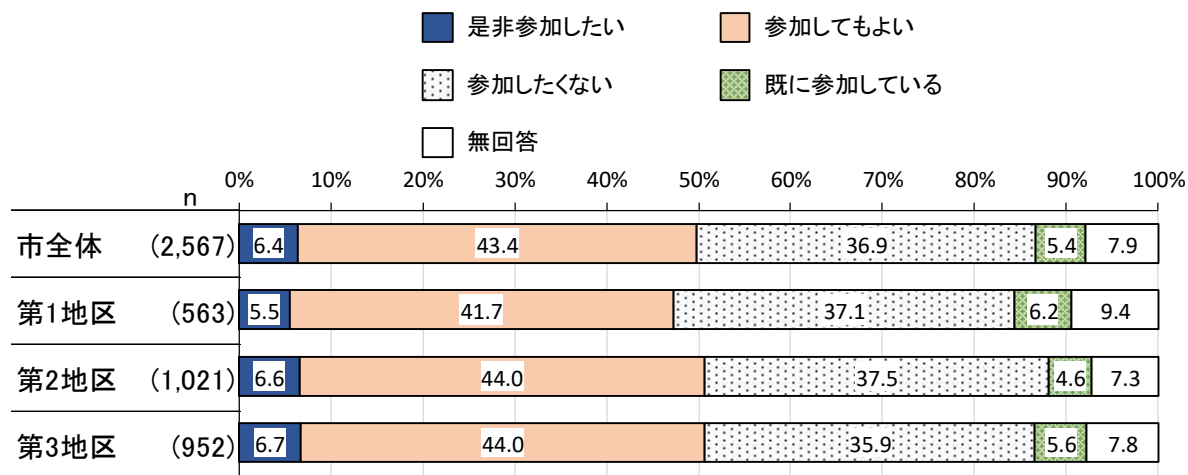
第2章 調査結果の詳細



地区別では、「週4回以上」の参加頻度は、新町地区が16.5%と割合が最も高く、次いで、成木地区が16.3%、今井地区が15.1%の順となっている。

(2) 地域づくりの活動への参加者としての参加

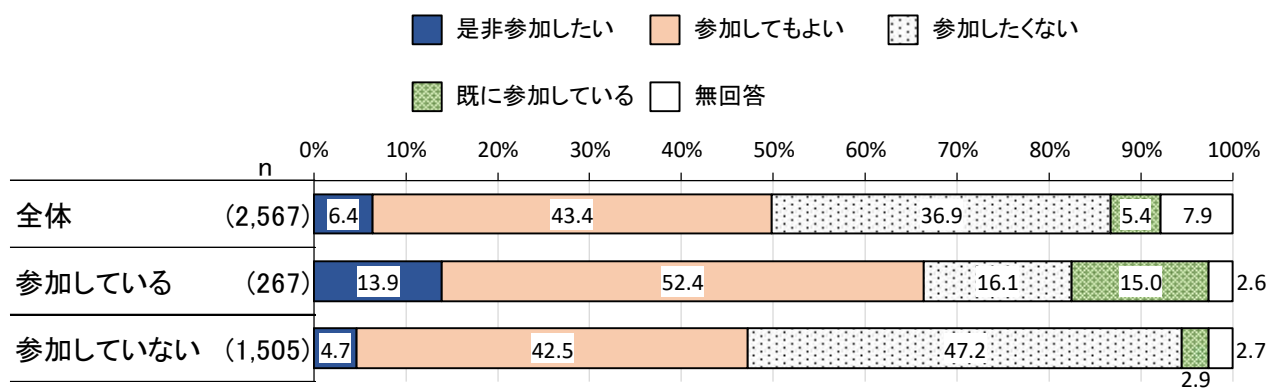
問5(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか



地域づくりの活動への参加者としての参加は、市全体では「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた参加者として《参加したい》人は49.8%である。

地区別では、参加者として《参加したい》人は、第1地区が47.2%、第2地区では50.6%、第3地区では50.7%となっている。

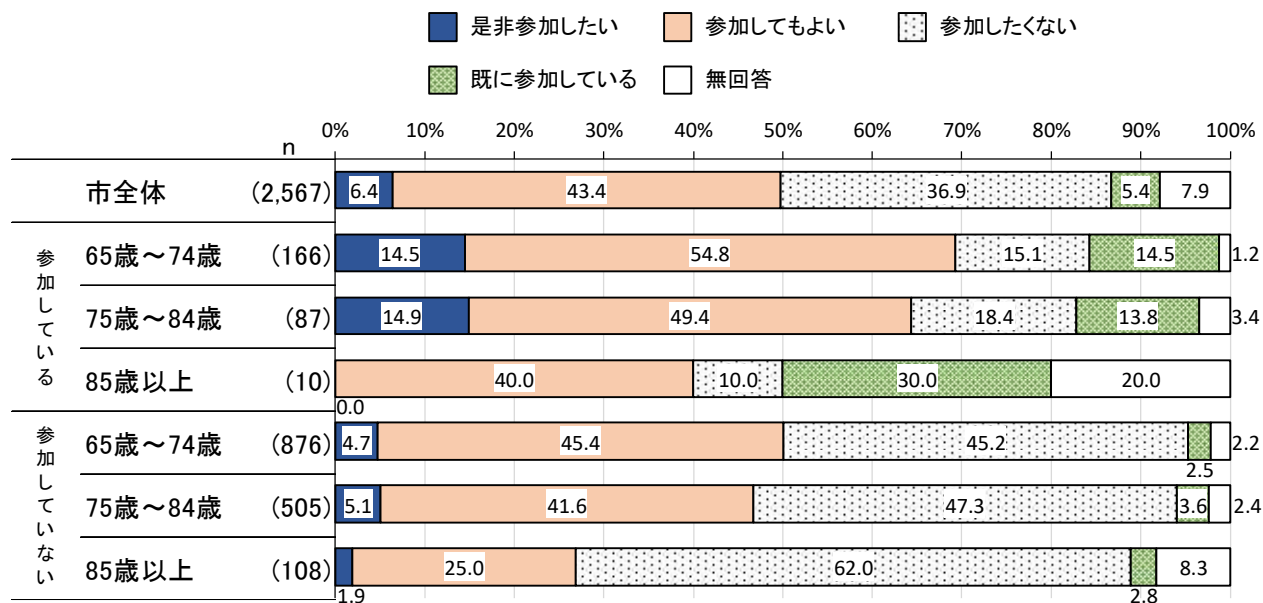
○ボランティアのグループへの参加有無別



ボランティアのグループへの参加有無別では、《参加したい》人は、ボランティアのグループに参加している人では66.3%、参加していない人では47.2%となっている。

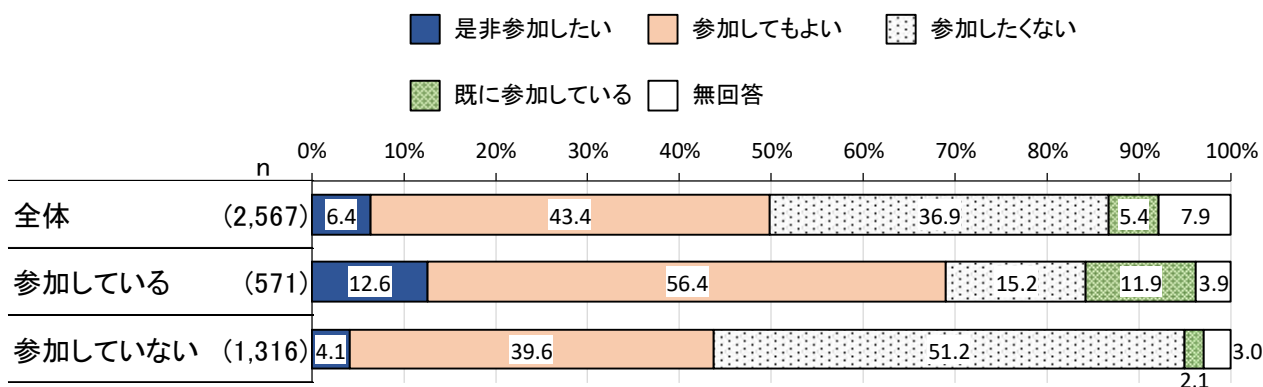
第2章 調査結果の詳細

○ボランティアのグループへの参加有無別（年齢別）



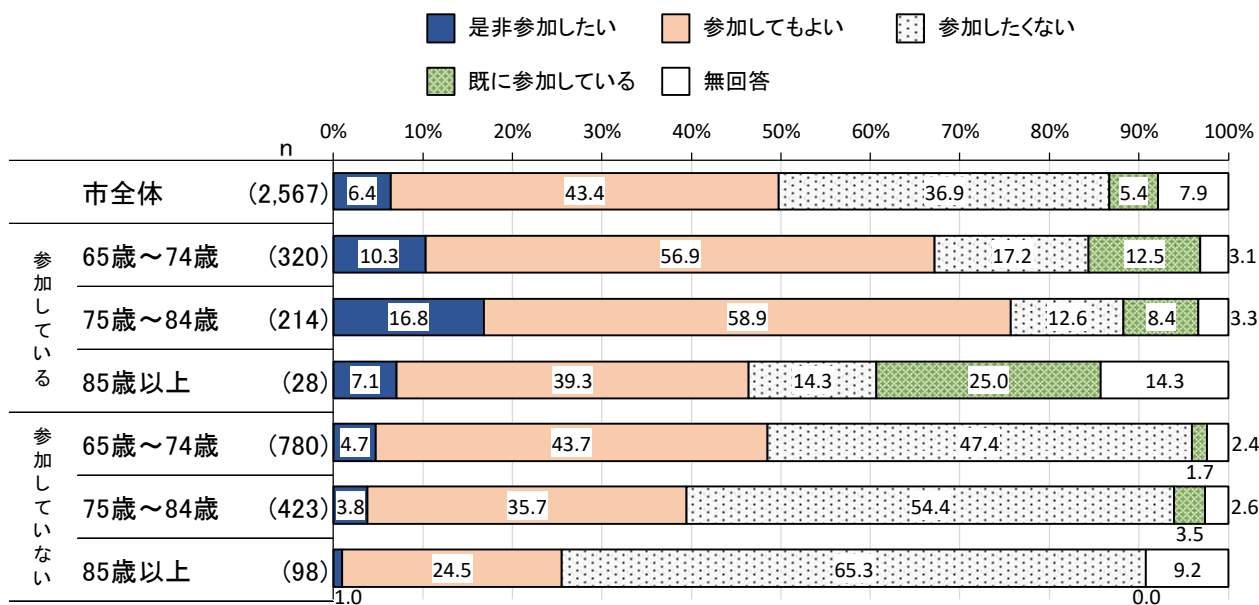
年齢別では、ボランティアのグループに参加している人の《参加したい》は65歳～74歳が69.3%、参加していない人では65歳～74歳が50.1%となっている。

○スポーツ関係のグループやクラブへの参加有無別



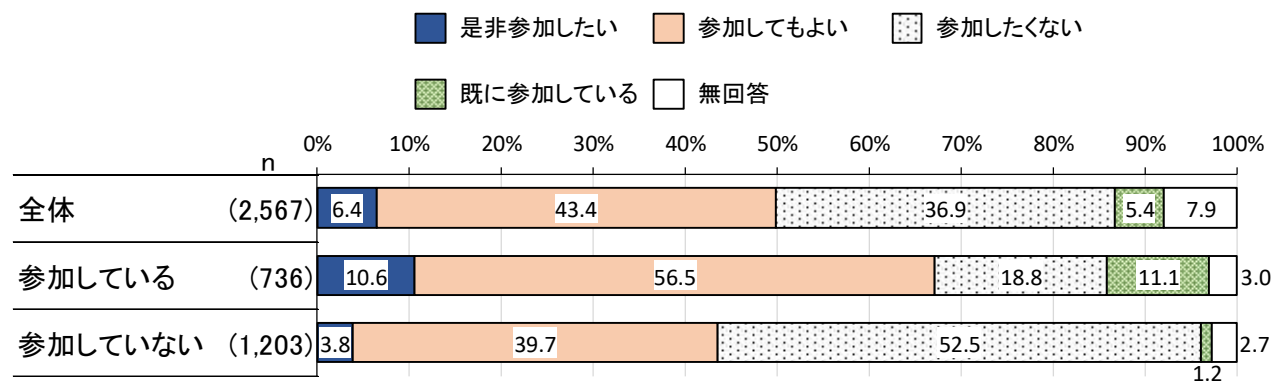
スポーツ関係のグループやクラブへの参加有無別では、《参加したい》人は、スポーツ関係のグループやクラブに参加している人では69.0%、参加していない人では43.7%となっている。

○スポーツ関係のグループやクラブへの参加有無別（年齢別）



年齢別では、スポーツのグループやクラブへ参加している人の《参加したい》は、75歳～84歳が75.7%、参加していないでは65歳～74歳が48.4%となっている。

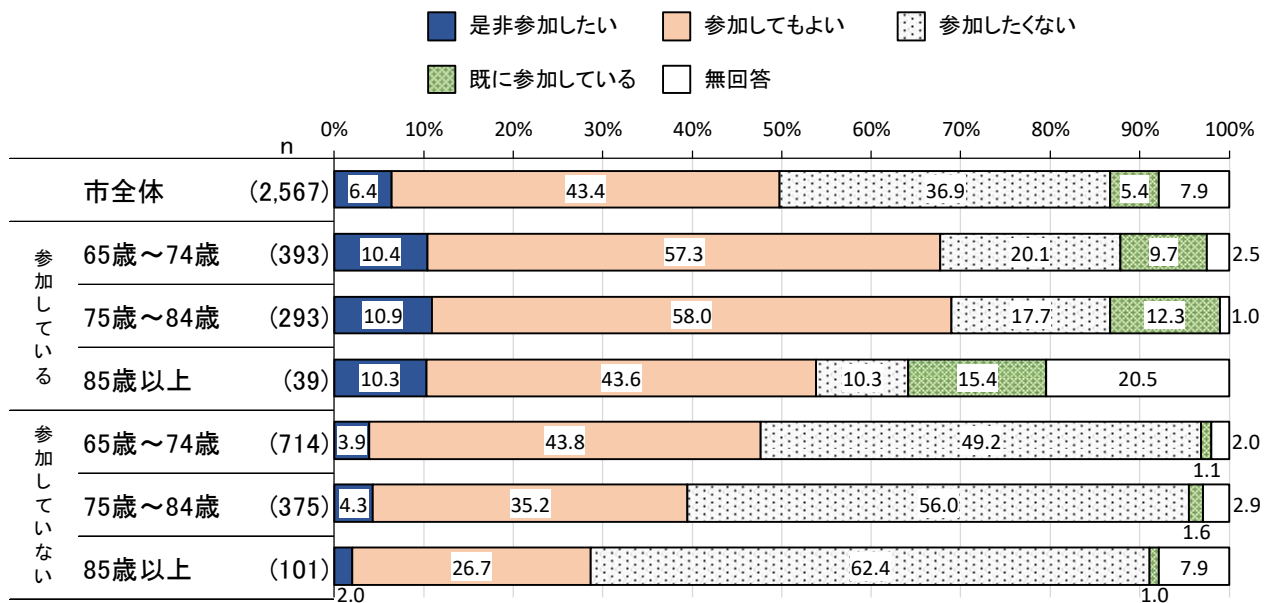
○趣味関係のグループへの参加有無別



趣味関係のグループへの参加有無別では、《参加したい》人は、趣味関係のグループに参加している人では67.1%、参加していない人では43.5%となっている。

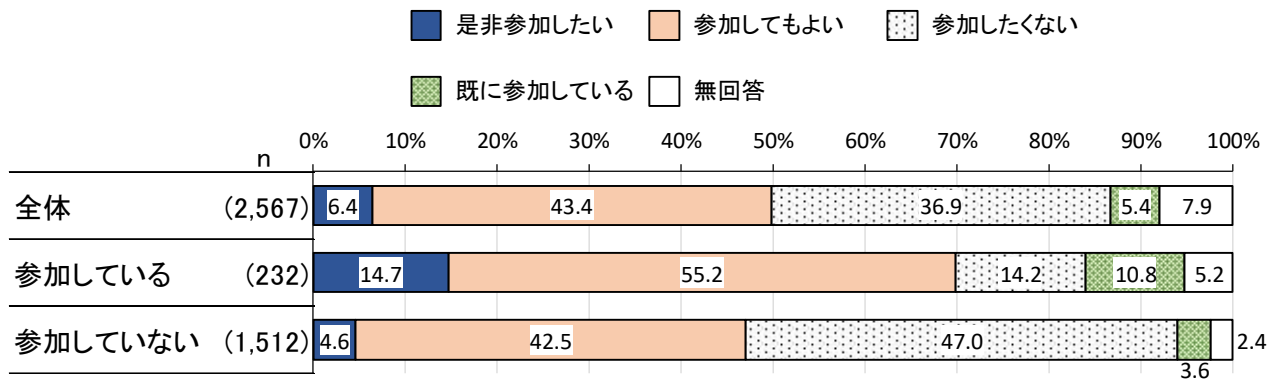
第2章 調査結果の詳細

○趣味関係のグループへの参加有無別（年齢別）



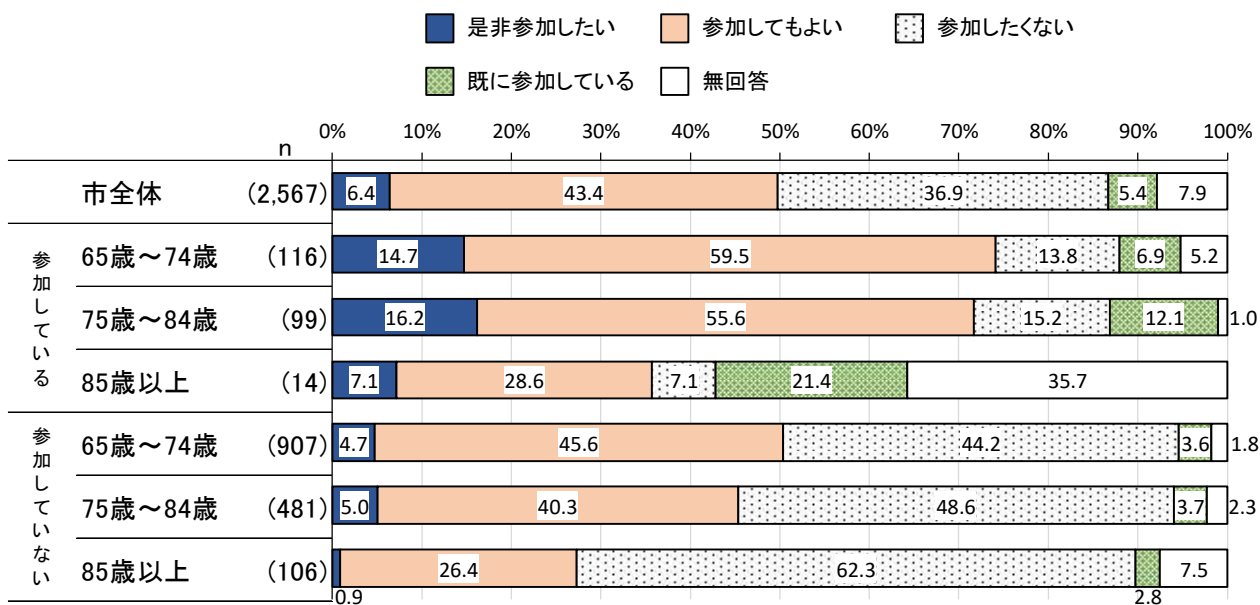
年齢別では、趣味関係のグループに参加している人の《参加したい》は、75歳～84歳が68.9%、参加していないでは65歳～74歳が47.7%となっている。

○学習・教養サークルへの参加有無別



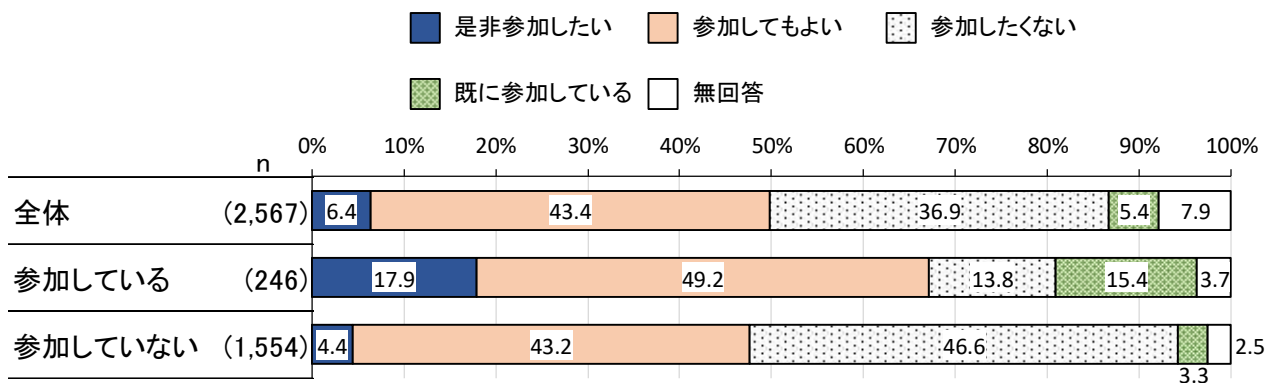
学習・教養サークルへの参加有無別では、《参加したい》人は、学習・教養サークルに参加している人では69.9%、参加していない人では47.1%となっている。

○学習・教養サークルへの参加有無別（年齢別）



年齢別では、学習・教養サークルへ参加している人の《参加したい》は、65歳～74歳が74.2%、参加していないでは65歳～74歳が50.3%となっている。

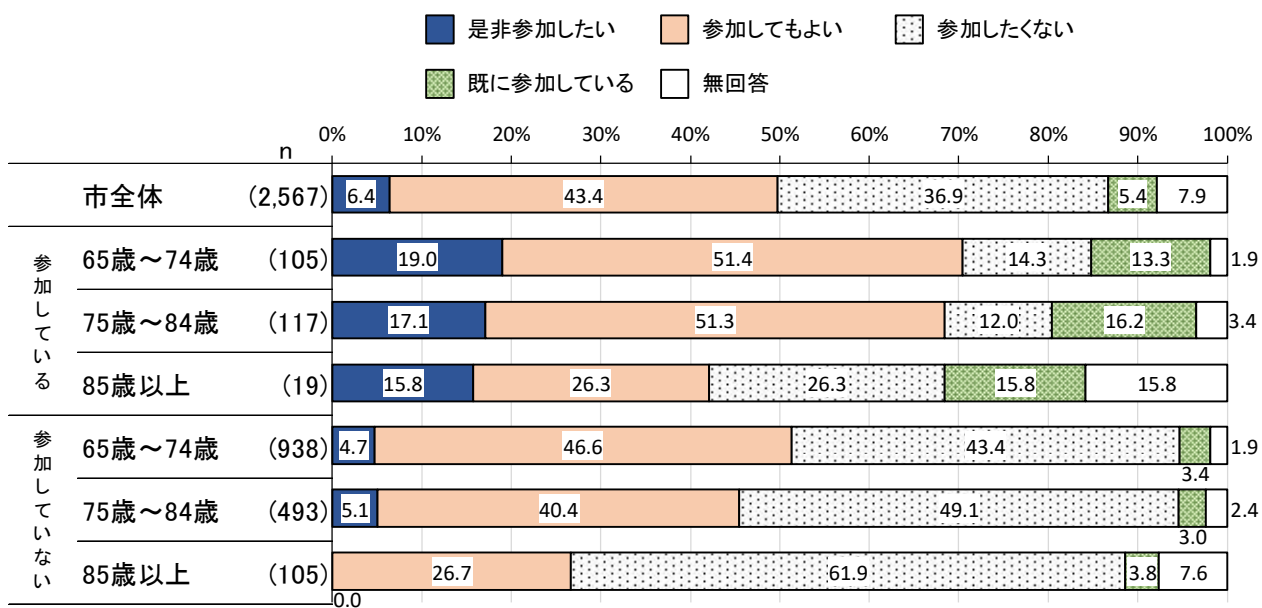
○健康教室、介護予防自主グループなど、介護予防のための通いの場



健康教室、介護予防自主グループなど、介護予防のための通いの場への参加有無別では、《参加したい》人は、学習・教養サークルに参加している人では67.1%、参加していない人では47.6%となっている。

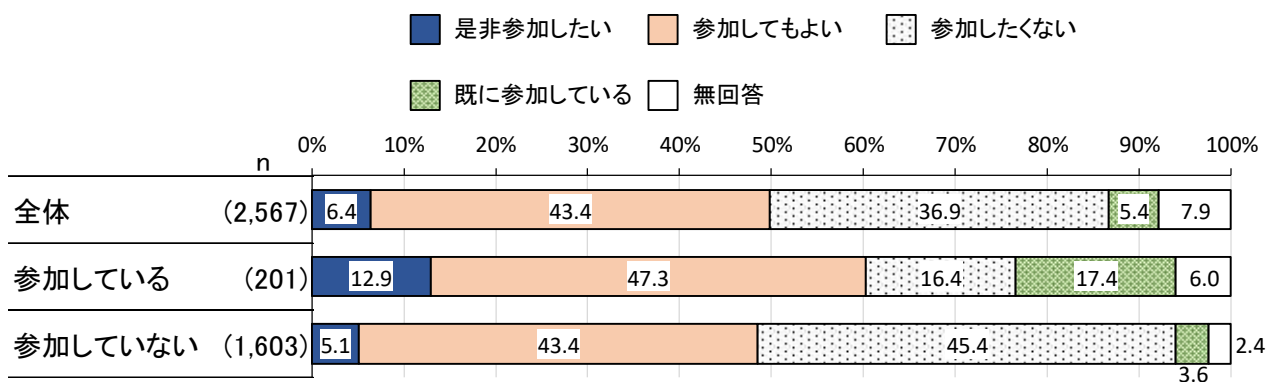
第2章 調査結果の詳細

○健康教室、介護予防自主グループなど、介護予防のための通いの場（年齢別）



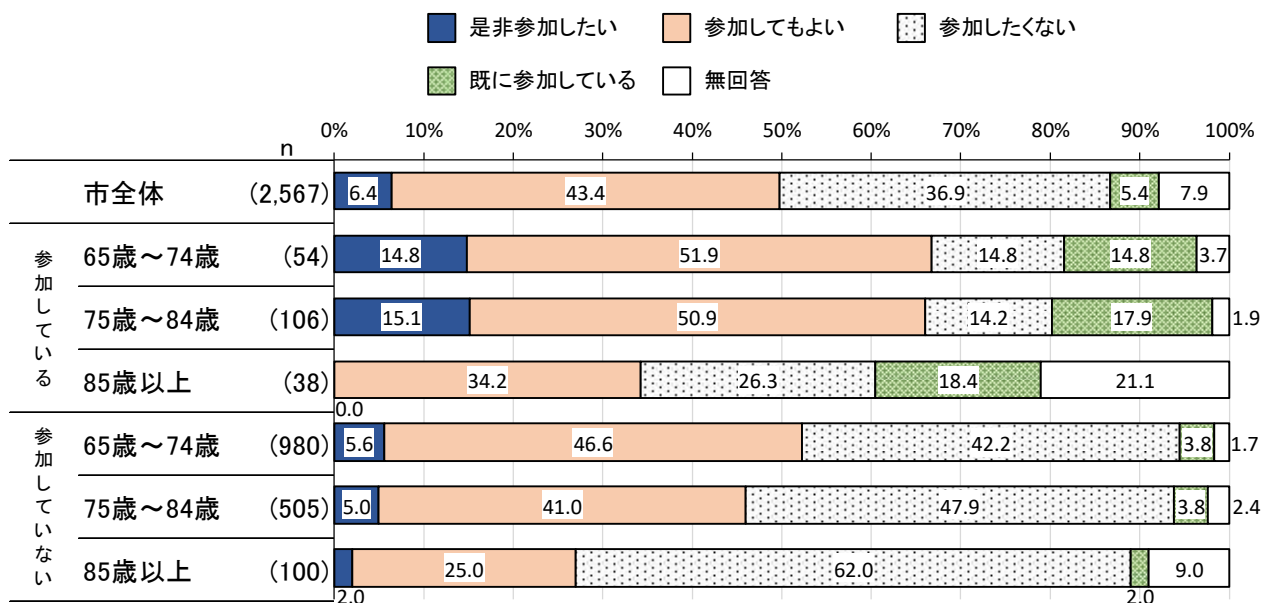
年齢別では、健康教室、介護予防自主グループなど、介護予防のための通いの場へ参加している人の《参加したい》は、65歳～74歳が70.4%、参加していないでは65歳～74歳が51.3%となっている。

○高齢者クラブへの参加有無別



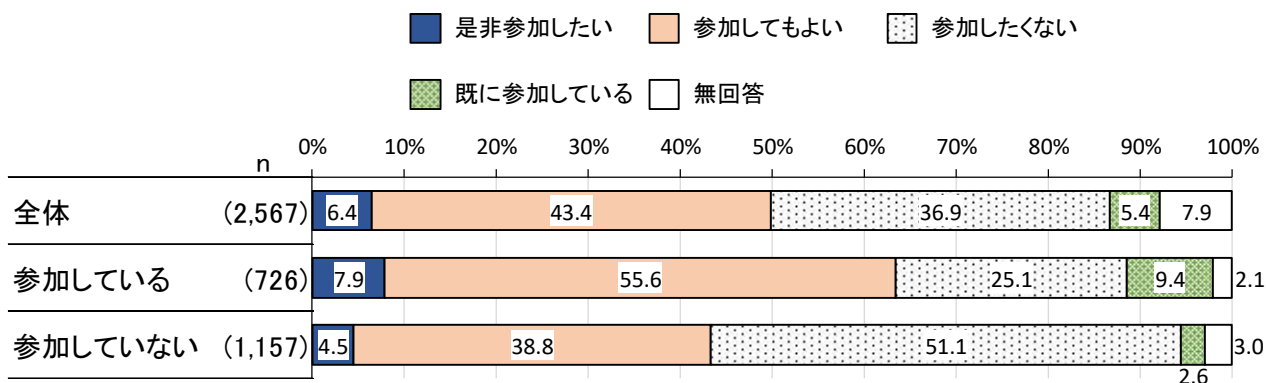
高齢者クラブへの参加有無別では、《参加したい》人は、高齢者クラブに参加している人では60.2%、参加していない人では48.5%となっている。

○高齢者クラブへの参加有無別（年齢別）



年齢別では、高齢者クラブへ参加している人の《参加したい》は、65歳～74歳が66.7%、参加していないでは65歳～74歳が52.2%となっている。

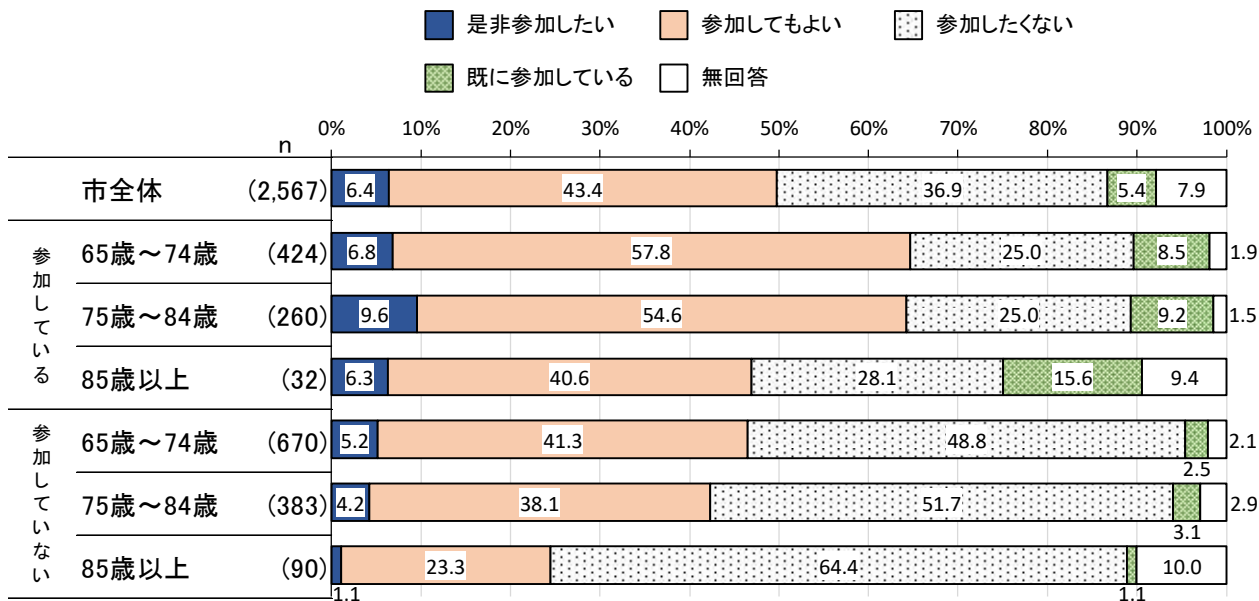
○町内会・自治会への参加有無別



町内会・自治会への参加有無別では、《参加したい》人は、町内会・自治会に参加している人では63.5%、参加していない人では43.3%となっている。

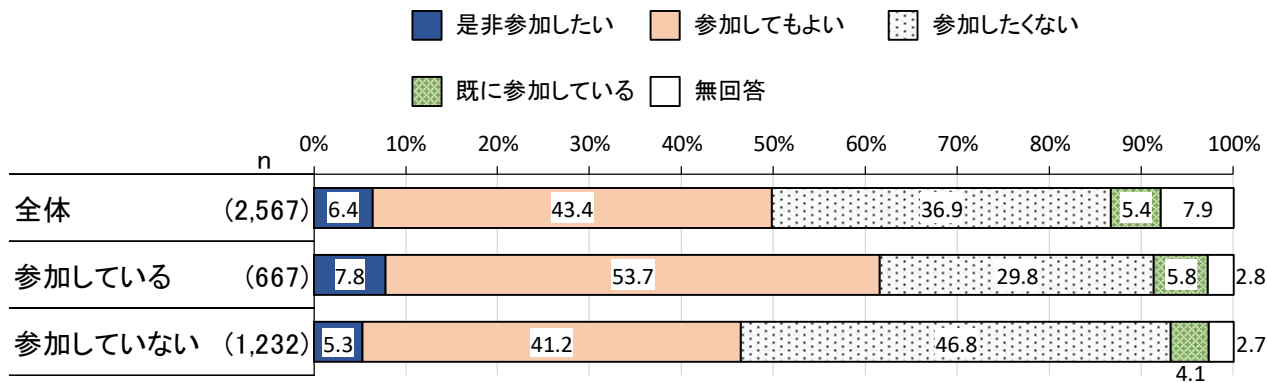
第2章 調査結果の詳細

○町内会・自治会への参加有無別（年齢別）



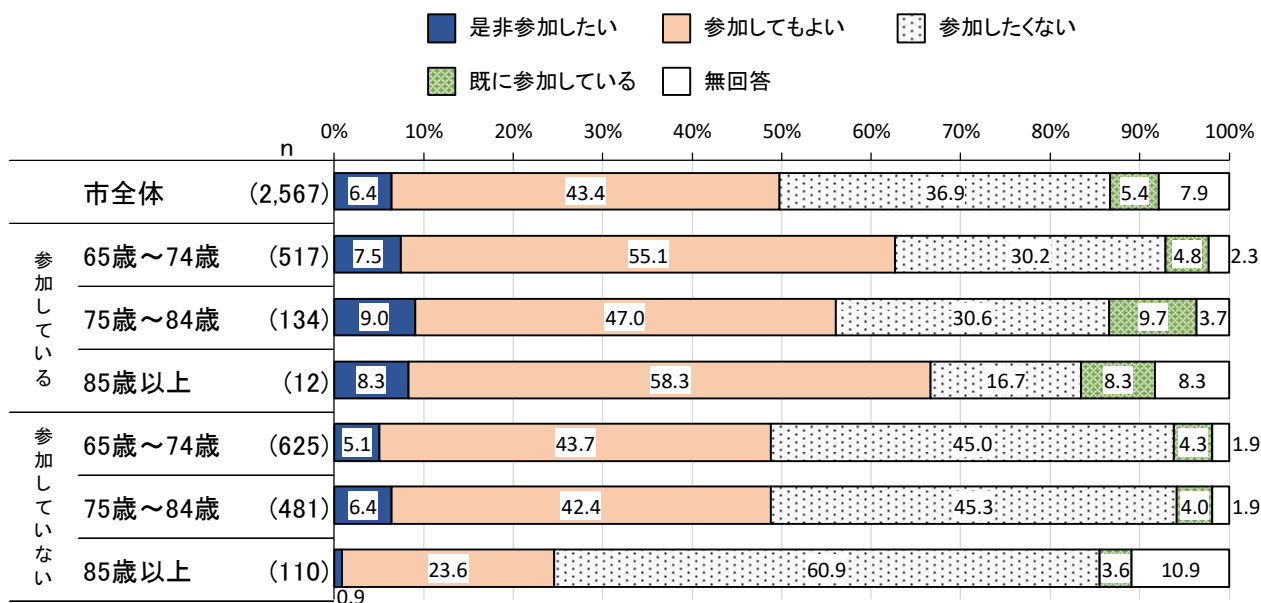
年齢別では、高齢者クラブへ参加している人の《参加したい》は、65歳～74歳が64.6%、参加していないでは65歳～74歳が46.5%となっている。

○収入のある仕事への参加有無別



収入のある仕事への参加有無別では、《参加したい》人は、収入のある仕事をしている人では61.5%、していない人では46.5%となっている。

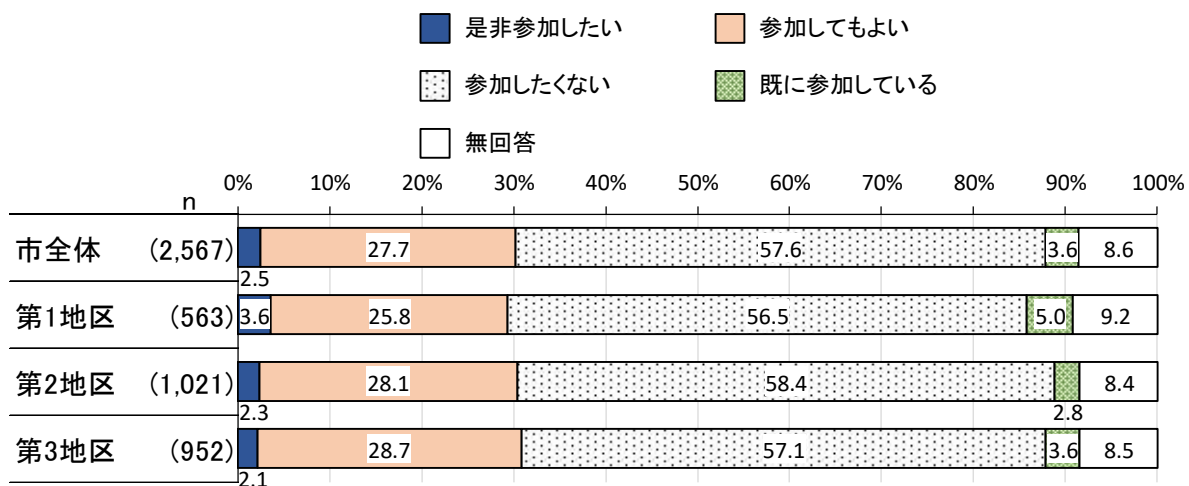
○収入のある仕事への参加有無別（年齢別）



年齢別では、収入のある仕事へ参加している人の《参加したい》は、85歳以上が66.6%、参加していないでは65歳～74歳が48.8%となっている。

(3) 企画・運営者としての参加意向

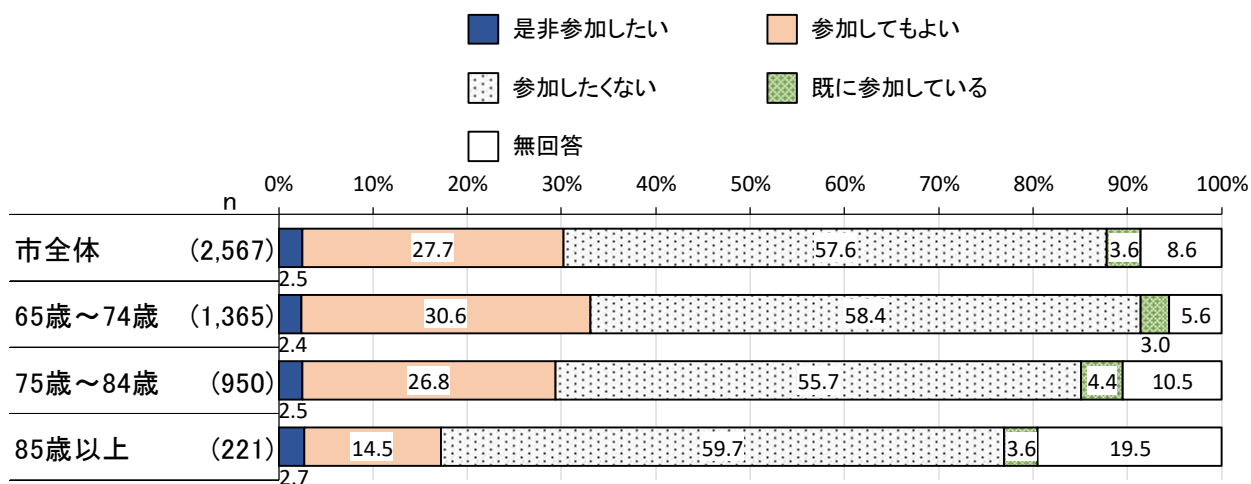
問5 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか



地域づくりの活動への企画・運営としての参加は、市全体では「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた企画・運営として《参加したい》人は30.2%である。地区別では、企画・運営として《参加したい》人は、第1地区が29.4%、第2地区では30.4%、第3地区では30.8%となっている。

第2章 調査結果の詳細

○年齢別

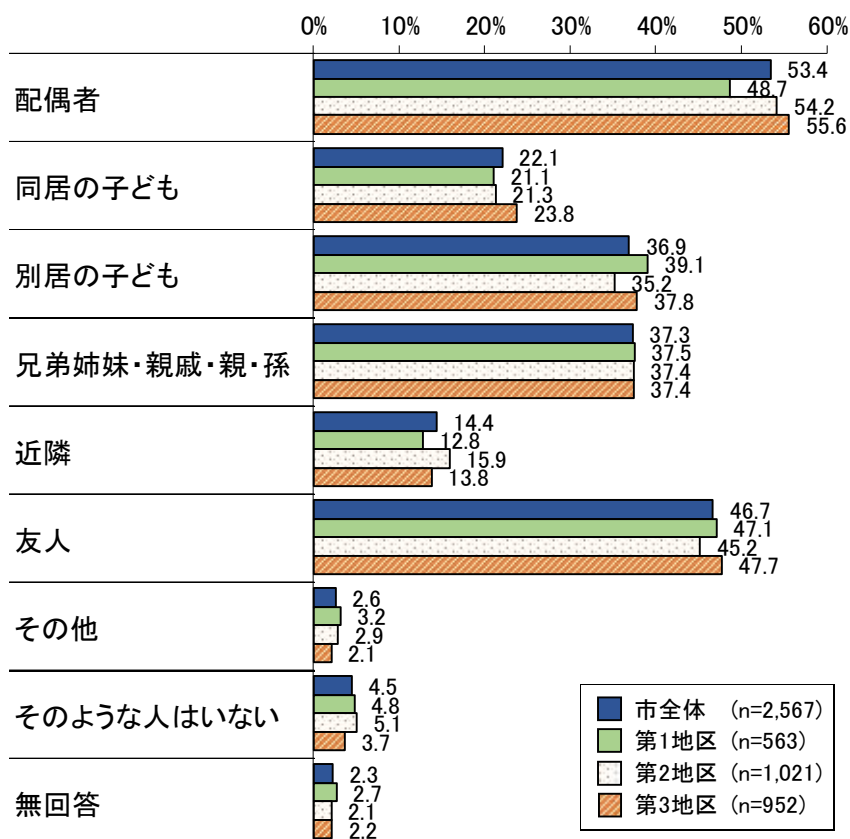


年齢別では、企画・運営として《参加したい》人は、65歳～74歳が33.0%、75歳～84歳では29.3%、85歳以上では17.2%となっている。

6 たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

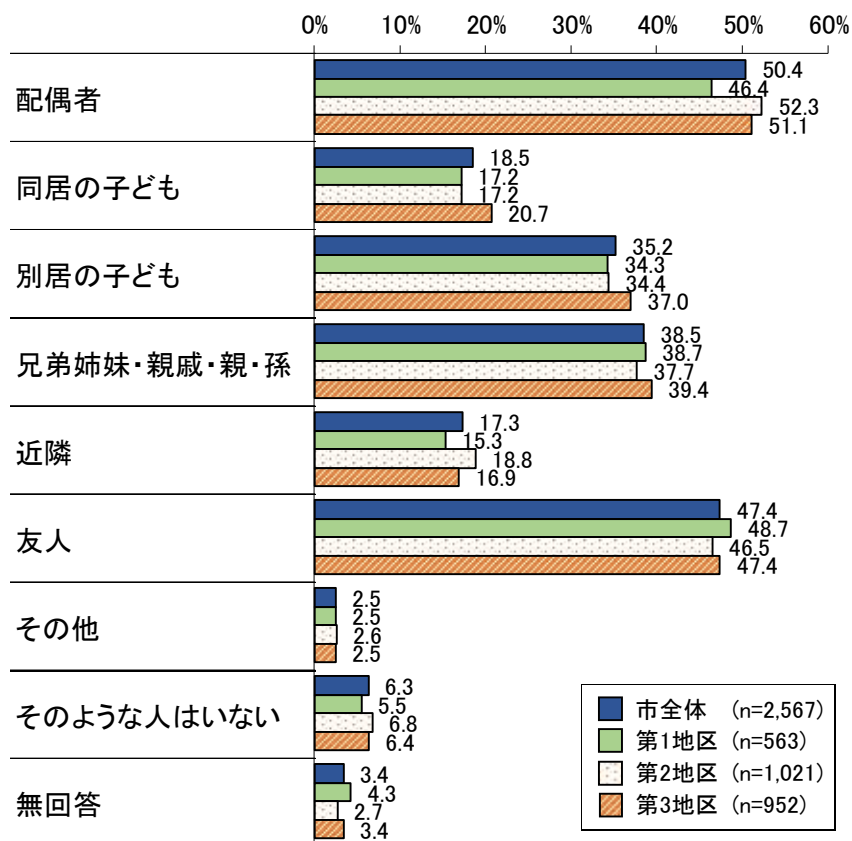
問6(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）



心配事や愚痴を聞いてくれる人は、市全体では「配偶者」が53.4%と最も多い。地区別では、どの地区も「配偶者」が最も多く、第1地区が48.7%、第2地区が54.2%、第3地区が55.6%となっている。

(2) 心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人

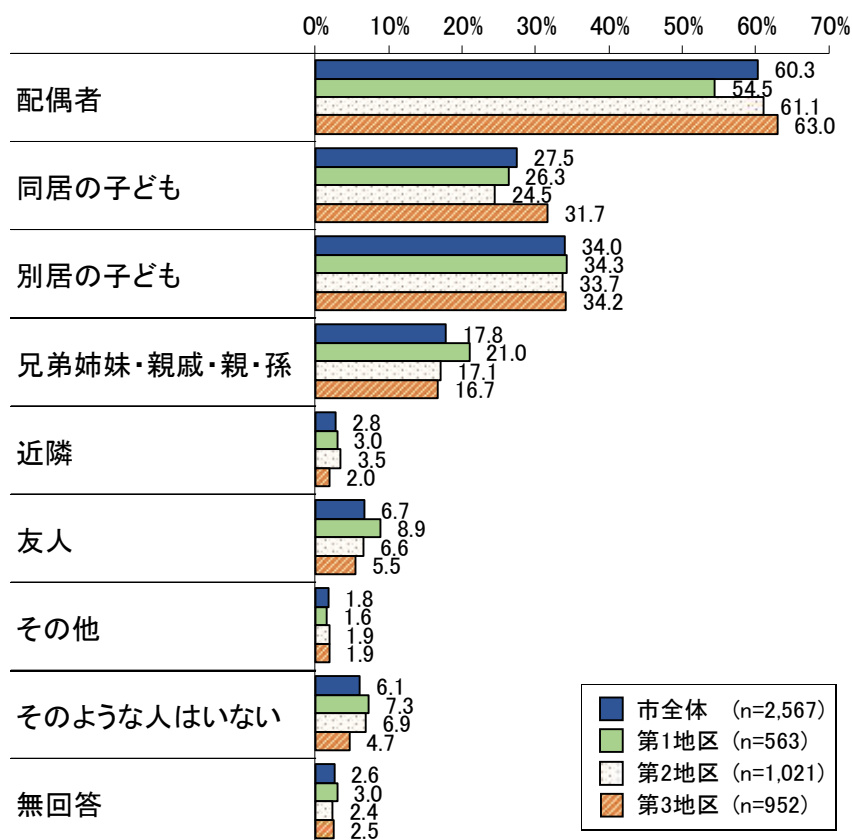
問6(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)



心配事や愚痴を聞いてあげる人は、市全体では「配偶者」が50.4%で最も多い。地区別では、第1地区は「友人」が48.7%と最も多く、第2地区(52.3%)・第3地区(51.1%)では「配偶者」が最も多くなっている。

(3) 看病や世話をしてくれる人

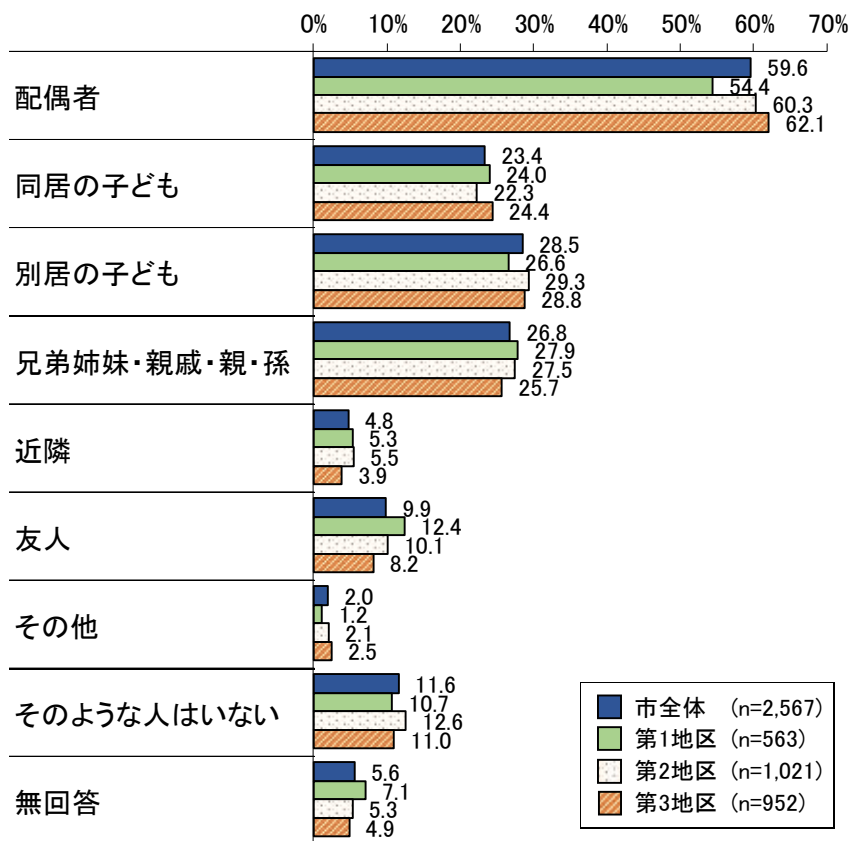
問6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
(いくつでも)



看病や世話をしてくれる人は、市全体では「配偶者」が60.3%で最も多い。
 地区別では、どの地区も「配偶者」が最も多く、第1地区が54.5%、第2地区が61.1%、第3地区が63.0%となっている。

(4) 看病や世話をしている人

問6 (4) 反対に、看病や世話をしている人 (いくつでも)

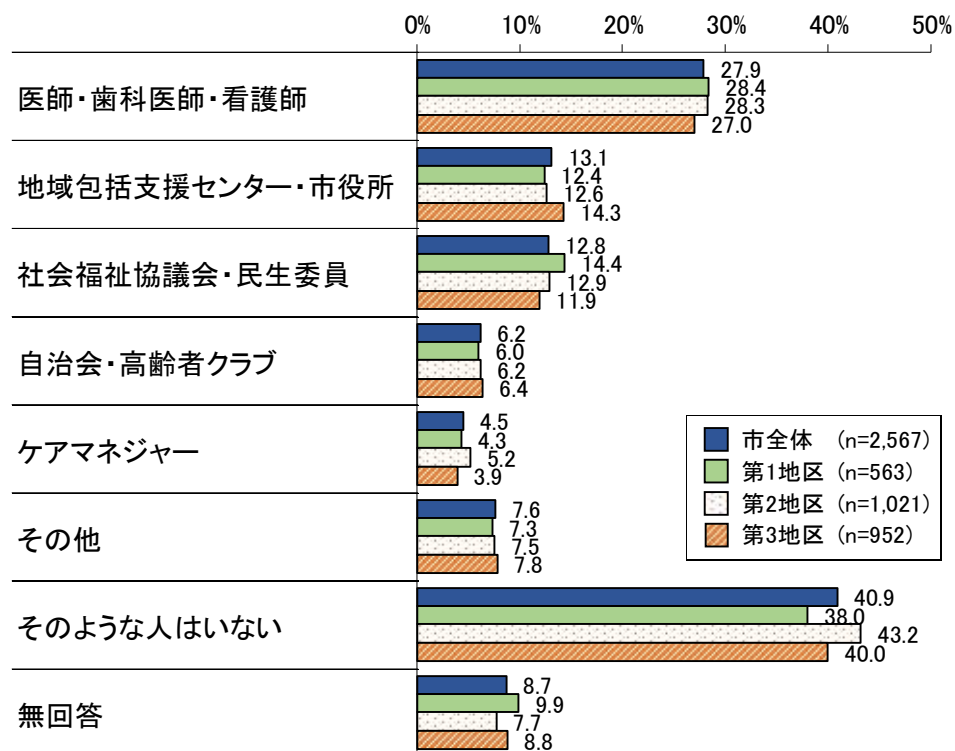


看病や世話をしている人は、市全体では「配偶者」が59.6%で最も多い。

地区別では、どの地区も「配偶者」が最も多く、第1地区が54.4%、第2地区が60.3%、第3地区が62.1%となっている。

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手

問6 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (いくつでも)

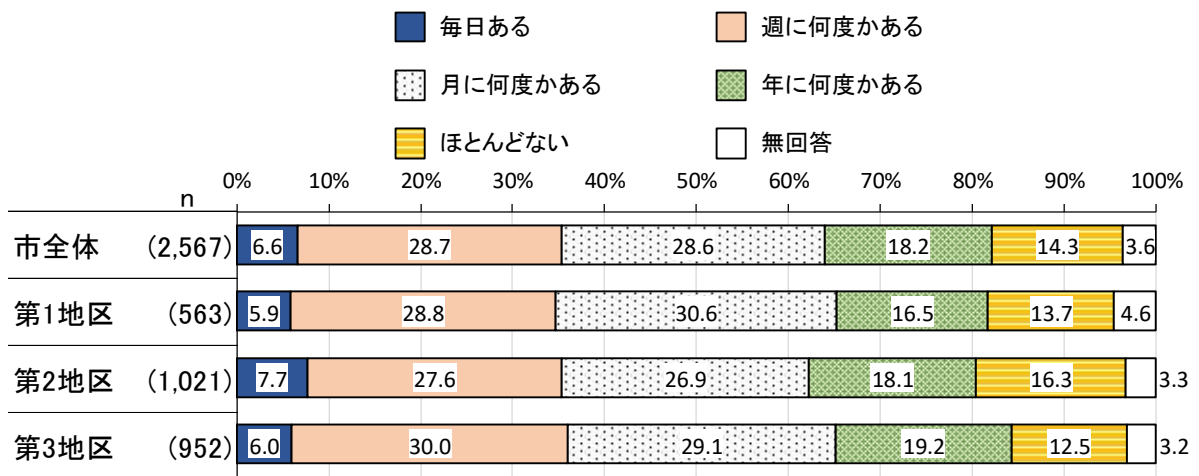


何かあったときに相談する相手は、市全体では「そのような人はいない」が40.9%で最も多い。

地区別では、どの地区も「そのような人はいない」が最も多く、第1地区が38.0%、第2地区が43.2%、第3地区が40.0%となっている。

(6) 友人・知人と会う頻度

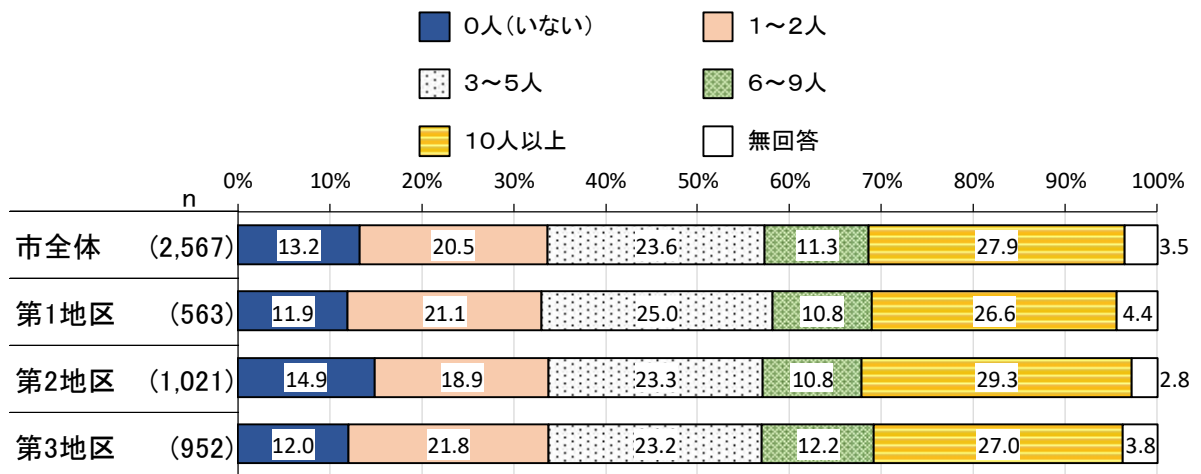
問6(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか



友人・知人と会う頻度は、市全体では「週に何度かある」が28.7%で最も多い。地区別では、「週に何度かある」は、第1地区が28.8%、第2地区が27.6%、第3地区が30.0%となっている。

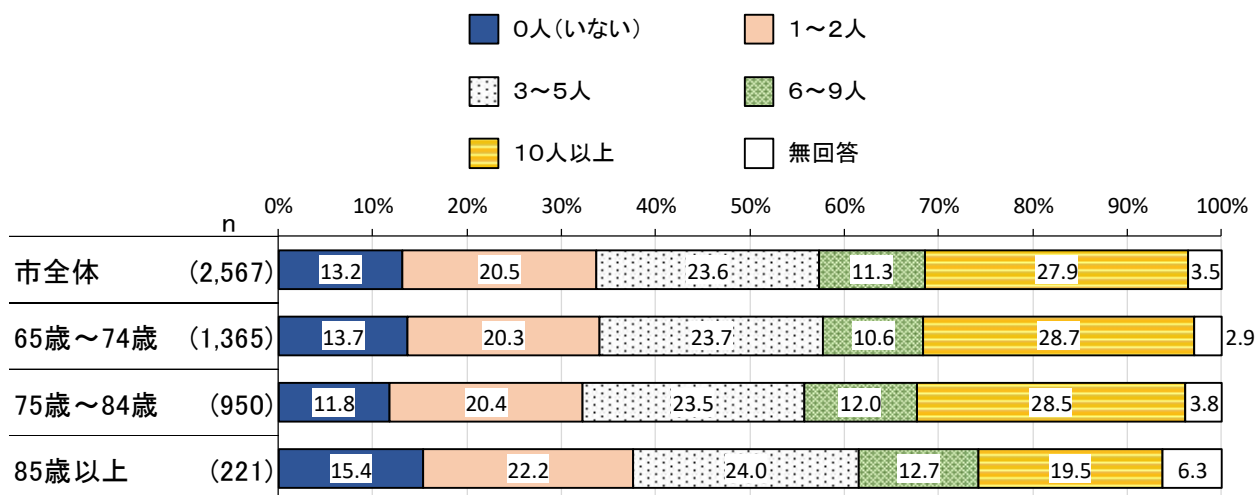
(7) この1か月間に合った友人・知人

問6(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか
同じ人には何度会っても1人と数えることとします



この1か月間に合った友人・知人の数は、市全体では「10人以上」が27.9%で最も多い。地区別では、どの地区も「10人以上」が最も多く、第1地区が26.6%、第2地区が29.3%、第3地区が27.0%となっている。

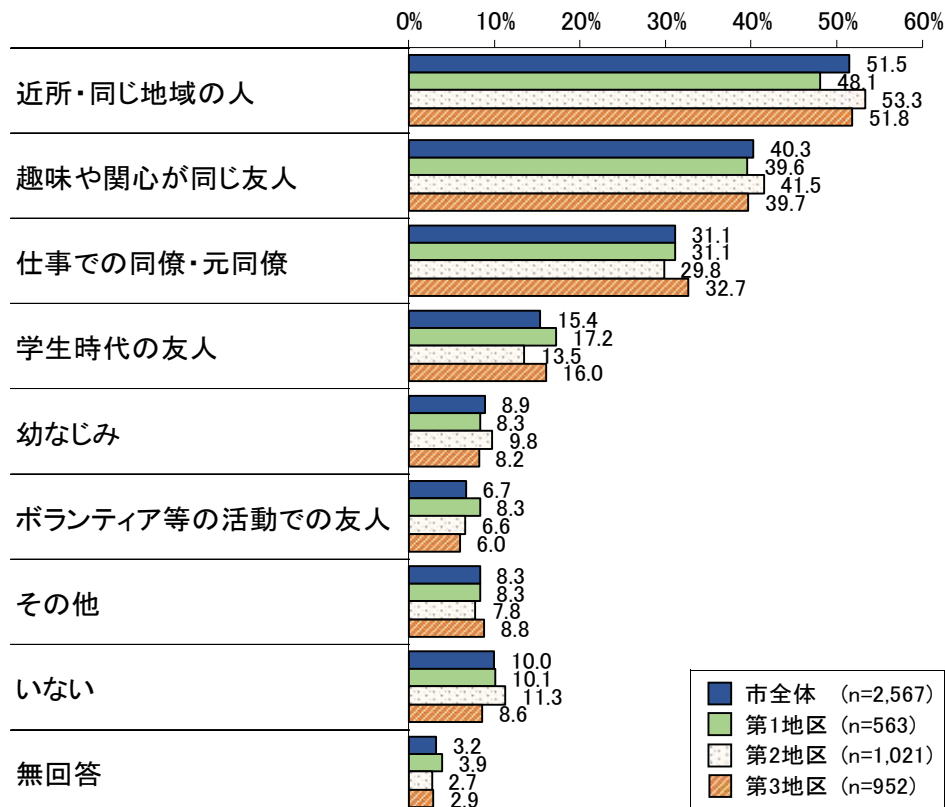
○年齢別



年齢別では、「10人以上」で65歳~74歳が28.7%、75歳~84歳が28.5%、85歳以上が19.5%となっている。

(8) よく会う友人・知人

問6(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか(いくつでも)

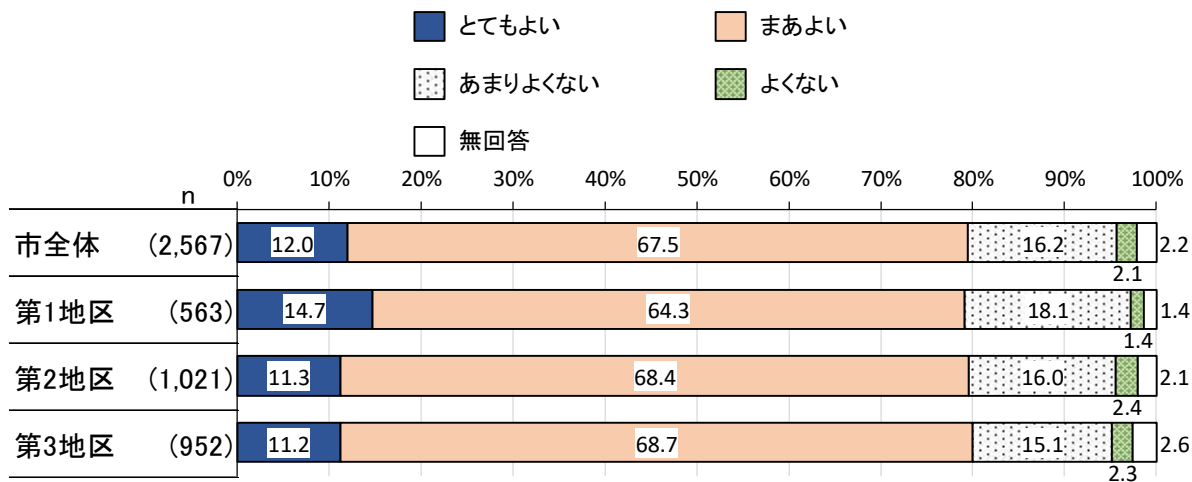


よく会う友人・知人は、市全体では「近所・同じ地域の人」が51.5%で最も多い。地区別では、どの地区も「近所・同じ地域の人」が最も多く、第1地区が48.1%、第2地区が53.3%、第3地区が51.8%となっている。

7 健康について

(1) 現在の健康状態

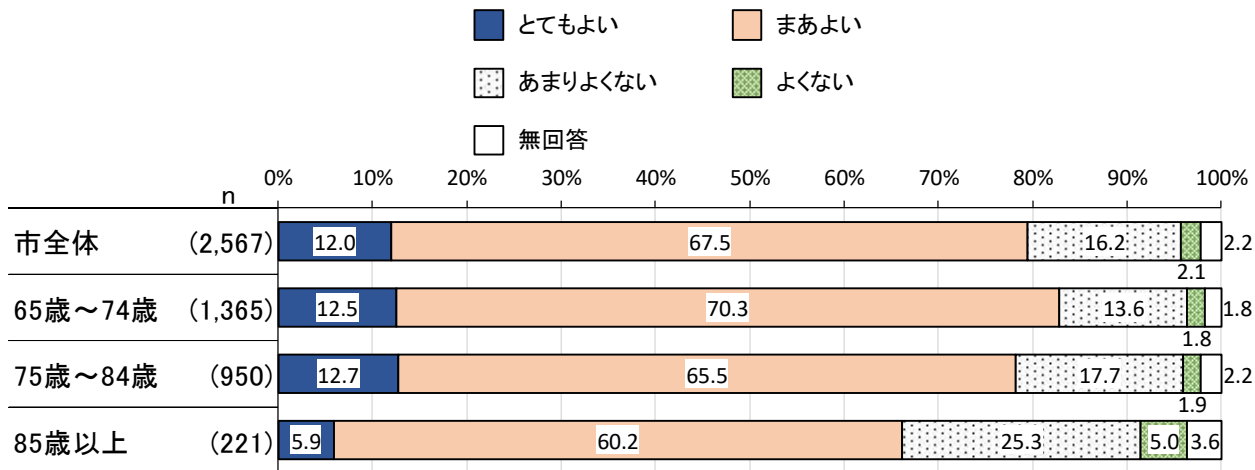
問7(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか



現在の健康状態は、市全体では「とてもよい」「まあよい」を合わせた《よい》は79.5%である。

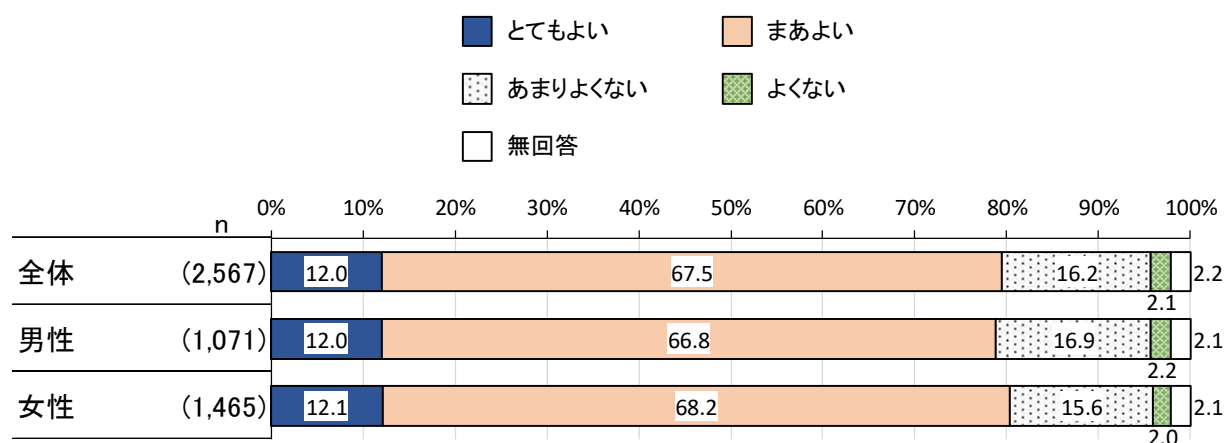
地区別では、《よい》は、第1地区が79.0%、第2地区では79.7%、第3地区では79.9%となっている。

○年齢別



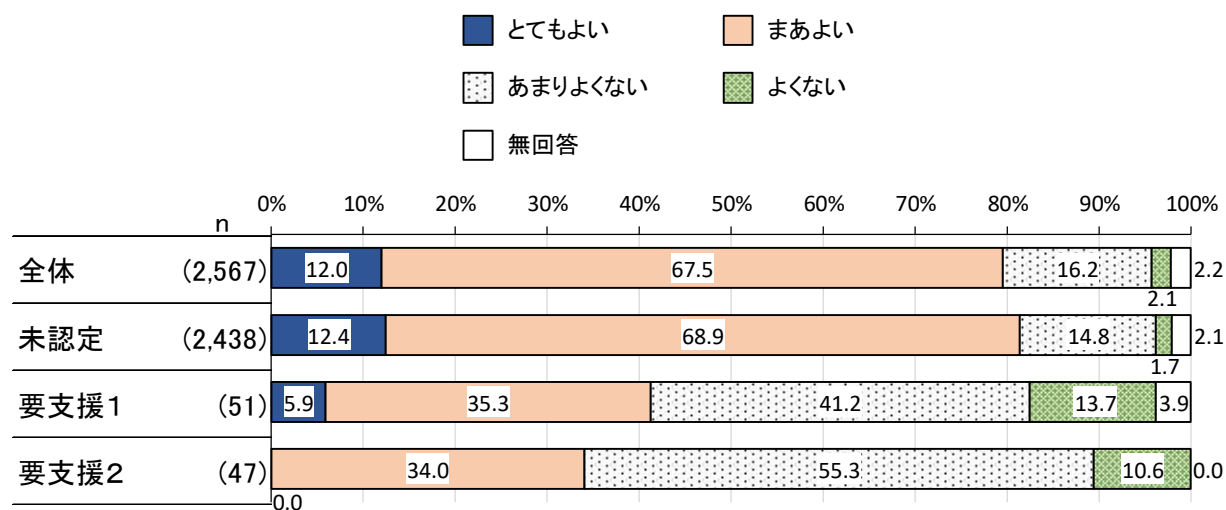
年齢別では、《よい》は、65歳～74歳では82.8%、75歳～84歳では78.2%、85歳以上では66.1%となっている。

○男女別



男女別では、《よい》は、男性では78.8%、女性では80.3%となっており、大きな差はみられなかった。

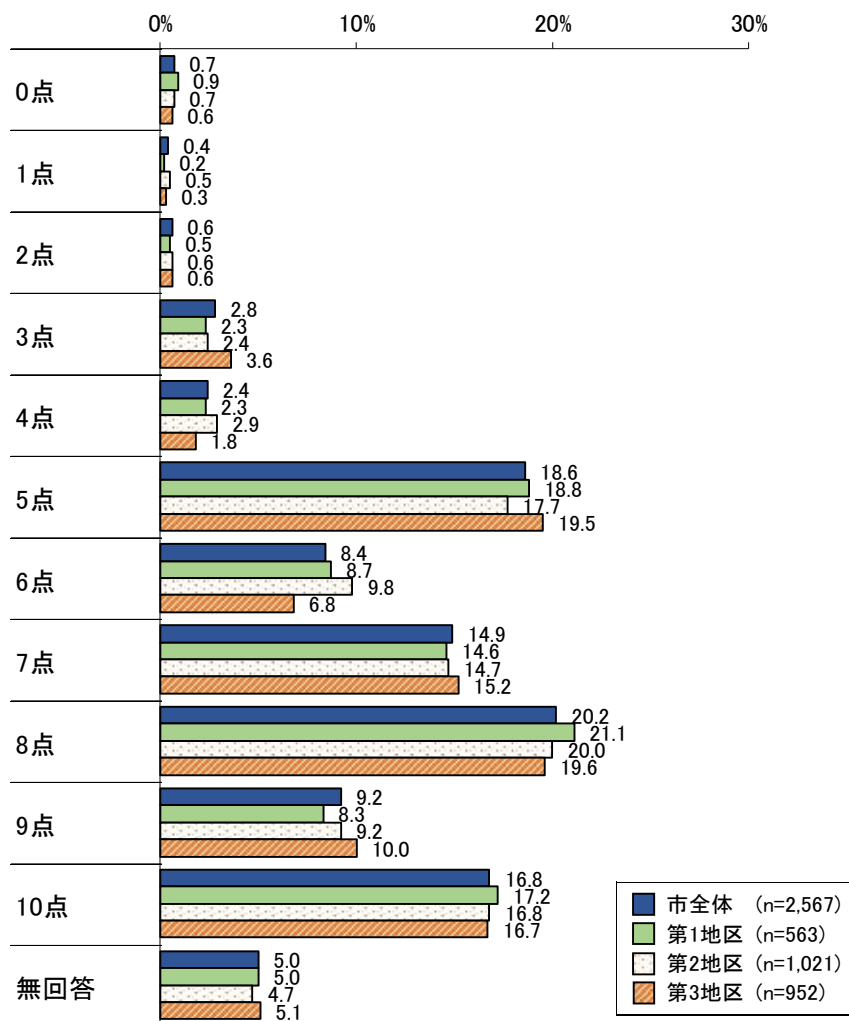
○介護認定別



介護認定別では、《よい》は、未認定では81.3%、要支援1では41.2%、要支援2では34.0%となっている。

(2) 幸福度

問7(2) あなたは、現在どの程度幸せですか
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)



幸福度は、市全体では「8点」が20.2%で最も多く、次いで「5点」(18.6%)となっている。

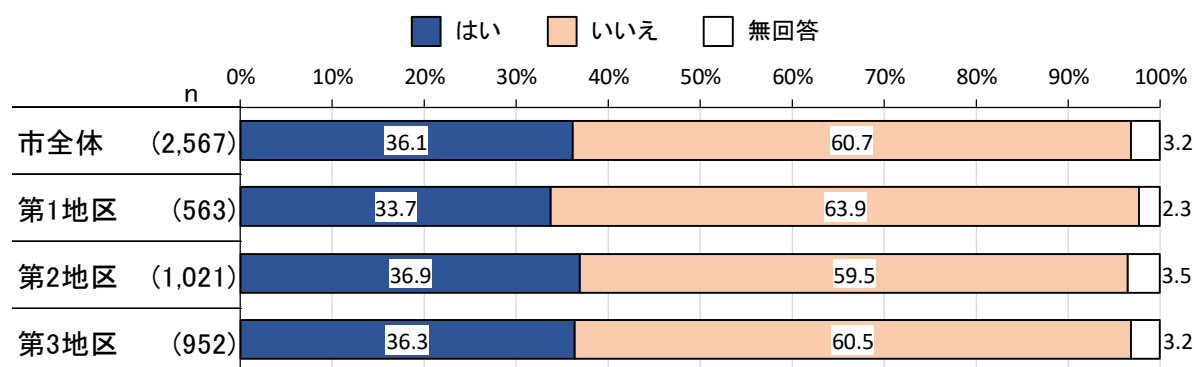
地区別では、「8点」は、第1地区が21.1%、第2地区が20.0%、第3地区が19.6%となっている。

「5点」は、第1地区が18.8%、第2地区は17.7%、第3地区が19.5%となっている。

平均点をみると、市全体では6.80、地区別では、第1地区で6.82、第2地区で6.81、第3地区で6.78となっている。

(3) ゆうつな気持ち

問7(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

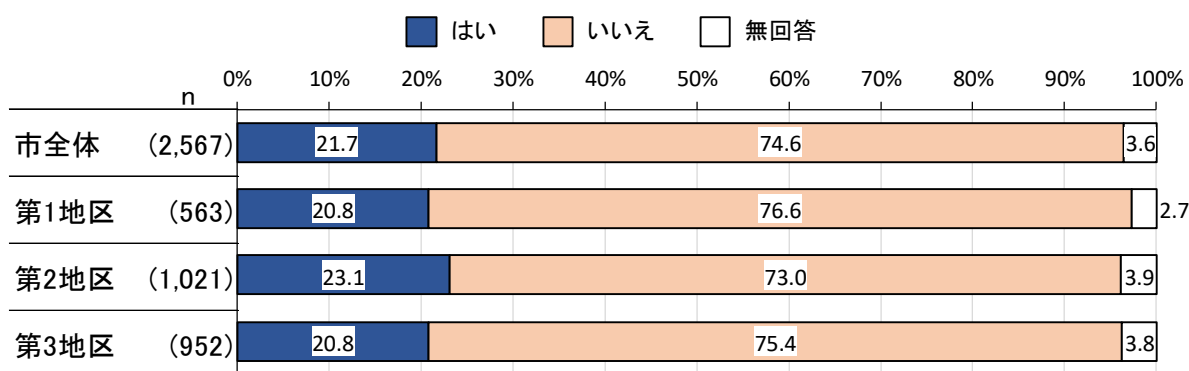


ゆううつな気持ちについては、市全体ではこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあった人が36.1%である。

地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(4) 興味の低下

問7(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか



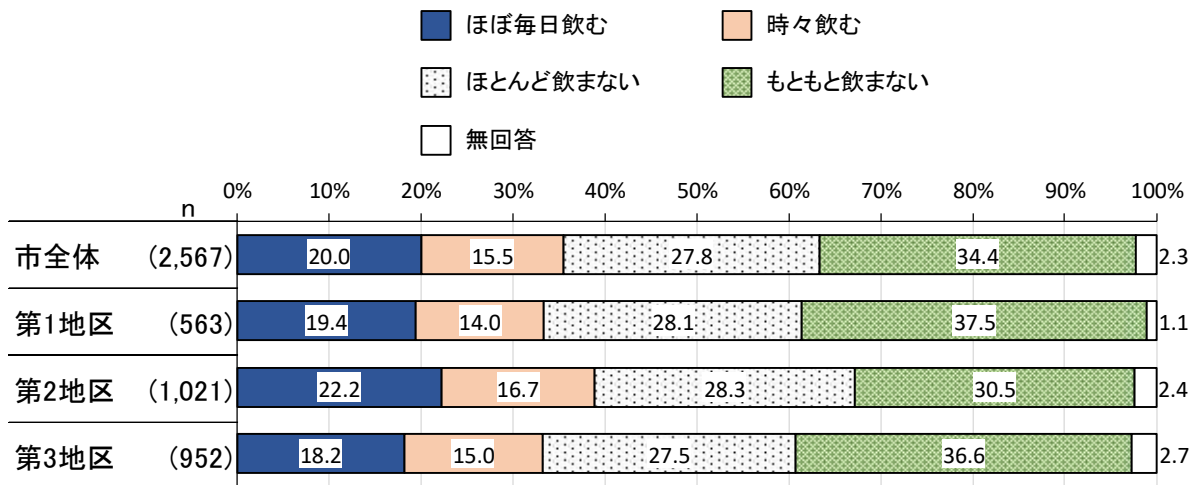
興味の低下については、市全体ではこの1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくあった人が21.7%である。

地区別では、この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくあった人は、第1地区が20.8%、第2地区が23.1%、第3地区が20.8%となっている。

第2章 調査結果の詳細

(5) 飲酒

問7(5) お酒は飲みますか

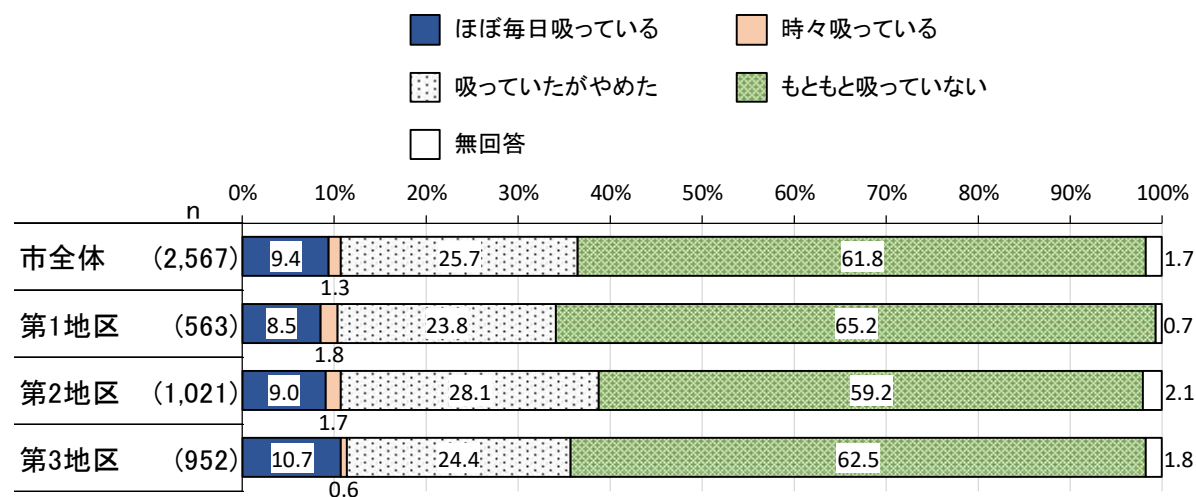


飲酒については、市全体では「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」を合わせた《飲酒している》人は35.5%である。

地区別では、《飲酒している》人は、第1地区が33.4%、第2地区では38.9%、第3地区では33.2%となっている。

(6) 喫煙の有無

問7(6) タバコは吸っていますか

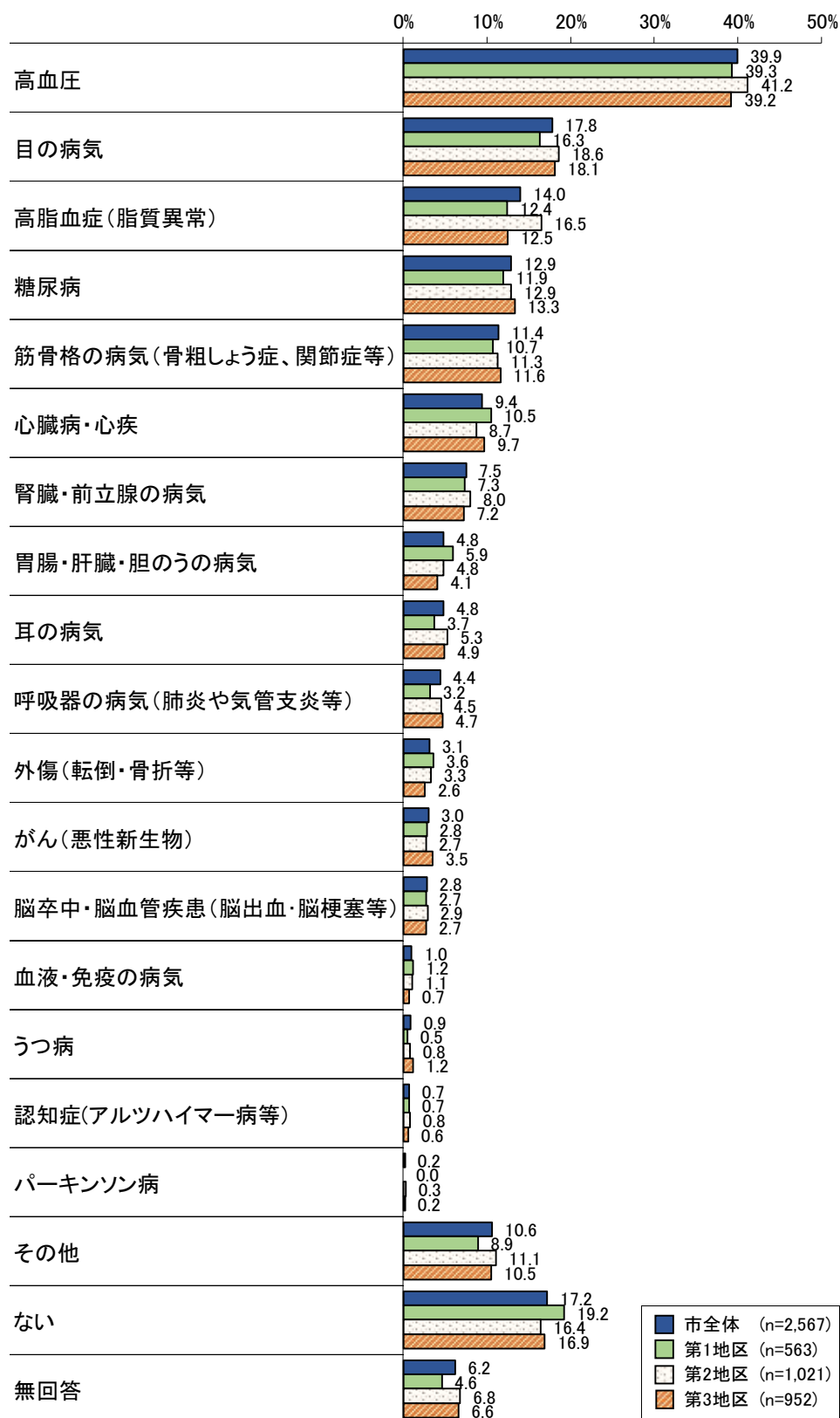


喫煙については、市全体では「ほぼ毎日吸っている」「時々吸っている」を合わせた《喫煙している》人は10.7%である。

地区別では、《喫煙している》人は、第1地区が10.3%、第2地区では10.7%、第3地区では11.3%となっている。

(7) 治療中の病気

問7(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(いくつでも)

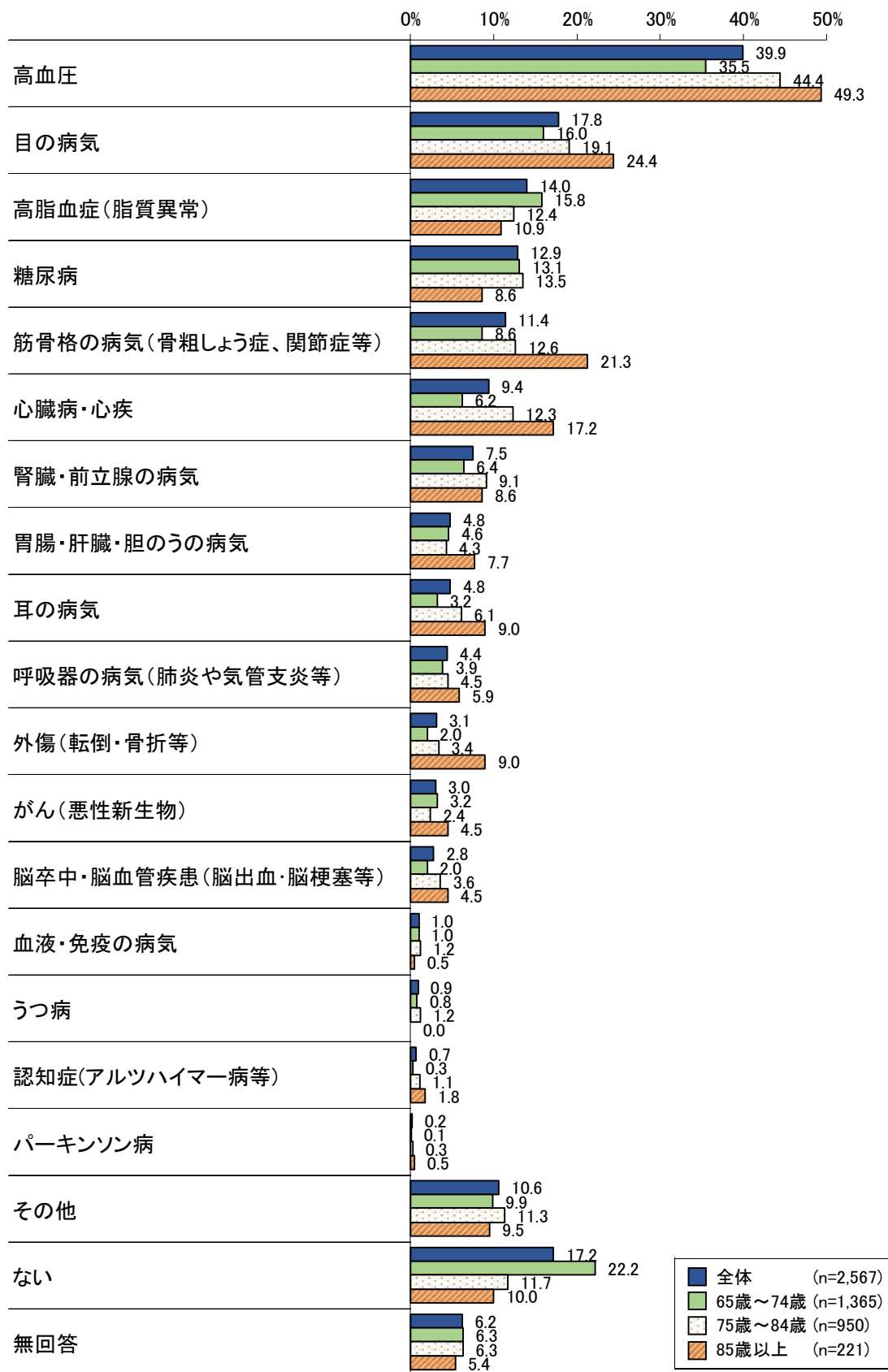


治療中の病気は、市全体では「高血圧」が39.9%で最も多い。

地区別では、どの地区も「高血圧」が最も多く、第1地区が39.3%、第2地区が41.2%、第3地区が39.2%となっている。

第2章 調査結果の詳細

○年齢別

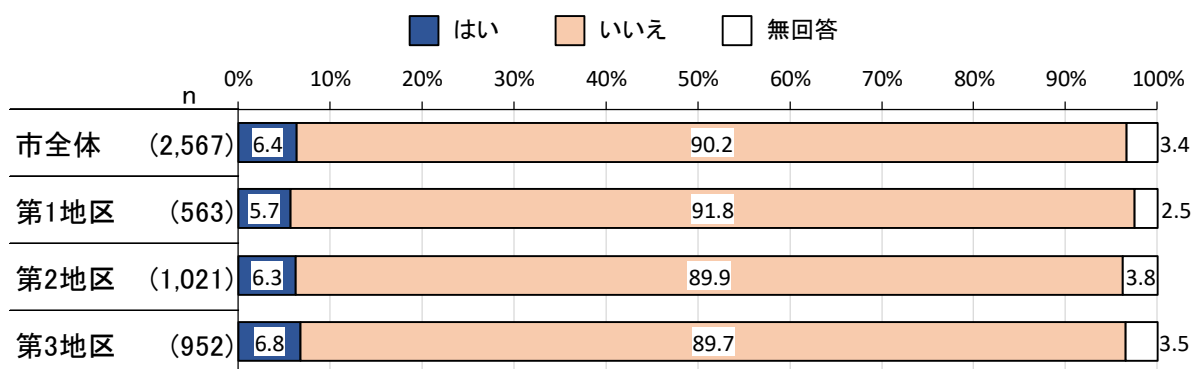


年齢別では、全ての年代で「高血圧」が最も多く、65歳~74歳が35.5%、75歳~84歳が44.4%、85歳以上が49.3%となっている。

8 認知症にかかる相談窓口の把握について

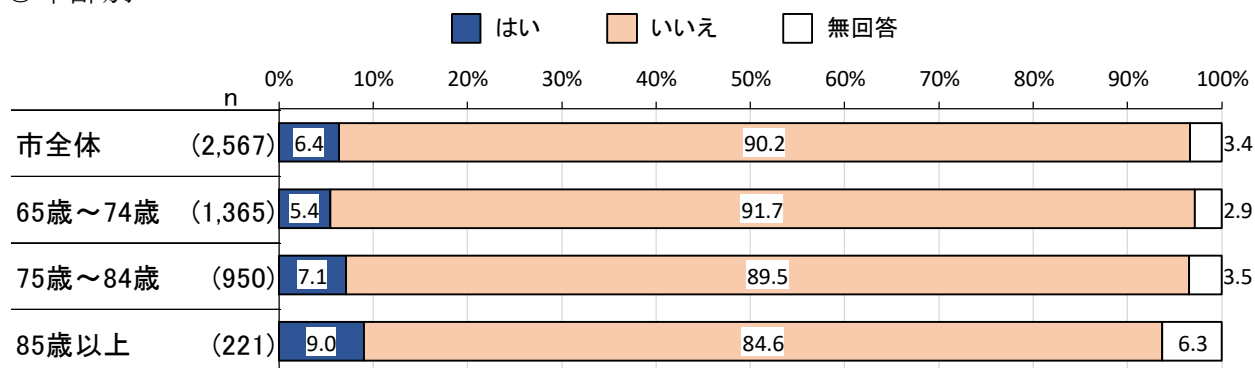
(1) 自身もしくは家族に認知症の症状があるか

問8(1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか



認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人は、市全体では6.4%である。地区別では、第1地区が5.7%、第2地区が6.3%、第3地区が6.8%となっている。

○年齢別

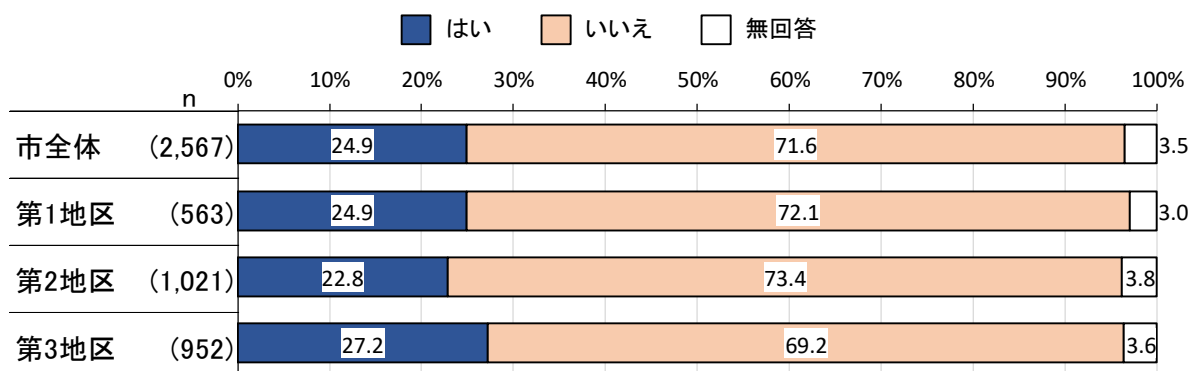


年齢別では、65歳～74歳が5.4%、75歳～84歳が7.1%、85歳以上が9.0%となっている。

第2章 調査結果の詳細

(2) 認知症に関する相談窓口の把握

問8(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか



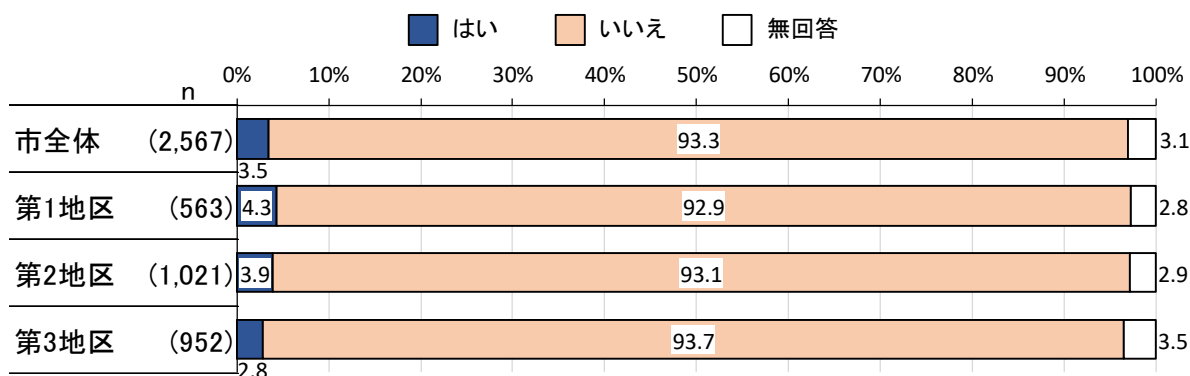
認知症に関する相談窓口の把握については、市全体では「知っている」が24.9%、地区別では、第1地区が24.9%、第2地区が22.8%、第3地区が27.2%となっている。

§ 青梅市独自の設問

9 介護サービスと住まい（暮らし）の意向について

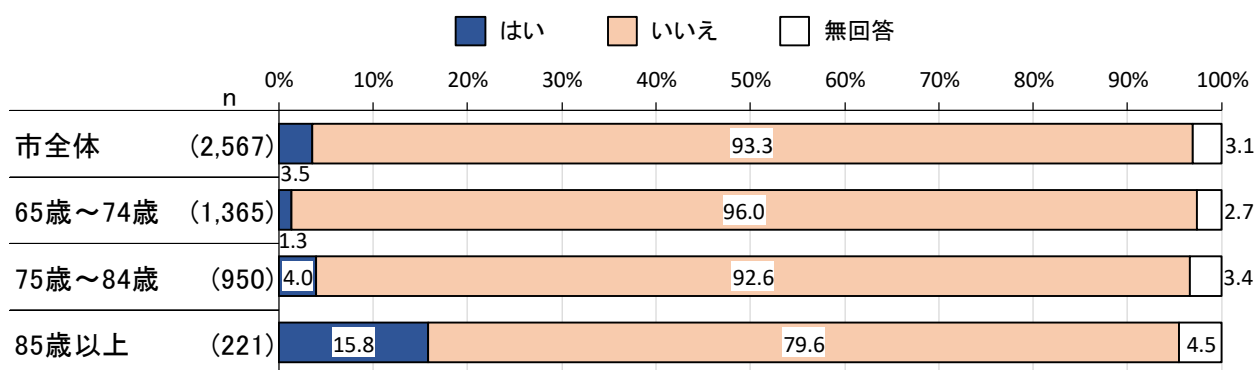
(1-1) 介護サービスの利用状況

問9(1-1) あなたは、介護保険の介護サービスを利用していますか



介護サービスの利用については、市全体では「利用している」が3.5%である。
地区別では、第1地区が4.3%、第2地区が3.9%、第3地区が2.8%となっている。

○年齢別

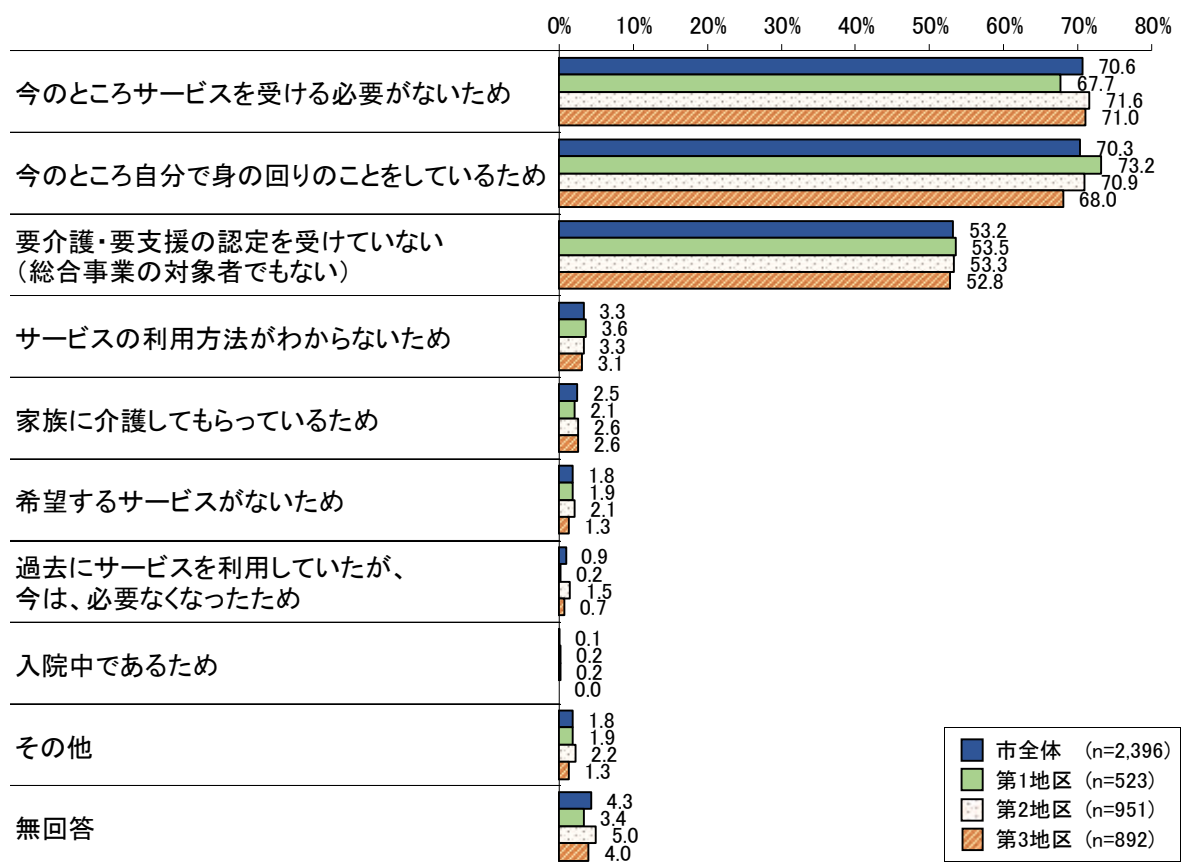


年齢別では、65歳～74歳が1.3%、75歳～84歳が4.0%、85歳以上が15.8%となっている。

(1-2) 介護サービスを利用していない理由

【(1-1)で「2. いいえ」を選んだ方のみ】

問9 (1-2) 現在、介護サービスを利用していない理由は何ですか (いくつでも)

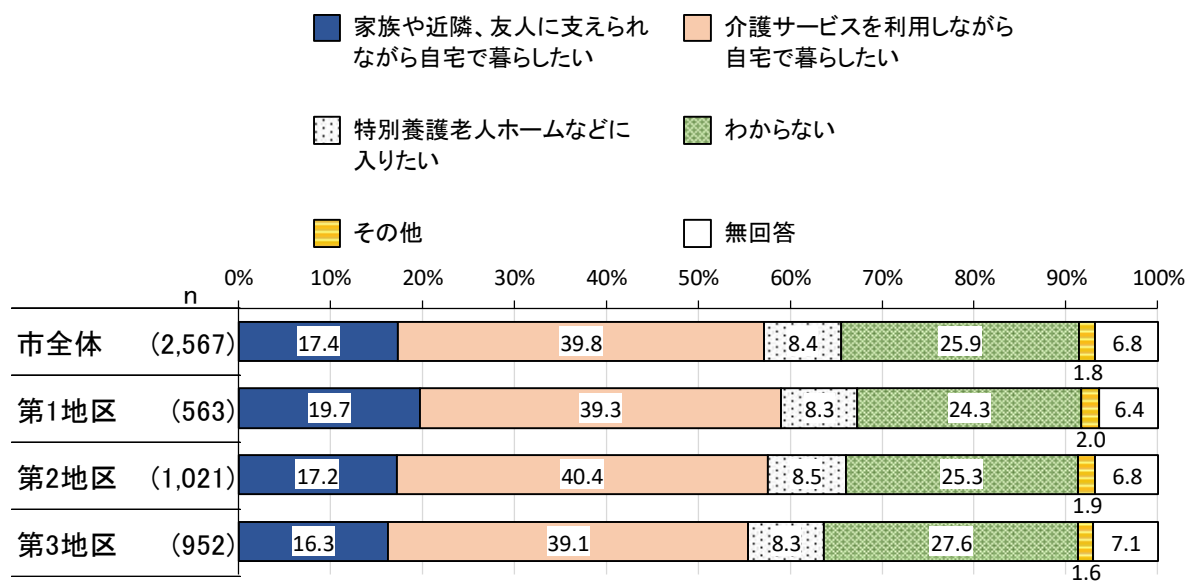


介護サービスを利用していない理由については、市全体では「今のところサービスを受ける必要がないため」は70.6%、「今のところ自分で身の回りのことをしているため」が70.3%、「要介護・要支援の認定を受けていない (総合事業の対象者でもない)」が53.2%となっている。

地区別では、第1地区は「今のところ自分で身の回りのことをしているため」(73.2%)、第2地区は「今のところサービスを受ける必要がないため」(71.6%)、第3地区は「今のところサービスを受ける必要がないため」(71.0%)が最も多い。

(2) 介護についての希望

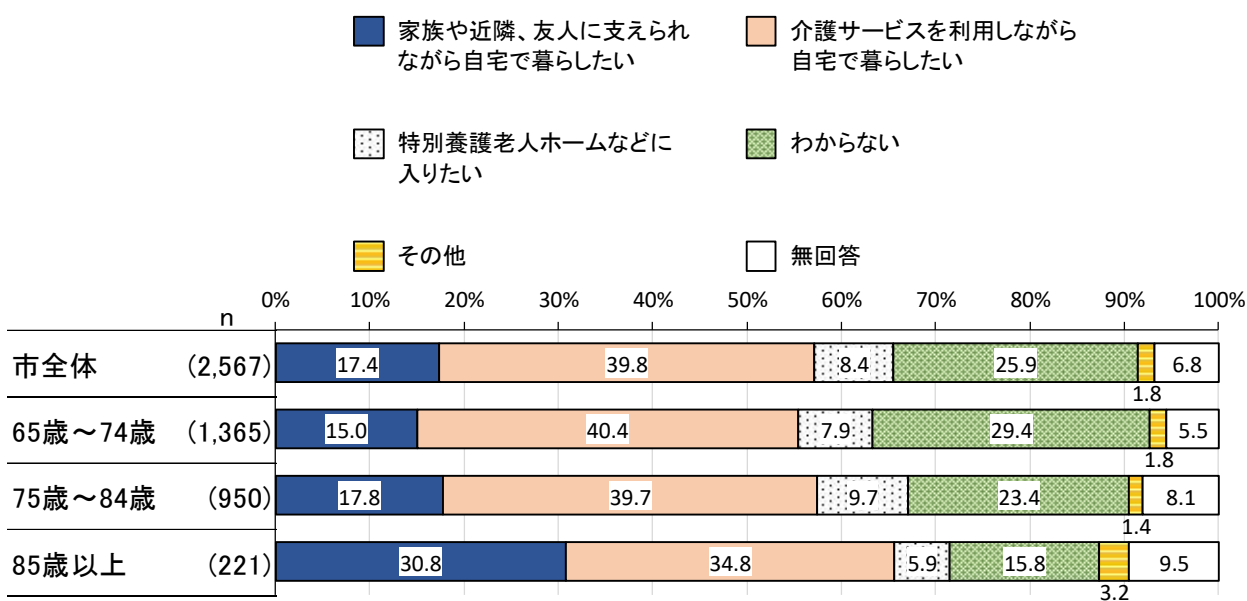
問9 (2) 介護について、あなたはどのような希望をお持ちですか



介護についての希望は、市全体では「介護サービスを利用しながら自宅で暮らしたい」が39.8%、「家族や近隣、友人に支えられながら自宅で暮らしたい」が17.4%となった。

地区別ではいずれも「介護サービスを利用しながら自宅で暮らしたい」が最も多く、第1地区が39.3%、第2地区が40.4%、第3地区が39.1%となっている。

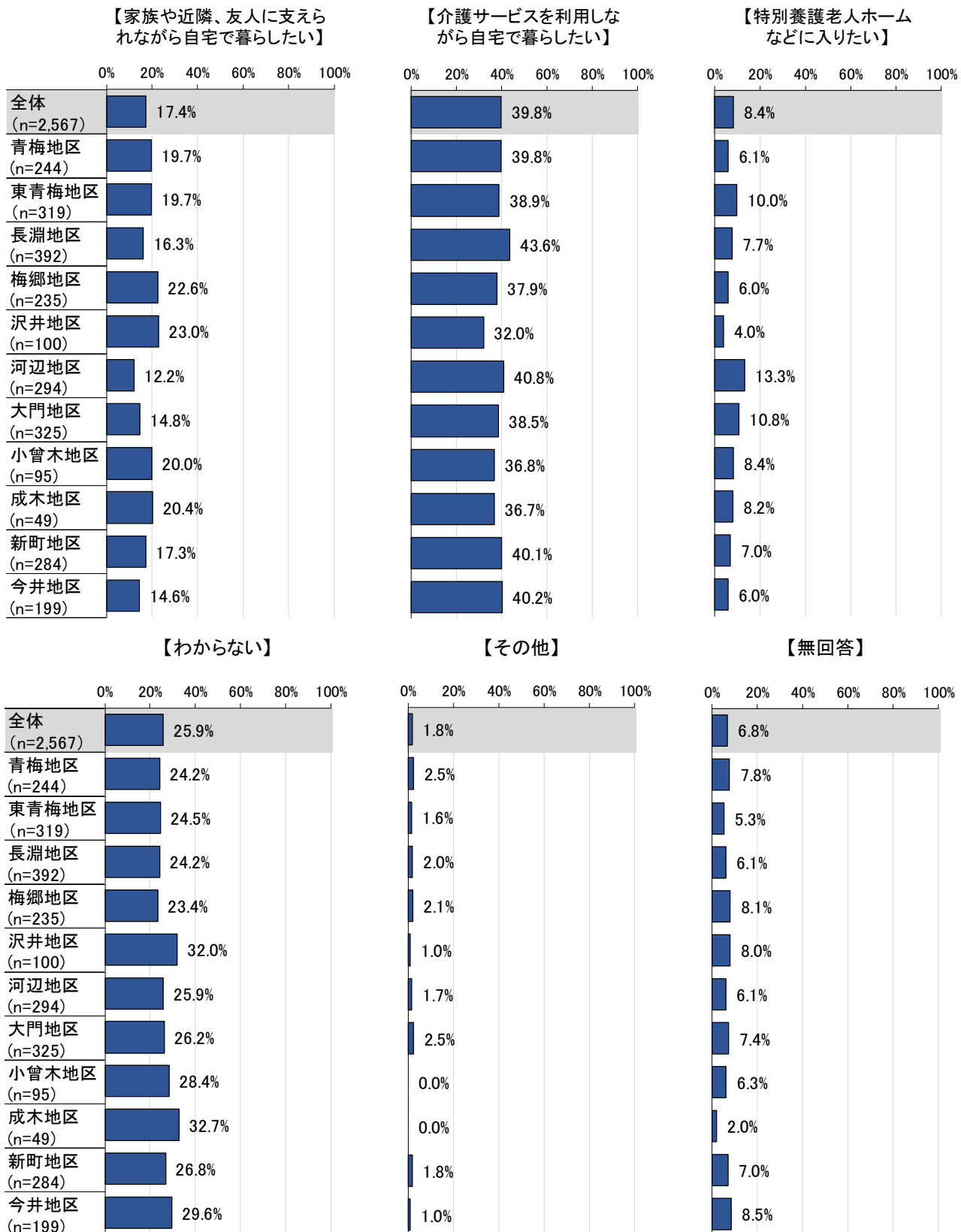
○年齢別



年齢別ではいずれも「介護サービスを利用しながら自宅で暮らしたい」が最も多く、65歳～74歳が40.4%、75歳～84歳が39.7%、85歳以上が34.8%となっている。

第2章 調査結果の詳細

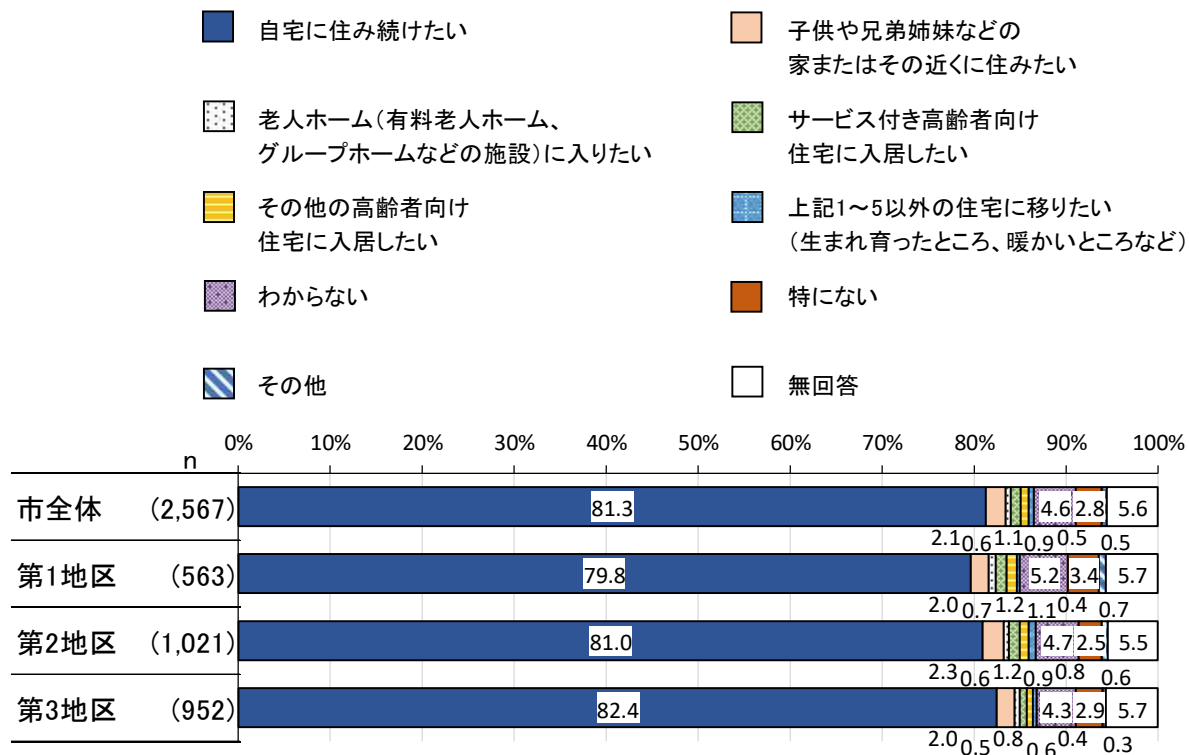
○11 地区別



地区別ではいずれも「介護サービスを利用しながら自宅で暮らしたい」が最も多く、長淵地区が43.6%、河辺地区が40.8%、今井地区が40.2%となっている。

(3) 元気なうちの住まいの希望

問9 (3) あなたは、元気なうちは、どのようにしたいと思いますか

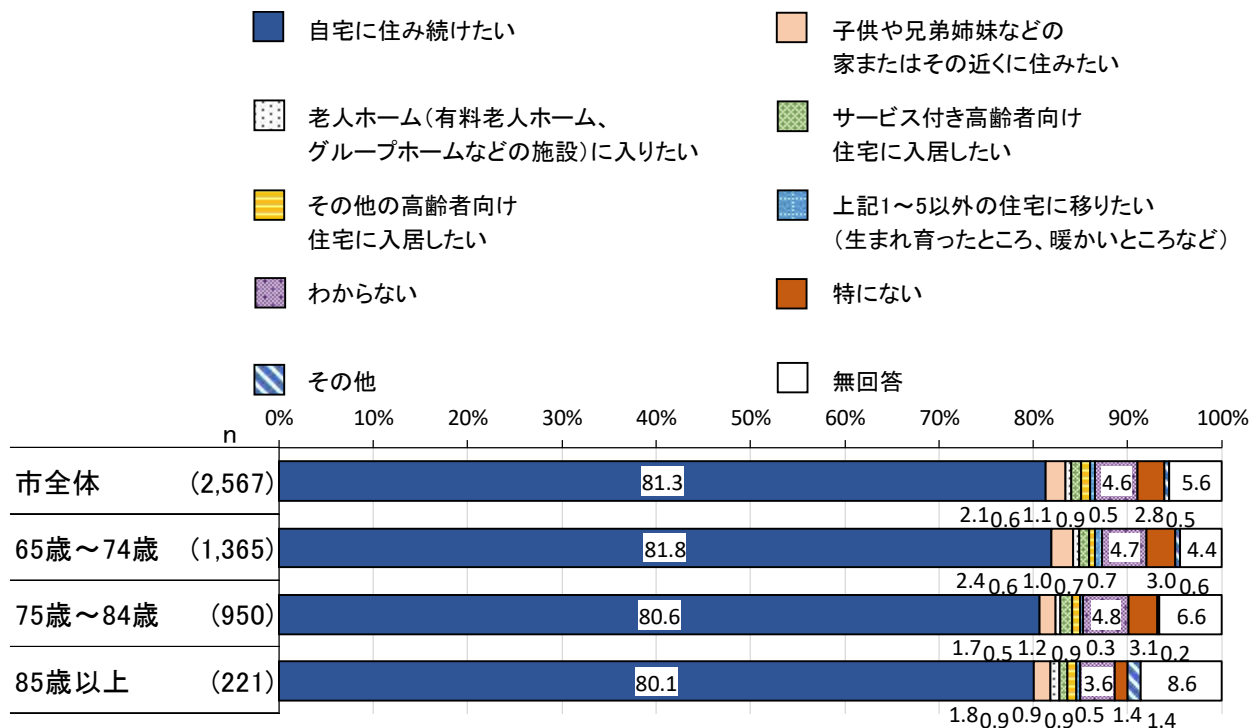


元気なうちの住まいの希望については、市全体では「自宅に住み続けたい」が最も多く、81.3%である。

地区別では、第1地区が79.8%、第2地区が81.0%、第3地区が82.4%となっている。

第2章 調査結果の詳細

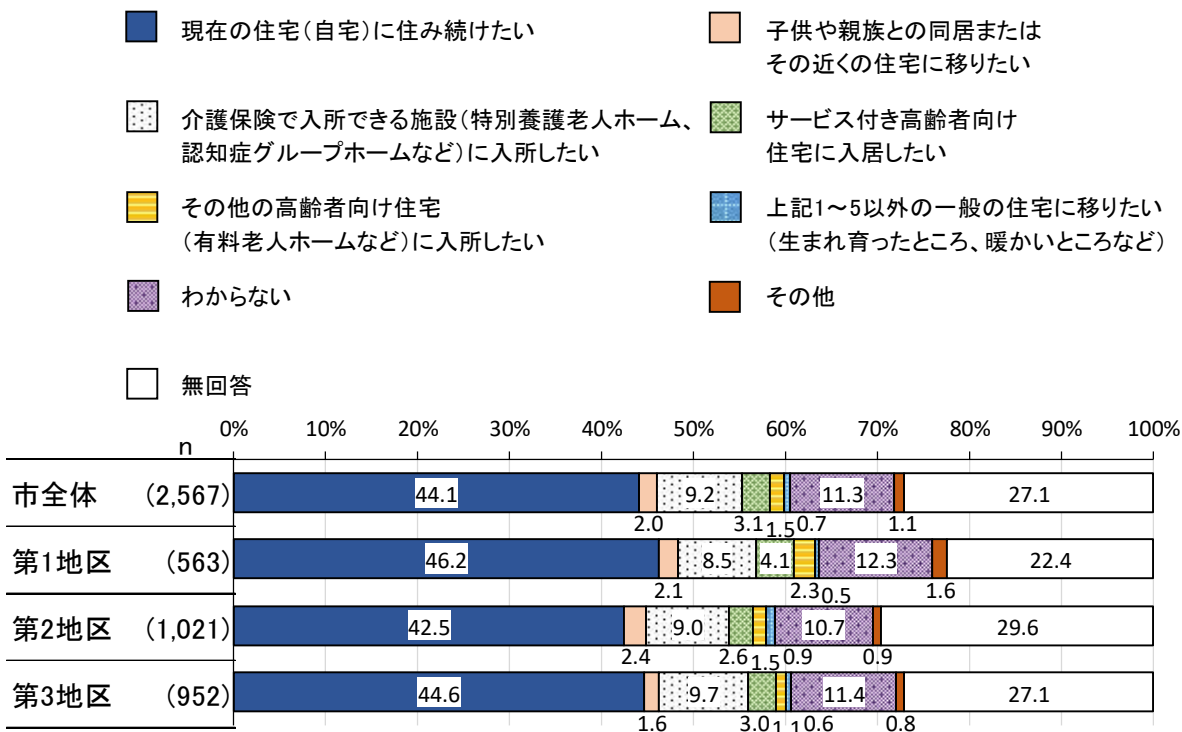
○年齢別



年齢別では、「自宅に住み続けたい」が65歳~74歳で81.8%、75歳~84歳で80.6%、85歳以上で80.1%となっている。

(4-1) 介護が必要になったとき

問9 (4-1) あなたは、介護が必要になったときは、どのようにしたいと思いますか
 ※現在介護を受けている方は、今後の希望をお答えください



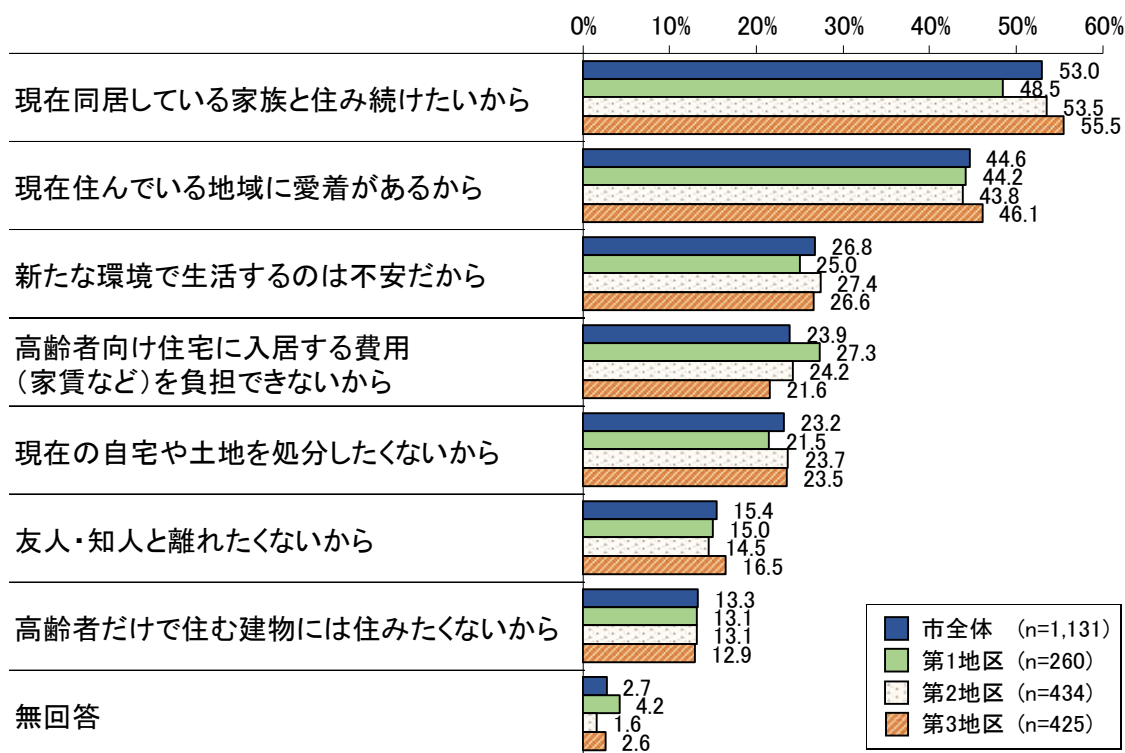
介護が必要になったときどのようにしたいかについては、市全体では「現在の住宅（自宅）に住み続けたい」が最も多く、44.1%である。

地区別では、第1地区が46.2%、第2地区が42.5%、第3地区が44.6%となっている。

(4-2) 自宅に住み続けたい理由

【(4-1)で「1.」を選んだ方へ】

問9 (4-2) 自宅に住み続けたい理由は何ですか (あてはまるものすべてに○)



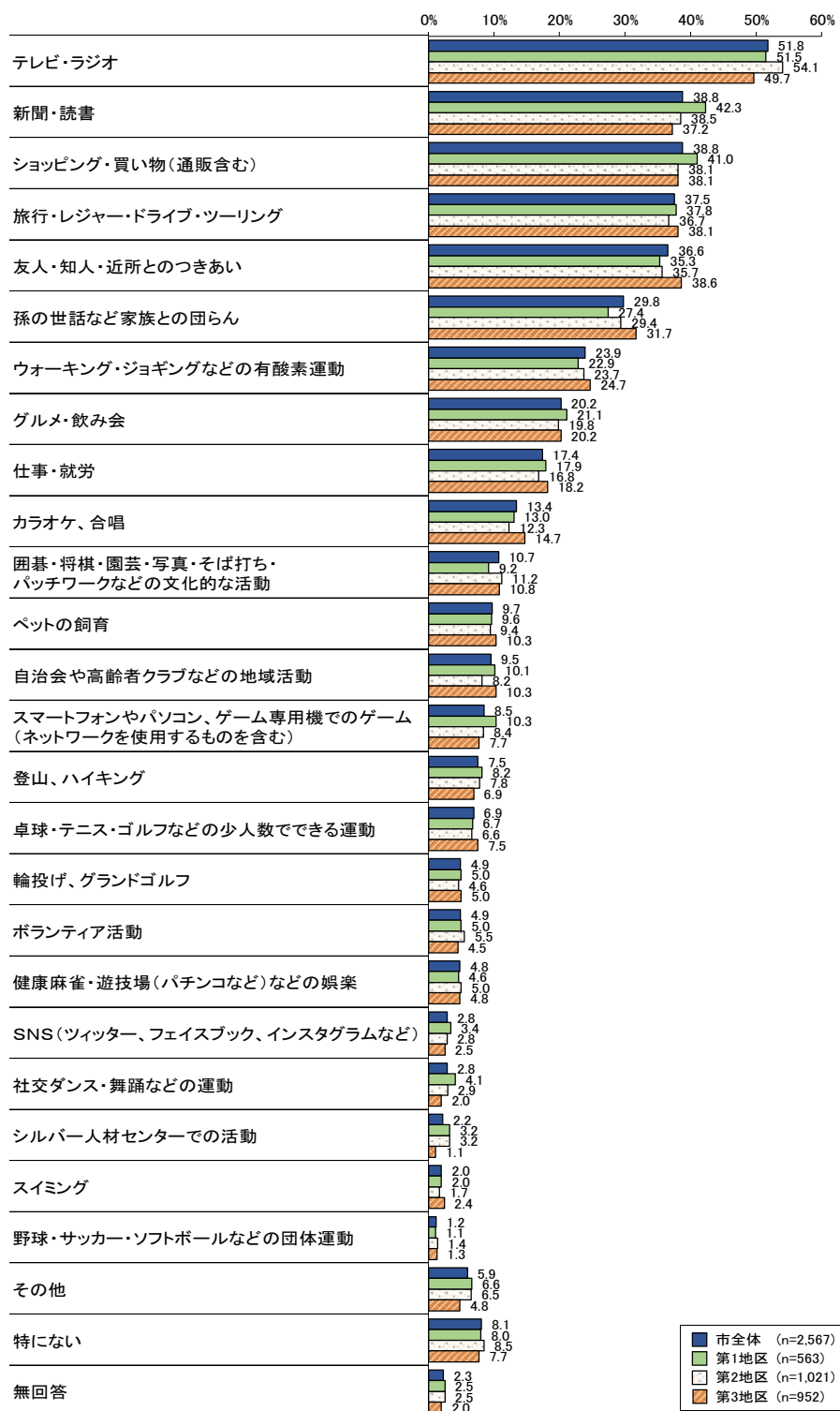
現在の住宅に住み続けたい理由は、市全体では「現在同居している家族と住み続けたいから」が53.0%で最も多い。

地区別では、どの地区も「現在同居している家族と住み続けたいから」が最も多く、第1地区が48.5%、第2地区が53.5%、第3地区が55.5%となっている。

10 生きがいや充実感、週1回以上の活動状況について

(1) どのようなことに生きがいを感じるか

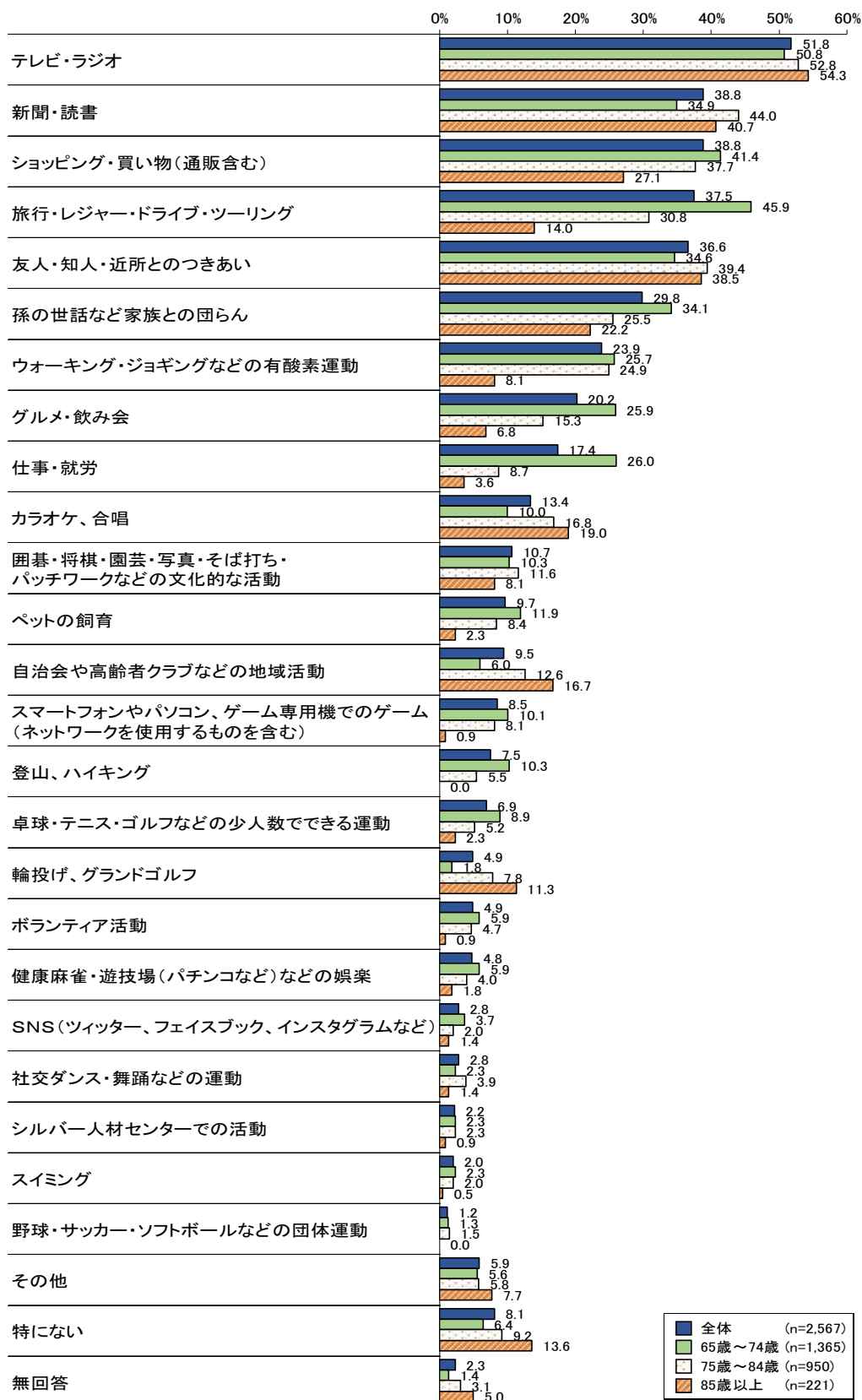
問10(1) あなたは、現在、どのようなことに生きがいを感じていますか
(あてはまるものすべてに○)



現在、どのようなことに生きがいを感じるかについては、市全体では「テレビ・ラジオ」が51.8%と最も高く、次いで「新聞・読書」「ショッピング・買い物(通販含む)」が各38.8%となった。地区別でも「テレビ・ラジオ」が最も高く、第1地区が51.5%、第2地区が54.1%、第3地区が49.7%となっている。

第2章 調査結果の詳細

○年齢別



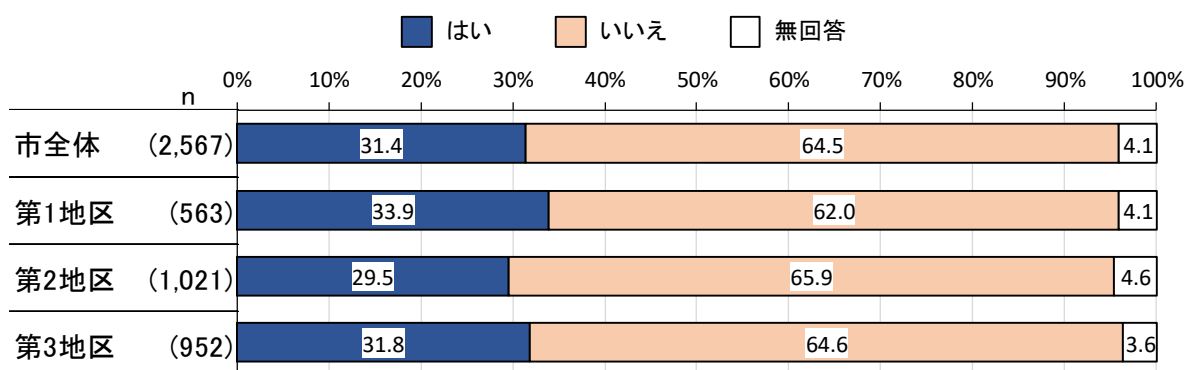
年齢別では、全ての年代で「テレビ・ラジオ」が最も高くなっている。

65歳~74歳では「旅行・レジャー・ドライブ・ツーリング」や「仕事・就労」などが他の年代に比べて高くなっており、85歳以上では「自治会や高齢者クラブなどの地域活動」、「輪投げ、グランドゴルフ」などで高くなっている。

「特にない」は65歳~74歳で5.6%、75歳~84歳で9.2%、85歳以上では13.6%と、年代が上がるごとに多くなっている。

(2-1) 所属する団体について

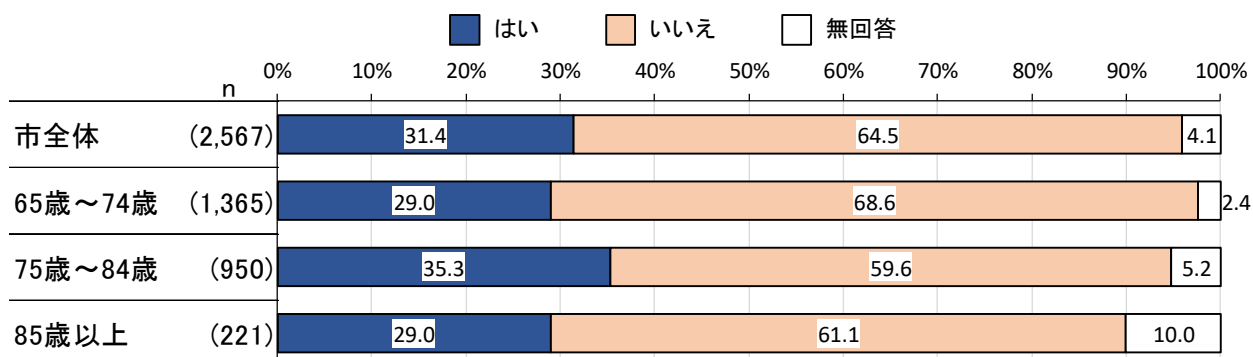
問10(2-1) あなたは、週に1回位で集まるような団体、サークル、クラブなど
(高齢者だけが所属しているかどうかに関りません)に所属していますか



週に1回位で集まるような団体に所属しているかについては、市全体では「はい」が31.4%、「いいえ」が64.5%である。

地区別では「はい」が、第1地区が33.9%、第2地区が29.5%、第3地区が31.8%となっている。

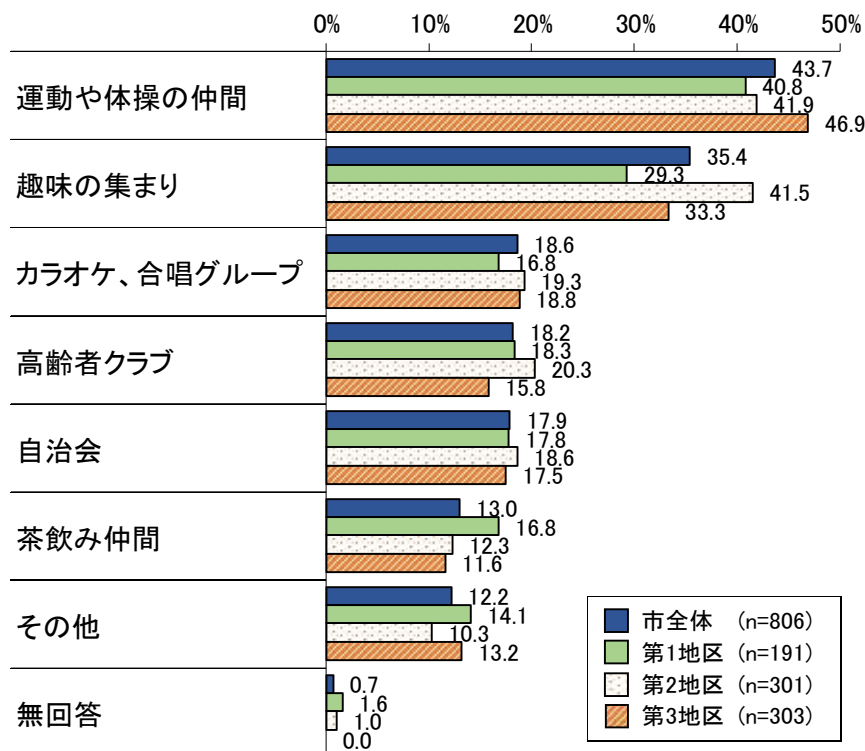
○年齢別



年齢別では「はい」が、65歳～74歳が29.0%、75歳～84歳が35.3%、85歳以上が29.0%となっている。

(2-2) 団体・活動の種類

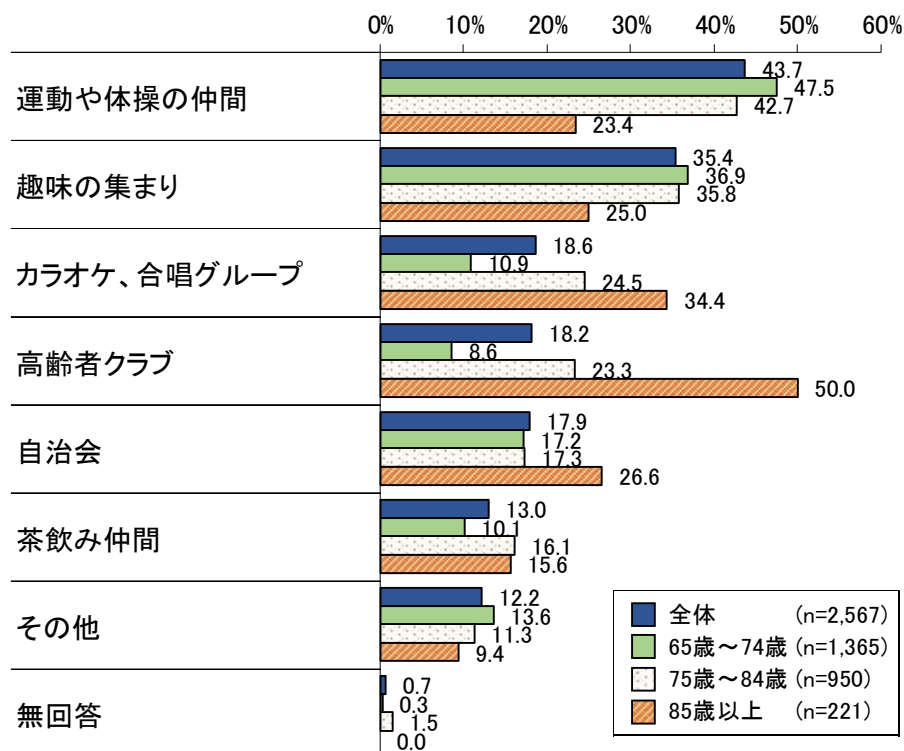
【(2-1)で「1. はい」とお答えした方のみ】
 問10(2-2) どんな団体、活動ですか(あてはまるものすべてに○)



所属する団体については、市全体では「運動や体操の仲間」(43.7%)、「趣味の集まり」(35.4%)、「カラオケ、合唱グループ」(18.6%)、「高齢者クラブ」(18.2%)、「自治会」(17.9%)、「茶飲み仲間」(13.0%)、「その他」(12.2%)となっている。

地区別では「運動や体操の仲間」が、第1地区が40.8%、第2地区が41.9%、第3地区が46.9%と最も多くなっている。

○年齢別

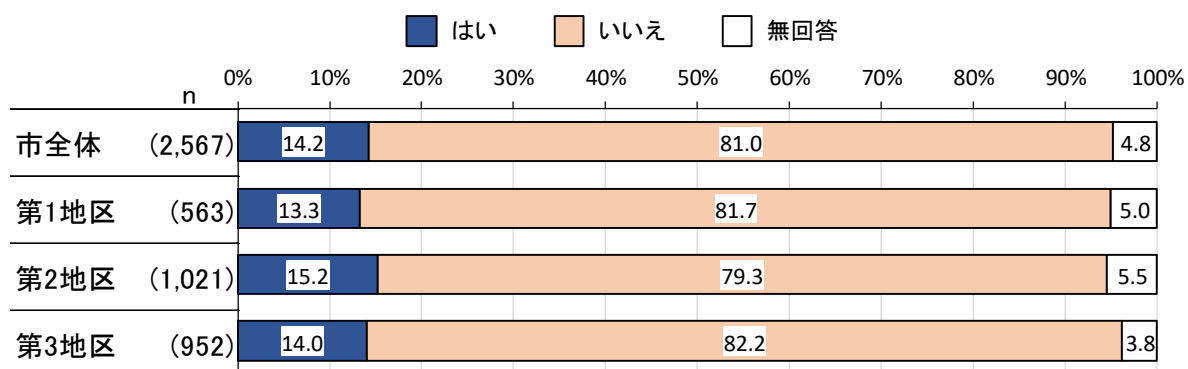


年齢別では、65歳～74歳で「運動や体操の仲間」、「趣味の集まり」、「自治会」が多く、75歳～84歳では「運動や体操の仲間」、「趣味の集まり」、「カラオケ、合唱グループ」、85歳以上では「高齢者クラブ」、「カラオケ、合唱グループ」、「自治会」が多くなっている。

11 ボランティア活動について

(1-1) ボランティア活動への参加状態

問 11 (1-1) あなたは、ここ最近、ボランティア活動をしたことがありますか



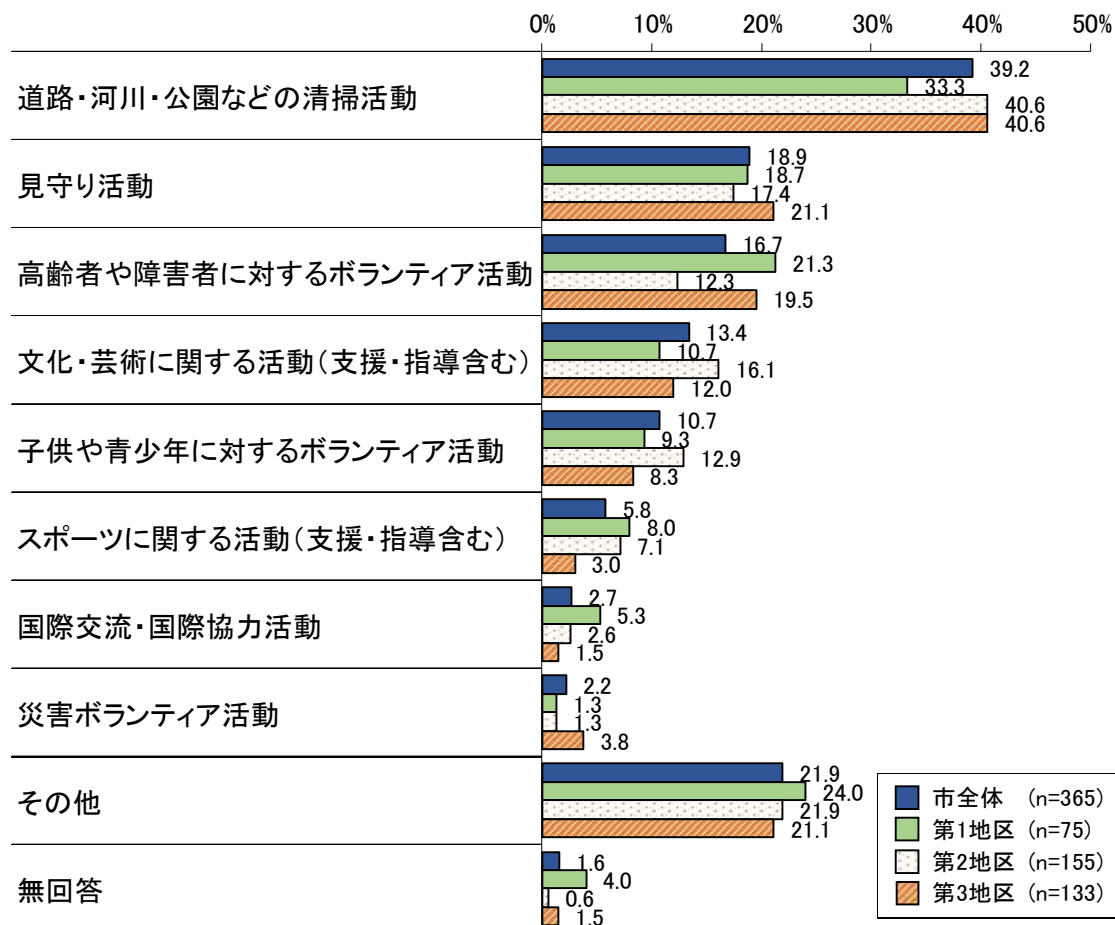
ここ最近のボランティア活動参加の有無については、市全体では「はい」が14.2%、「いいえ」が81.0%である。

地区別では「はい」が、第1地区が13.3%、第2地区が15.2%、第3地区が14.0%となっている。

(1-2) 活動の種類

【(1-1)で「1. はい」を選んだ方のみ】

問11(1-2) どんな活動ですか(あてはまるものすべてに○)



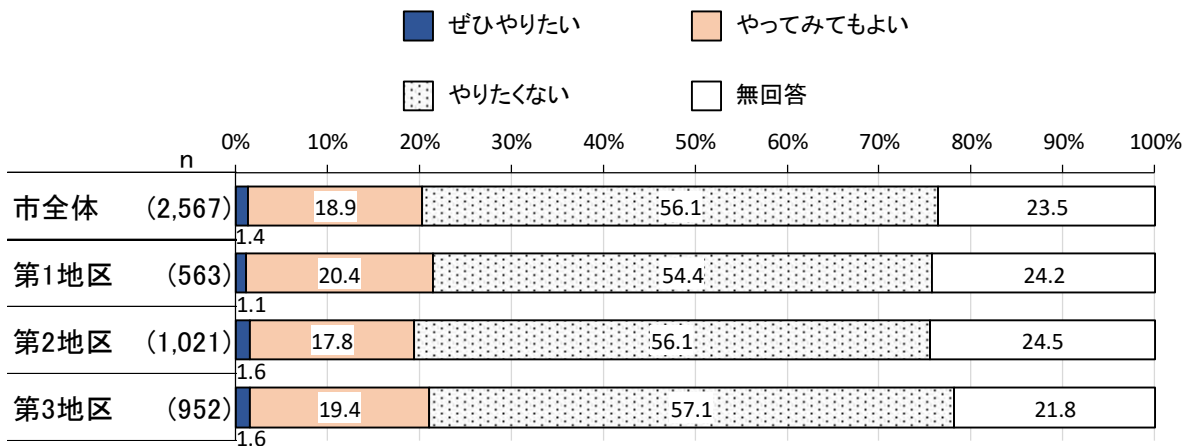
どんな活動かについては、市全体では「道路・河川・公園などの清掃活動」が39.2%と最も高く、続いて「見守り活動」(18.9%)、「高齢者や障害者に対するボランティア活動」(16.7%)の順となっている。

地区別ではいずれも「道路・河川・公園などの清掃活動」が最も高く、第1地区が33.3%、第2地区・第3地区がそれぞれ40.6%となっている。

第2章 調査結果の詳細

(2-1) 市の介護ボランティア制度への関心

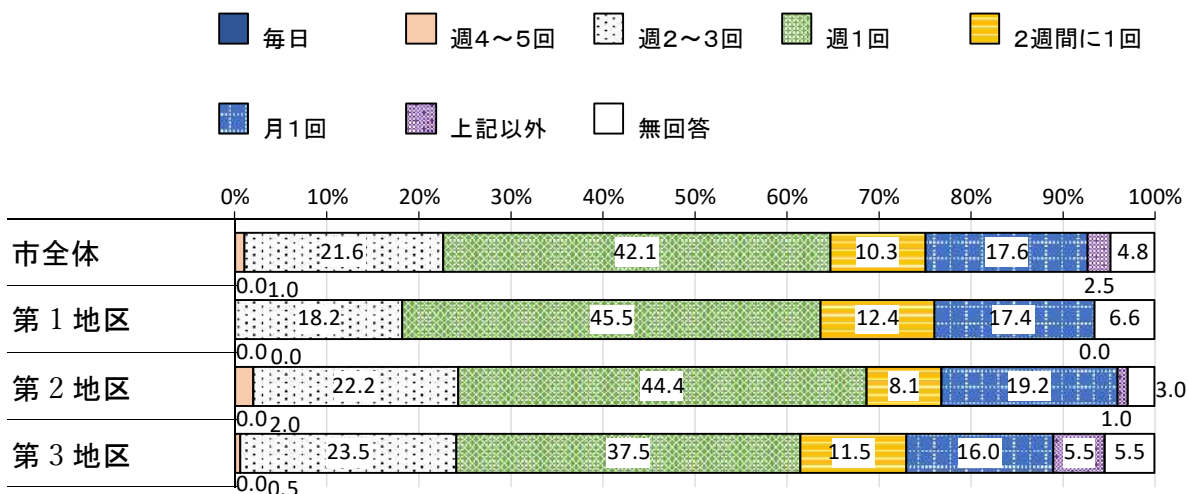
問11(2-1) 市では介護ボランティア制度の導入を検討しています。あなたは、活動してみたいですか



市の介護ボランティア制度への関心については、市全体では「ぜひやりたい」「やってみてもよい」を合わせた《やりたい》が20.3%となった。一方で「やりたくない」は56.1%となっている。

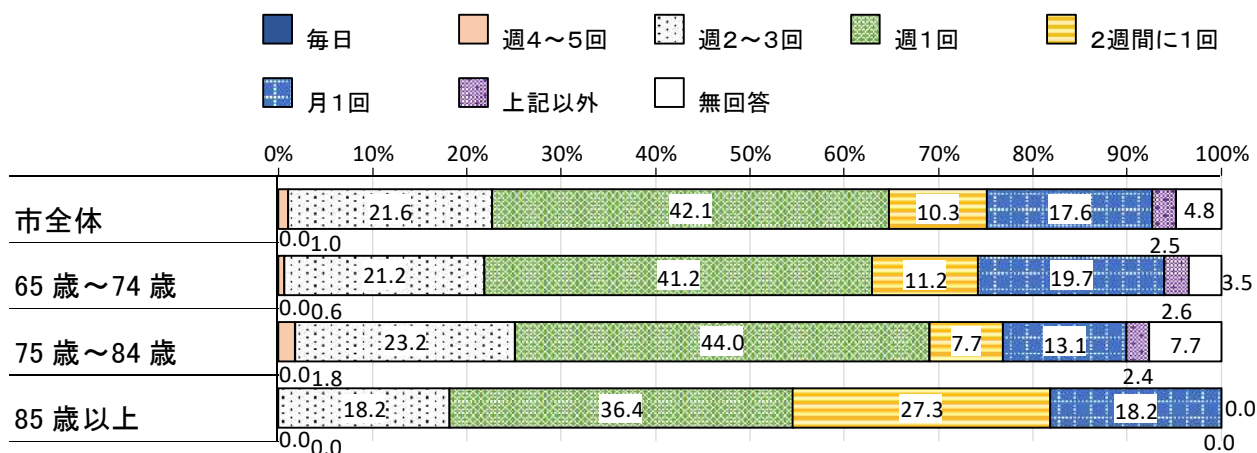
(2-2) 活動の頻度

【(2-1)で「1」または「2」を選んだ方にお聞きします】
問11(2-2) 介護ボランティアをするにあたり、活動頻度はどのくらいがよいですか



活動の頻度については、市全体では「週1回」が42.1%と最も高く、続いて「週2~3回」が21.6%となっている。

○年齢別

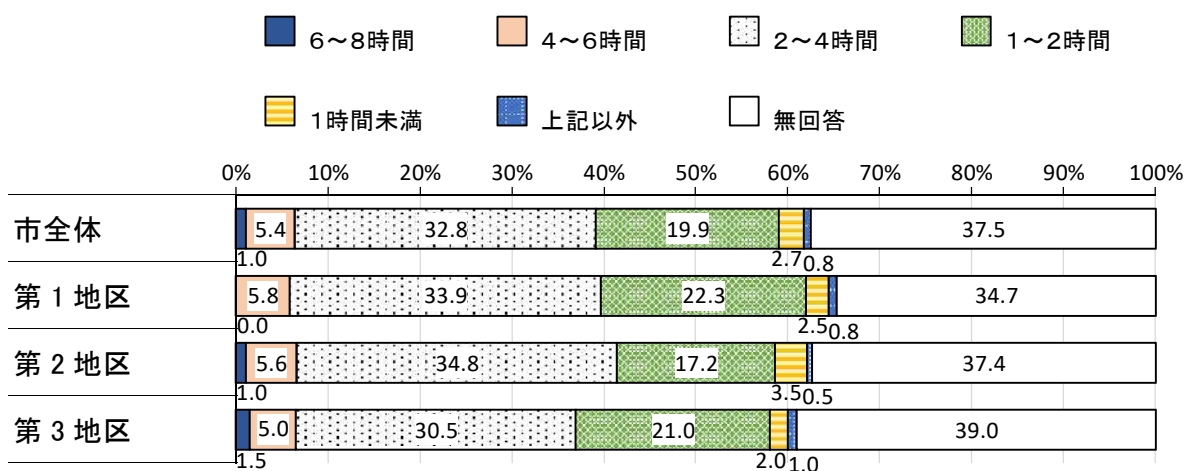


年齢別では、「週1回」の75歳～84歳が44.0%と最も高く、次いで、65歳～74歳が41.2%、85歳以上が36.4%の順となっている。

(2-3) 活動の時間

【(2-1)で「1」または「2」を選んだ方にお聞きします】

問11(2-3) 介護ボランティアの1回あたりの時間はどのくらいがよいですか



活動の時間については、市全体では「2～4時間」が32.8%と最も高く、次いで「1～2時間」(19.9%)、「4～6時間」(5.4%)の順となっている。

第2章 調査結果の詳細

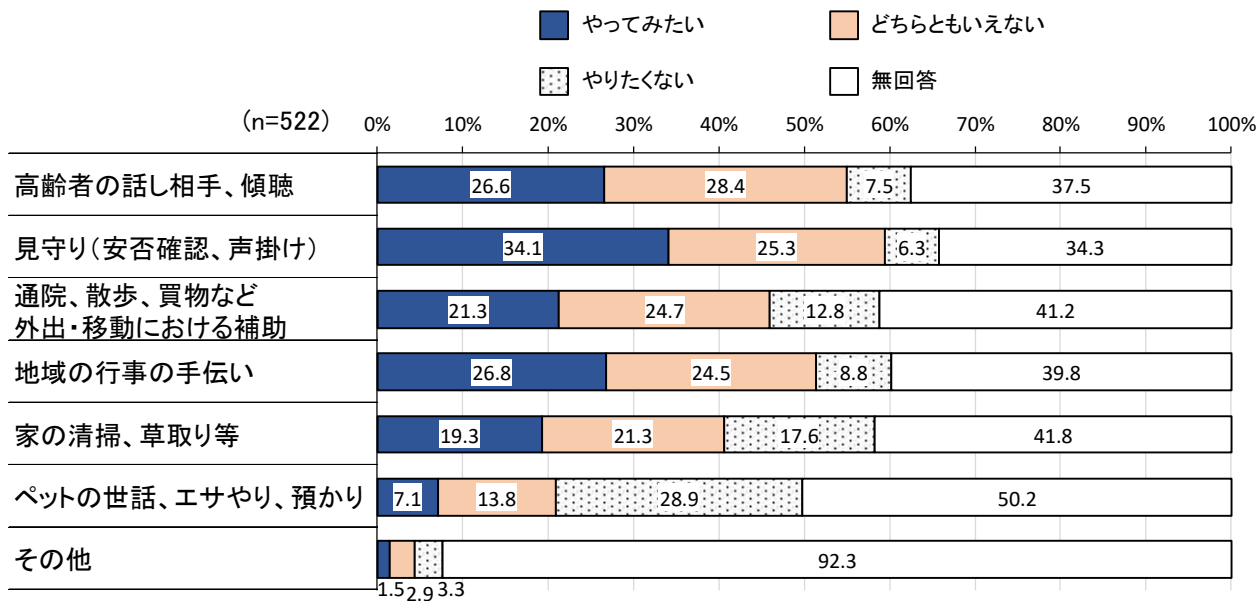
(2-4) 活動の内容

【(2-1)で「1」または「2」を選んだ方にお聞きします】

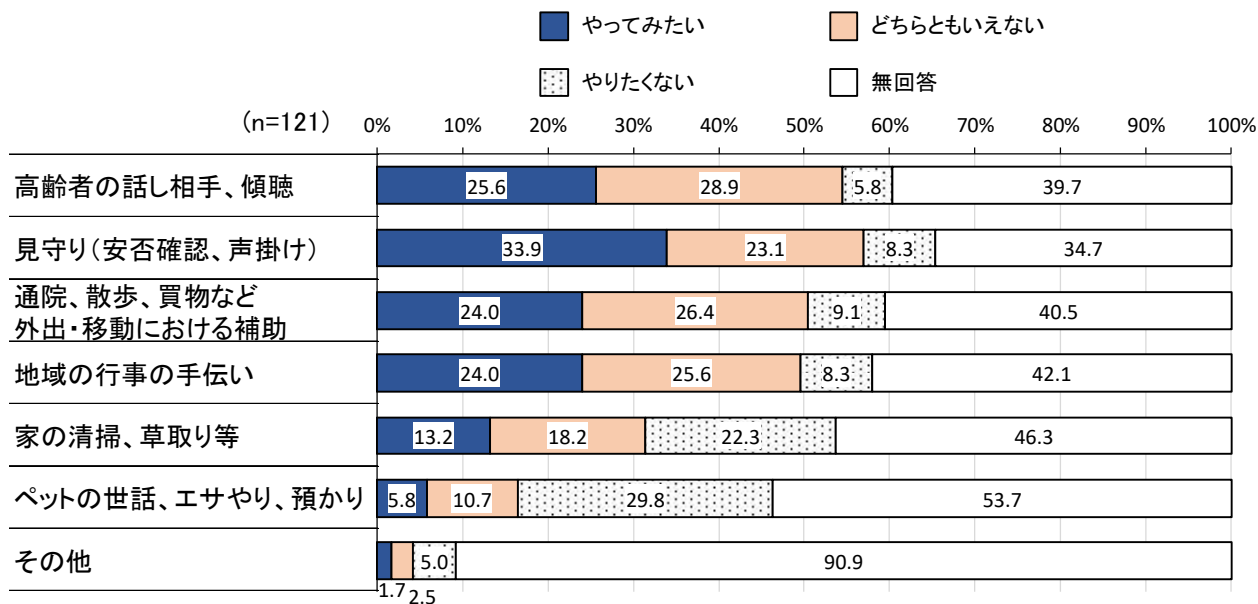
問11(2-4) やってみたい介護ボランティアの内容はありますか

【在宅の高齢者へのボランティア活動】

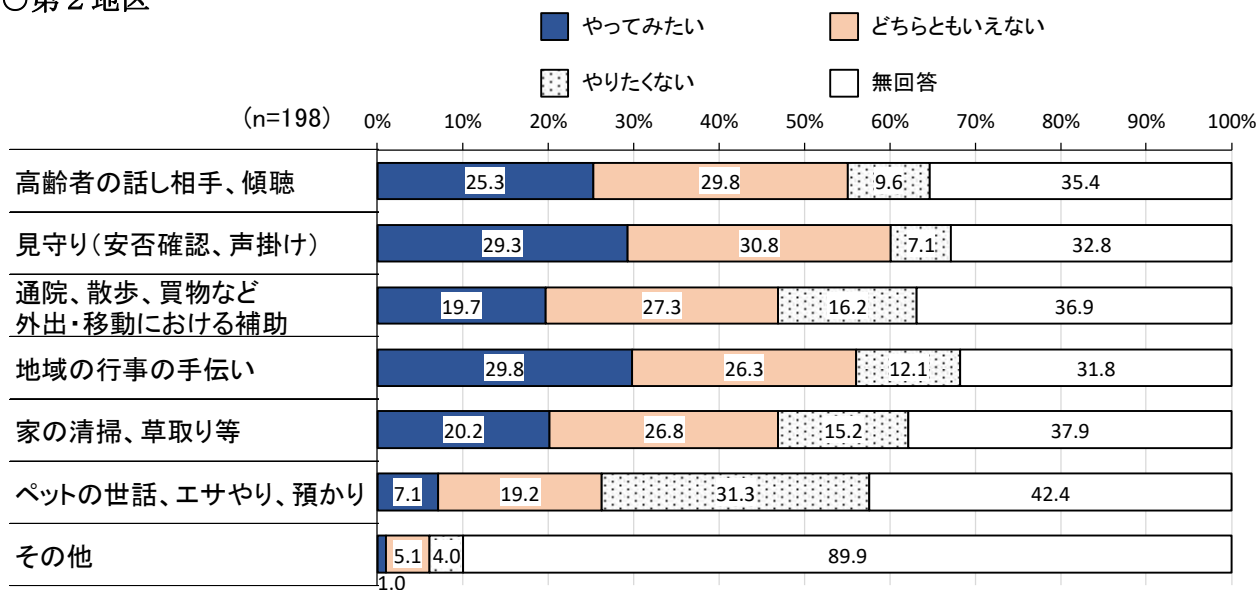
○市全体



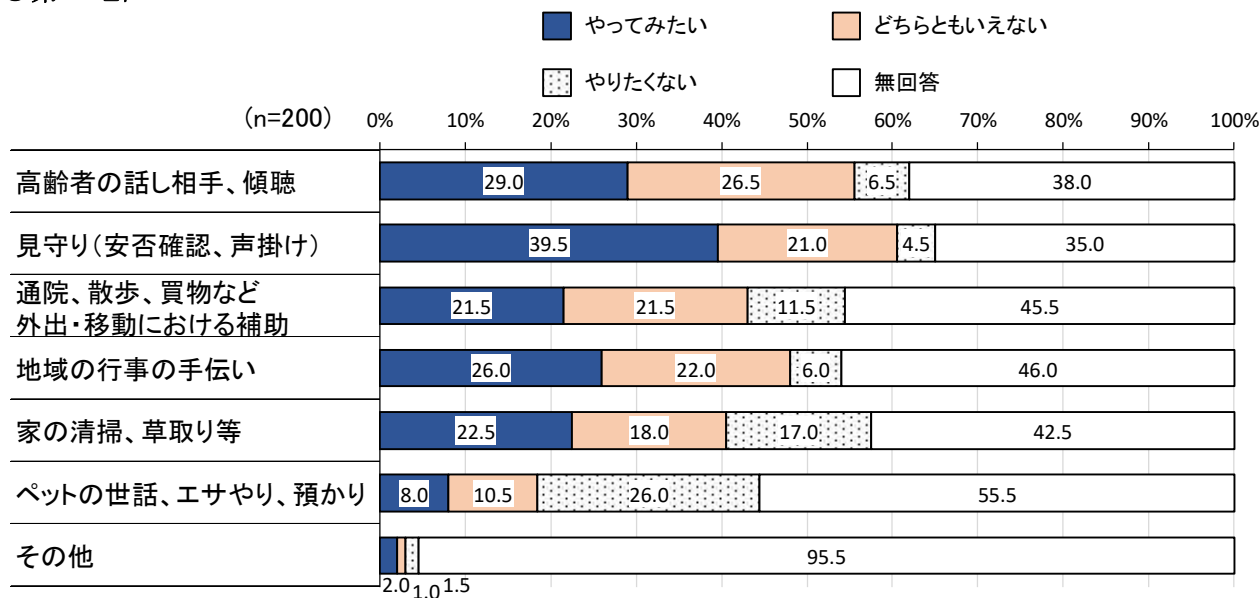
○第1地区



○第2地区



○第3地区



第2章 調査結果の詳細

○在宅の高齢者へのボランティア活動について

在宅の高齢者へのボランティア活動でやってみたい内容については、市全体では「見守り（安否確認、声掛け）」が34.1%と最も多く、続いて「地域の行事の手伝い」（26.8%）、「高齢者の話し相手、傾聴」（26.6%）となっている。

一方、やりたくない内容としては、「ペットの世話、エサやり、預かり」が28.9%で最も多い。

第1地区では、やってみたい活動の内容では、「見守り（安否確認、声掛け）」が33.9%と最も多く、続いて「高齢者の話し相手、傾聴」（25.6%）、「通院、散歩、買い物など外出・移動における補助」「地域の行事の手伝い」（各24.0%）となっている。

やりたくない内容としては、「ペットの世話、エサやり、預かり」が29.8%で最も多い。

第2地区では、やってみたい活動の内容では、「地域の行事の手伝い」が33.9%と最も多く、続いて「見守り（安否確認、声掛け）」（29.3%）、「高齢者の話し相手、傾聴」（25.3%）となっている。

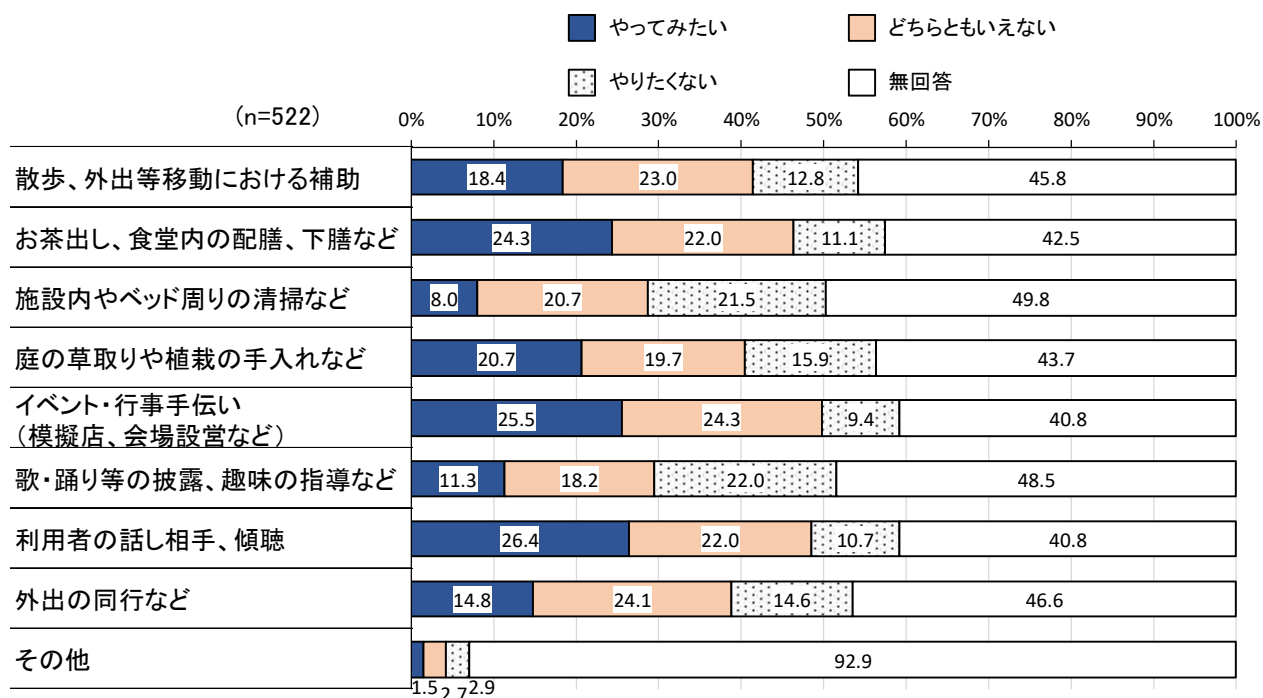
やりたくない内容としては、「ペットの世話、エサやり、預かり」が31.3%で最も多い。

第3地区では、やってみたい活動の内容では、「見守り（安否確認、声掛け）」が39.5%と最も多く、続いて「高齢者の話し相手、傾聴」（29.0%）、「地域の行事の手伝い」（26.0%）となっている。

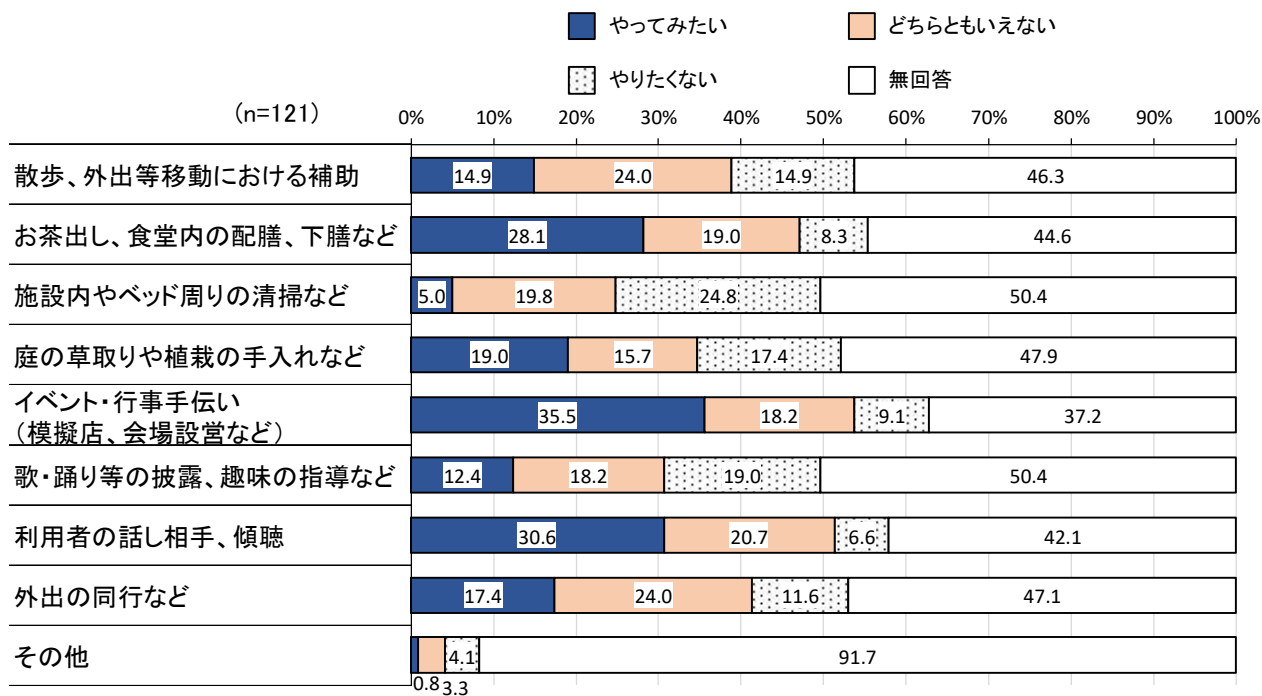
やりたくない内容としては、「ペットの世話、エサやり、預かり」が26.0%で最も多い。

【介護施設でのボランティア活動】

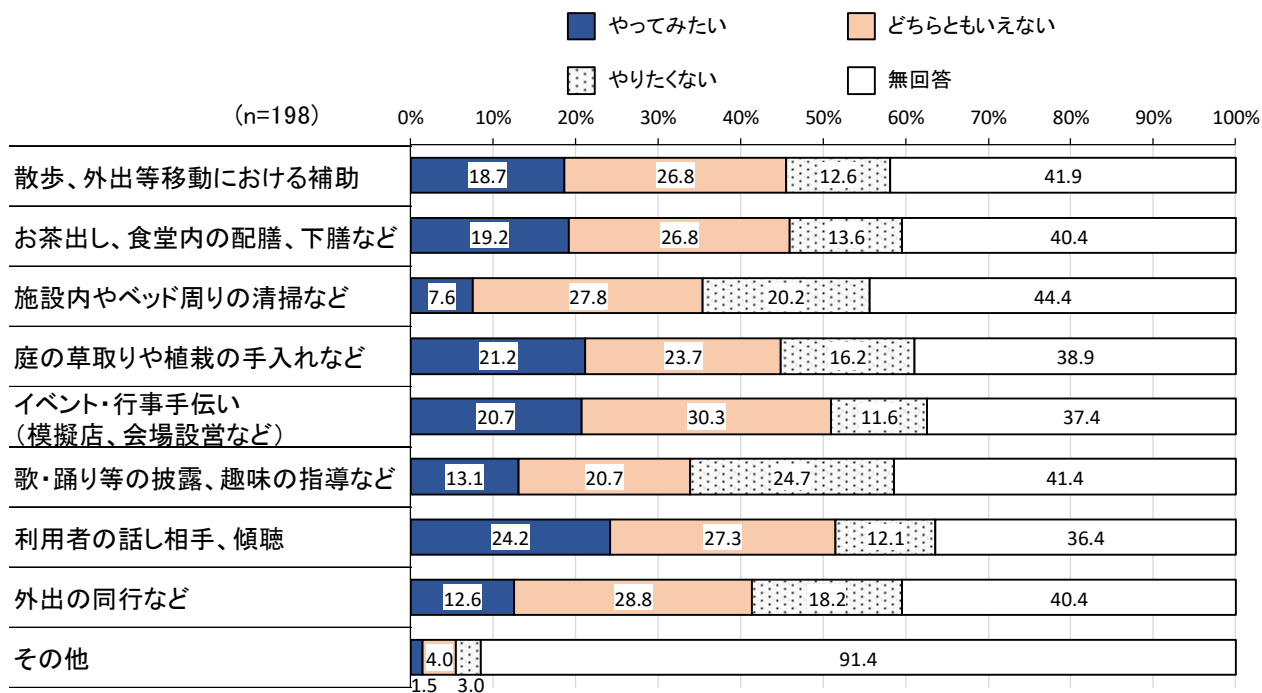
○市全体



○第1地区

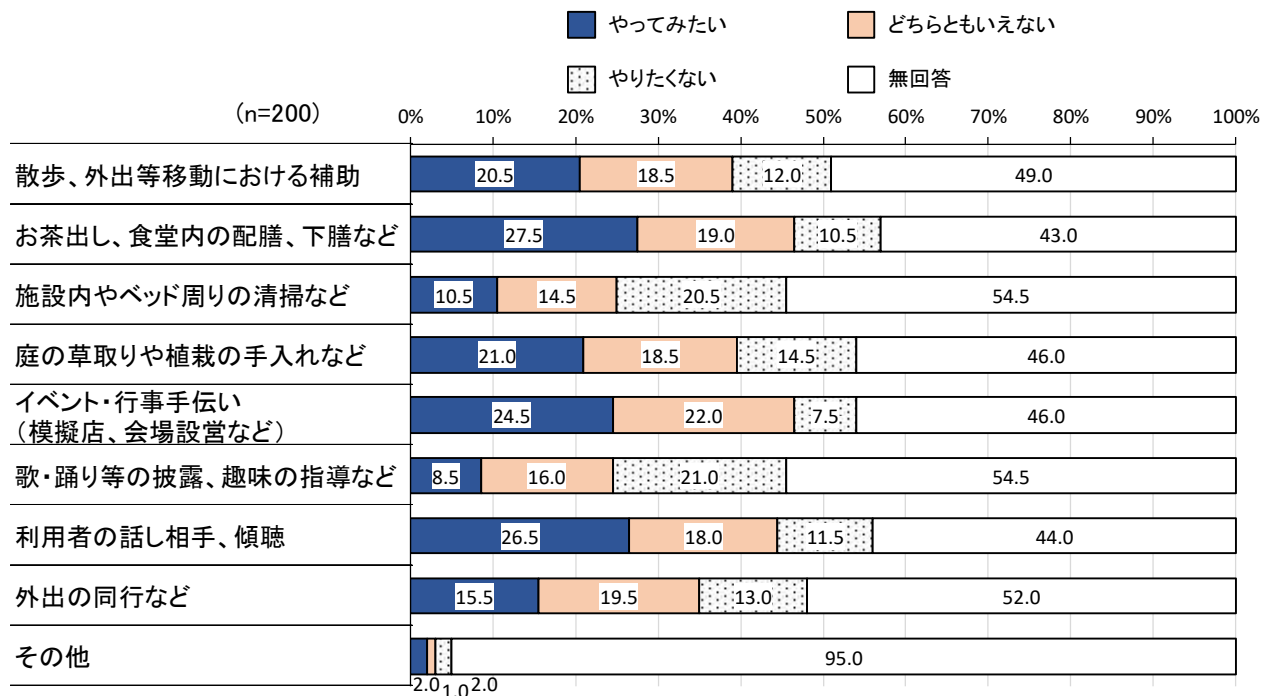


○第2地区



第2章 調査結果の詳細

○第3地区



○介護施設でのボランティア活動について

介護施設でのボランティア活動でやりたい内容については、市全体では「利用者の話し相手、傾聴」が26.4%と最も多く、続いて「イベント・行事手伝い（模擬店、会場設営など）」（25.5%）、「お茶出し、食堂内の配膳、下膳など」（24.3%）となっている。

一方、やりたくない内容としては、「歌・踊り等の披露、趣味の指導など」が22.0%で最も多い。

第1地区では、やりたい内容は、「イベント・行事手伝い（模擬店、会場設営など）」が35.5%と最も多く、続いて「利用者の話し相手、傾聴」（30.6%）、「お茶出し、食堂内の配膳、下膳など」（28.1%）となっている。

やりたくない内容は、「施設内やベッド周りの清掃など」が24.8%で最も多い。

第2地区では、やりたい内容は、「利用者の話し相手、傾聴」が24.2%と最も多く、続いて「庭の草取りや植栽の手入れなど」（21.2%）、「イベント・行事手伝い（模擬店、会場設営など）」（20.7%）となっている。

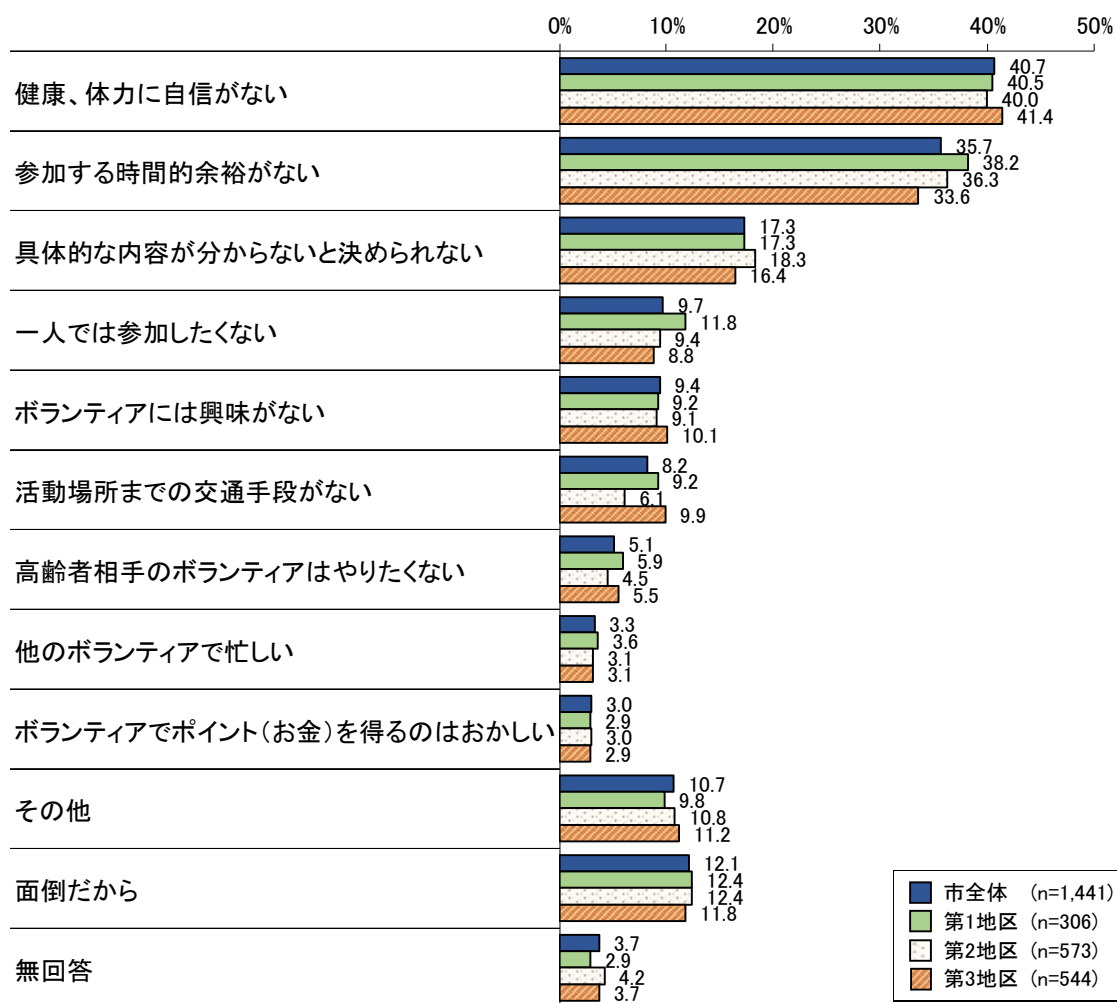
やりたくない内容は、「歌・踊り等の披露、趣味の指導など」が24.7%で最も多い。

第3地区では、やりたい内容は、「お茶出し、食堂内の配膳、下膳など」が27.5%で最も多く、続いて「利用者の話し相手、傾聴」（26.5%）、「イベント・行事手伝い（模擬店、会場設営など）」（24.5%）となっている。

やりたくない内容は、「歌・踊り等の披露、趣味の指導など」が21.0%で最も多い。

(2-5) やりたくない理由

【(2-1)で「3. 介護ボランティアはやりたくない」を選んだ方にお聞きします】
 問11 (2-5) やりたくない理由は、次のどれですか (〇は3つまで)

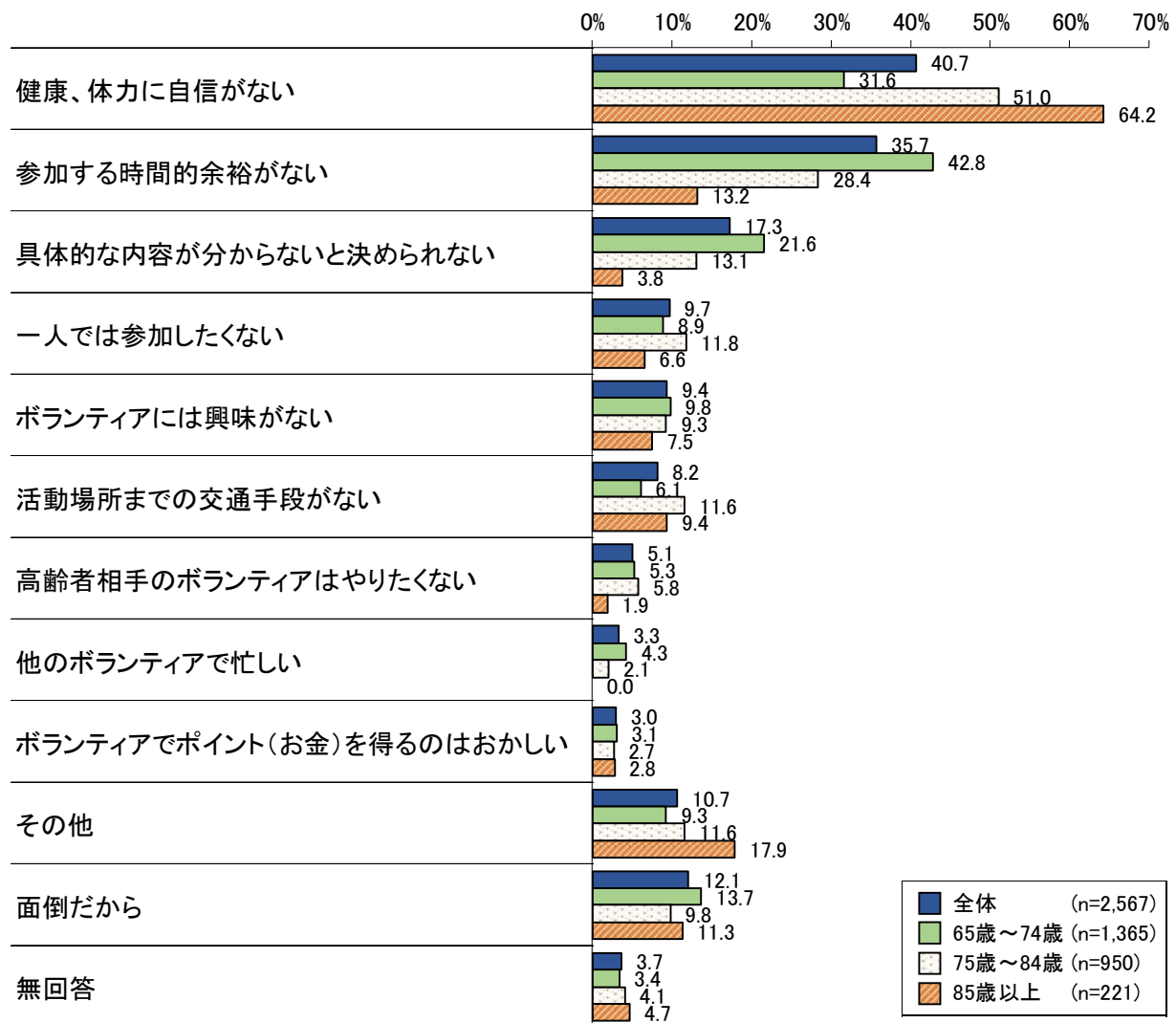


やりたくない理由については、市全体では「健康、体力に自信がない」の割合が40.7%と最も高く、次いで「参加する時間的余裕がない」(35.7%)、「具体的な内容が分からないと決められない」(17.3%)の順となっている。

また、どの地区も「健康・体力に自信がない」が4割を超える結果となっている。

第2章 調査結果の詳細

○年齢別



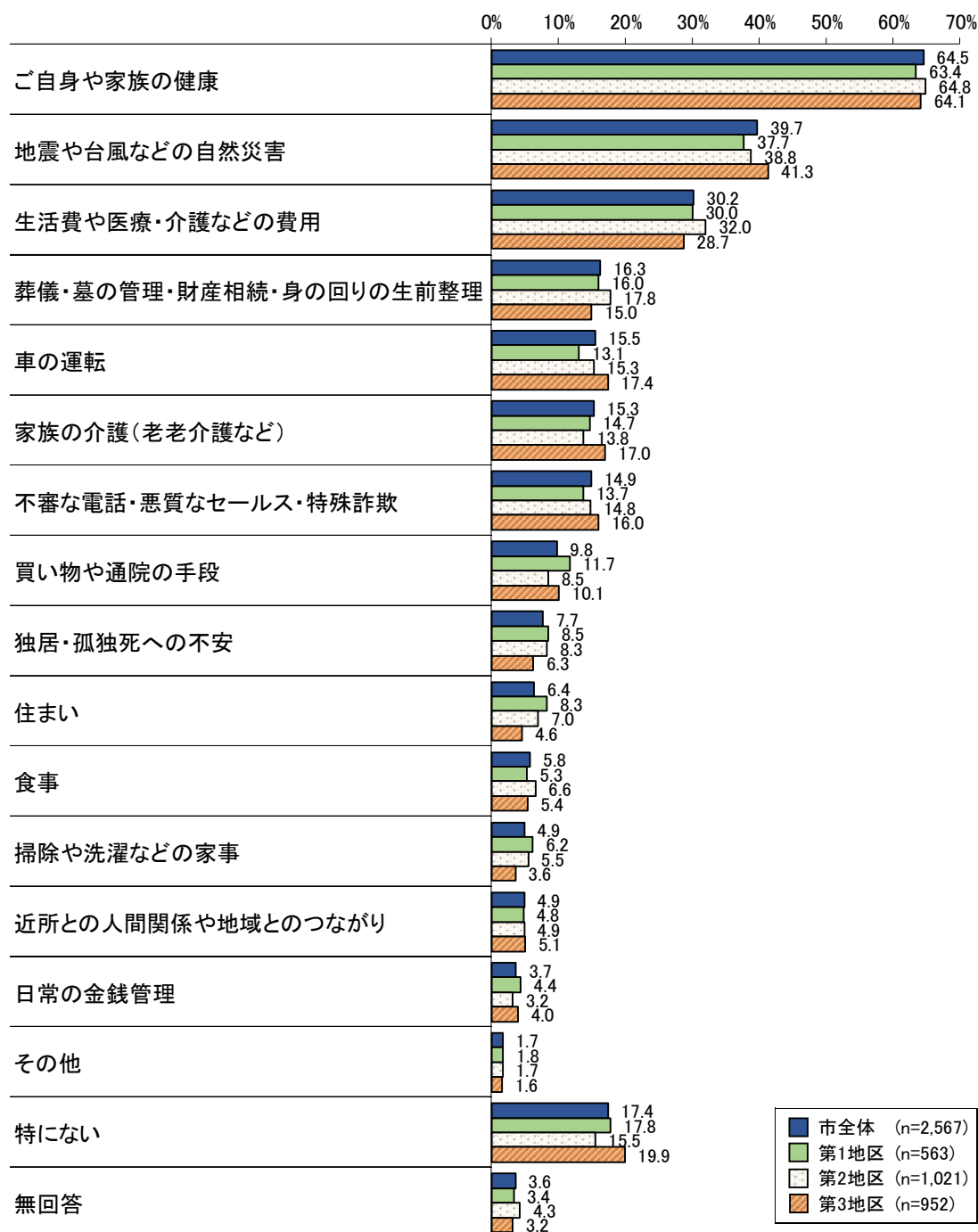
年齢別では、「健康、体力に自信がない」で85歳以上が64.2%と最も高く、次いで、75歳～84歳が51.0%、65歳～74歳が31.6%の順となっている。

65歳～74歳では「参加する時間的余裕がない」や「具体的な内容が分からないと決められない」などで、他の年代に比べて高くなっている。

12 日常生活での不安・心配について

(1) 不安を感じたり心配になること

問12(1) あなたには、現在日常生活で困っていること、不安に感じていることはありますか（あてはまるものすべてに○）

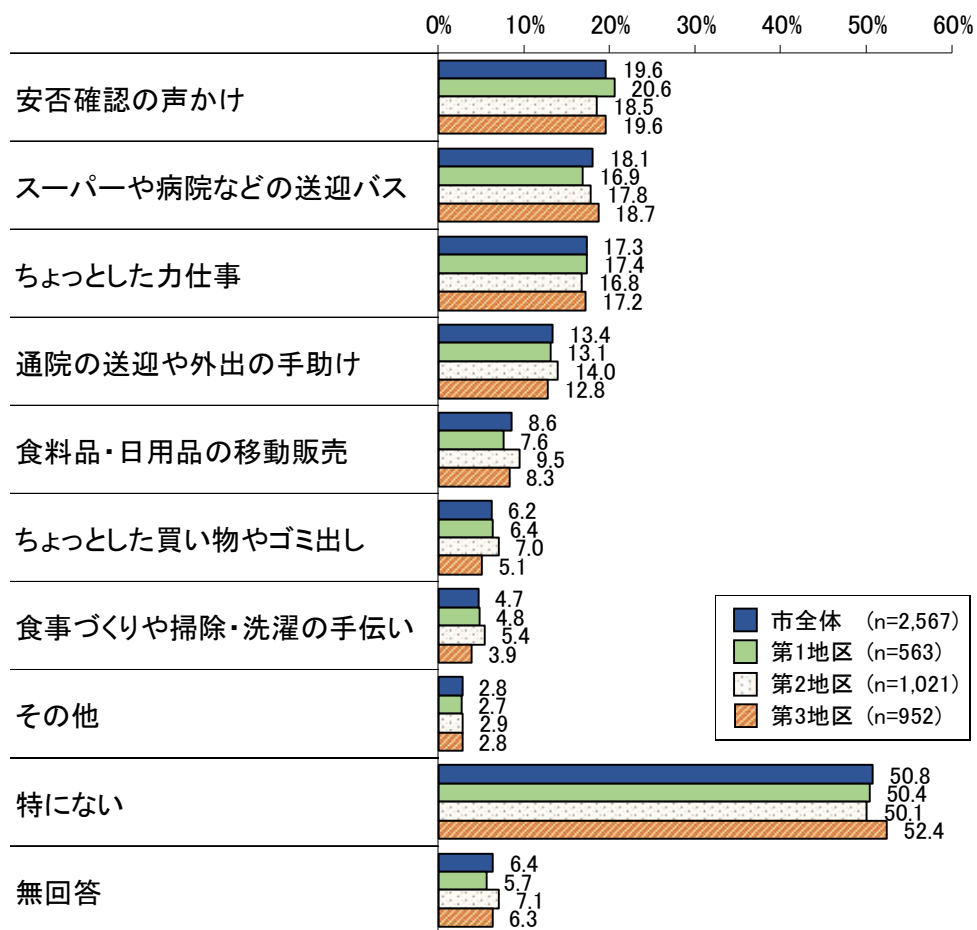


日常生活の中で不安を感じたり心配になったりすることは、市全体では「ご自身や家族の健康」が64.5%で最も多い。

地区別でも、いずれの地区も「ご自身や家族の健康」が最も多く、第1地区が63.4%、第2地区が64.8%、第3地区が64.1%となっている。

(2) どのような手助けがあればよいか

問12(2) 現在のお住まいで生活を続けていく上で、地域でどのような手助けがあれば助かるとお思いますか（あてはまるものすべてに○）



現在の住居で生活を続けていく上であれば助かると思うことは、市全体では「安否確認の声かけ」が19.6%で最も多く、次いで「スーパーや病院などの送迎バス」（18.1%）、「ちょっとした力仕事」（17.3%）の順となっている。

一方、「特にない」は50.8%である。

地区別では、いずれの地区も「安否確認の声かけ」が最も多く、第1地区は20.6%、第2地区は18.5%、第3地区は19.6%となっている。

○年齢別、家族構成別、健康状態別

(件、%)

		調査数	安否確認の声かけ	ちよつとした買い物やゴミ出し	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	ちよつとした力仕事	通院の送迎や外出の手助け	スーパーや病院などの送迎バス	食料品・日用品の移動販売	その他	特にない	無回答
全体		2,567	19.6	6.2	4.7	17.3	13.4	18.1	8.6	2.8	50.8	6.4
年齢別	65歳～74歳	1,365	17.3	5.8	3.7	16.5	11.9	16.1	7.8	2.6	55.7	4.3
	75歳～84歳	950	21.5	6.1	4.6	17.9	14.2	20.2	8.9	3.4	46.8	8.4
	85歳以上	221	23.5	8.6	10.9	17.6	19.0	19.5	12.2	2.3	40.7	11.3
家族構成別	1人暮らし	482	25.3	6.2	6.2	25.9	10.8	14.1	7.9	3.9	43.2	6.8
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	1,014	20.4	6.3	5.0	17.2	15.9	22.5	10.0	2.8	47.4	5.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	117	14.5	1.7	0.0	8.5	6.8	13.7	5.1	3.4	61.5	8.5
	息子・娘との2世帯	383	13.8	6.3	4.4	13.8	11.2	14.9	7.6	1.6	57.7	7.3
	その他	468	18.4	6.8	3.4	14.1	13.5	16.5	8.8	3.2	58.5	4.5
居住地区別	青梅地区	244	22.5	5.3	4.5	15.2	14.8	22.1	12.7	44.7	4.5	6.1
	東青梅地区	319	19.1	7.2	5.0	19.1	11.9	12.9	3.8	54.9	1.3	5.3
	長淵地区	392	16.6	6.1	3.6	16.8	14.5	19.4	8.9	51.5	2.6	5.1
	梅郷地区	235	20.4	6.0	5.5	15.7	11.5	14.9	8.9	51.5	2.1	9.4
	沢井地区	100	15.0	5.0	3.0	19.0	24.0	28.0	22.0	40.0	1.0	9.0
	河辺地区	294	20.7	9.5	8.5	17.0	11.9	14.6	6.5	50.7	4.8	7.1
	大門地区	325	20.6	4.0	4.0	17.8	12.3	16.0	7.1	53.2	2.5	6.2
	小曾木地区	95	20.0	6.3	0.0	12.6	14.7	26.3	22.1	43.2	4.2	6.3
	成木地区	49	18.4	4.1	4.1	10.2	16.3	20.4	16.3	53.1	2.0	8.2
	新町地区	284	20.4	7.7	5.3	20.8	14.4	19.4	5.6	53.9	2.8	4.9
	今井地区	199	17.1	3.0	3.5	15.1	9.5	18.1	5.5	53.3	3.0	8.0
健康状態別	とてもよい	308	16.9	4.9	1.9	14.6	8.1	15.9	8.4	2.9	61.0	3.6
	まあよい	1,734	20.2	5.8	3.7	16.2	12.2	17.3	8.4	2.5	52.7	6.3
	あまりよくない	415	18.6	8.4	9.4	22.2	20.0	21.2	8.4	3.9	41.0	6.7
	よくない	54	29.6	13.0	16.7	27.8	35.2	33.3	25.9	1.9	18.5	13.0

第2章 調査結果の詳細

年齢別では、「特にない」は、65歳～74歳で55.7%、75歳以上で46.8%、85歳以上で40.7%となっている。

家族構成別では、「安否確認の声かけ」は、1人暮らしでは25.3%、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）では20.4%、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では14.5%、息子・娘との2世帯では13.8%となっている。また、「特にない」は、1人暮らしでは43.2%、

夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）では47.4%、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では61.5%、息子・娘との2世帯では57.7%となっている。

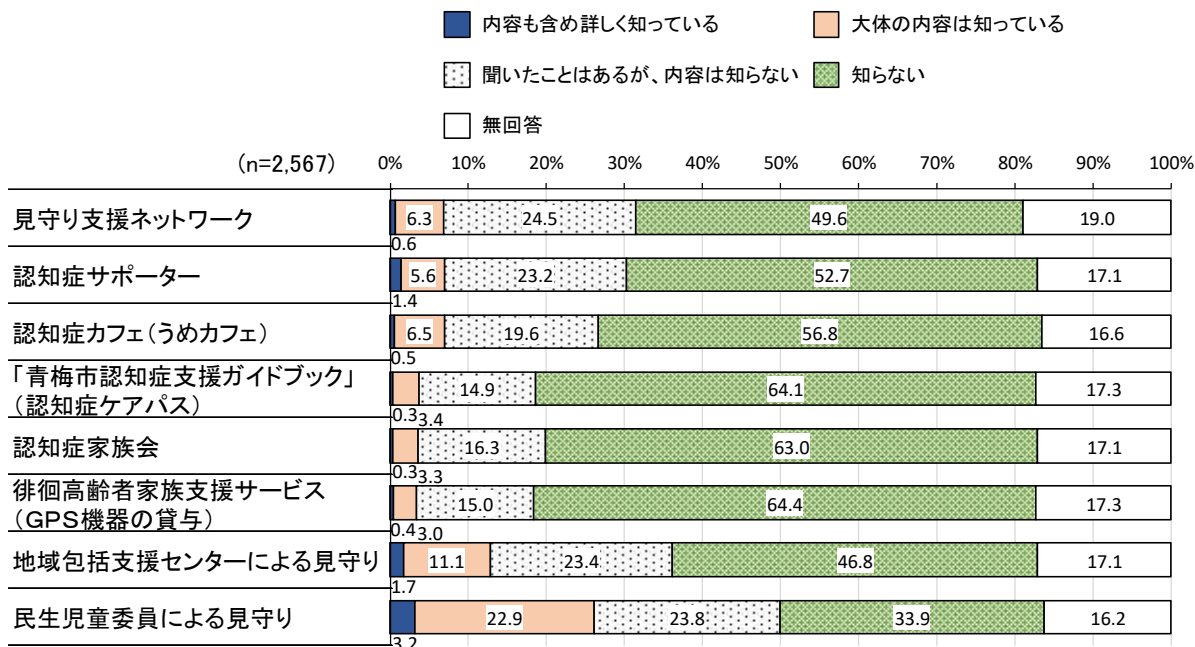
健康状態別では、「特にない」は、健康状態がとてもよい人では61.0%、まあよい人では52.7%、あまりよくない人では41.0%、よくない人では18.5%となっている。

13 認知症の対策について

(1) 市の認知症の対策とその認知状況

問 13 (1) 現在、市では、次の事業を行っていますが、以下について該当するものを選んでください（それぞれ○は1つ）

○市全体

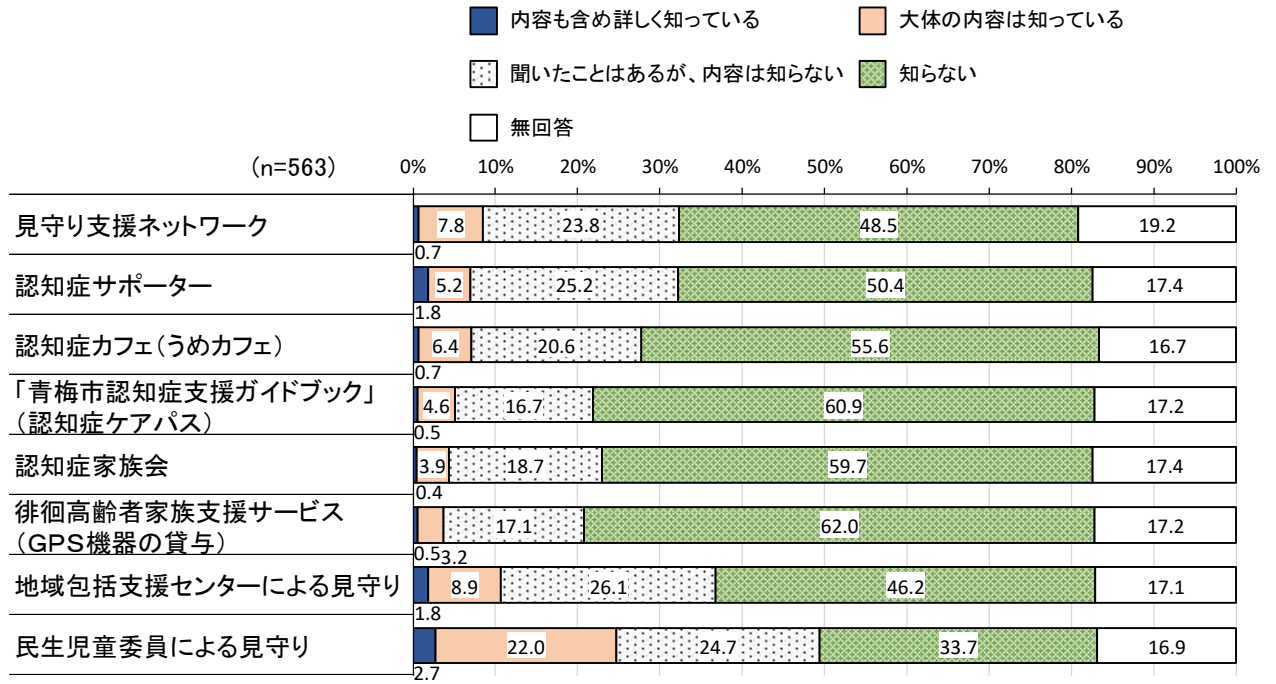


市全体では、【民生児童委員による見守り】が「内容も含め詳しく知っている」割合が3.2%で最も多く、「大体の内容は知っている」を合わせた《知っている》の割合は26.1%となっている。

一方、「知らない」割合は、【徘徊高齢者家族支援サービス（GPS機器の貸与）】が64.4%で最も多い。

第2章 調査結果の詳細

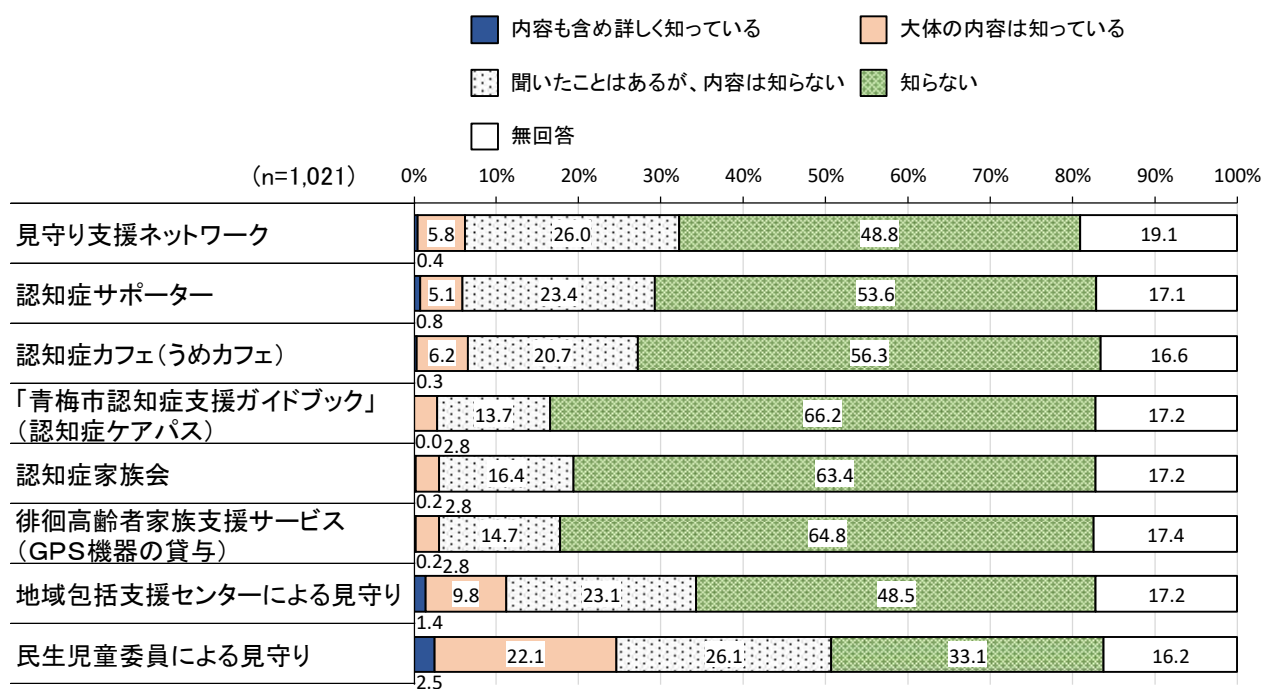
○第1地区



第1地区では、「内容も含め詳しく知っている」割合は、【民生児童委員による見守り】が2.7%で最も多く、次いで「認知症サポーター」「地域包括支援センターによる見守り」(各1.8%)の順となっている。

「知らない」割合は、【徘徊高齢者家族支援サービス (GPS機器の貸与)】が62.0%で最も多い。

○第2地区

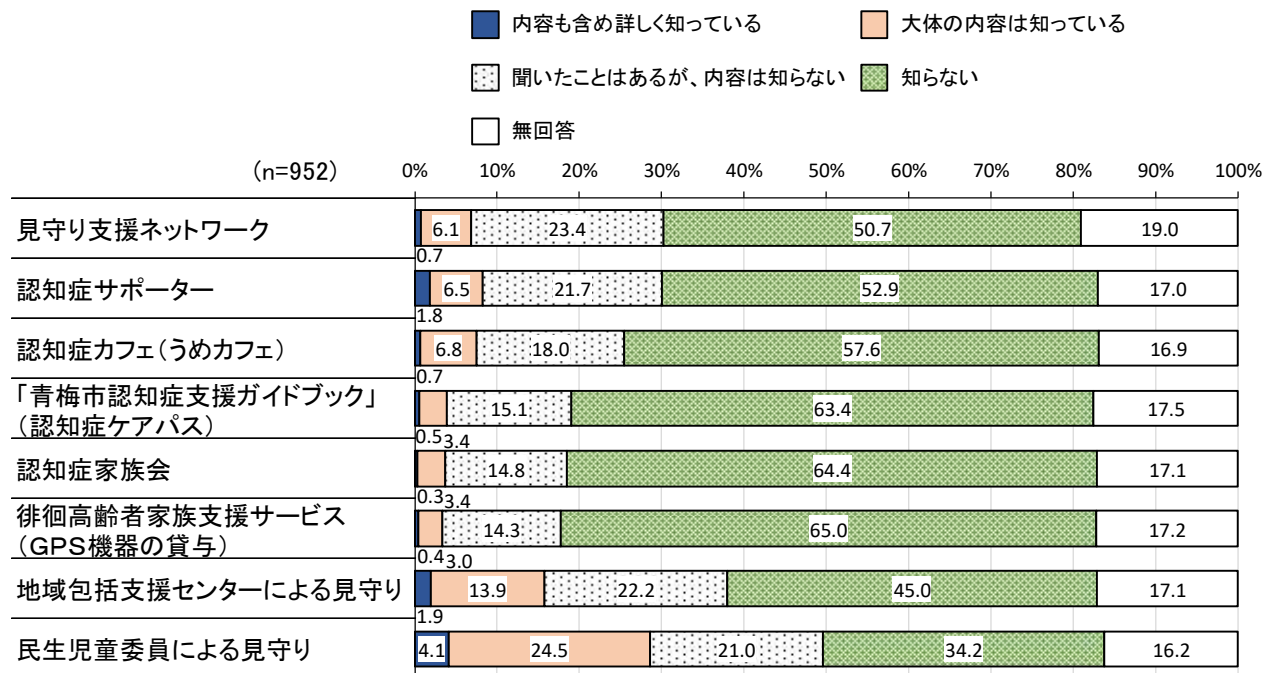


第2地区では、「内容も含め詳しく知っている」割合は、【民生児童委員による見守り】が2.5%で最も多く、次いで「地域包括支援センターによる見守り」(1.4%)、「認知症サポーター」(0.8%)の順となっている。

「知らない」割合は、【「青梅市認知症支援ガイドブック」(認知症ケアパス)】が66.2%で最も多い。

第2章 調査結果の詳細

○第3地区

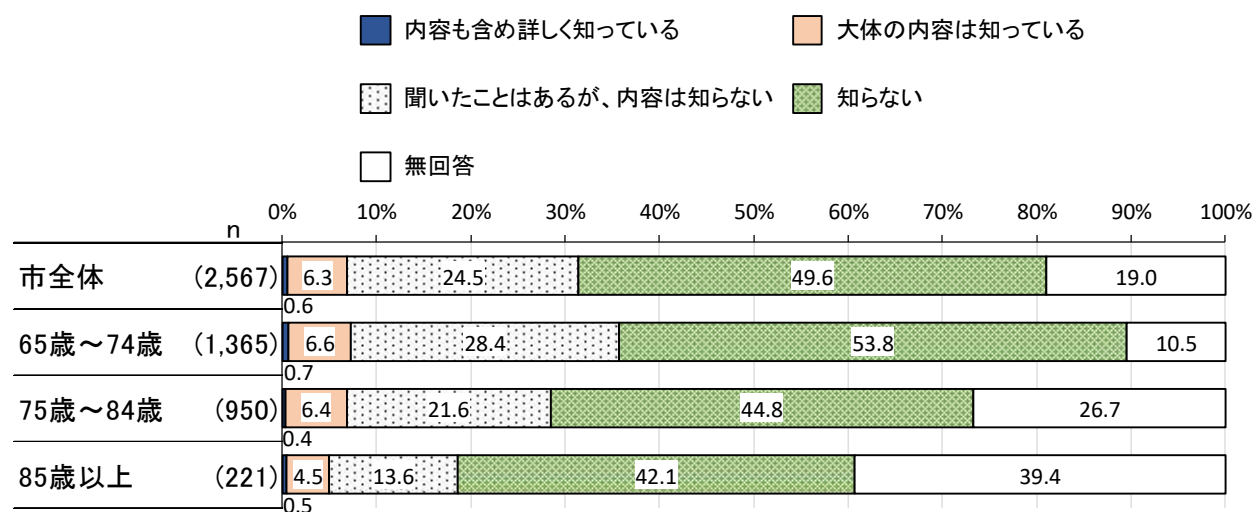


第3地区では、「内容も含め詳しく知っている」割合は、【民生児童委員による見守り】が4.1%で最も多く、次いで「地域包括支援センターによる見守り」(1.9%)、「認知症サポーター」(1.8%)となっている。

「知らない」割合は、【徘徊高齢者家族支援サービス (GPS 機器の貸与)】が65.0%で最も多い。

○年齢別

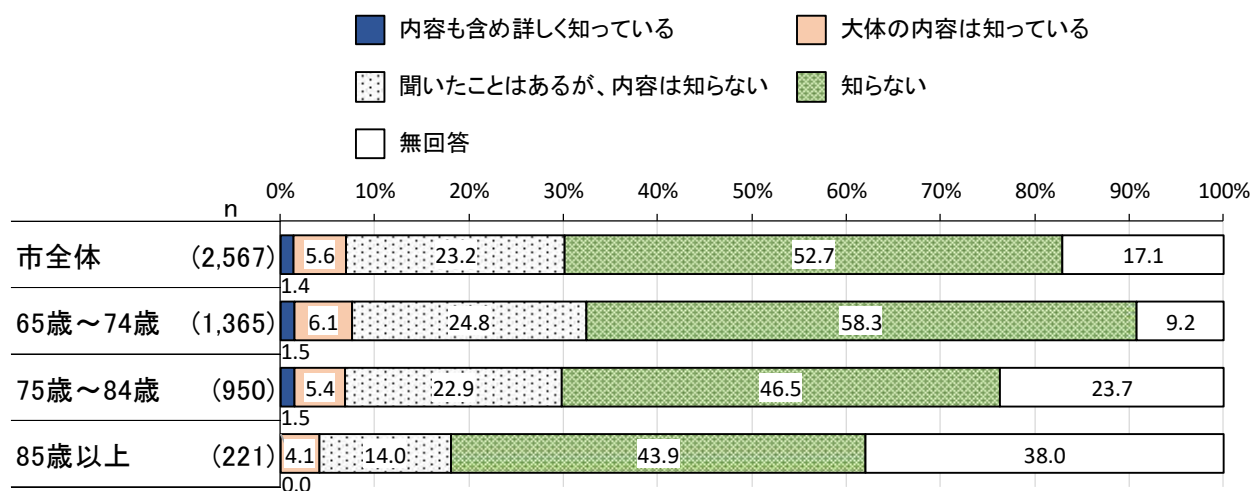
①見守り支援ネットワーク



年齢別では、「内容も含め詳しく知っている」割合は、65歳～74歳が0.7%で最も多く、次いで、85歳以上が0.5%、75歳～84歳が0.4%の順となっている。

「知らない」割合は、65歳～74歳で53.8%と最も多い。

②認知症サポーター

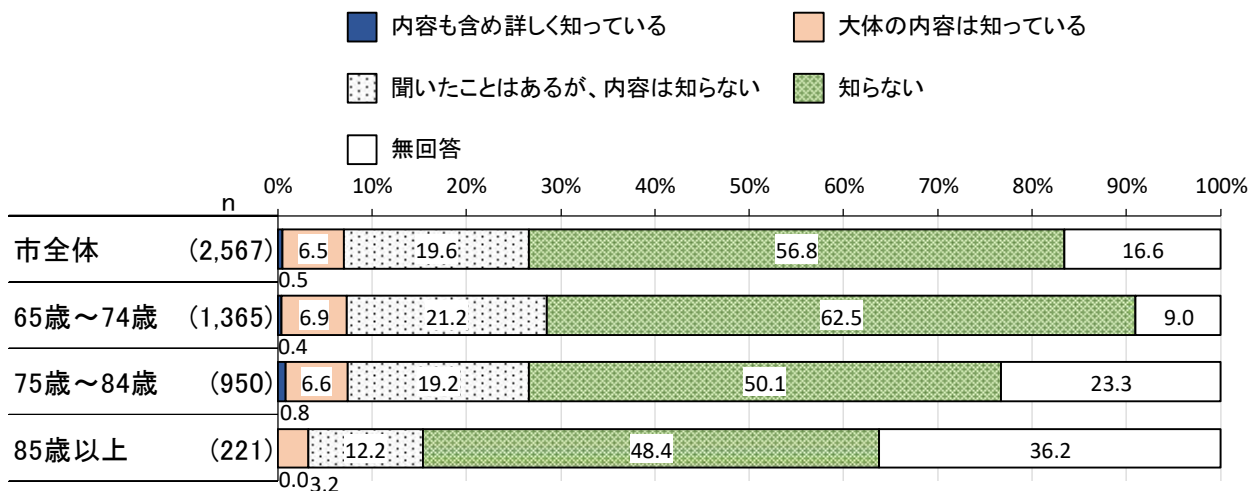


年齢別では、「内容も含め詳しく知っている」割合は、65歳～74歳と75歳～84歳で各1.5%、85歳以上では0.0%となっている。

「知らない」割合は、65歳～74歳で58.3%と最も多い。

第2章 調査結果の詳細

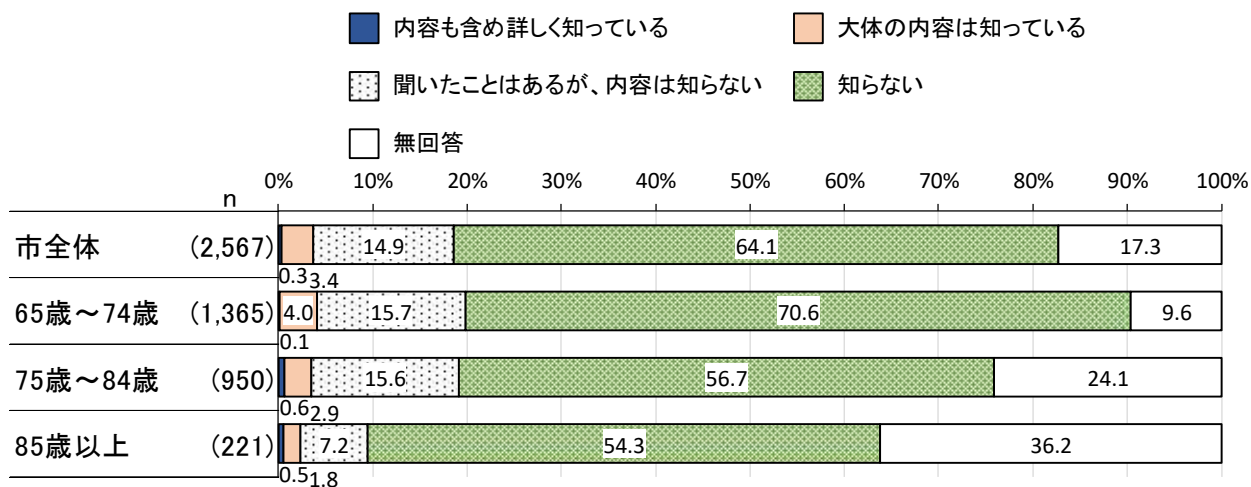
③認知症カフェ（うめカフェ）



年齢別では、「内容も含め詳しく知っている」割合は、75歳～84歳が0.8%で最も多く、65歳～74歳が0.4%、85歳以上が0.0%となっている。

「知らない」割合は、65歳～74歳で62.5%と最も多い。

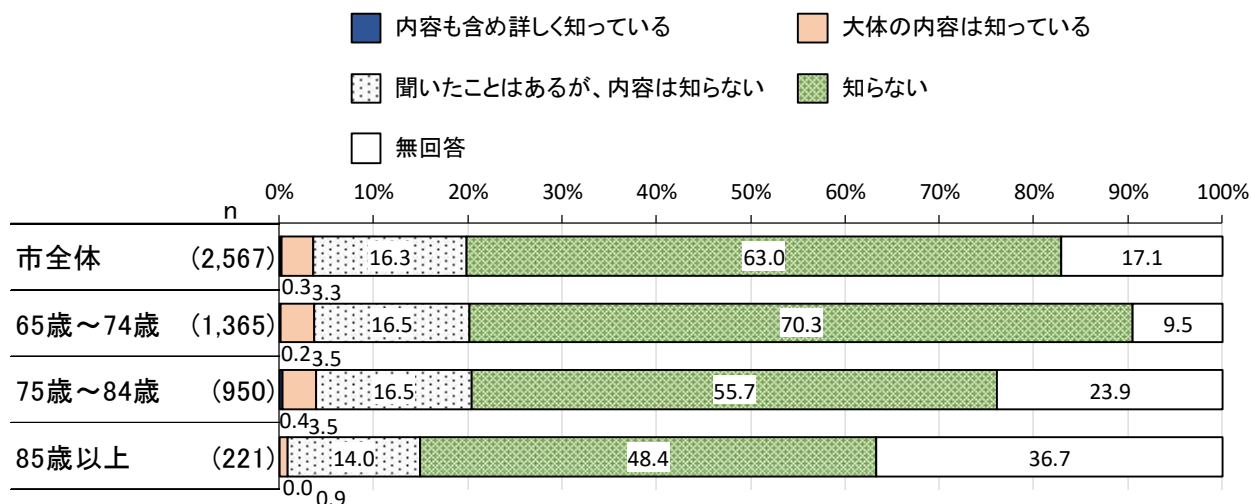
④「青梅市認知症支援ガイドブック」（認知症ケアバス）



年齢別では、「内容も含め詳しく知っている」割合は、75歳～84歳が0.6%で最も多く、次いで、85歳以上が0.5%、65歳～74歳が0.1%の順となっている。

「知らない」割合は、65歳～74歳で70.6%と最も多い。

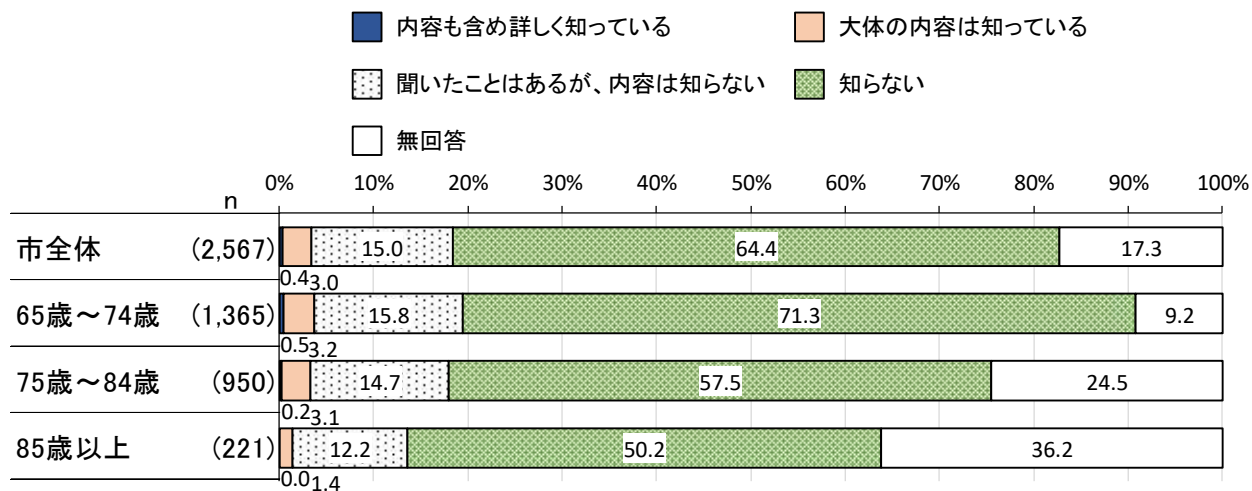
⑤認知症家族会



年齢別では、「内容も含め詳しく知っている」割合は、65歳～74歳が0.7%で最も多く、次いで、85歳以上が0.5%、75歳～84歳が0.4%の順となっている。

「知らない」割合は、65歳～74歳で53.8%と最も多い。

⑥徘徊高齢者家族支援サービス（GPS機器の貸与）

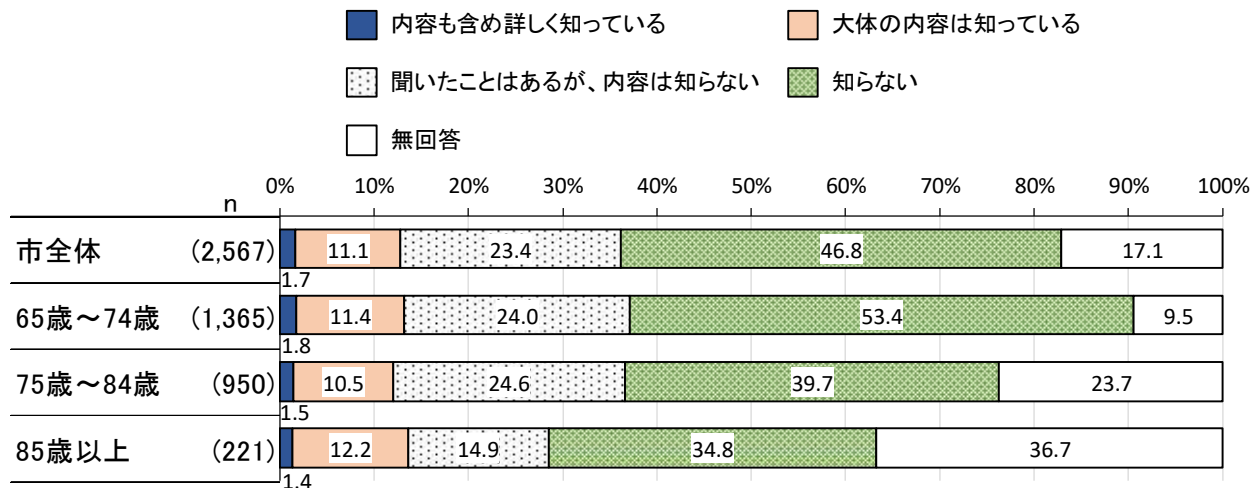


年齢別では、「内容も含め詳しく知っている」割合は、65歳～74歳が0.5%で最も多く、75歳～84歳が0.2%、85歳以上が0.0%となっている。

「知らない」割合は、65歳～74歳で71.3%と最も多い。

第2章 調査結果の詳細

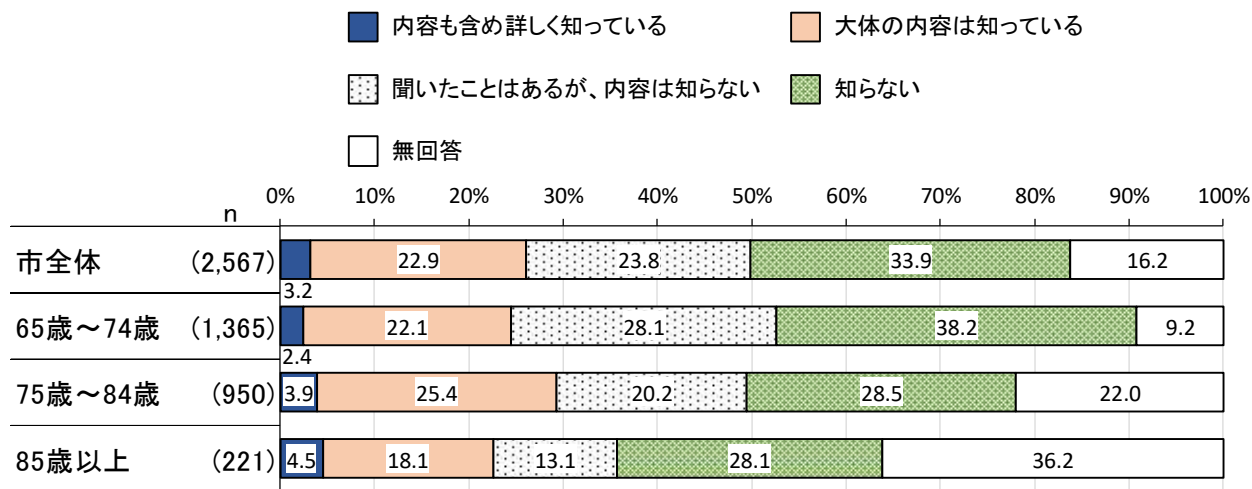
⑦地域包括支援センターによる見守り



年齢別では、「内容も含め詳しく知っている」割合は、65歳～74歳が1.8%で最も多く、次いで、75歳～84歳が1.5%、85歳以上が1.4%の順となっている。

「知らない」割合は、65歳～74歳で53.4%と最も多い。

⑧民生児童委員による見守り

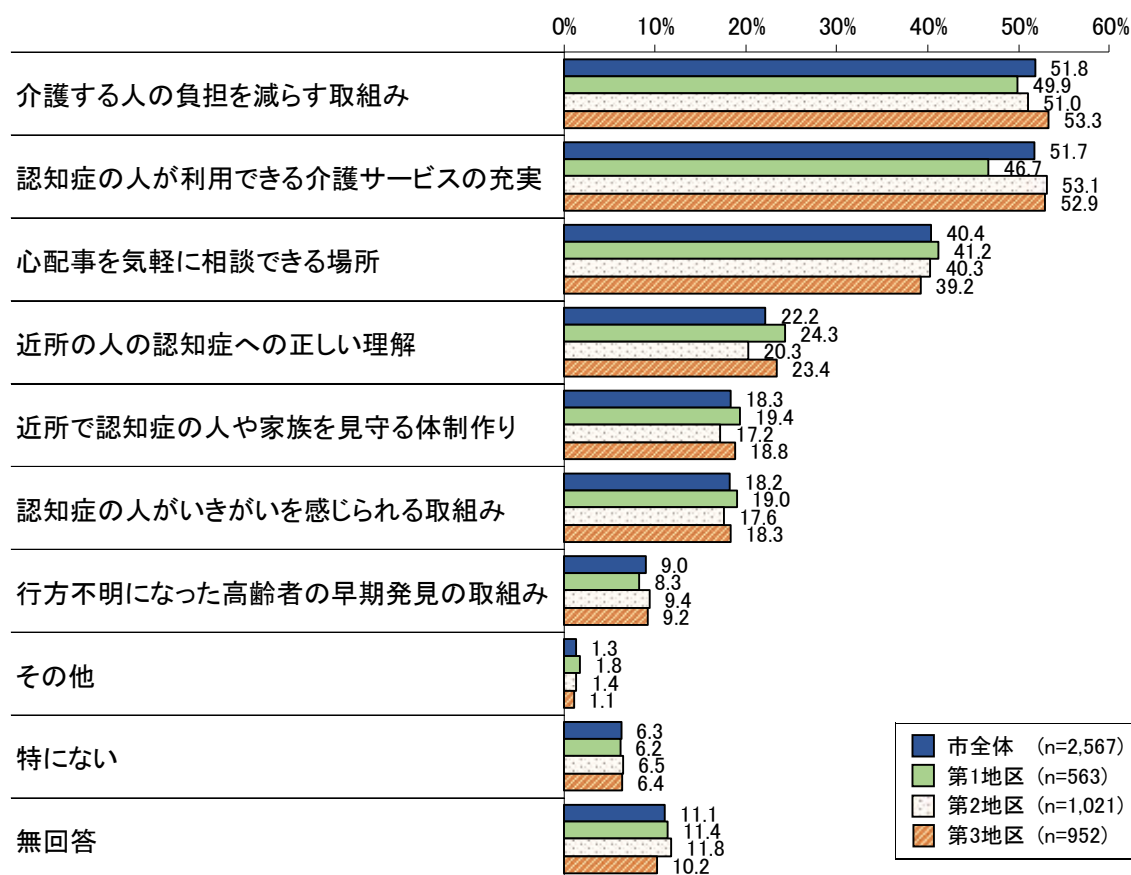


年齢別では、「内容も含め詳しく知っている」割合は、85歳以上が4.5%で最も多く、次いで、75歳～84歳が3.9%、65歳～74歳が2.4%の順となっている。

「知らない」割合は、65歳～74歳で38.2%と最も多い。

(2) 認知症の人が在宅で暮らすために必要なもの

問13(2) 認知症の人が、安心して在宅で暮らせるために必要なものは何だと思われませんか(〇は3つまで)



認知症の人が在宅で暮らし続けるために必要なものについては、市全体では「介護する人の負担を減らす取組み」が51.8%、「認知症の人が利用できる介護サービスの充実」が51.7%とほぼ同率で並んでいる。

地区別でも同様の傾向がみられるが、第1地区・第3地区で「介護する人の負担を減らす取組み」が、第2地区で「認知症の人が利用できる介護サービスの充実」が最も多い結果となっている。

第2章 調査結果の詳細

○家族構成別

(件、%)

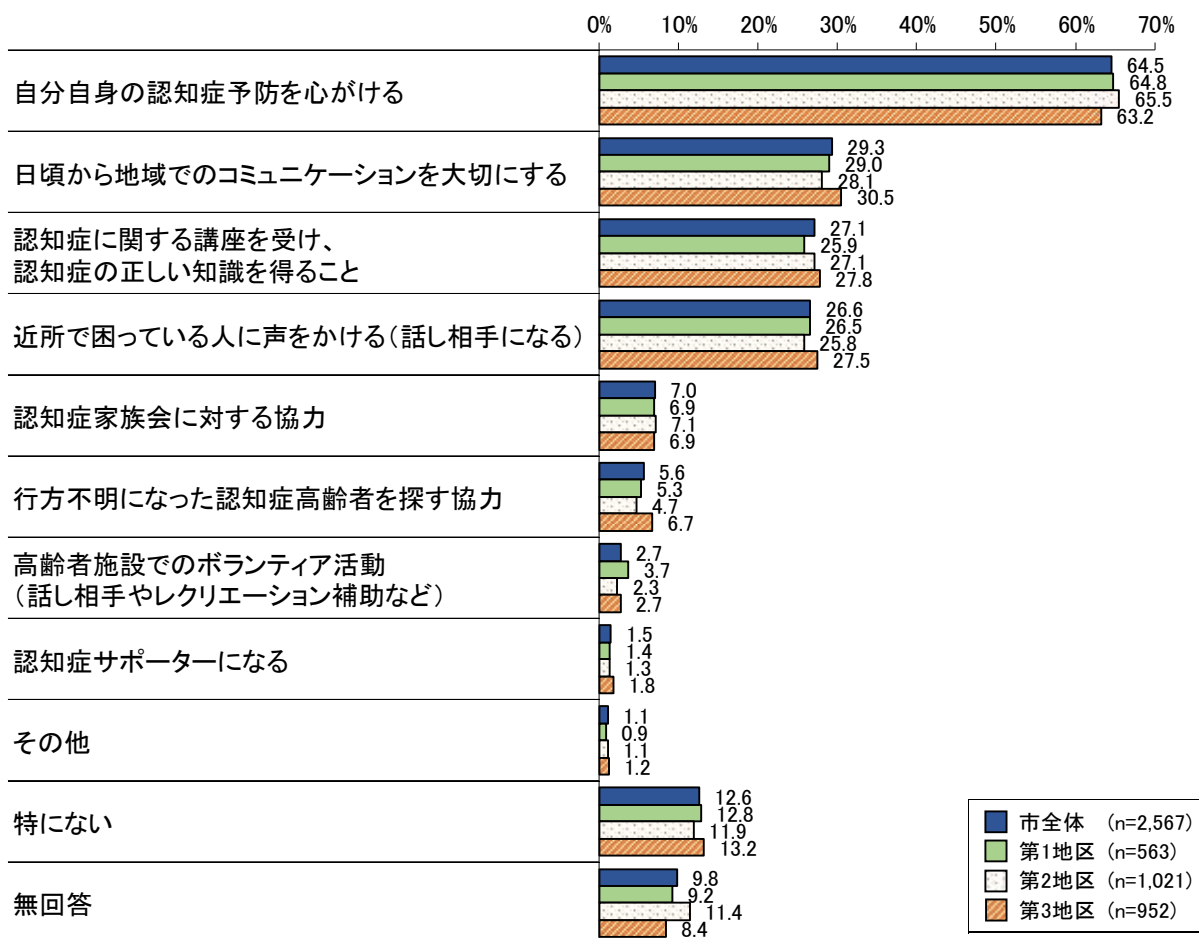
		調査数	心配事を気軽に相談できる場所	介護する人の負担を減らす取組み	近所の人の認知症への正しい理解	近所で認知症の人や家族を見守る体制作り	行方不明になった高齢者の早期発見の取組み	認知症の人がいきいきを感じられる取組み	認知症の人が利用できる介護サービスの充実	特にない	その他	無回答
全体		2,567	40.4	51.8	22.2	18.3	9.0	18.2	51.7	6.3	1.3	11.1
年齢別	65歳～74歳	1,365	37.4	58.9	22.2	20.0	8.2	20.7	56.3	5.4	1.2	7.7
	75歳～84歳	950	43.2	45.5	22.7	17.1	10.6	16.4	48.4	6.9	1.8	13.4
	85歳以上	221	43.0	33.0	21.7	13.1	8.1	10.4	36.7	10.0	0.5	22.2
家族構成別	1人暮らし	482	35.1	35.1	19.7	17.6	6.2	18.7	46.1	10.4	2.9	12.4
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	1,014	43.9	57.0	21.7	18.4	9.2	17.4	55.6	5.3	1.0	9.1
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	117	39.3	54.7	21.4	19.7	6.8	17.9	46.2	4.3	1.7	15.4
	息子・娘との2世帯	383	38.1	55.1	24.3	20.4	10.7	20.1	53.8	5.2	0.3	10.7
	その他	468	40.6	56.2	23.5	17.7	9.8	18.2	51.7	5.8	1.3	10.5

年齢別では、65歳～74歳は「介護する人の負担を減らす取組み」が58.9%、75歳～84歳では「認知症の人が利用できる介護サービスの充実」が48.4%、85歳以上では「心配事を気軽に相談できる場所」の43.0%が最も多くなっている。

家族構成別では、「介護する人の負担を減らす取組み」は、1人暮らしでは35.1%、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）では57.0%、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では54.7%、息子・娘との2世帯では55.1%となっている。

(3) 認知症の人やその家族のためにできそうなこと

問13(3) 認知症の人やその家族のために、地域においてあなたができることは何ですか(〇は3つまで)



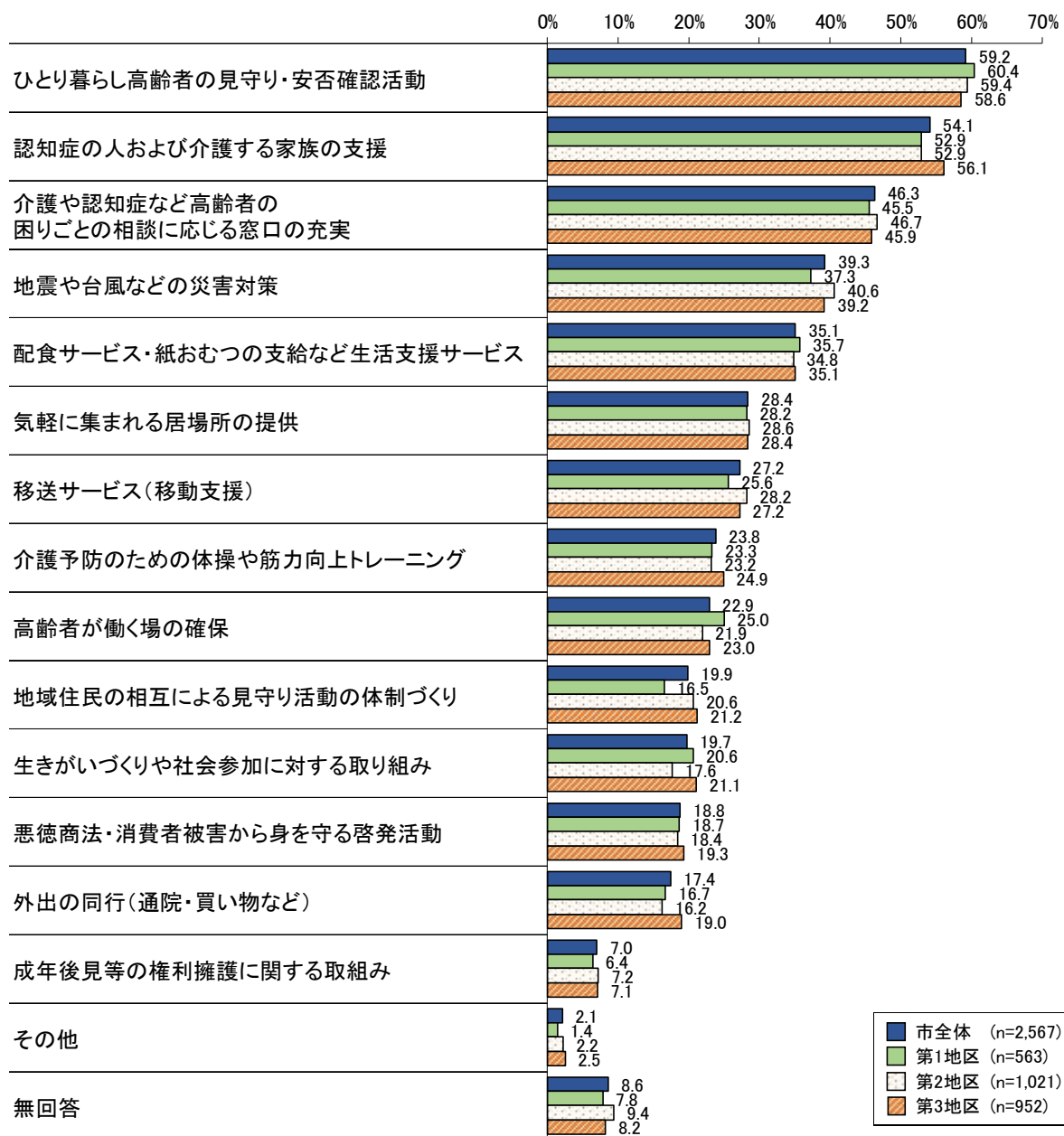
認知症の人やその家族のためにできそうなことは、市全体では「自分自身の認知症予防を心がける」が64.5%で最も多い。

地区別でも、いずれの地区も「自分自身の認知症予防を心がける」が最も多く、第1地区が64.8%、第2地区が65.5%、第3地区が63.2%となっている。

14 市が充実させるべき取り組みについて

(1) 市が充実させるべき高齢者施策

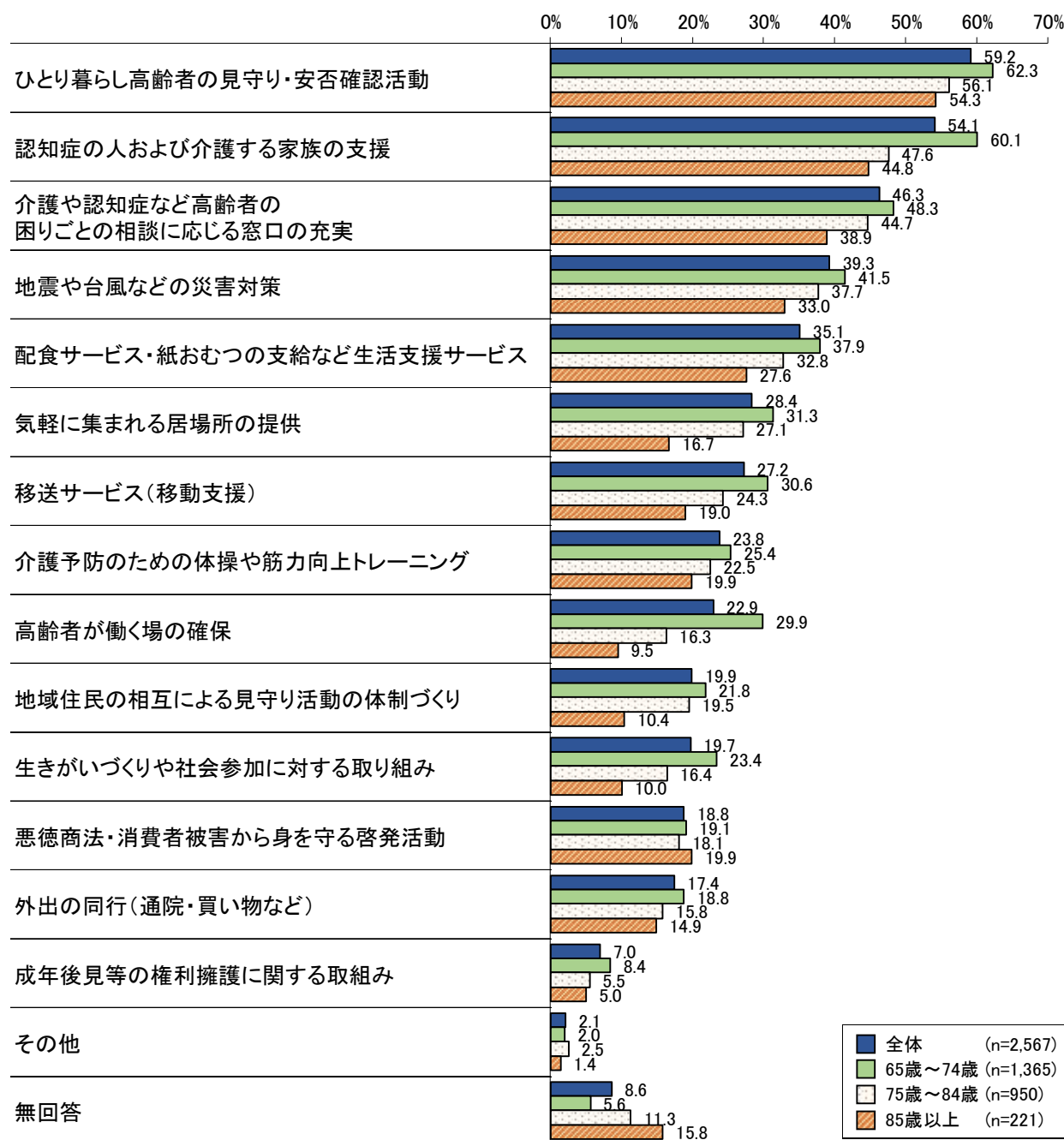
問14(1) 市が充実させるべきと思う高齢者施策は次のうちどれですか
(あてはまるものすべてに○)



市が充実させるべきと思う高齢者施策は、市全体では「ひとり暮らし高齢者の見守り・安否確認活動」が59.2%で最も多い。

地区別でも、いずれの地区も「ひとり暮らし高齢者の見守り・安否確認活動」が最も多く、それぞれ第1地区(60.4%)、第2地区(59.4%)、第3地区(58.6%)と6割前後となっている。

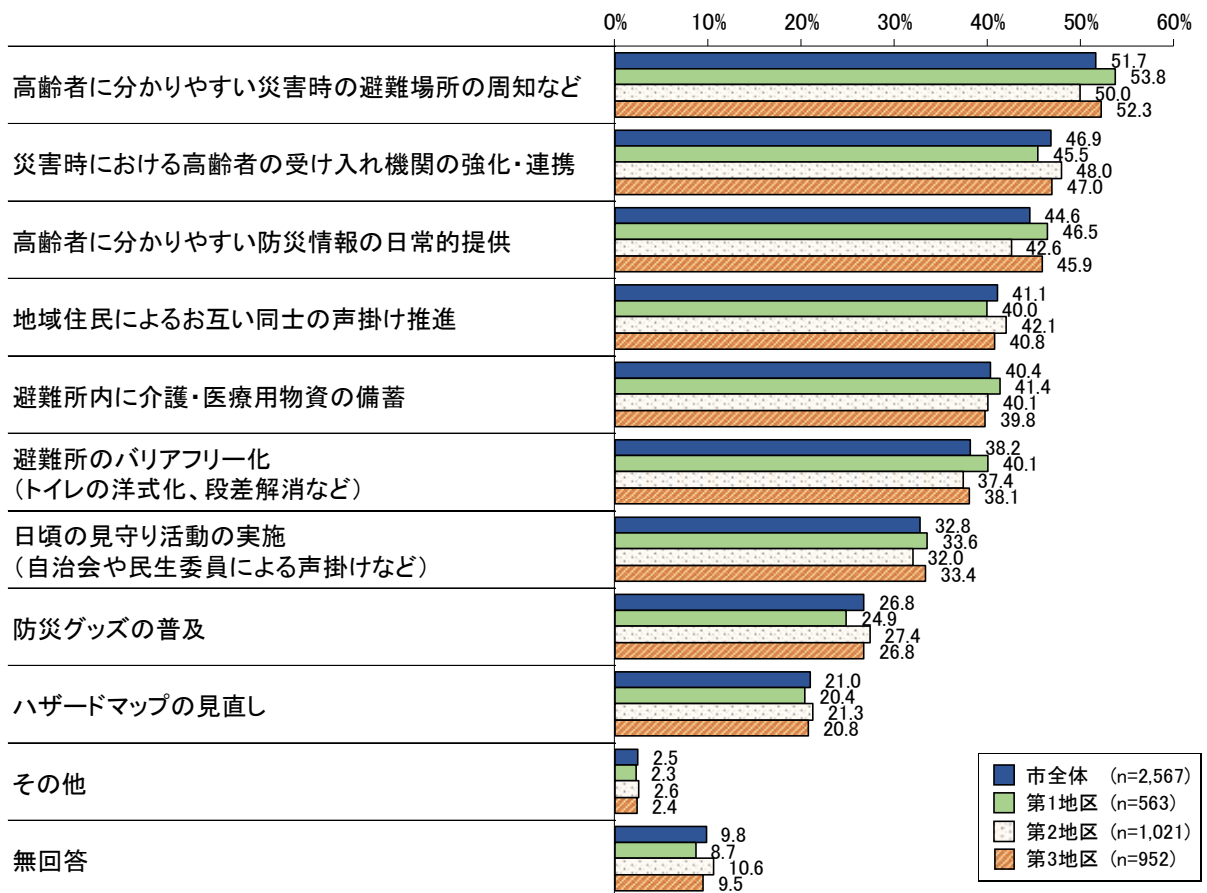
○年齢別



年齢別では、いずれの年代も「ひとり暮らし高齢者の見守り・安否確認活動」が最も多く、それぞれ65歳～74歳(62.3%)、75歳～84歳(56.1%)、85歳以上(54.3%)と6割前後となっている。

(2) 市が行うべき災害対策

問14(2) 市が行うべきと災害対策は次のうちどれですか
(あてはまるものすべてに○)



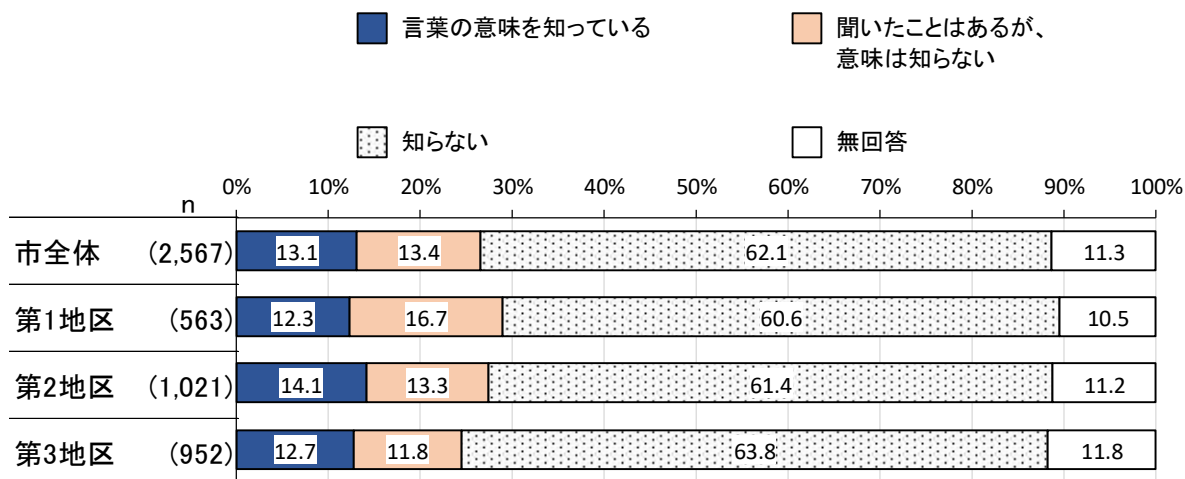
市が行うべき災害対策は、市全体では「高齢者に分かりやすい災害時の避難場所の周知など」が51.7%で最も多く、次いで「災害時における高齢者の受け入れ機関の強化・連携」(46.9%)、「高齢者に分かりやすい防災情報の日常的提供」(44.6%)の順となっている。

地区別でも、いずれの地区も「高齢者に分かりやすい災害時の避難場所の周知など」が最も多く、それぞれ第1地区(53.8%)、第2地区(50.0%)、第3地区(52.3%)となっている。

15 フレイルについて

(1) 「フレイル」という言葉の認知状況

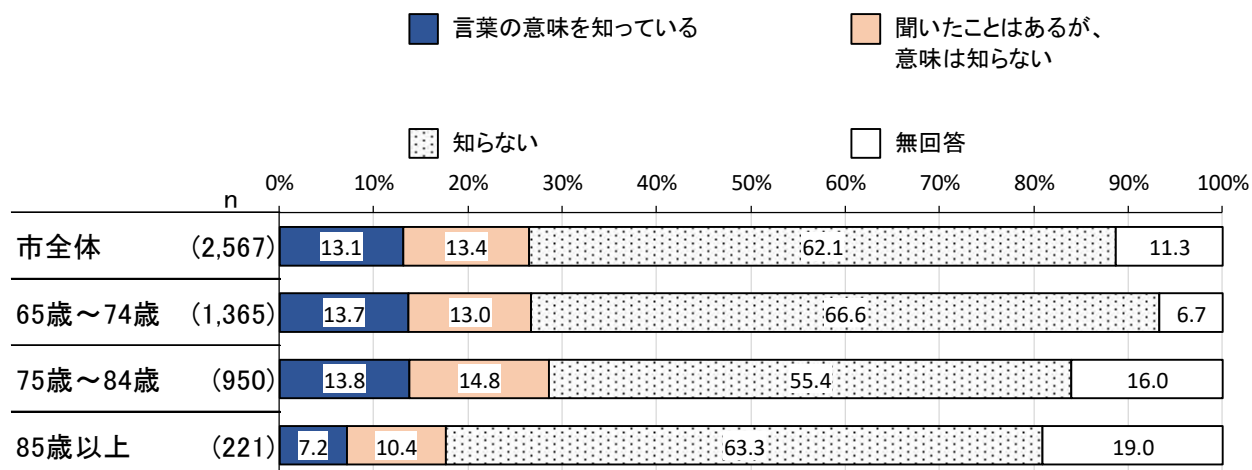
問 15 (1) 「フレイル」という言葉を知っていますか



「フレイル」という言葉を知っているかについては、市全体では「知らない」が62.1%で最も多い。

地区別では、「言葉の意味を知っている」が、第1地区が12.3%、第2地区が14.1%、第3地区が12.7%となっている。

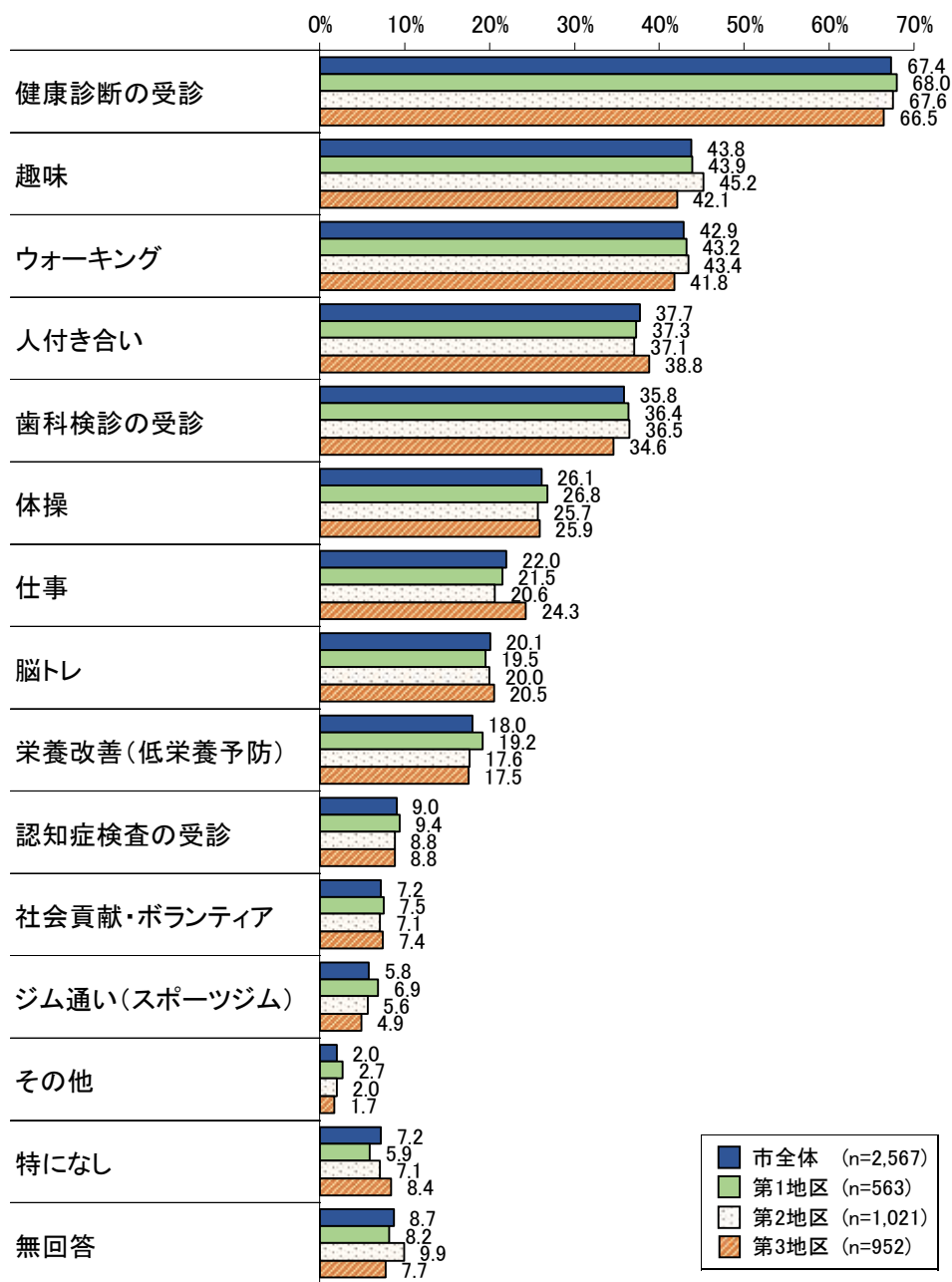
○年齢別



年齢別では、「言葉の意味を知っている」が、65歳～74歳が13.7%、75歳～84歳が13.8%、85歳以上が7.2%となっている。

(2) 介護状態にならないために取り組んでいること

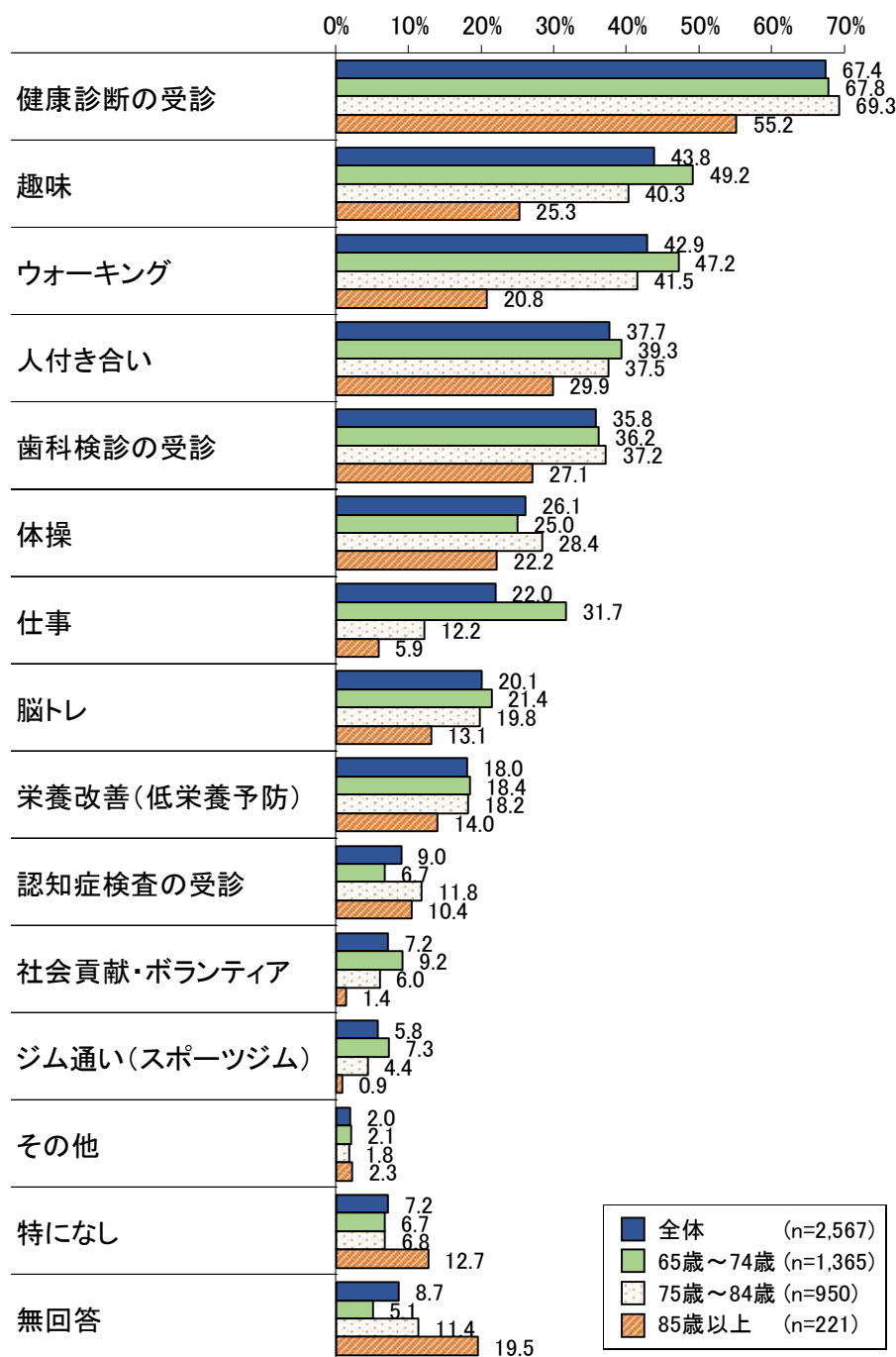
問 15 (2) あなたは、フレイルや介護状態にならないために自身で取り組んでいることはありますか (あてはまるものすべてに○)



介護状態にならないために取り組んでいることは、市全体では「健康診断の受診」が67.4%で最も多く、次いで「趣味」(43.8%)、「ウォーキング」(42.9%)の順となっている。

地区別でも、いずれの地区も同様の傾向がみられる。

○年齢別

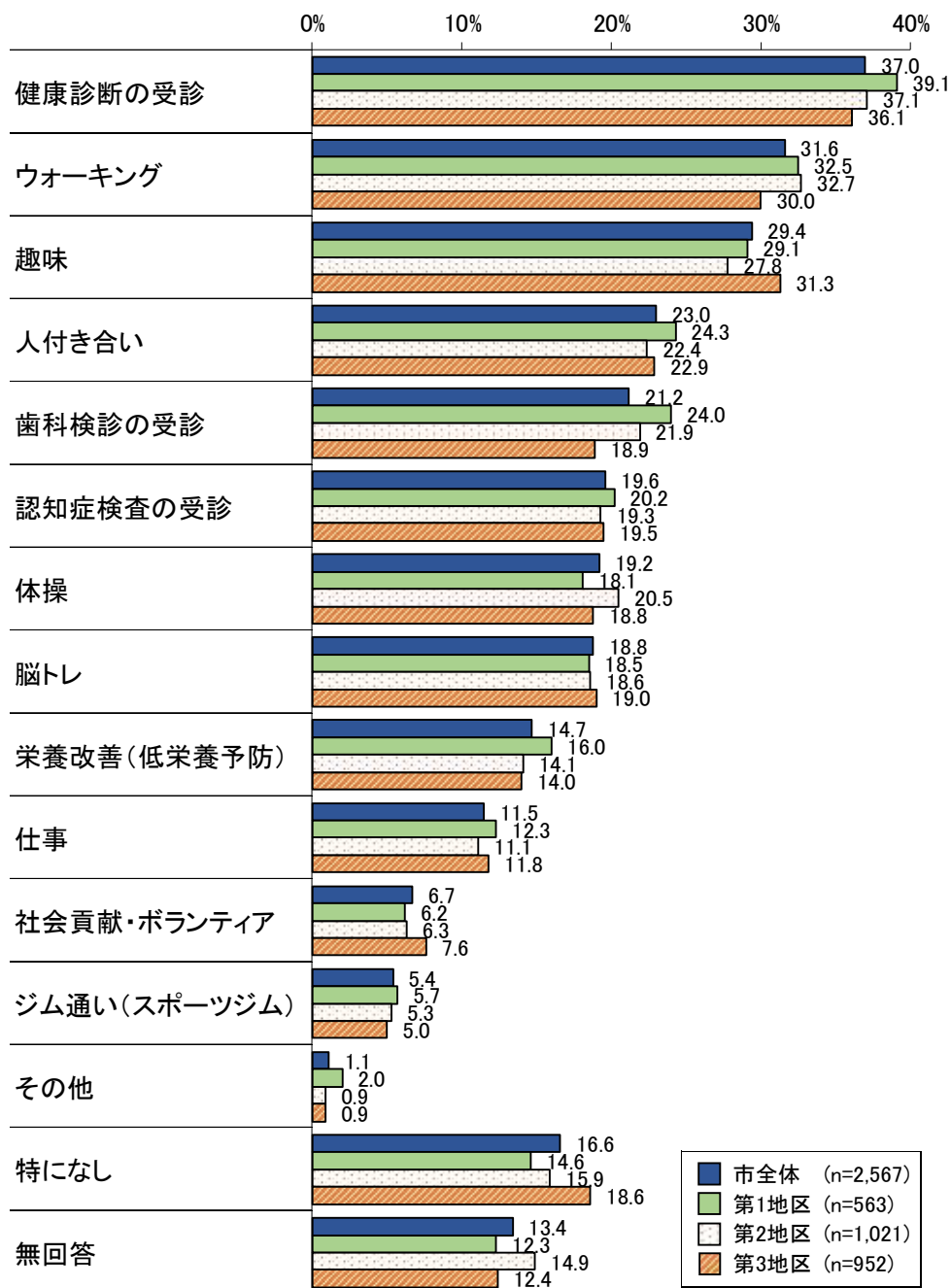


年齢別では、いずれの年齢も「健康診断の受診」が最も多く、65歳～74歳が67.8%、75歳～84歳が69.3%、85歳以上が55.2%となっている。

多くの項目で他の年代に比べ、85歳以上では低い傾向がみられるが、「特になし」では12.7%と最も高くなっている。

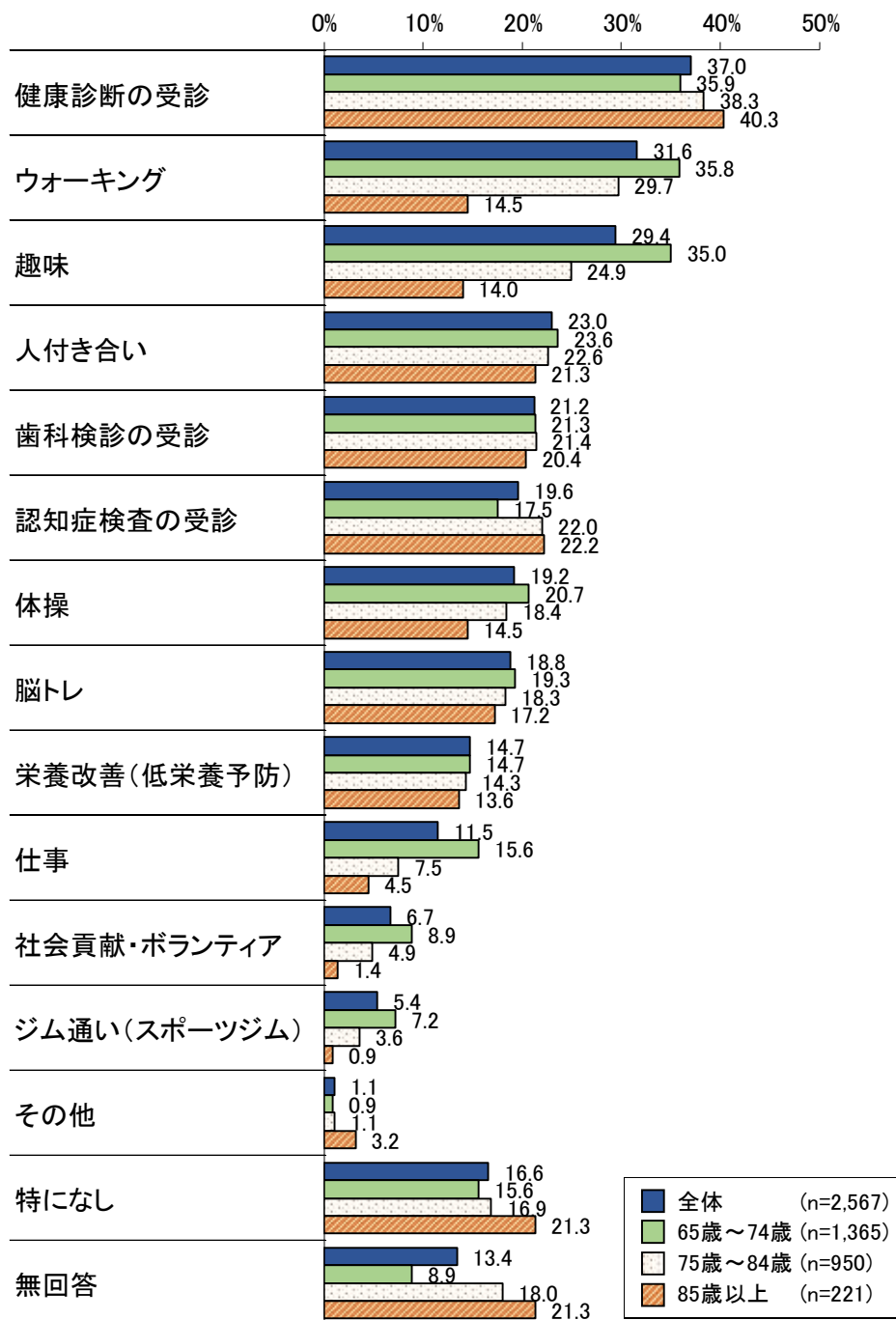
(3) 今後もっと取り組みたいこと

問15(3) 今後、もっと取り組みたいことはありますか
(あてはまるものすべてに○)



今後もっと取り組みたいことは、市全体では「健康診断の受診」が37.0%で最も多く、次いで「ウォーキング」(31.6%)、「趣味」(29.4%)の順となっている。地区別でも、いずれの地区も「健康診断の受診」が最も多く、それぞれ第1地区(39.1%)、第2地区(37.1%)、第3地区は(36.1%)となっている。

○年齢別



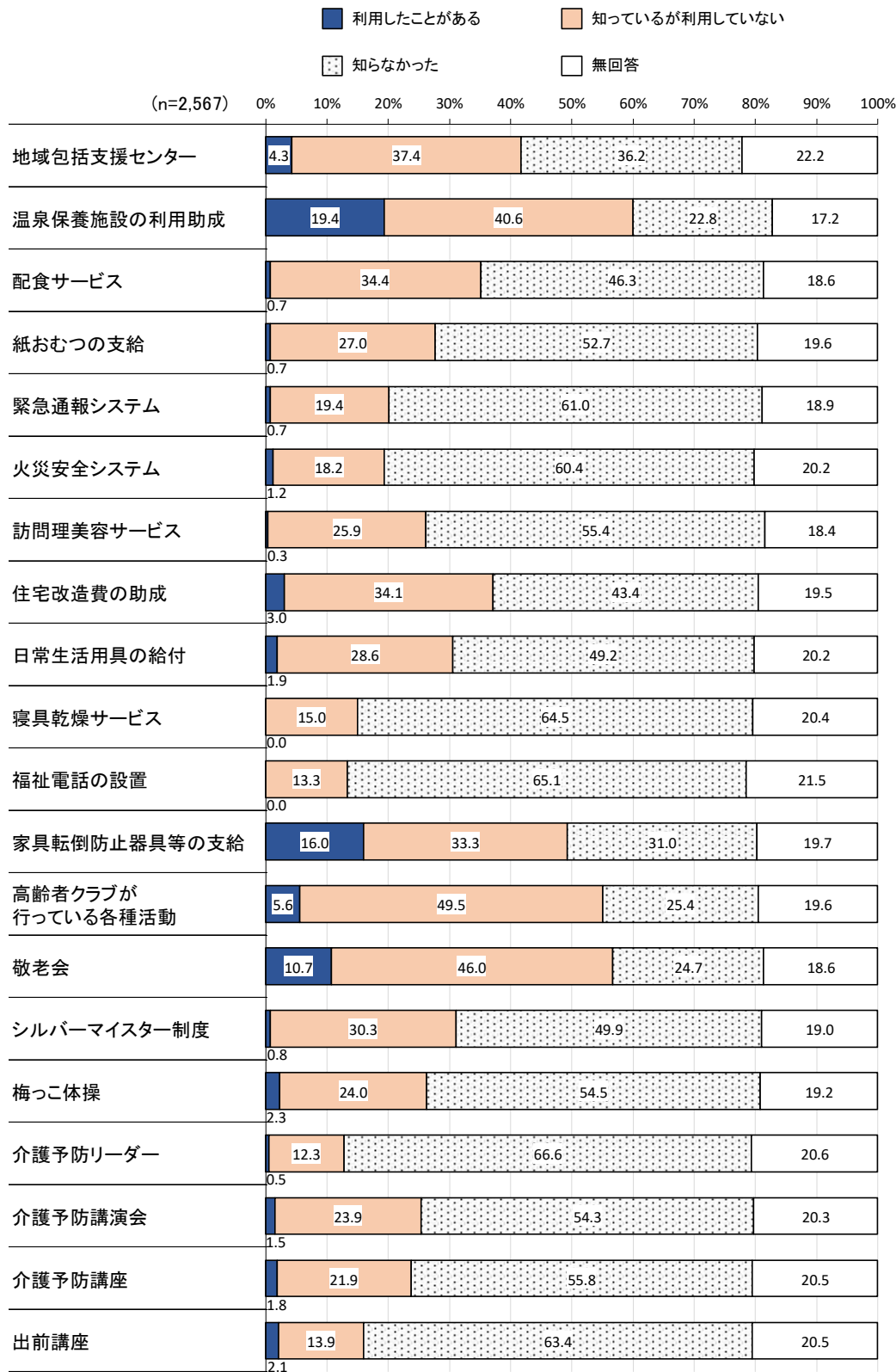
年齢別でも、いずれの地区も「健康診断の受診」が最も多く、それぞれ65歳~74歳が35.9%、75歳~84歳が38.3%、85歳以上が40.3%となっている。

16 高齢者福祉サービス全般について

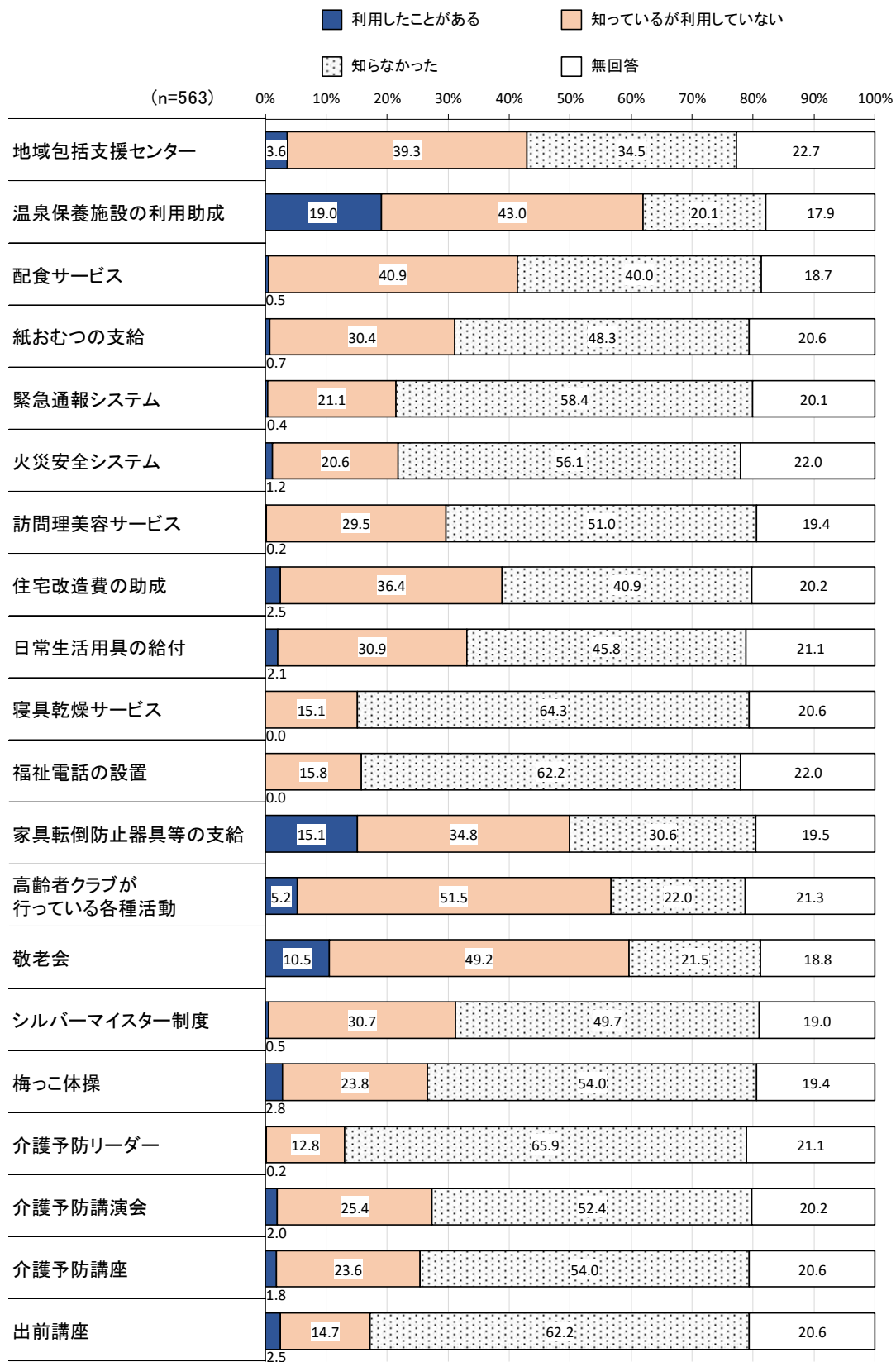
(1) 事業ごとの利用状況と今後の希望

問16(1) 各事業ごとに、利用状況と今後の利用希望について、該当するものを選んでください(それぞれ○は1つ)

○利用状況 市全体

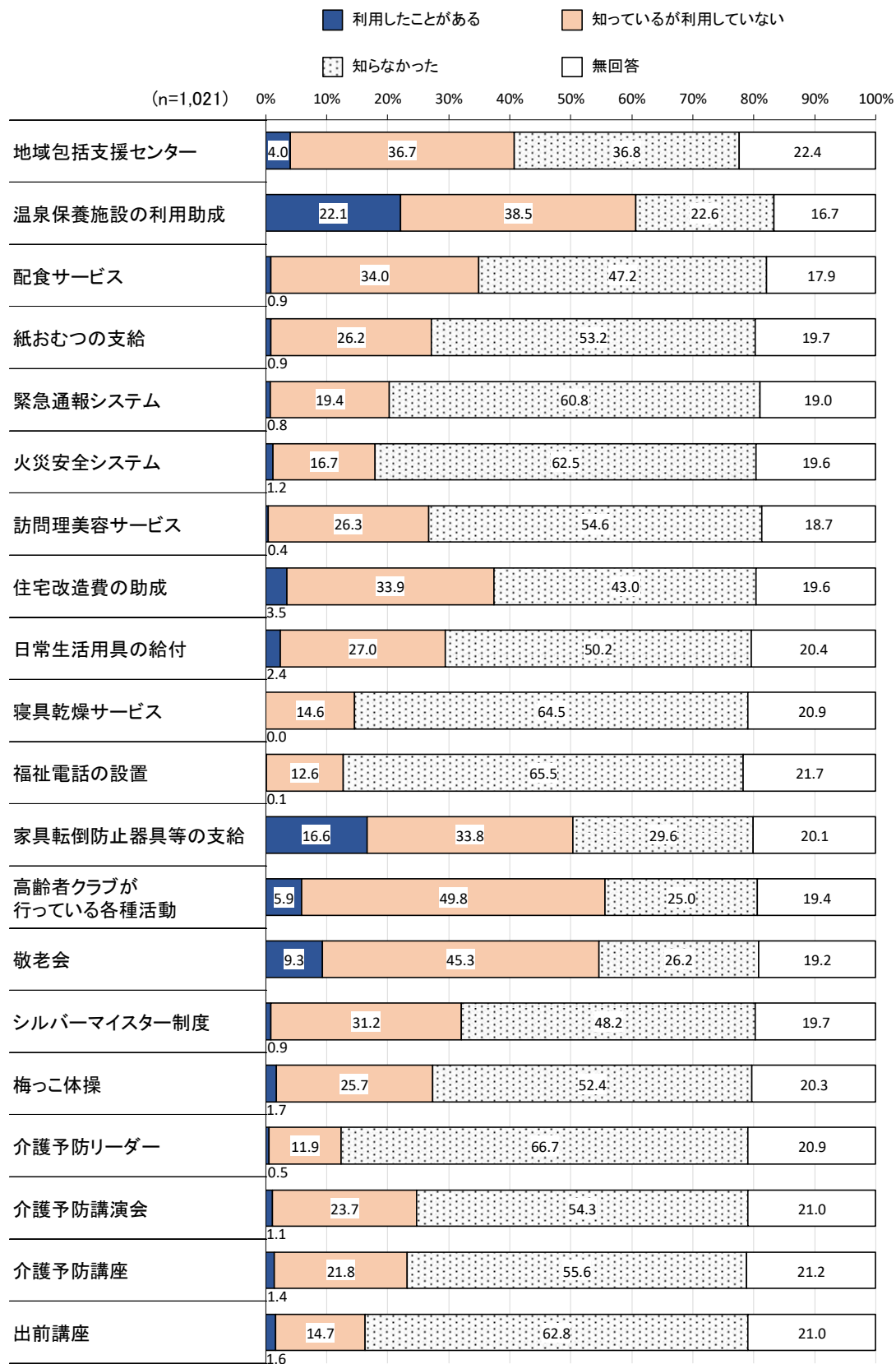


○利用状況 第1地区

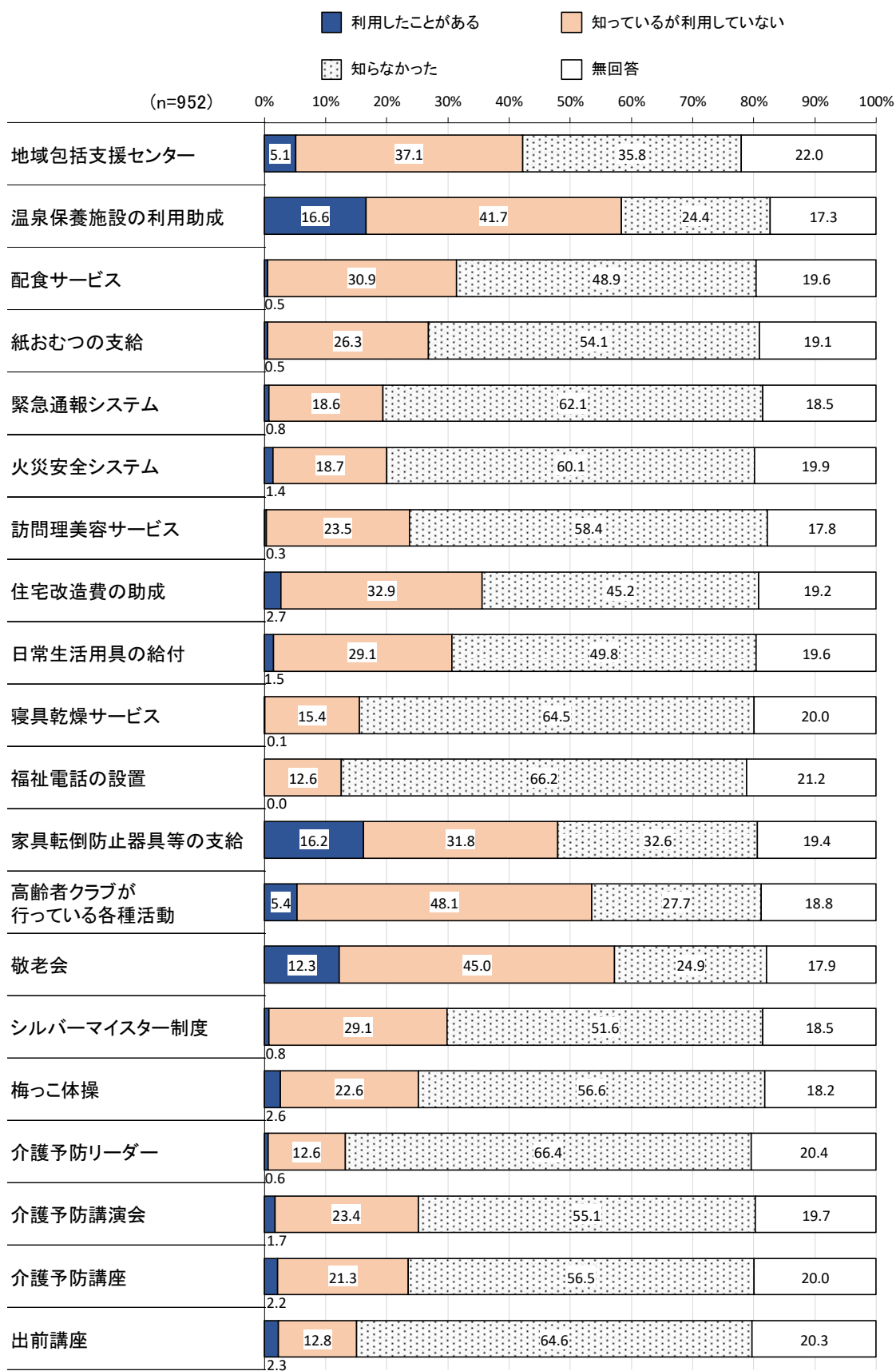


第2章 調査結果の詳細

○利用状況 第2地区



○利用状況 第3地区



第2章 調査結果の詳細

○各事業の利用状況について

市全体では、「利用したことがある」割合は、【温泉保養施設の利用助成】が19.4%で最も多く、「知っているが利用していない」割合は、【高齢者クラブが行っている各種活動】が49.5%で最も多い。一方、「知らなかった」割合は、【介護予防リーダー】が66.6%で最も多い。

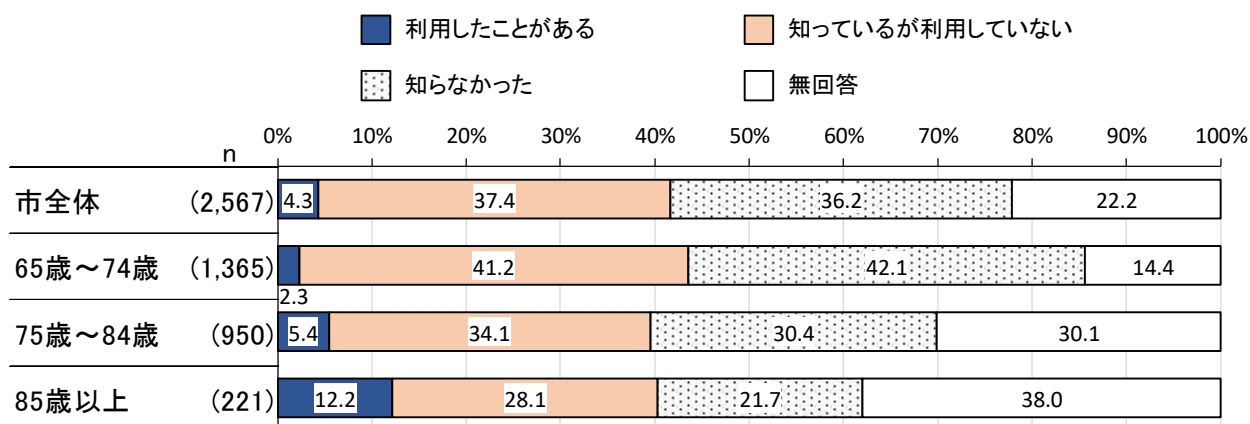
第1地区では、「利用したことがある」割合は、【温泉保養施設の利用助成】が19.0%で最も多く、「知っているが利用していない」割合は、【高齢者クラブが行っている各種活動】が51.5%で最も多い。一方、「知らなかった」割合は、【介護予防リーダー】が65.9%で最も多い。

第2地区では、「利用したことがある」割合は、【温泉保養施設の利用助成】が22.1%で最も多く、「知っているが利用していない」割合は、【高齢者クラブが行っている各種活動】が49.8%で最も多い。一方、「知らなかった」割合は、【介護予防リーダー】が66.7%で最も多い。

第3地区では、「利用したことがある」割合は、【温泉保養施設の利用助成】が16.6%で最も多く、「知っているが利用していない」割合は、【高齢者クラブが行っている各種活動】が48.1%で最も多い。一方、「知らなかった」割合は、【介護予防リーダー】が66.4%で最も多い。

○利用状況（年齢別）

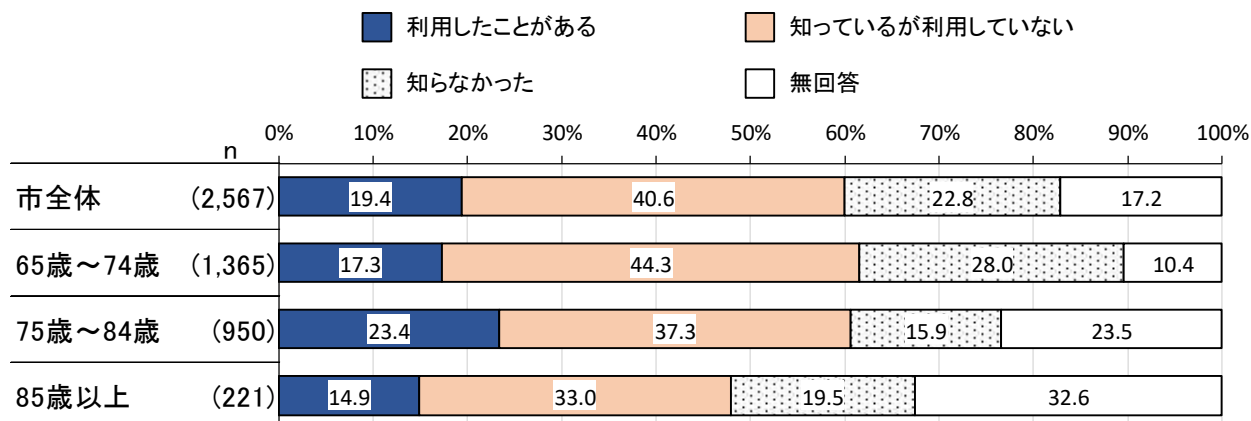
①地域包括支援センター



年齢別では、「利用したことがある」の割合は、85歳以上が12.2%で最も多く、次いで、75歳～84歳が5.4%、65歳～74歳が2.3%の順となっている。

「知らなかった」の割合は、65歳～74歳で42.1%と最も多い。

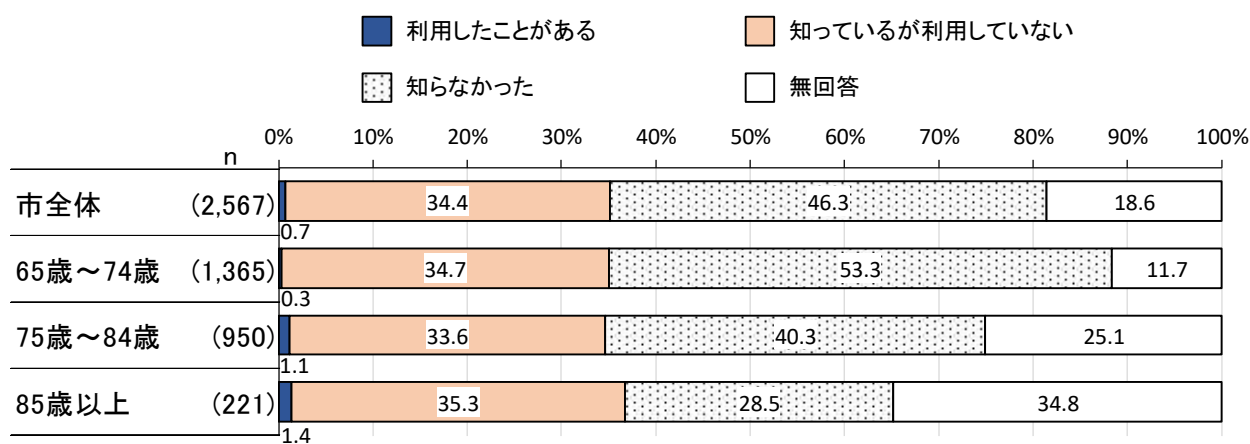
②温泉保養施設の利用状況



年齢別では、「利用したことがある」の割合は、75歳～84歳が23.4%で最も多く、次いで、65歳～74歳が17.3%、85歳以上が14.9%の順となっている。

「知らなかった」の割合は、65歳～74歳で28.0%と最も多い。

③配食サービス

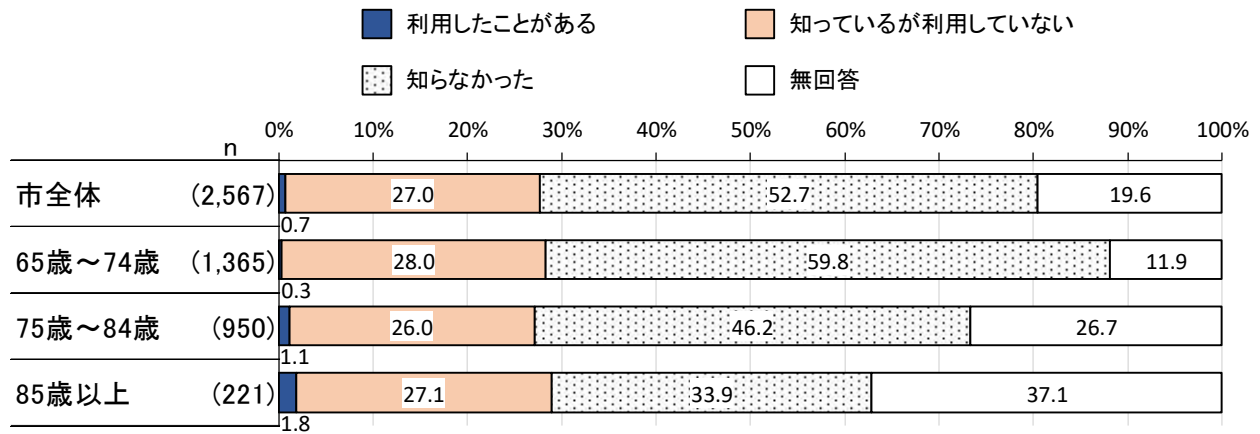


年齢別では、「利用したことがある」の割合は、85歳以上が1.4%で最も多く、次いで、75歳～84歳が1.1%、65歳～74歳が0.3%の順となっている。

「知らなかった」の割合は、65歳～74歳で53.3%と最も多い。

第2章 調査結果の詳細

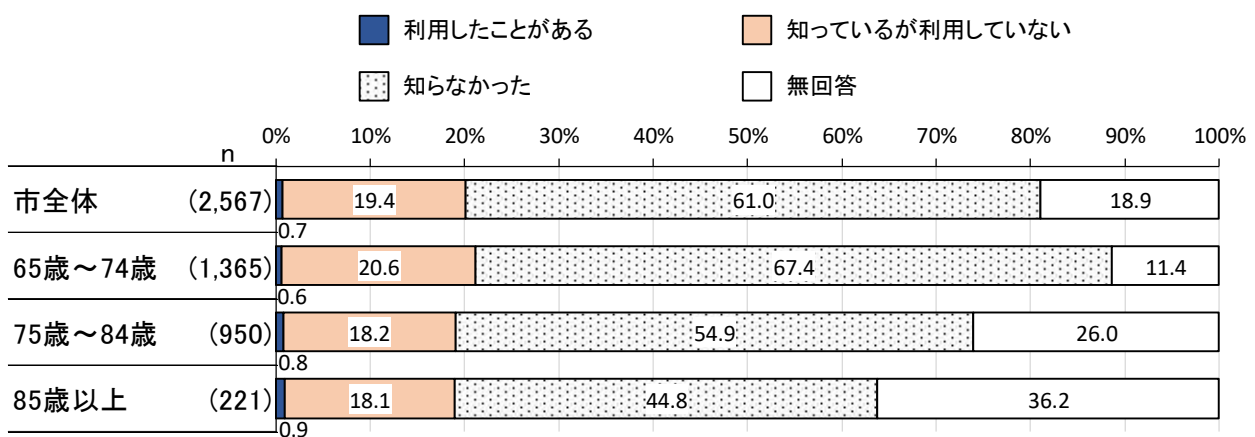
④紙おむつの支給



年齢別では、「利用したことがある」の割合は、85歳以上が1.8%で最も多く、次いで、75歳～84歳が1.1%、65歳～74歳が0.3%の順となっている。

「知らなかった」の割合は、65歳～74歳で59.8%と最も多い。

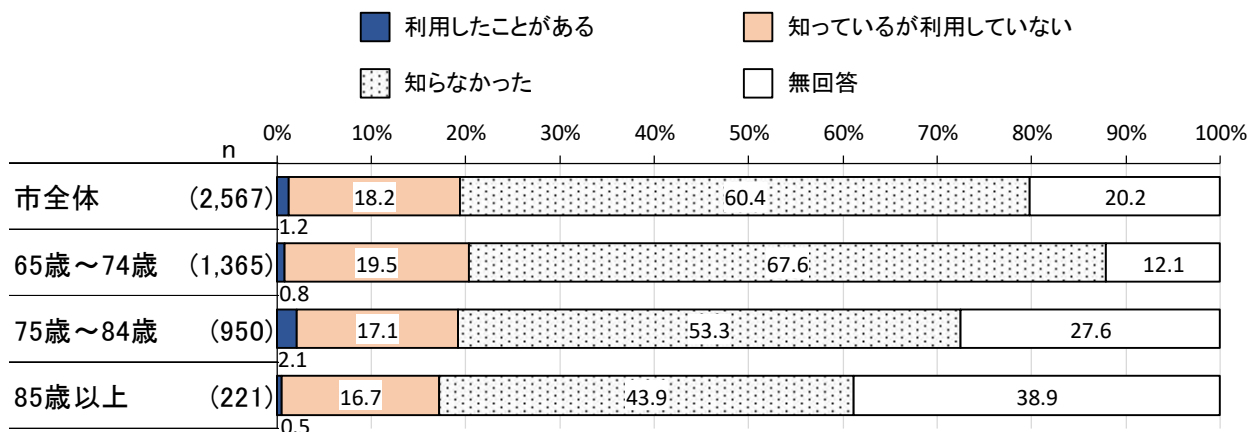
⑤緊急通報システム



年齢別では、「利用したことがある」の割合は、85歳以上が0.9%で最も多く、次いで、75歳～84歳が0.8%、65歳～74歳が0.6%の順となっている。

「知らなかった」の割合は、65歳～74歳で67.4%と最も多い。

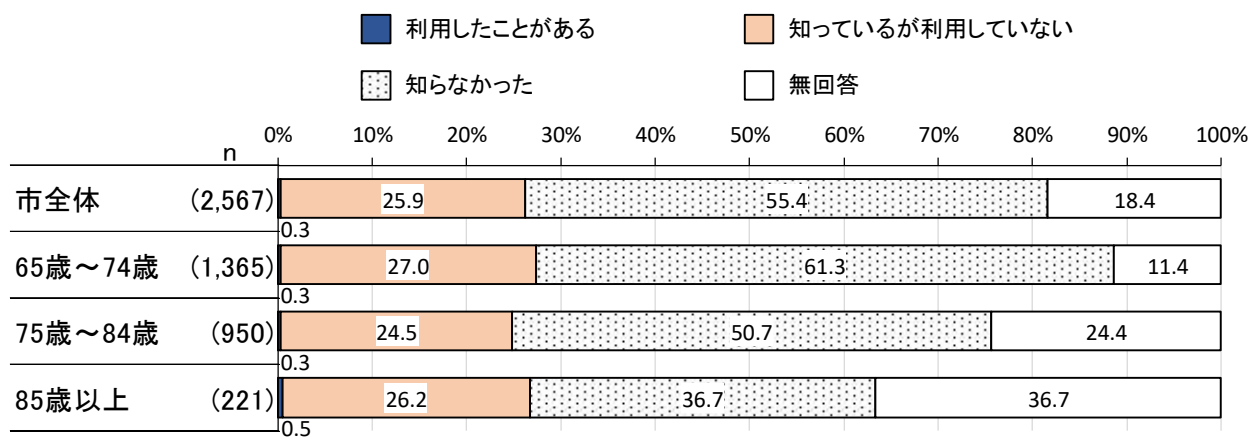
⑥火災安全システム



年齢別では、「利用したことがある」の割合は、75歳～84歳が2.1%で最も多く、次いで、65歳～74歳が0.8%、85歳以上が0.5%の順となっている。

「知らなかった」の割合は、65歳～74歳で67.6%と最も多い。

⑦訪問理美容サービス

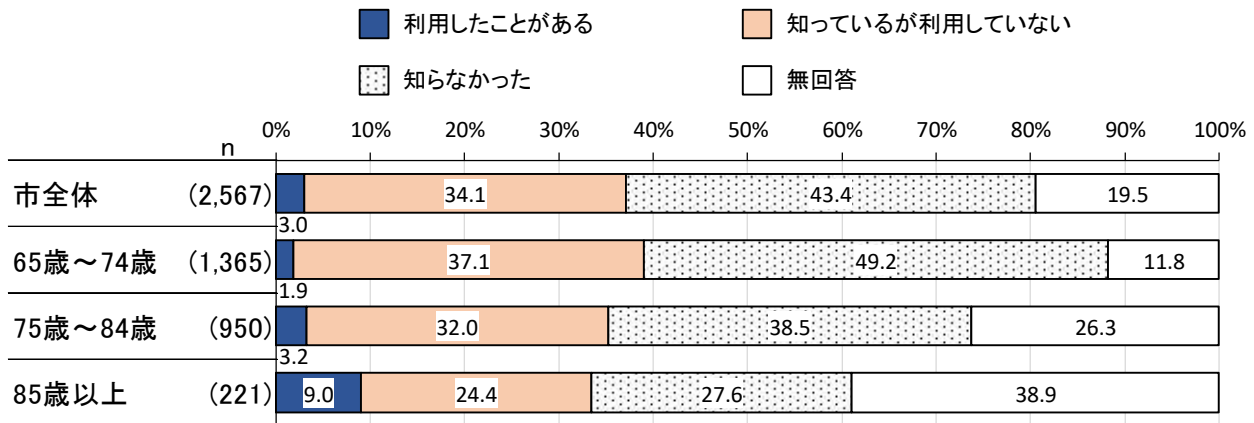


年齢別では、「利用したことがある」の割合は、85歳以上が0.5%で最も多く、次いで、75歳～84歳と65歳～74歳が各0.3%の順となっている。

「知らなかった」の割合は、65歳～74歳で61.3%と最も多い。

第2章 調査結果の詳細

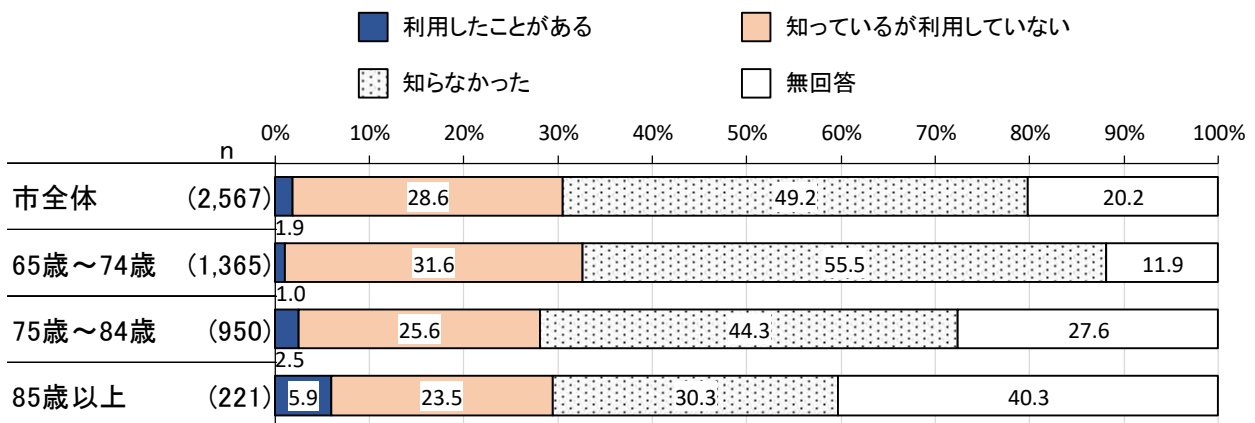
⑧住宅改造費の助成



年齢別では、「利用したことがある」の割合は、85歳以上が9.0%で最も多く、次いで、75歳～84歳が3.2%、65歳～74歳が1.9%の順となっている。

「知らなかった」の割合は、65歳～74歳で49.2%と最も多い。

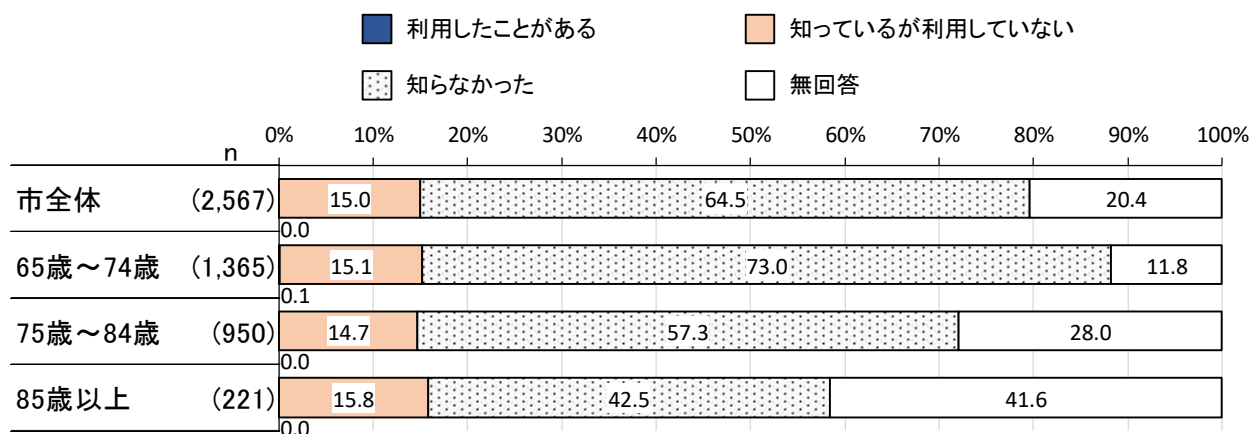
⑨日常生活用具の給付



年齢別では、「利用したことがある」の割合は、85歳以上が5.9%で最も多く、次いで、75歳～84歳が2.5%、65歳～74歳が1.0%の順となっている。

「知らなかった」の割合は、65歳～74歳で55.5%と最も多い。

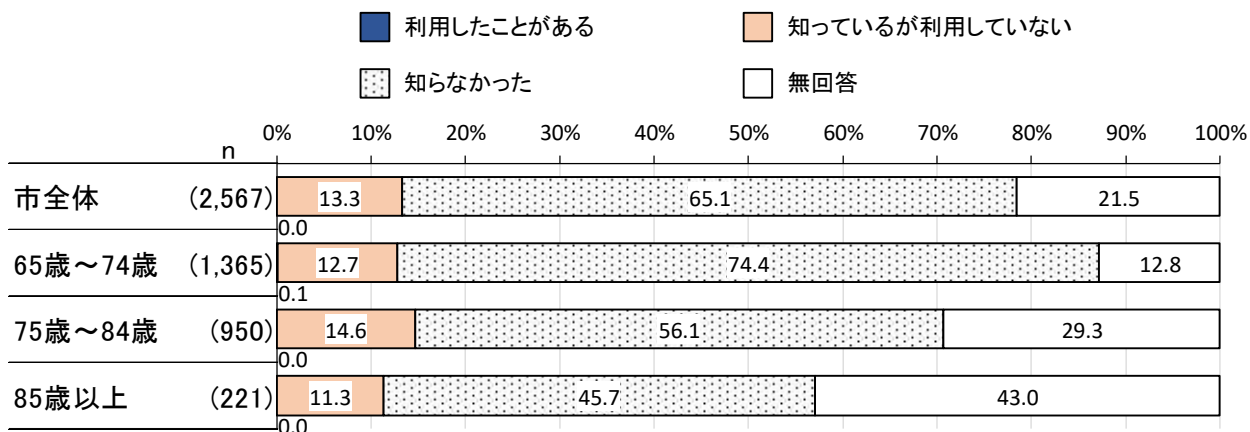
⑩寝具乾燥サービス



年齢別では、どの年齢でも寝具乾燥サービスは、ほとんど利用されておらず、「利用したことがある」の割合は、65歳～74歳が0.1%で、75歳～84歳と85歳以上が各0.0%となっている。

「知らなかった」の割合は、65歳～74歳で73.0%と最も多い。

⑪福祉電話の設置

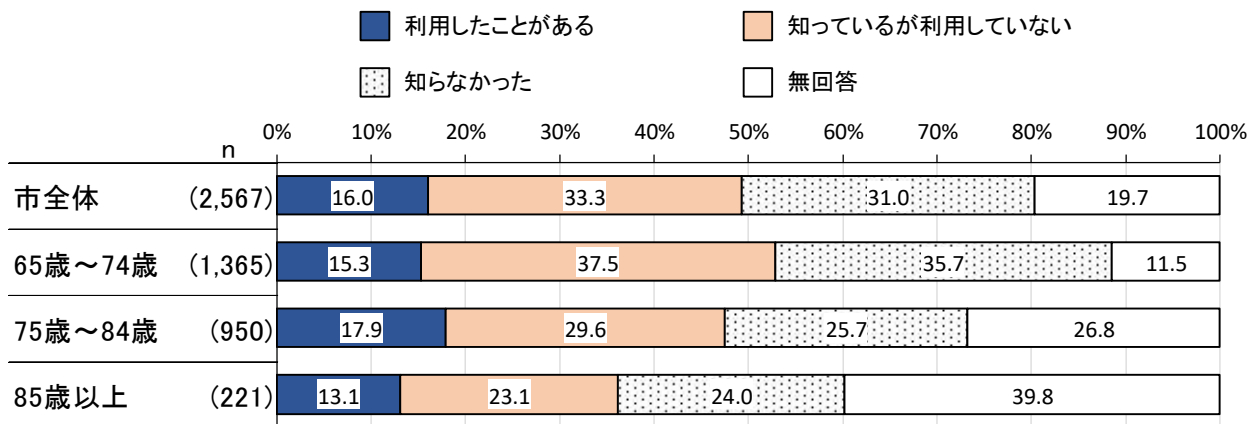


年齢別では、どの年齢でも福祉電話の設置は、ほとんど利用されておらず、「利用したことがある」の割合は、65歳～74歳が0.1%で、75歳～84歳と85歳以上が各0.0%となっている。

「知らなかった」の割合は、65歳～74歳で74.4%と最も多い。

第2章 調査結果の詳細

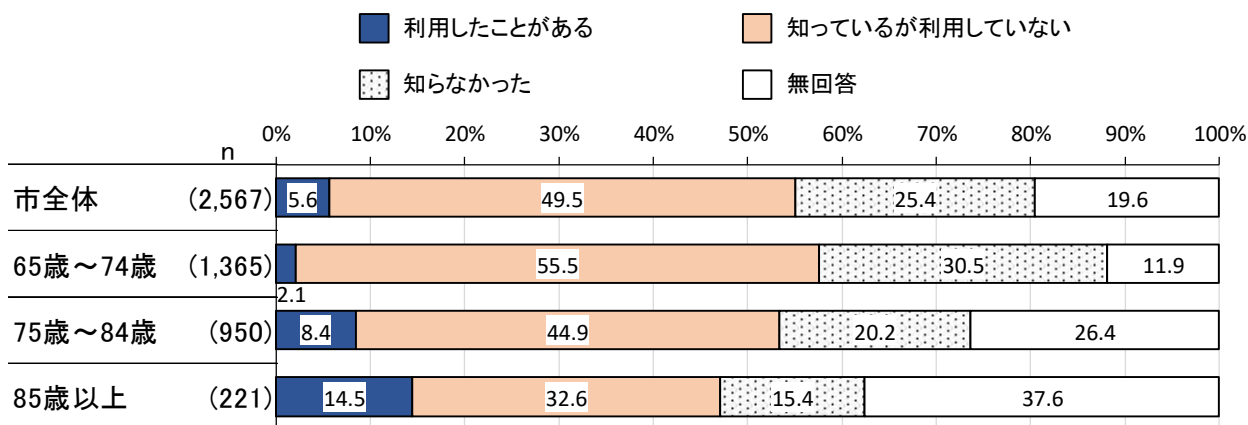
⑫家具転倒防止器具等の支給



年齢別では、「利用したことがある」の割合は75歳～84歳が17.9%と最も多く、次いで、65歳～74歳が15.3%、85歳以上が13.1%の順となっている。

「知っているが利用していない」の割合は、65歳～74歳で37.5%と最も多い。

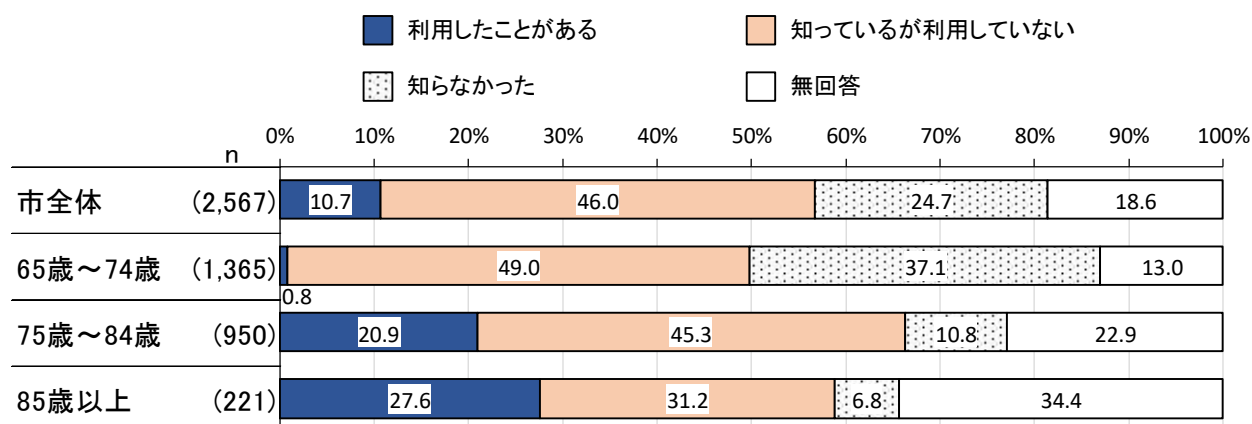
⑬高齢者クラブが行っている各種活動



年齢別では、「利用したことがある」の割合は85歳以上が14.5%と最も多く、次いで、75歳～84歳が8.4%、65歳～74歳が2.1%の順となっている。

「知っているが利用していない」の割合は、65歳～74歳で55.5%と最も多い。

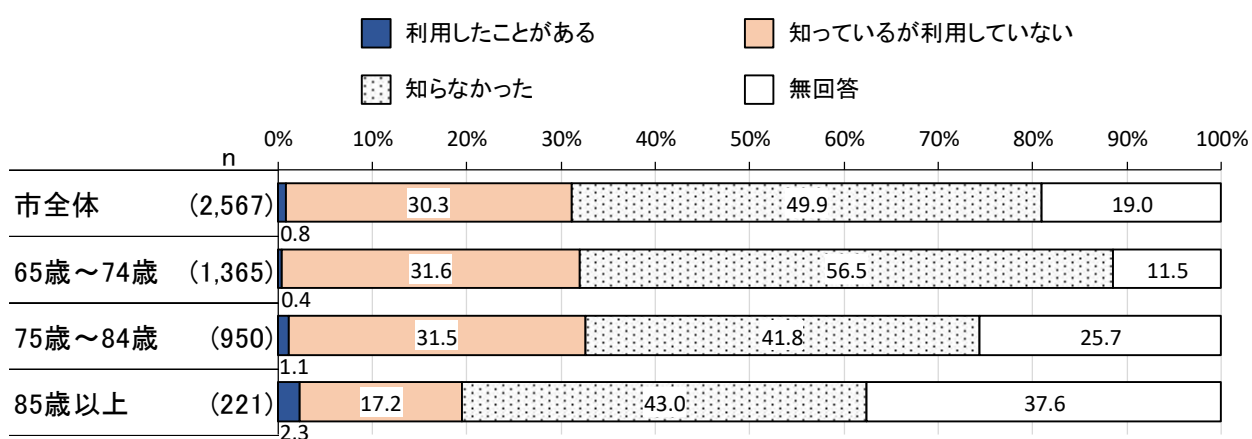
⑭敬老会



年齢別では、「利用したことがある」の割合は85歳以上が27.6%と最も多く、次いで、75歳～84歳が20.9%、65歳～74歳が0.8%の順となっている。

「知っているが利用していない」の割合は、65歳～74歳で49.0%と最も多い。

⑮シルバーマイスター制度

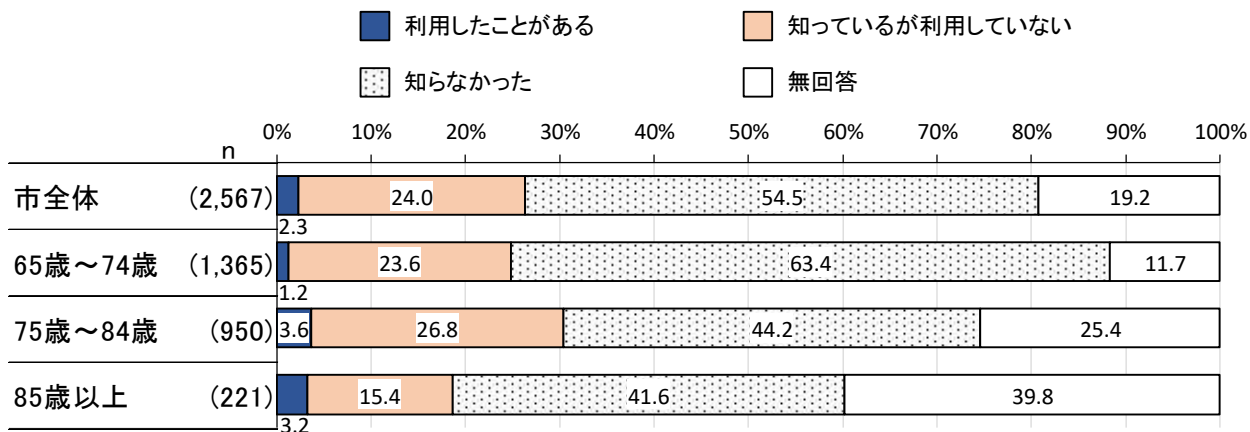


年齢別では、「利用したことがある」の割合は85歳以上が2.3%と最も多く、次いで、75歳～84歳が1.1%、65歳～74歳が0.4%の順となっている。

「知らなかった」の割合は、65歳～74歳で56.5%と最も多い。

第2章 調査結果の詳細

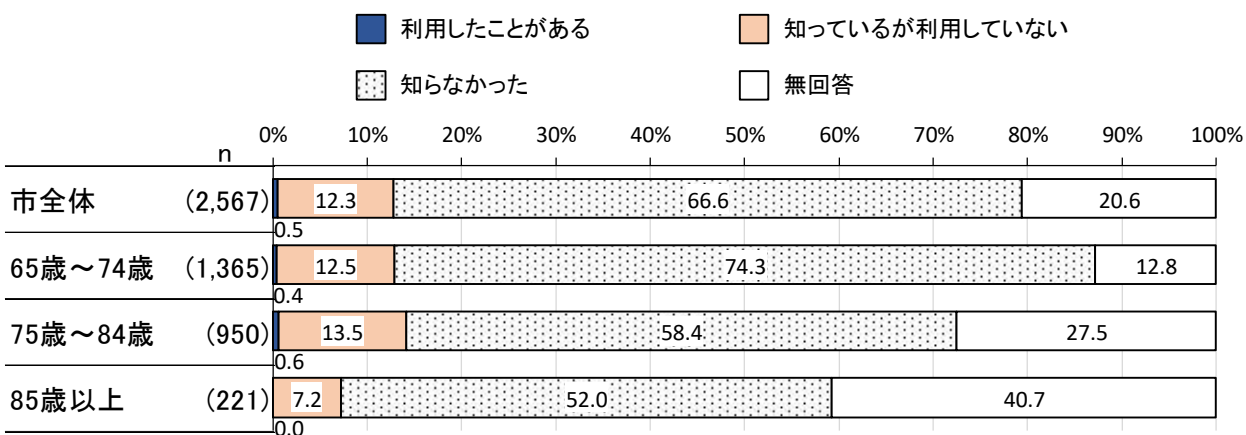
⑩梅っこ体操



年齢別では、「利用したことがある」の割合は75歳～84歳が3.6%と最も多く、次いで、85歳以上が3.2%、65歳～74歳が1.2%の順となっている。

「知らなかった」の割合は、65歳～74歳で63.4%と最も多い。

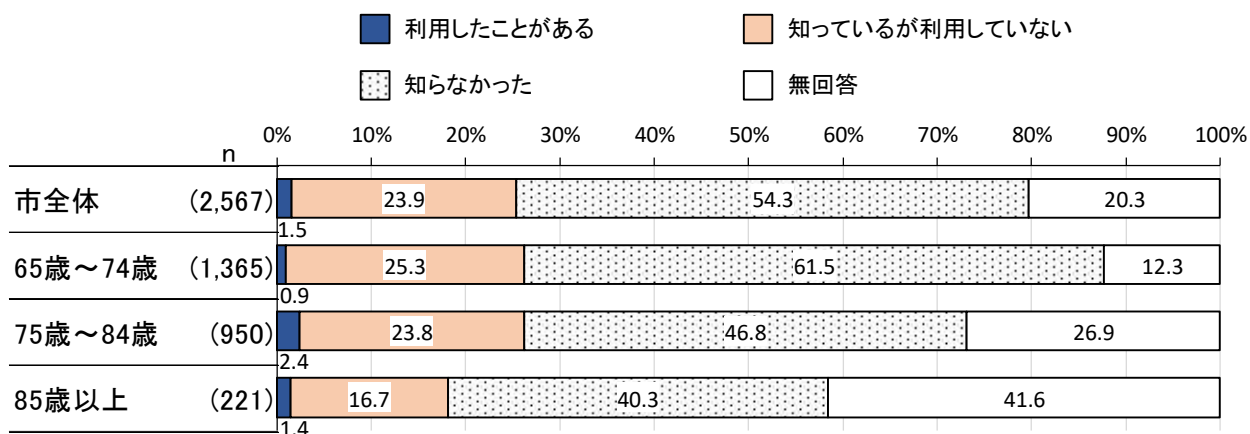
⑰介護予防リーダー



年齢別では、「利用したことがある」の割合は75歳～84歳が0.6%と最も多く、次いで、65歳～74歳が0.4%、85歳以上が0.0%の順となっている。

「知らなかった」の割合は、65歳～74歳で74.3%と最も多い。

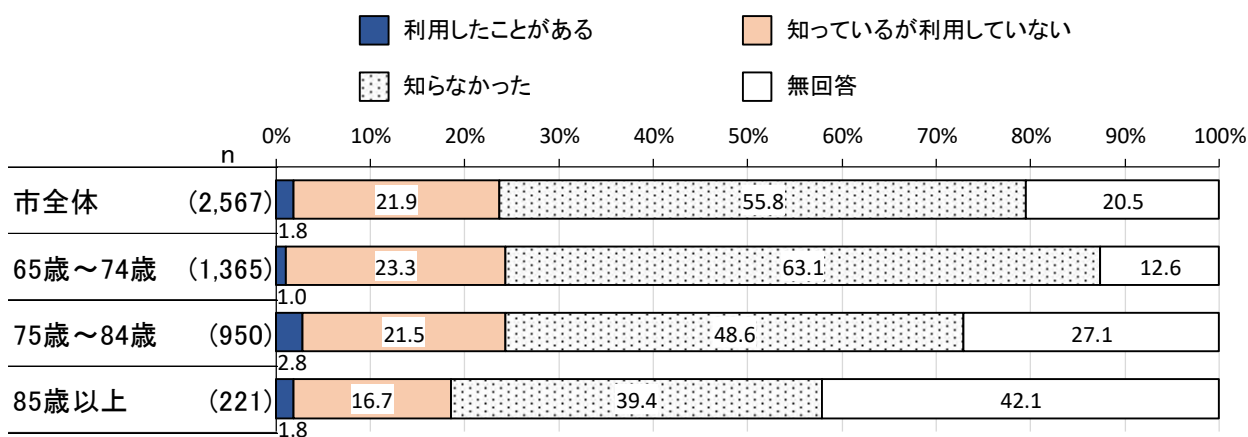
⑱介護予防講演会



年齢別では、「利用したことがある」の割合は75歳～84歳が2.4%と最も多く、次いで、85歳以上が1.4%、65歳～74歳が0.9%の順となっている。

「知らなかった」の割合は、65歳～74歳で61.5%と最も多い。

⑲介護予防講座

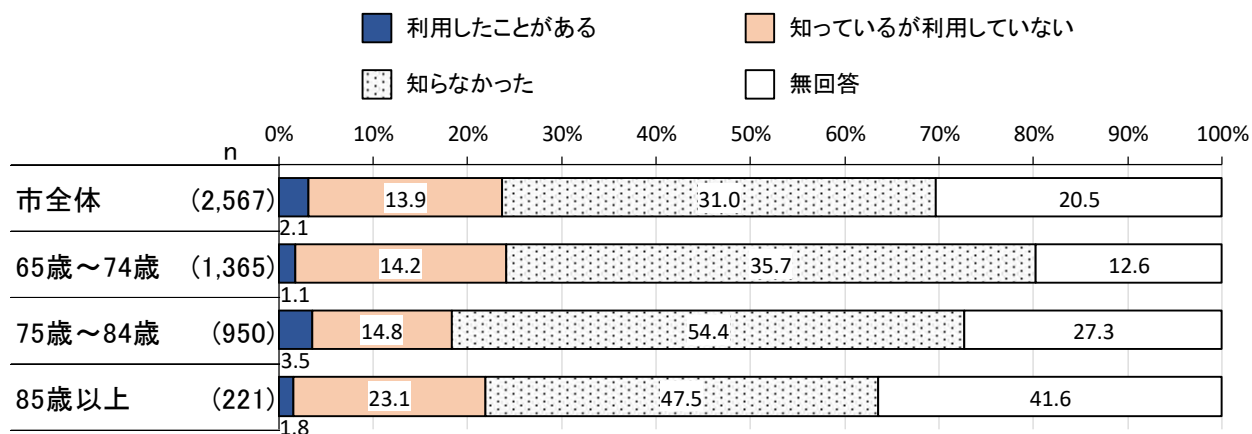


年齢別では、「利用したことがある」の割合は75歳～84歳が2.8%と最も多く、次いで、85歳以上が1.8%、65歳～74歳が1.0%の順となっている。

「知らなかった」の割合は、65歳～74歳で63.1%と最も多い。

第2章 調査結果の詳細

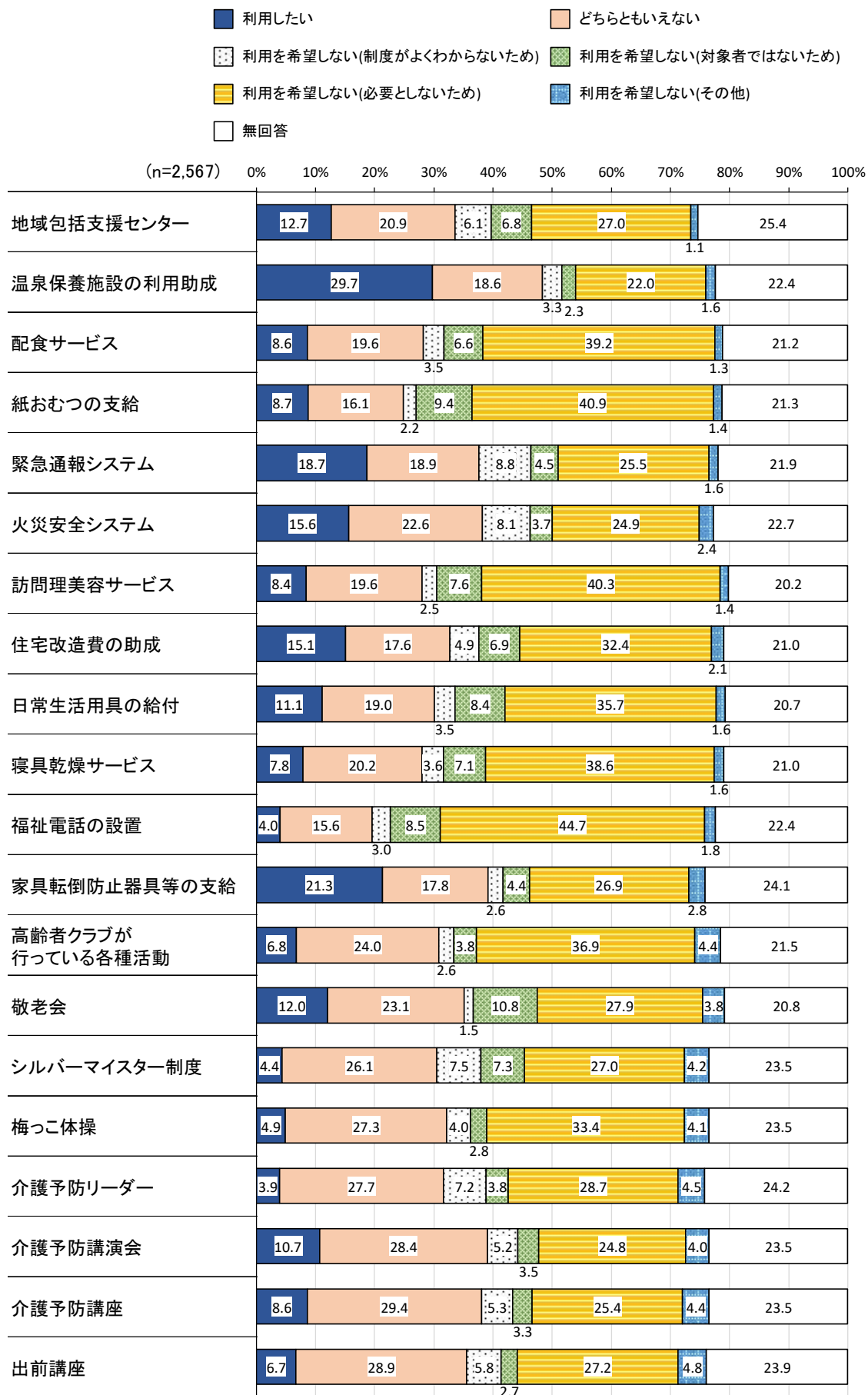
⑳ 出前講座



年齢別では、「利用したことがある」の割合は75歳～84歳が3.5%と最も多く、次いで、85歳以上が1.8%、65歳～74歳が1.1%の順となっている。

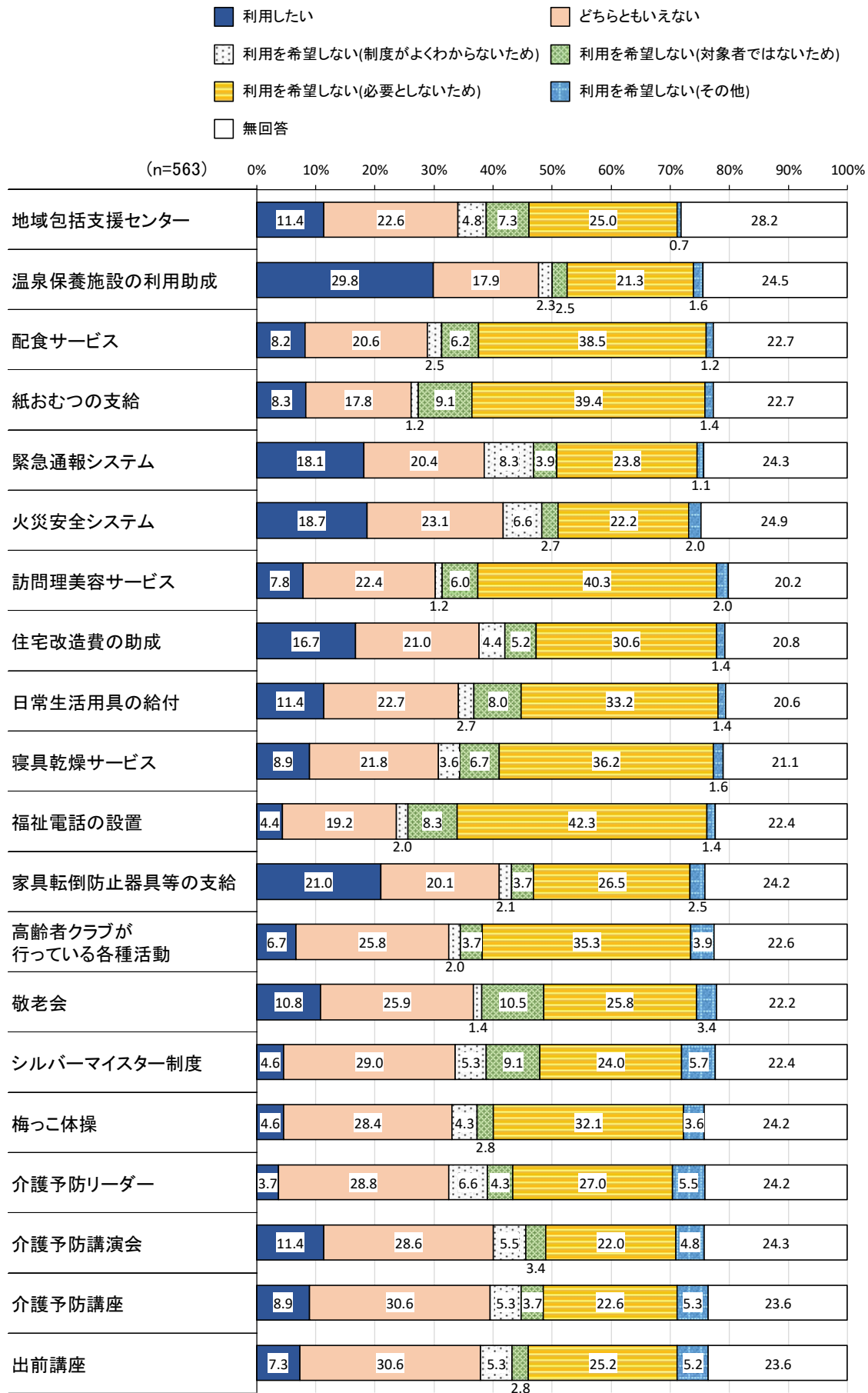
「知らなかった」の割合は、75歳～84歳で54.4%と最も多い。

○利用希望 市全体

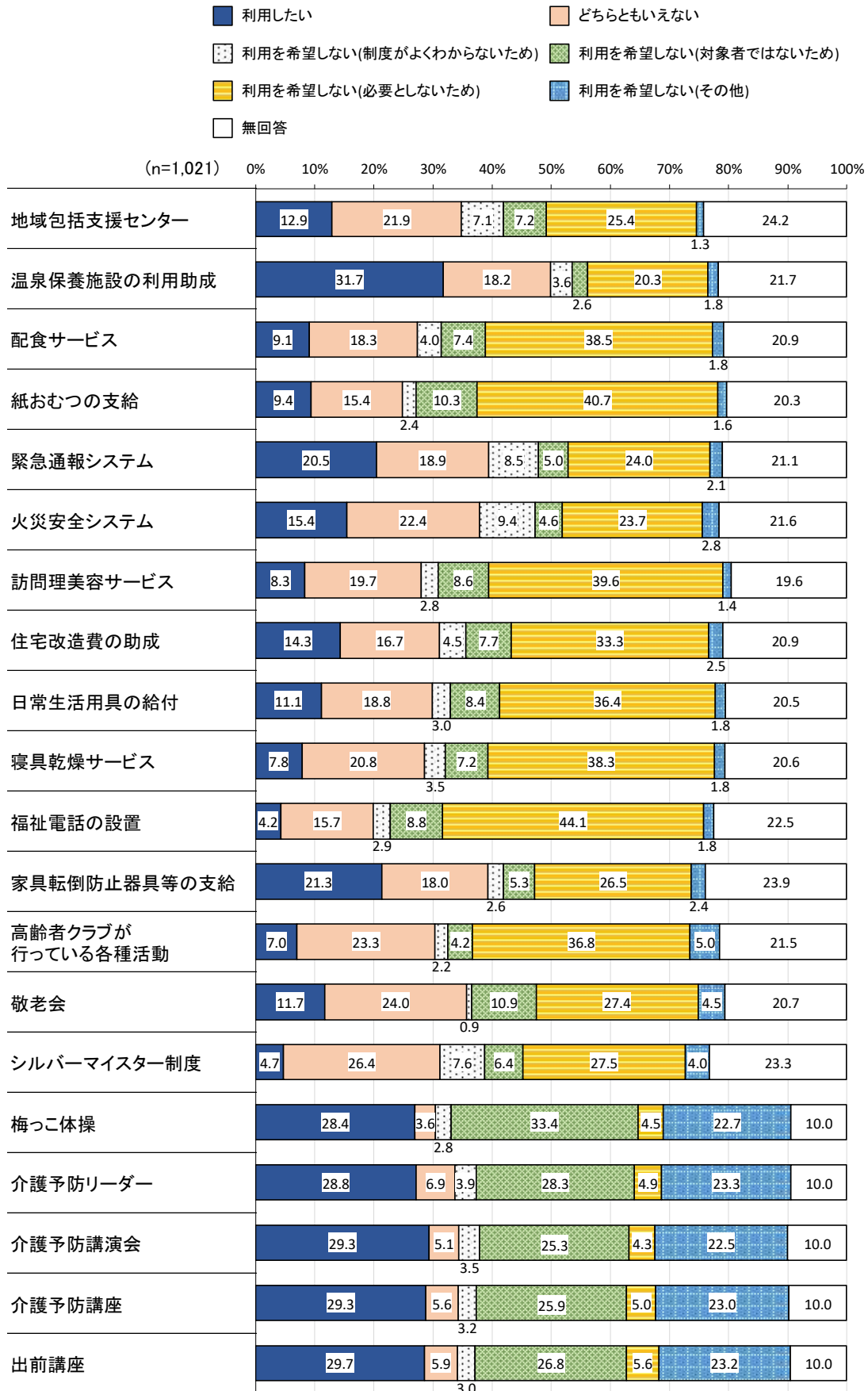


第2章 調査結果の詳細

○利用希望 第1地区

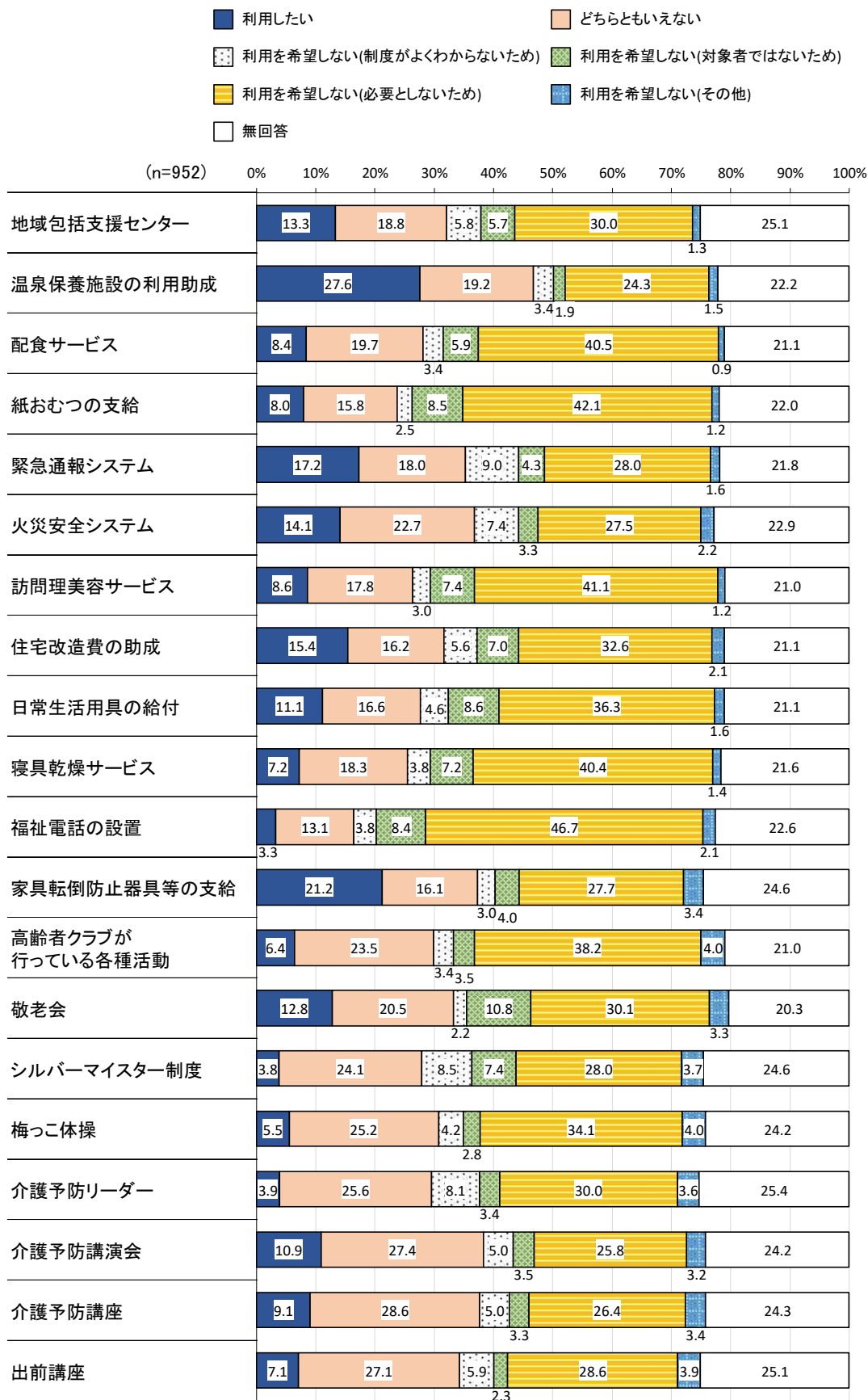


○利用希望第2地区

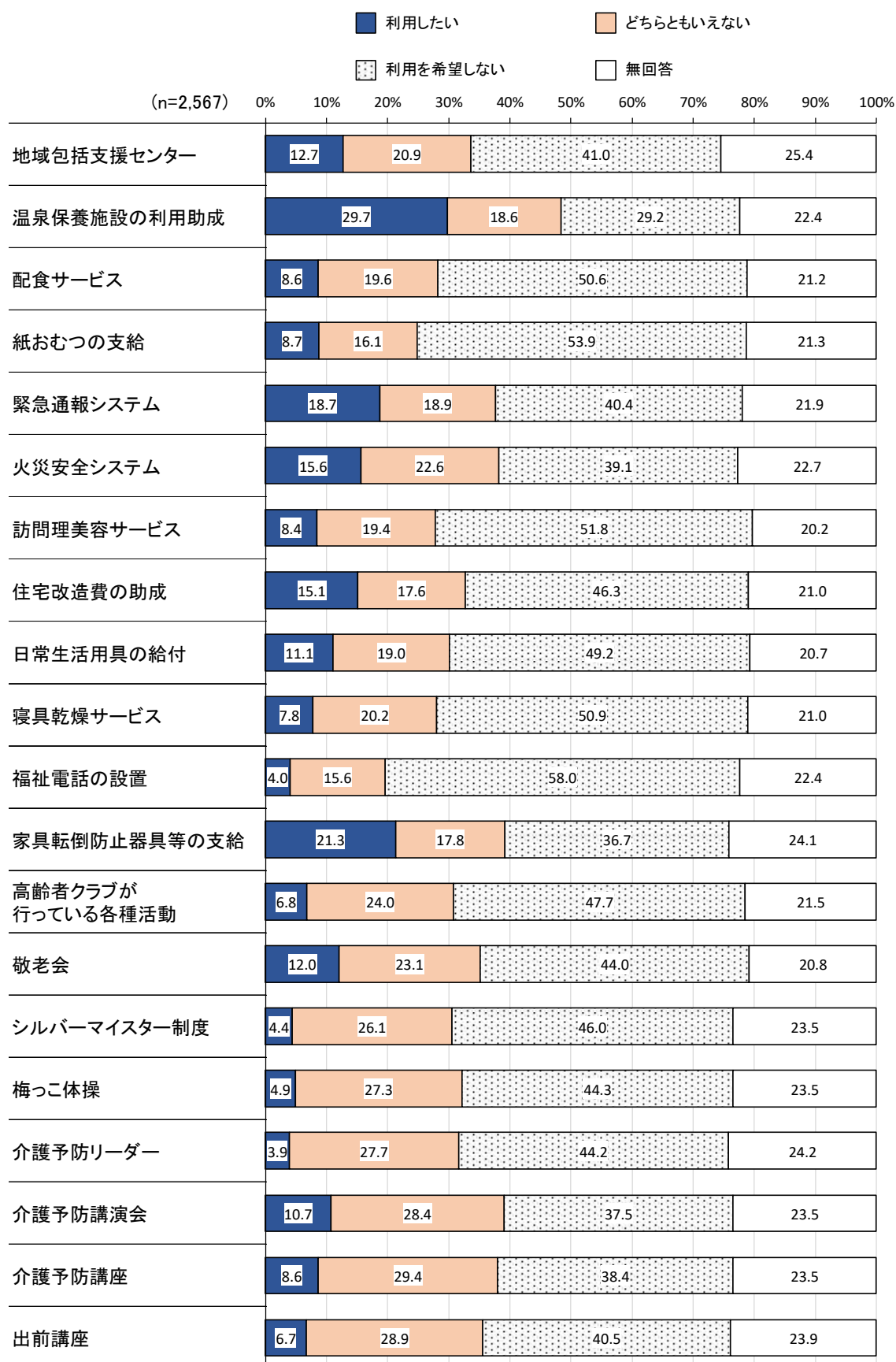


第2章 調査結果の詳細

○利用希望第3地区

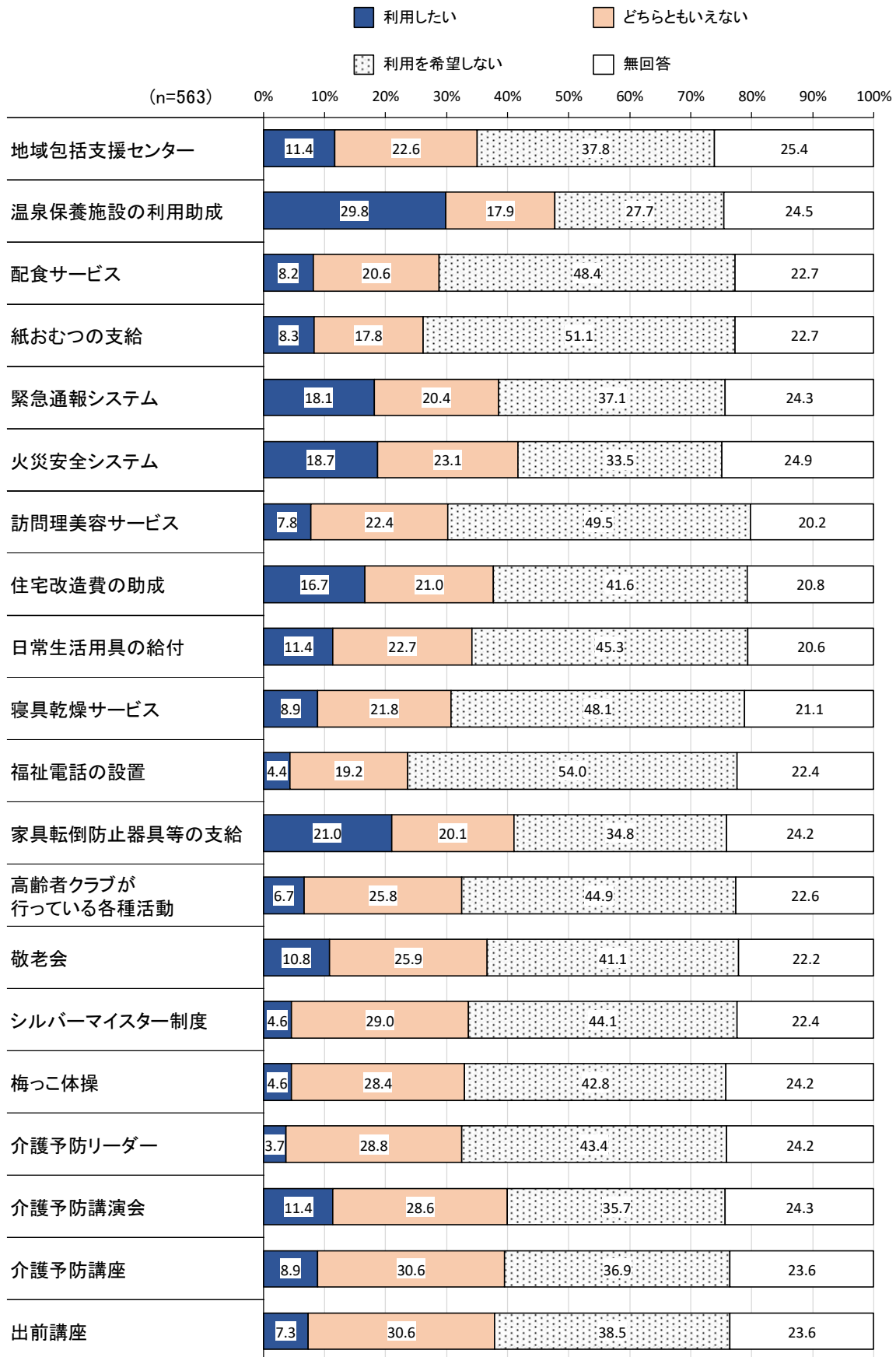


○利用希望（「利用しない」理由を統合した集計） 市全体

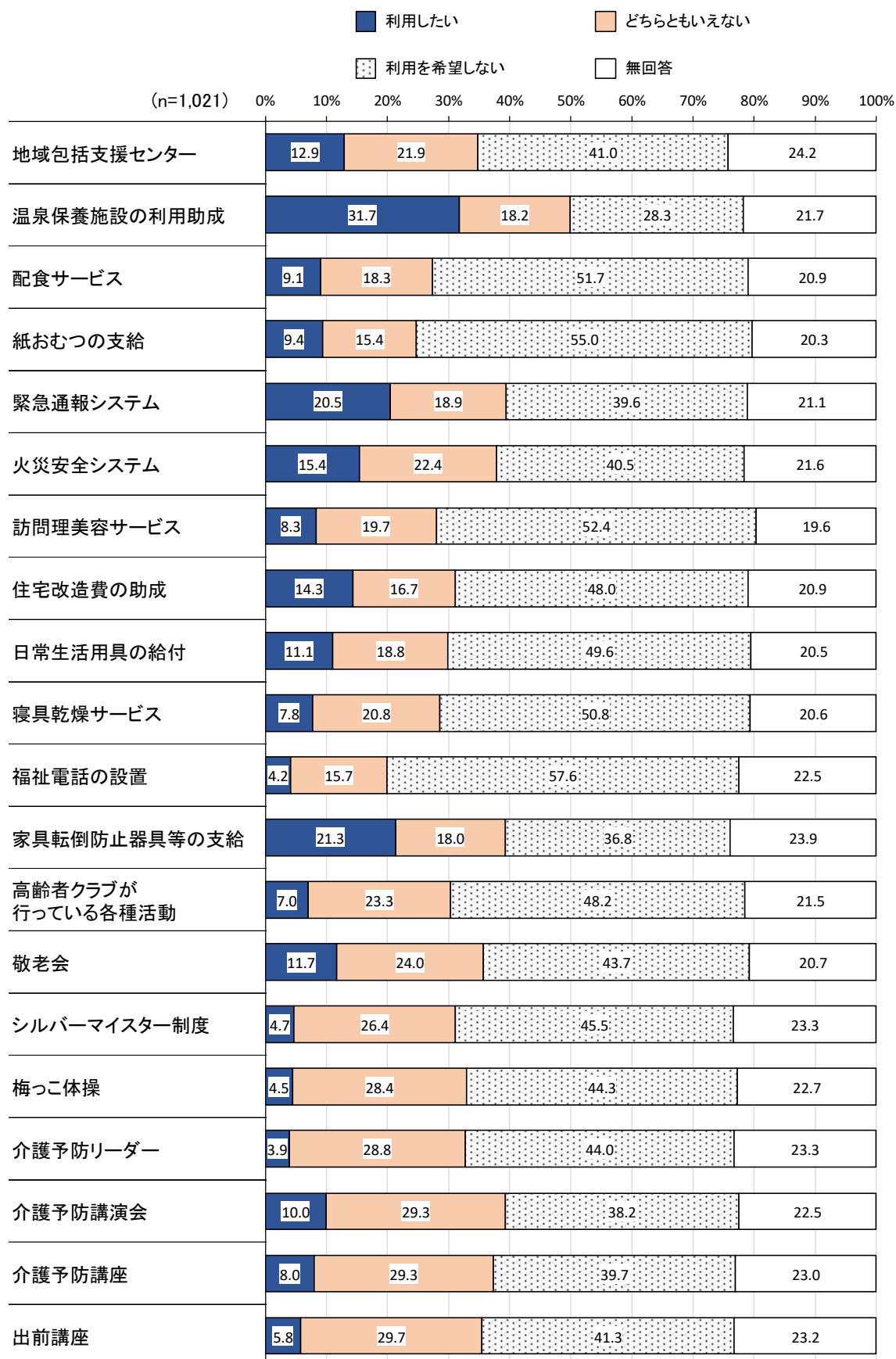


第2章 調査結果の詳細

○利用希望（「利用しない」理由を統合した集計） 第1地区

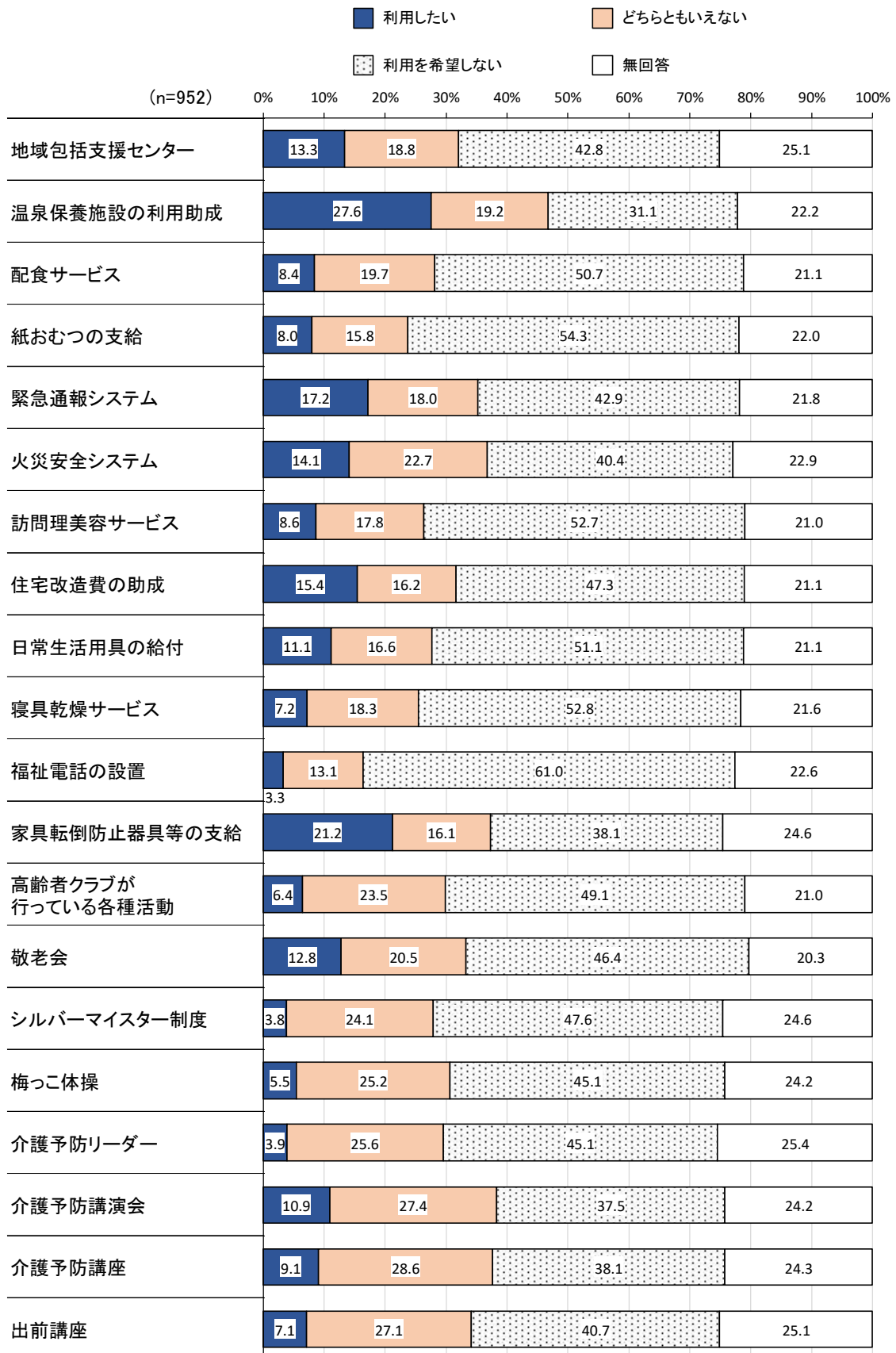


○利用希望（「利用しない」理由を統合した集計） 第2地区



第2章 調査結果の詳細

○利用希望（「利用しない」理由を統合した集計） 第3地区



○各事業の利用希望について

市全体では、「利用したい」割合は、【温泉保養施設の利用助成】が29.7%で最も多く、次いで【家具転倒防止機器等の支給】（21.3%）、【緊急通報システム】（18.7%）、【火災安全システム】（15.6%）、【住宅改修費の助成】（15.1%）の順となっている。

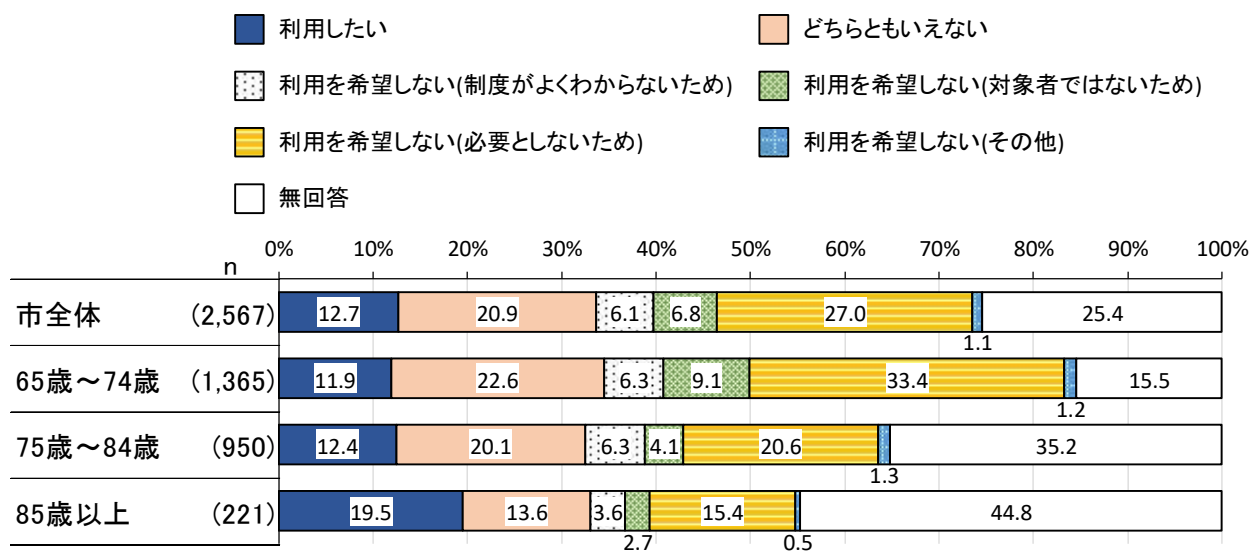
第1地区では、「利用したい」割合は、【温泉保養施設の利用助成】が29.8%で最も多く、次いで【家具転倒防止機器等の支給】（21.0%）、【火災安全システム】（18.7%）、【緊急通報システム】（18.1%）、【住宅改修費の助成】（16.7%）の順となっている。

第2地区では、「利用したい」割合は、【温泉保養施設の利用助成】が31.7%で最も多く、次いで【家具転倒防止機器等の支給】（21.3%）、【緊急通報システム】（20.5%）、【火災安全システム】（15.4%）、【住宅改修費の助成】（14.3%）の順となっている。

第3地区では、「利用したい」割合は、【温泉保養施設の利用助成】が27.6%で最も多く、次いで【家具転倒防止機器等の支給】（21.2%）、【緊急通報システム】（17.2%）、【住宅改修費の助成】（15.4%）、【火災安全システム】（14.1%）の順となっている。

○今後の利用希望（年齢別）

①地域包括支援センター

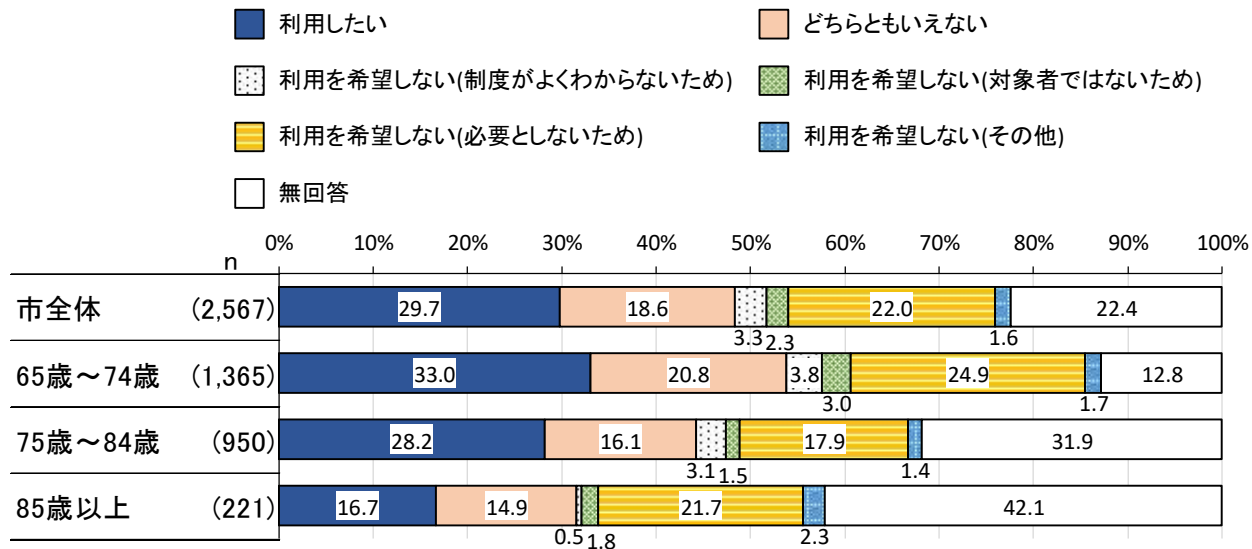


年齢別では、「利用したい」の割合は85歳以上が19.5%と最も多く、次いで、75歳～84歳が12.4%、65歳～74歳が11.9%の順となっている。

「利用希望しない（必要としないため）」の割合は、65歳～74歳で33.4%と最も多い。

第2章 調査結果の詳細

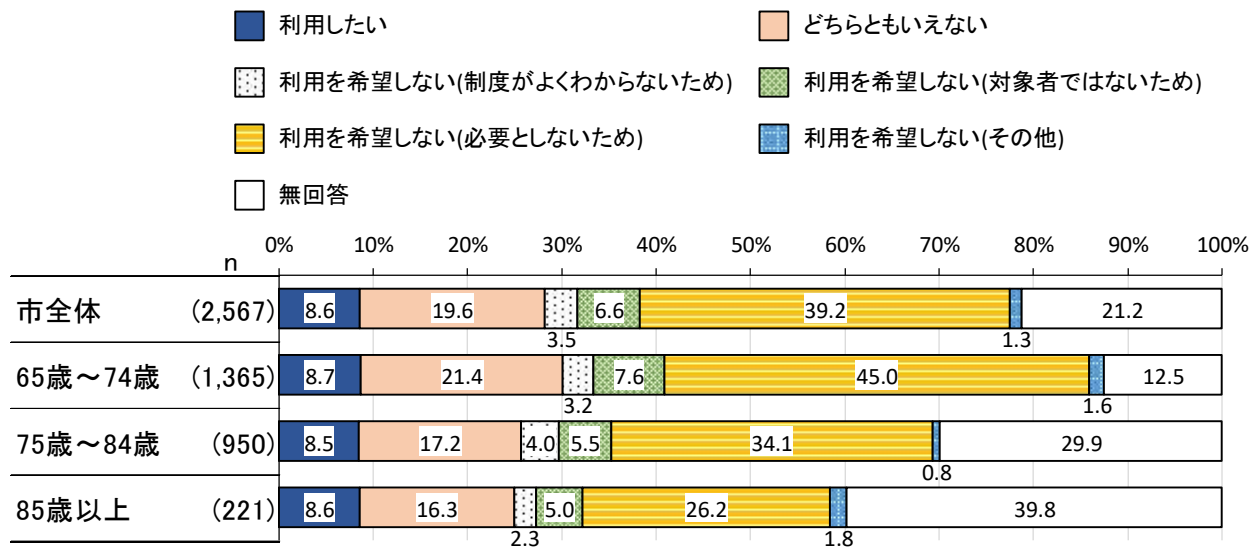
②温泉保養施設の利用助成



年齢別では、「利用したい」の割合は65歳～74歳が33.0%と最も多く、次いで、75歳～84歳が28.2%、85歳以上が16.7%の順となっている。

「利用希望しない（必要としないため）」の割合は、65歳～74歳で24.9%と最も多い。

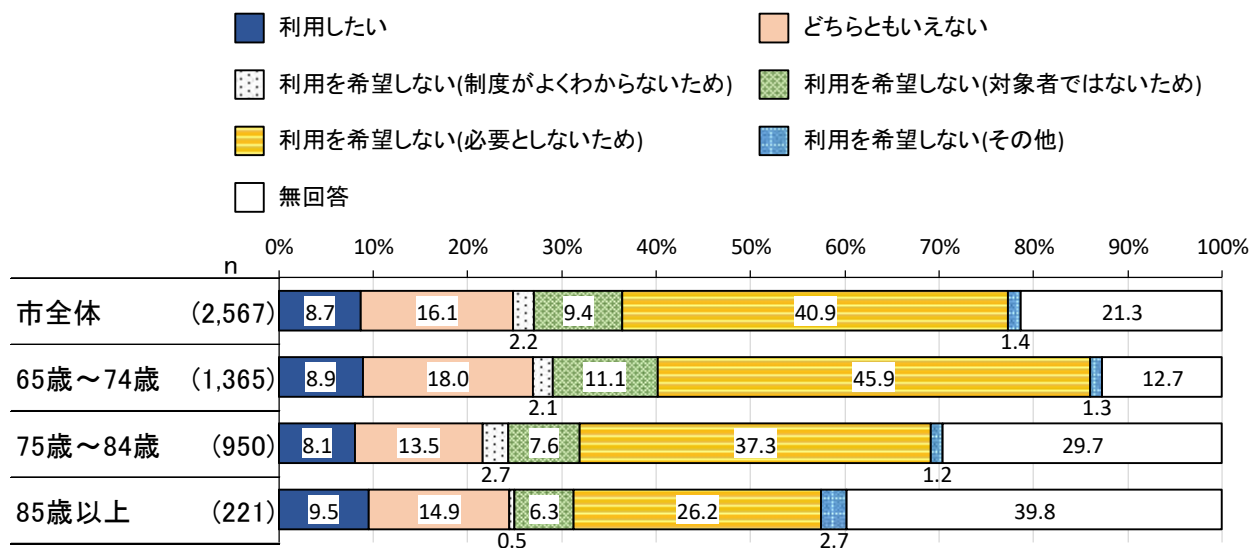
③配食サービス



年齢別では、「利用したい」の割合は65歳～74歳が8.7%と最も多く、次いで、85歳以上が8.6%、75歳～84歳が8.5%の順となっている。

「利用希望しない（必要としないため）」の割合は、65歳～74歳で45.0%と最も多い。

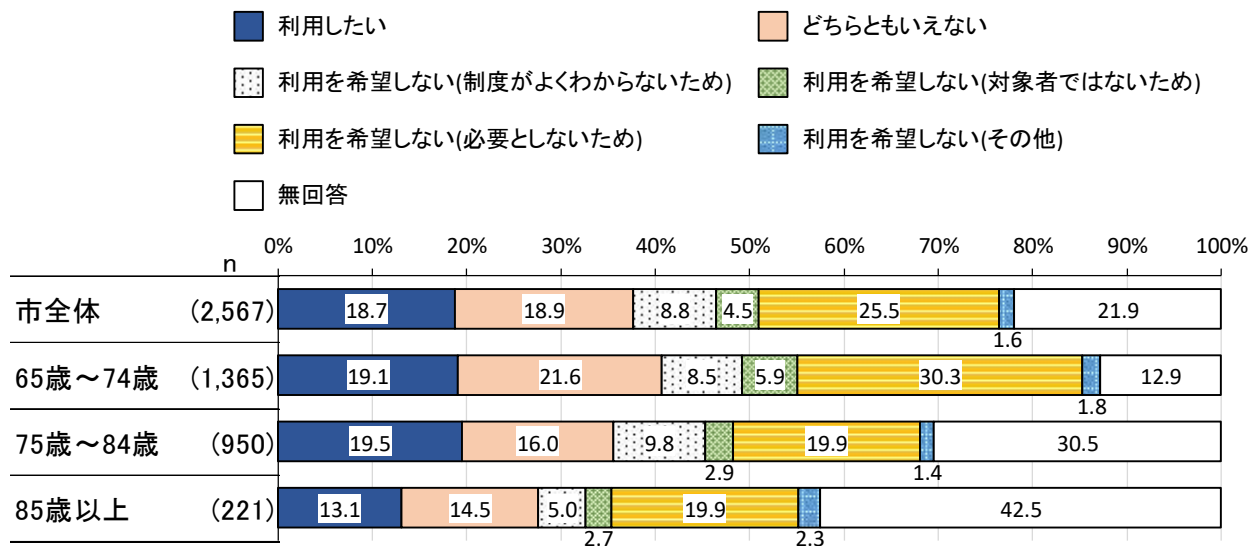
④紙おむつの支給



年齢別では、「利用したい」の割合は85歳以上が9.5%と最も多く、次いで、65歳～74歳が8.9%、75歳～84歳が8.1%の順となっている。

「利用希望しない（必要としないため）」の割合は、65歳～74歳で45.9%と最も多い。

⑤緊急通報システム

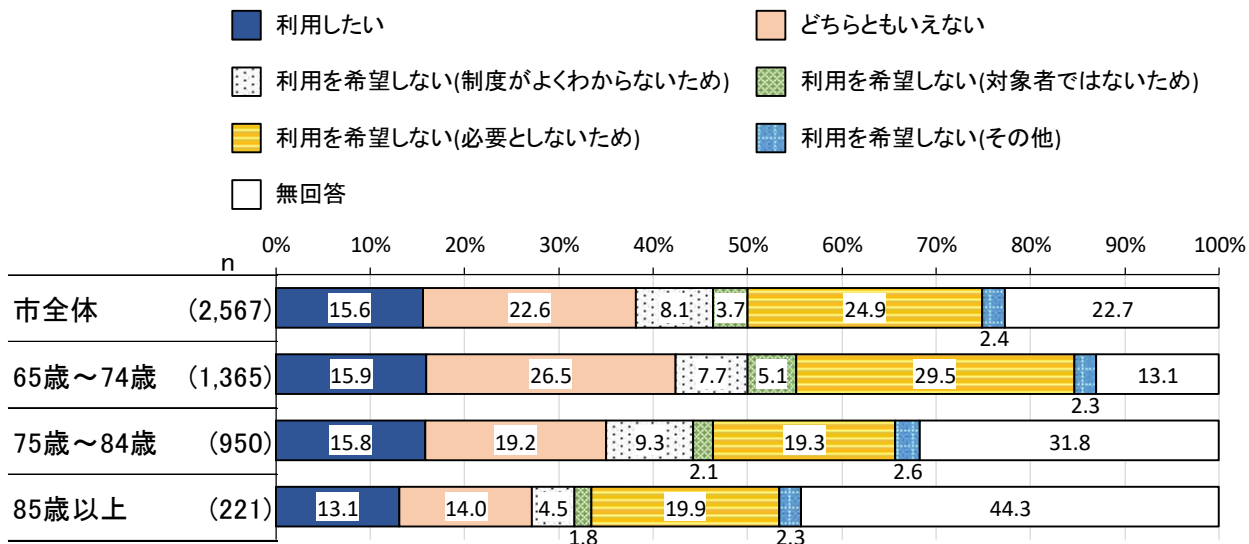


年齢別では、「利用したい」の割合は75歳～84歳が19.5%と最も多く、次いで、65歳～74歳が19.1%、85歳以上が13.1%の順となっている。

「利用希望しない（必要としないため）」の割合は、65歳～74歳で30.3%と最も多い。

第2章 調査結果の詳細

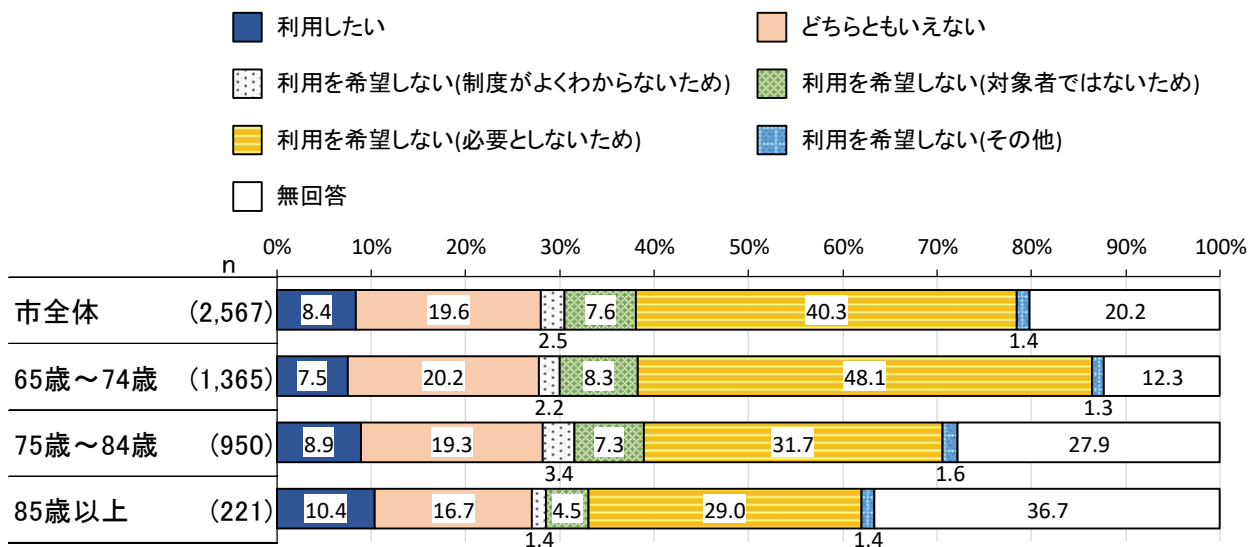
⑥火災安全システム



年齢別では、「利用したい」の割合は65歳～74歳が15.9%と最も多く、次いで、75歳～84歳が15.8%、85歳以上が13.1%の順となっている。

「利用希望しない（必要としないため）」の割合は、65歳～74歳で29.5%と最も多い。

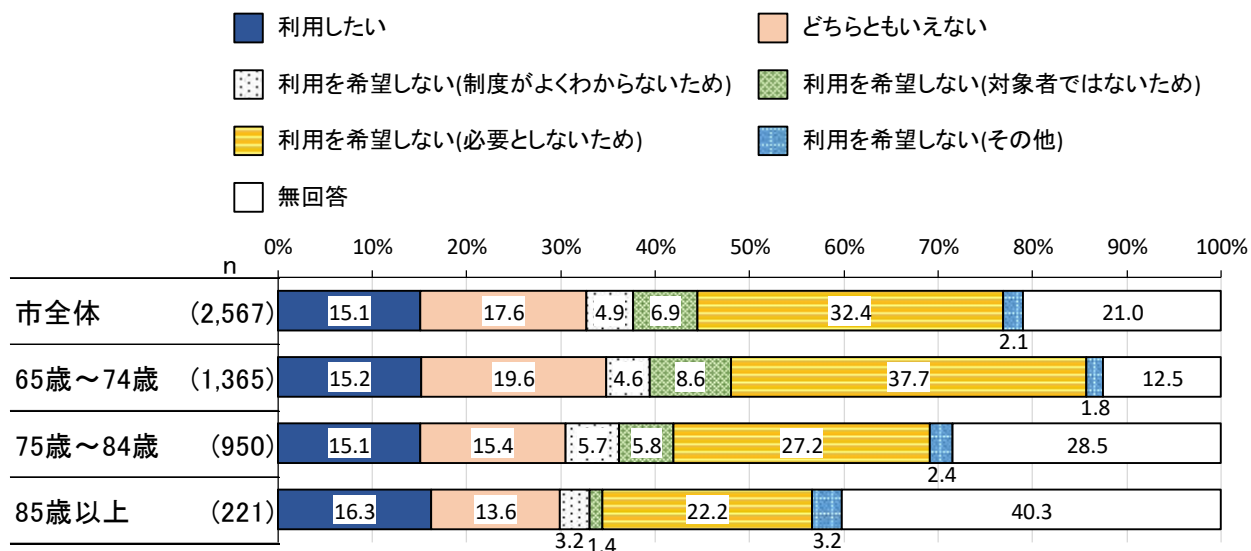
⑦訪問理美容サービス



年齢別では、「利用したい」の割合は85歳以上が10.4%と最も多く、次いで、75歳～84歳が8.9%、65歳～74歳が7.5%の順となっている。

「利用希望しない（必要としないため）」の割合は、65歳～74歳で48.1%と最も多い。

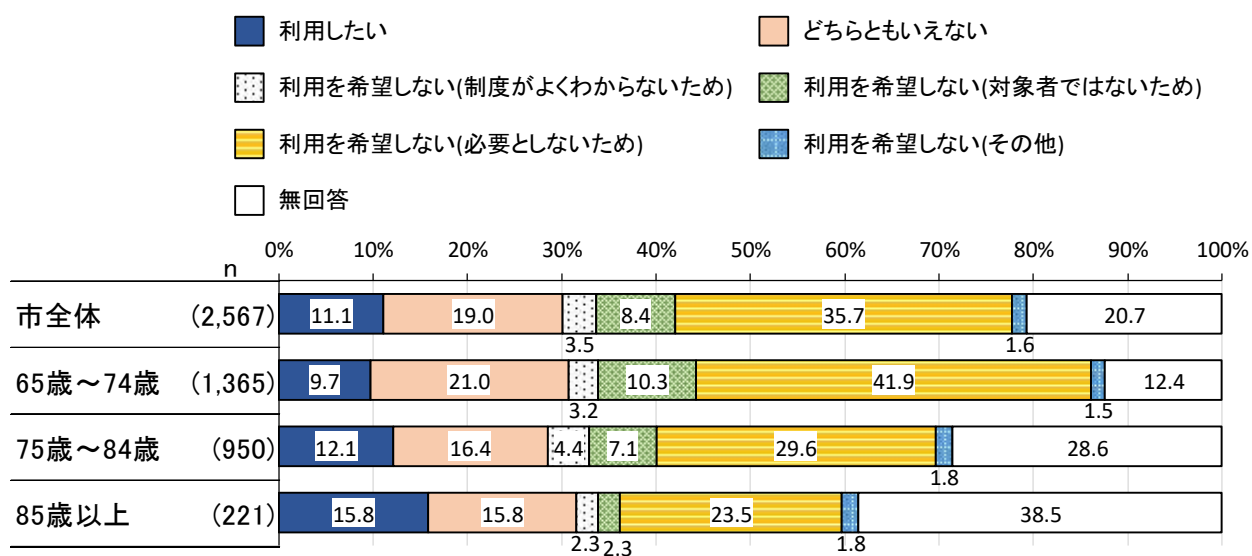
⑧住宅改造費の助成



年齢別では、「利用したい」の割合は85歳以上が16.3%と最も多く、次いで、65歳～74歳が15.2%、75歳～84歳が15.1%の順となっている。

「利用希望しない（必要としないため）」の割合は、65歳～74歳で37.7%と最も多い。

⑨日常生活用具の給付

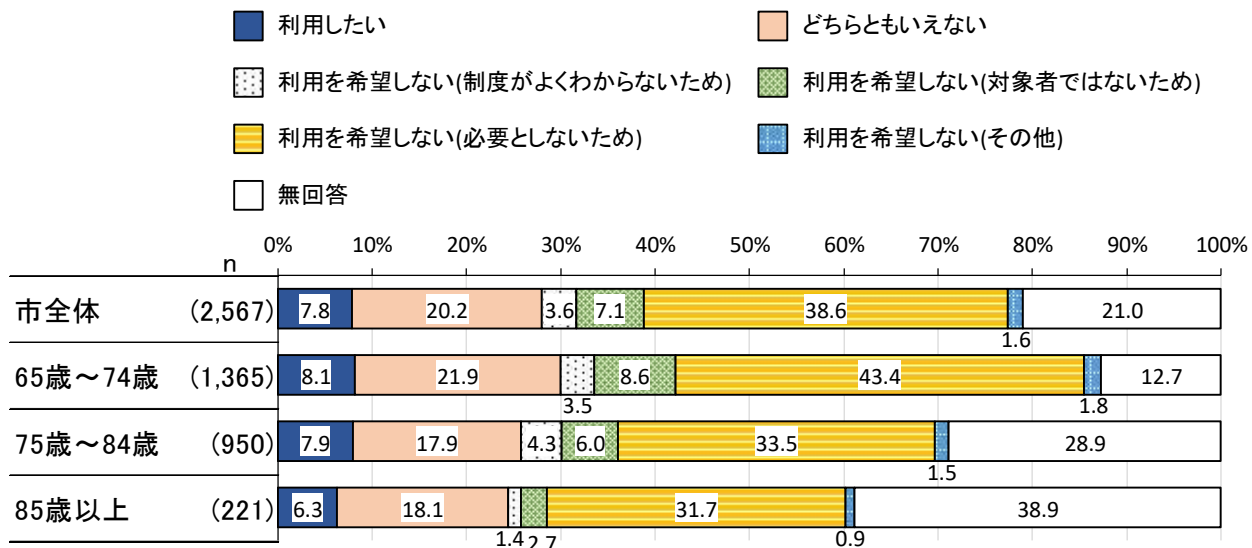


年齢別では、「利用したい」の割合は85歳以上が15.8%と最も多く、次いで、75歳～84歳が12.1%、65歳～74歳が9.7%の順となっている。

「利用希望しない（必要としないため）」の割合は、65歳～74歳で41.9%と最も多い。

第2章 調査結果の詳細

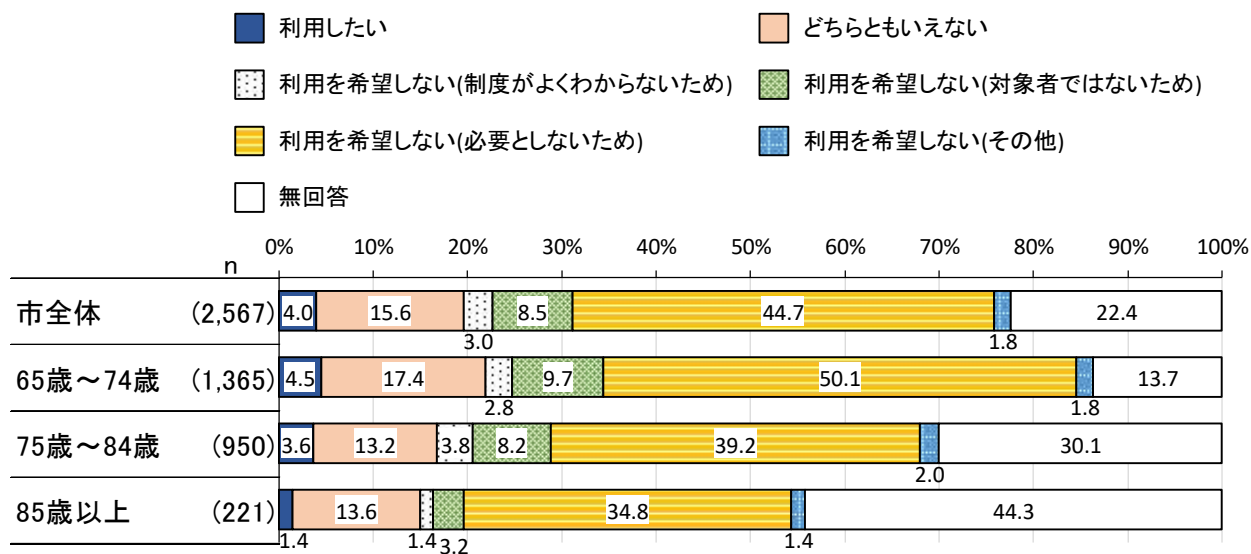
⑩寝具乾燥サービス



年齢別では、「利用したい」の割合は65歳～74歳が8.1%と最も多く、次いで、75歳～84歳が7.9%、85歳以上が6.3%の順となっている。

「利用希望しない（必要としないため）」の割合は、65歳～74歳で43.4%と最も多い。

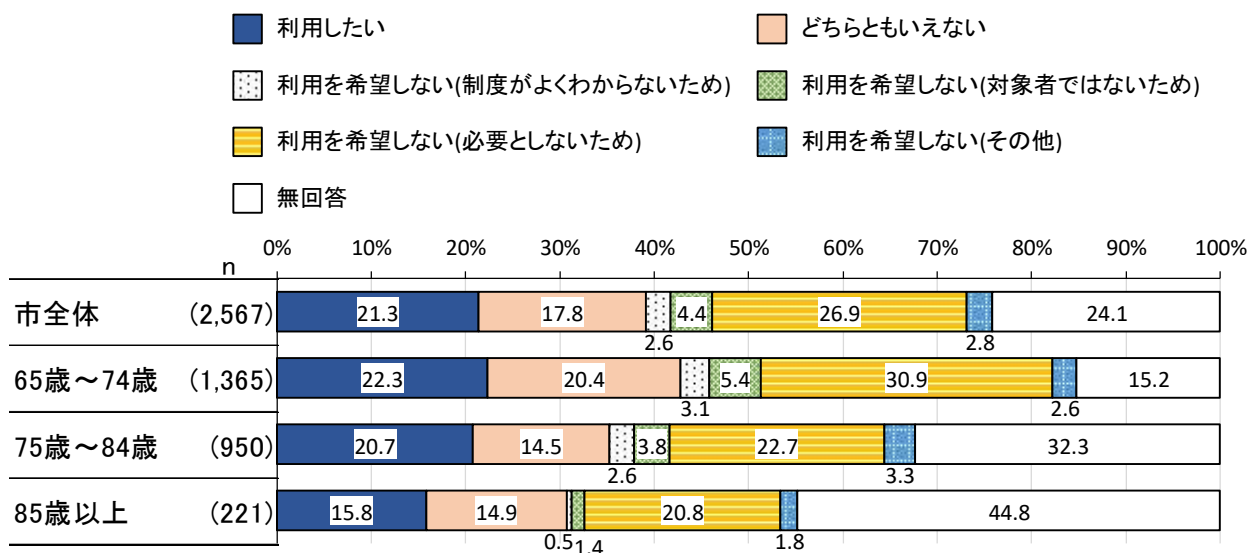
⑪福祉電話の設置



年齢別では、「利用したい」の割合は65歳～74歳が4.5%と最も多く、次いで、75歳～84歳が3.6%、85歳以上が1.4%の順となっている。

「利用希望しない（必要としないため）」の割合は、65歳～74歳で50.1%と最も多い。

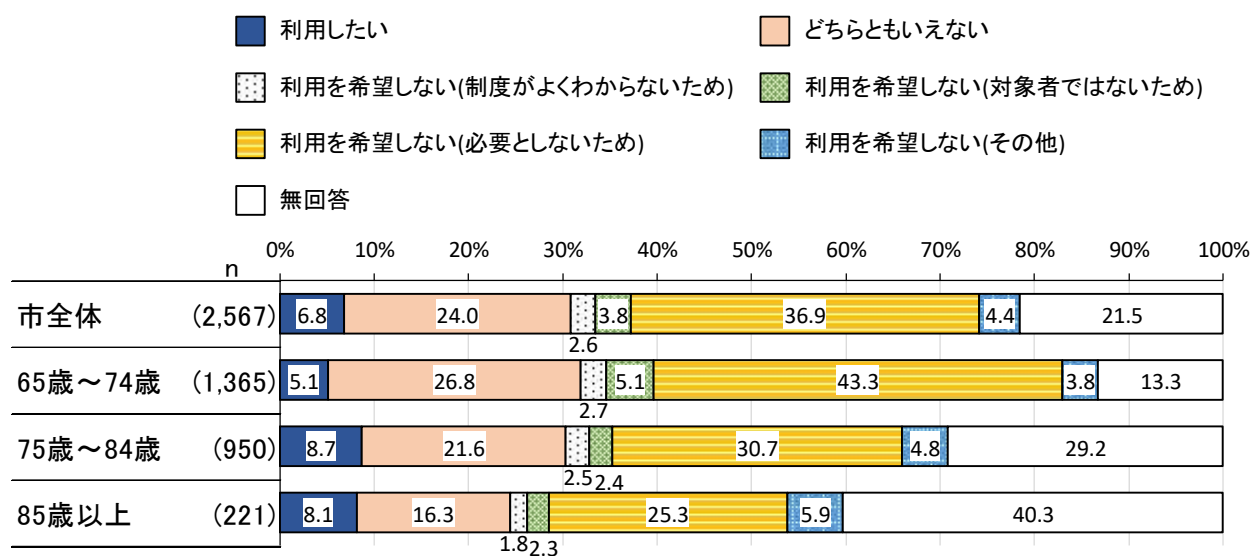
⑫家具転倒防止器具等の支給



年齢別では、「利用したい」の割合は65歳～74歳が22.3%と最も多く、次いで、75歳～84歳が20.7%、85歳以上が15.8%の順となっている。

「利用希望しない（必要としないため）」の割合は、65歳～74歳で30.9%と最も多い。

⑬高齢者クラブが行っている各種活動

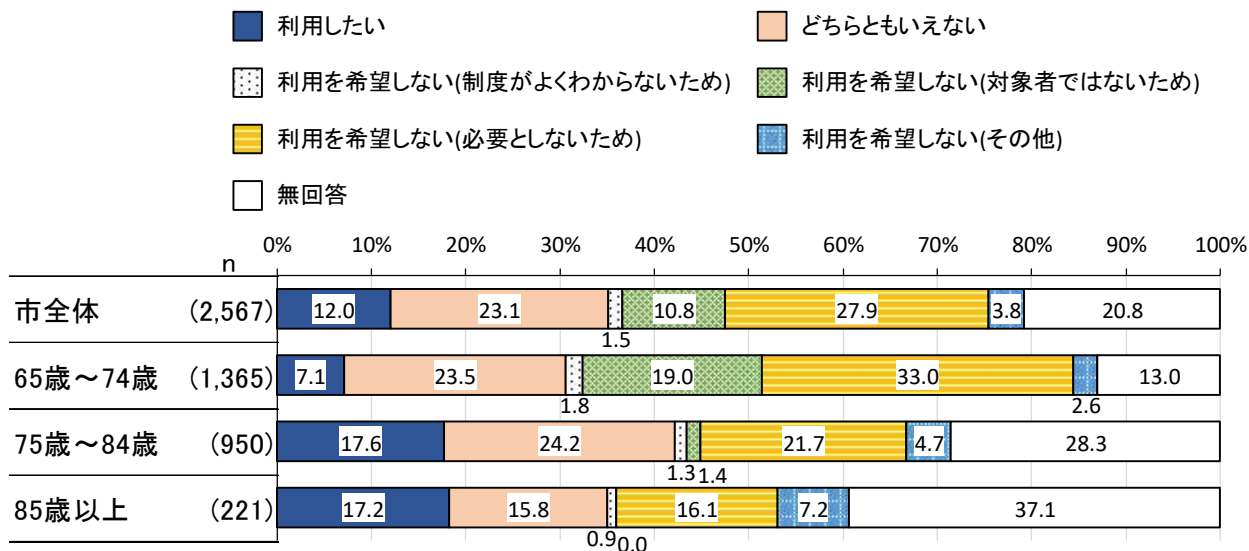


年齢別では、「利用したい」の割合は75歳～84歳が8.7%と最も多く、次いで、85歳以上が8.1%、65歳～74歳が5.1%の順となっている。

「利用希望しない（必要としないため）」の割合は、65歳～74歳で43.3%と最も多い。

第2章 調査結果の詳細

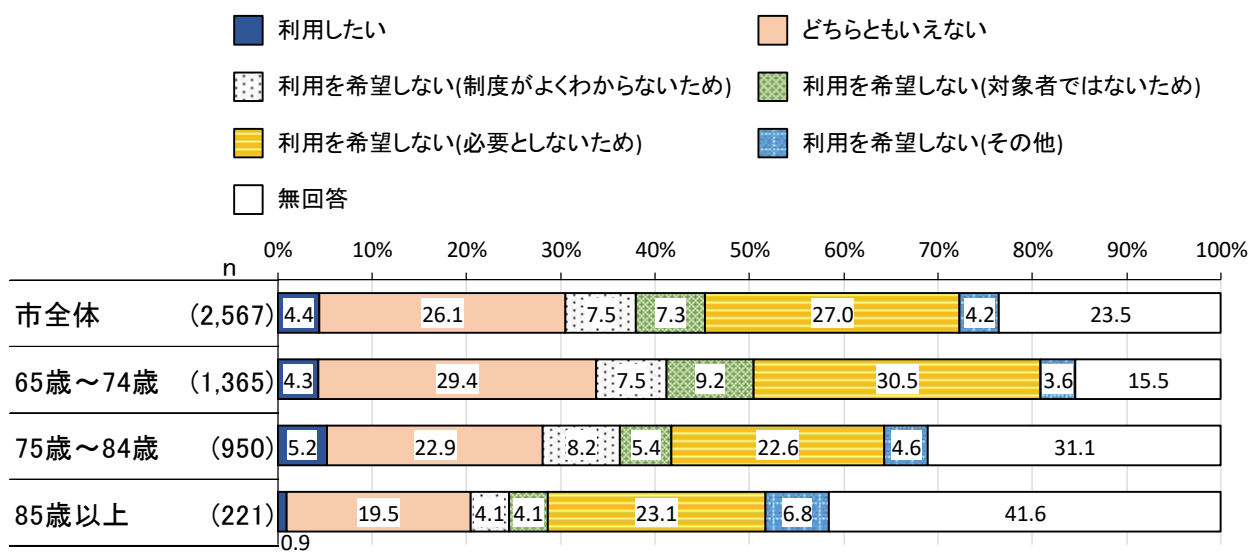
⑭敬老会



年齢別では、「利用したい」の割合は75歳～84歳が17.6%と最も多く、次いで、85歳以上が17.2%、65歳～74歳が7.1%の順となっている。

「利用希望しない（必要としないため）」の割合は、65歳～74歳で33.0%と最も多い。

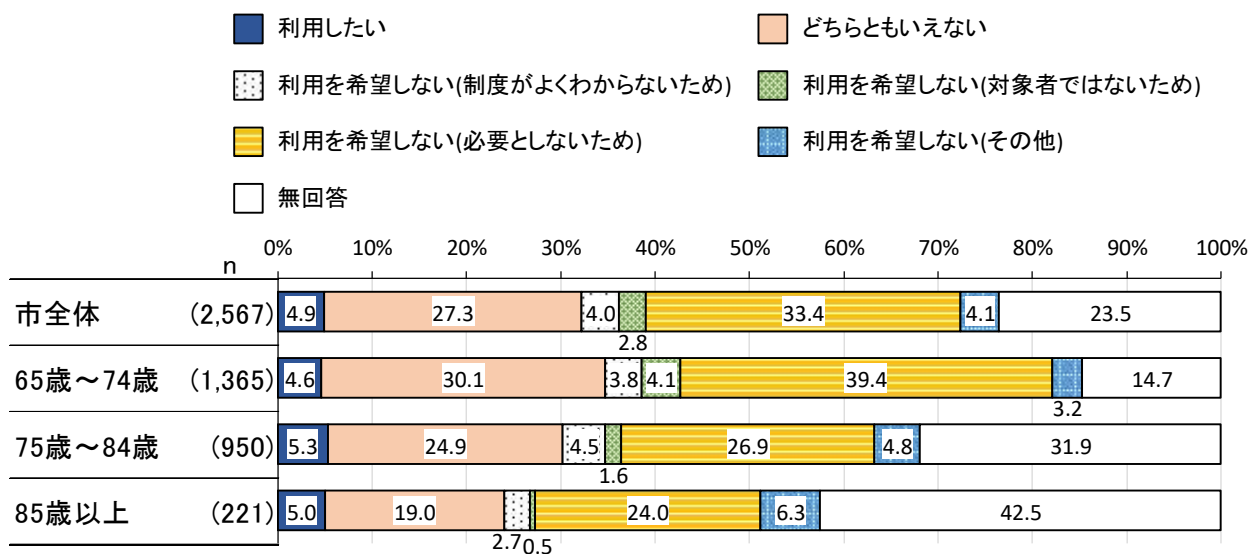
⑮シルバーマイスター制度



年齢別では、「利用したい」の割合は75歳～84歳が5.2%と最も多く、次いで、65歳～74歳が4.3%、85歳以上が0.9%の順となっている。

「利用希望しない（必要としないため）」の割合は、65歳～74歳で30.5%と最も多い。

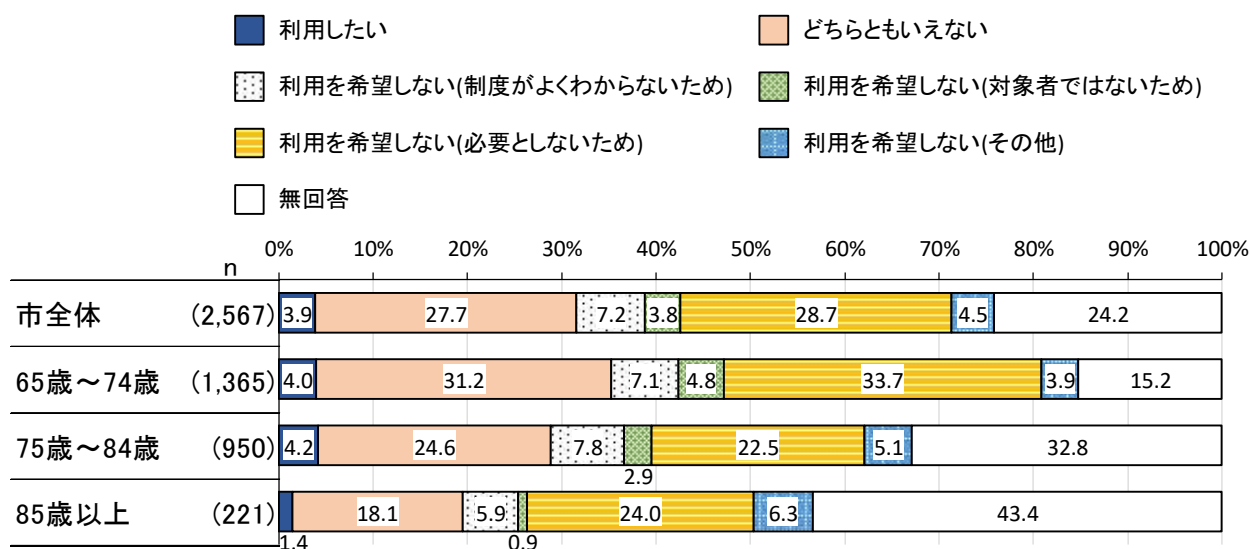
⑩梅っこ体操



年齢別では、「利用したい」の割合は75歳～84歳が5.3%と最も多く、次いで、85歳以上が5.0%、65歳～74歳が4.6%の順となっている。

「利用希望しない（必要としないため）」の割合は、65歳～74歳で39.4%と最も多い。

⑰介護予防リーダー

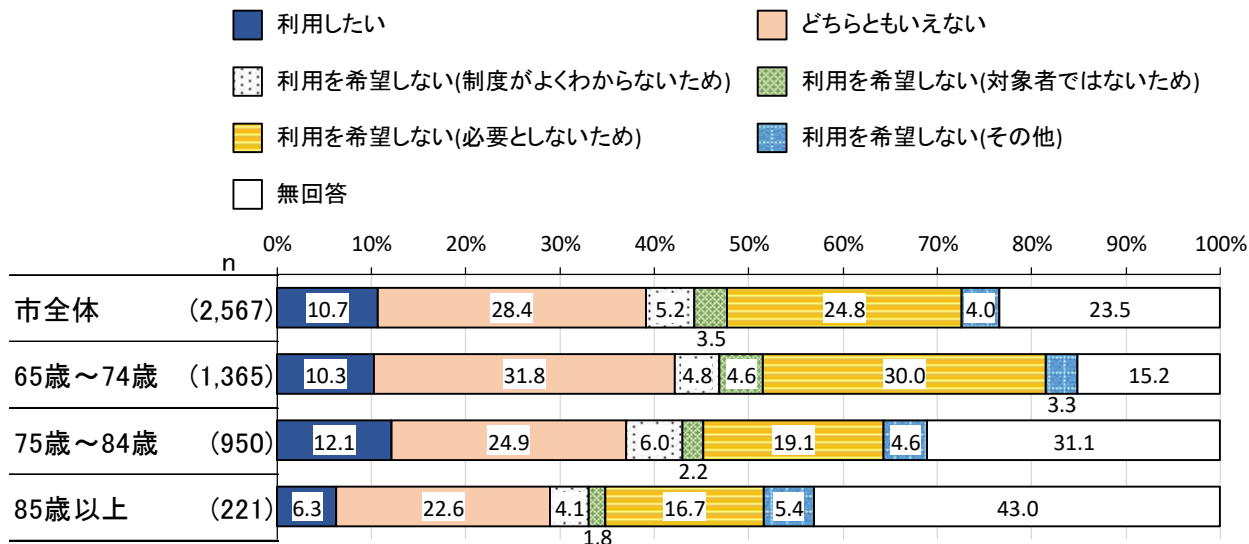


年齢別では、「利用したい」の割合は75歳～84歳が4.2%と最も多く、次いで、65歳～74歳が4.0%、85歳以上が1.4%の順となっている。

「利用希望しない（必要としないため）」の割合は、65歳～74歳で33.7%と最も多い。

第2章 調査結果の詳細

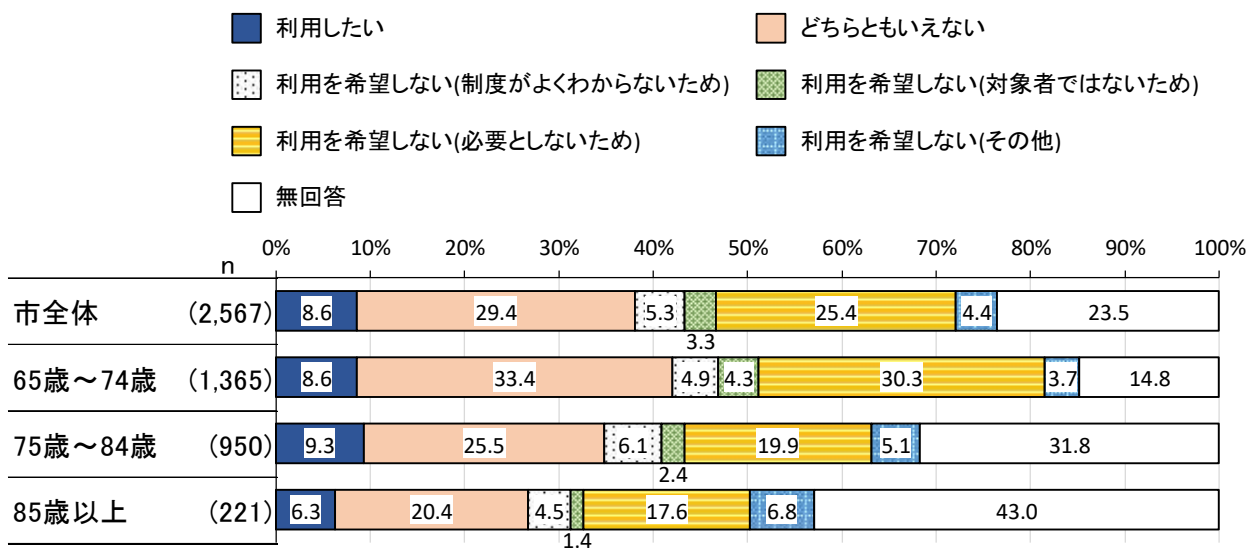
⑱介護予防講演会



年齢別では、「利用したい」の割合は75歳～84歳が12.1%と最も多く、次いで、65歳～74歳が10.3%、85歳以上が6.3%の順となっている。

「利用希望しない（必要としないため）」の割合は、65歳～74歳で30.0%と最も多い。

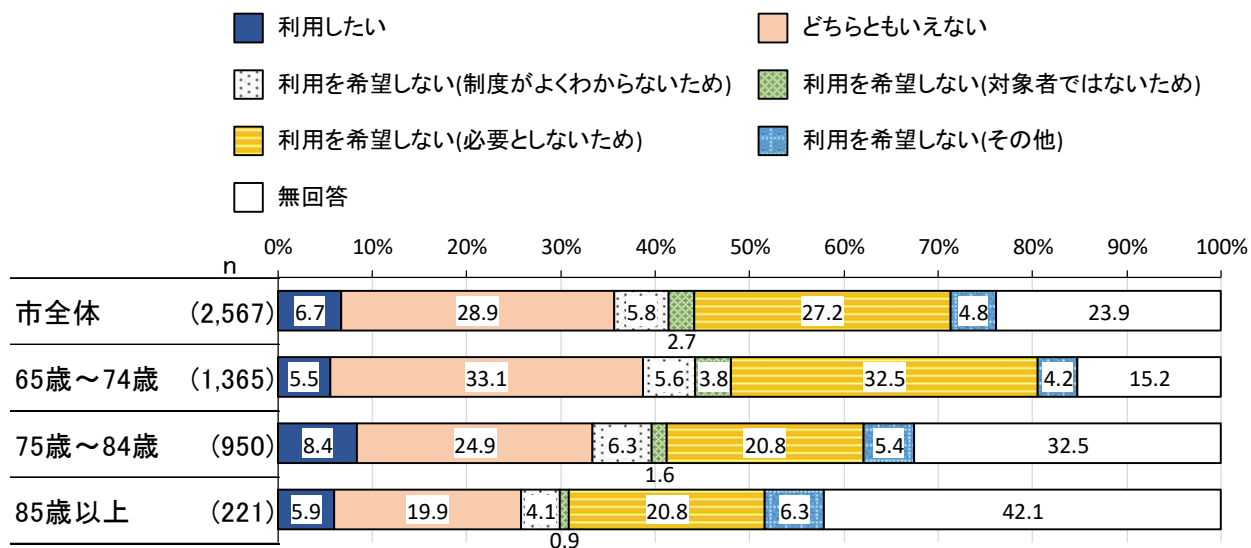
⑲介護予防講座



年齢別では、「利用したい」の割合は75歳～84歳が9.3%と最も多く、次いで、65歳～74歳が8.6%、85歳以上が6.3%の順となっている。

「利用希望しない（必要としないため）」の割合は、65歳～74歳で30.3%と最も多い。

⑳出前講座



年齢別では、「利用したい」の割合は75歳～84歳が8.4%と最も多く、次いで、85歳以上が5.9%、65歳～74歳が5.5%の順となっている。

「利用希望しない（必要としないため）」の割合は、65歳～74歳で32.5%と最も多い。

17 自由記入欄

(1) 今後の高齢者施策についての希望

問 17 (1) 今後の青梅市の高齢者施策についてのご意見があれば、ご自由にご記入ください

青梅市の高齢者施策について自由に意見等を募ると 502 人の方から意見が寄せられた。

(単位：件)

移動手段について	92	災害対策、避難所等について	12
コミュニティバスについて (48)		感謝や労いの言葉	11
路線バスについて (17)		知らないことについて	9
自家用車の必要性について (10)		介護保険料について	9
アンケートについて	56	地域活動・自治会について	9
設問や調査票について (23)		移動販売や買い物について	9
調査の実施意義について (10)		各種サービスの周知等について	8
介護に対する意識について (9)		迷惑をかけない生活について	7
施設、設備の充実について	53	交流活動について	7
屋内施設、設備について (18)		相談窓口について	6
福祉施設の拡充について (13)		将来の不安について	6
介護施設の拡充について (11)		医療費について	5
屋外の整備について (10)		ボランティアについて	4
気軽に利用できる場所について	31	見守り、見回りについて	4
集える場所について (18)		総合病院について	3
飲食を伴う場所について (7)		介護士の待遇について	3
運動を伴う場所について (3)		助成金、補助券について	3
介護保険について	29	地域包括センターについて	3
制度拡充や周知について (13)		雇用について	3
心身の状況について (5)		身の回りの手助けについて	3
情報提供について	19	墓地について	2
自治体の施策について (10)		防犯について	2
市民活動等について (3)		体験教室の人数制限について	2
安心安全なまちづくりについて	13	空家の活用について	2
健康維持について	12	その他	86

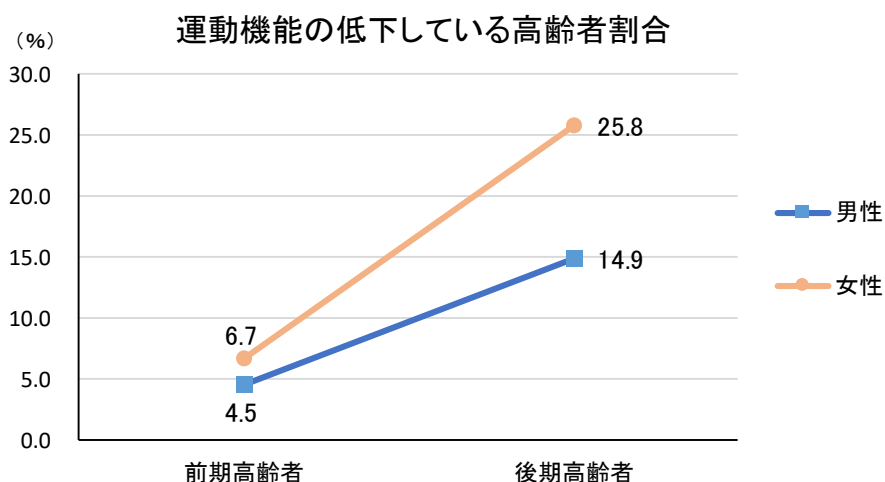
※調査票に複数の記入内容がある場合、複数でカウントしてある。

18 各種リスクの状況

(1) 運動機能の低下している高齢者割合

- Q 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（「できない」）
 Q 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（「できない」）
 Q 15分位続けて歩いていますか（「できない」）
 Q 過去1年間に転んだ経験がありますか（「何度もある」「1度ある」）
 Q 転倒に対する不安は大きいですか（「とても不安である」「やや不安である」）

○運動器機能の低下している高齢者割合



※運動器の機能低下：上記5問のうち、3項目以上、該当するものがある方

【性・年齢別 介護度別】(単位:人、%)

		調査数	運動機能の低下している 高齢者割合	該当なし
全体		2,567	13.0	87.0
性・年齢別	男性 前期高齢者	628	4.5	95.5
	後期高齢者	443	14.9	85.1
	女性 前期高齢者	737	6.7	93.3
	後期高齢者	728	25.8	74.2
介護度別	非認定	2,438	10.3	89.7
	要支援1	51	70.6	29.4
	要支援2	47	80.9	19.1

運動器の機能低下している高齢者割合は、男性に比べて女性のほうが年齢による増加の度合いが大きい。

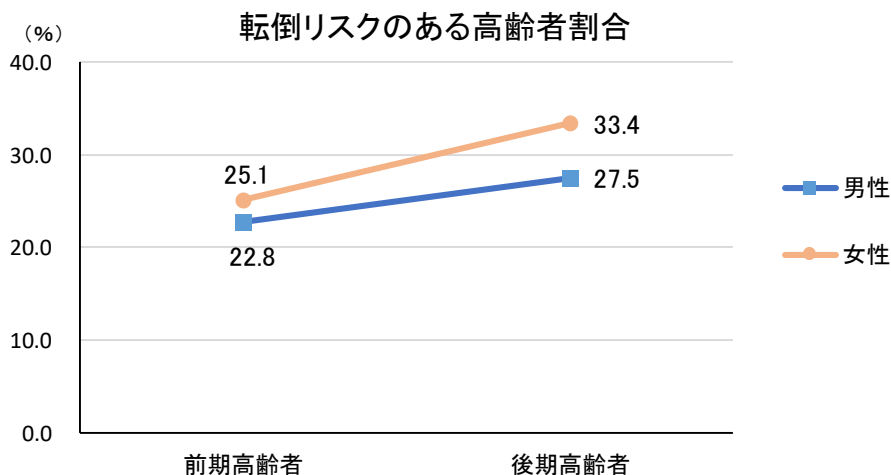
介護度別でみると、リスク該当者割合は、非認定で10.3%、要支援1で70.6%まで増加し、約7倍となっている。

第2章 調査結果の詳細

(2) 転倒リスクのある高齢者割合

Q 過去1年間に転んだ経験がありますか（「何度もある」「1度ある」）

○転倒リスクのある高齢者割合



※転倒リスク該当者：過去1年間に転んだ経験が「何度もある」「1度ある」に該当する方

【性・年齢別 介護度別】(単位:人、%)

		調査数	転倒リスクのある 高齢者割合	該当なし
全体		2,567	27.3	72.7
性・年齢別	男性 前期高齢者	628	22.8	77.2
	後期高齢者	443	27.5	72.5
	女性 前期高齢者	737	25.1	74.9
	後期高齢者	728	33.4	66.6
介護度別	非認定	2,438	26.2	73.8
	要支援1	51	49.0	51.0
	要支援2	47	63.8	36.2

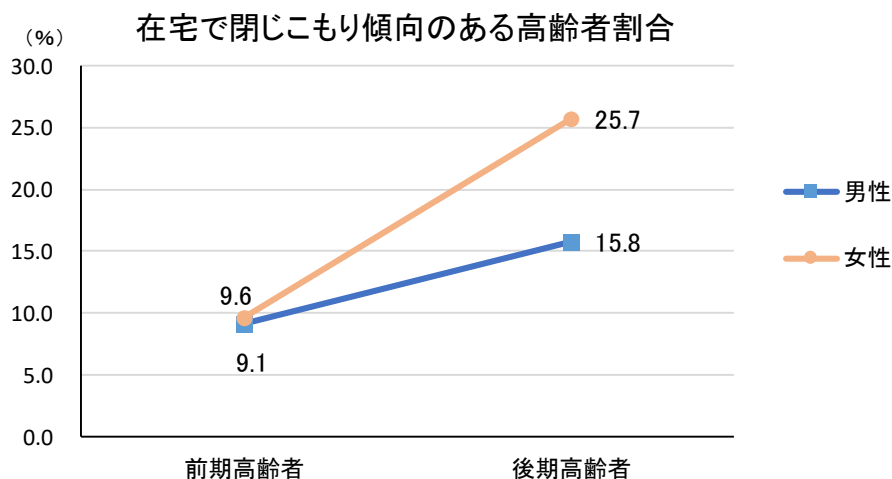
転倒リスクのある高齢者割合は、男性よりも女性のほうが多いが、男女とも、年齢と共に増加する。

介護度別でみると、リスク該当者割合は、非認定で26.2%、要支援1で49.0%まで増加している。

(3) 閉じこもり傾向のある高齢者割合

Q 週に1回以上は外出していますか（「ほとんど外出しない」「週1回」）

○在宅で閉じこもり傾向のある高齢者割合



※閉じこもり傾向あり：週の外出頻度で、「ほとんど外出しない」「週1回」に該当する方

【性・年齢別 介護度別】(単位:人、%)

		調査数	在宅で閉じこもり傾向のある高齢者割合	該当なし
全体		2,567	15.1	84.9
性・年齢別	男性 前期高齢者	628	9.1	90.9
	後期高齢者	443	15.8	84.2
	女性 前期高齢者	737	9.6	90.4
	後期高齢者	728	25.7	74.3
介護度別	非認定	2,438	13.8	86.2
	要支援1	51	52.9	47.1
	要支援2	47	46.8	53.2

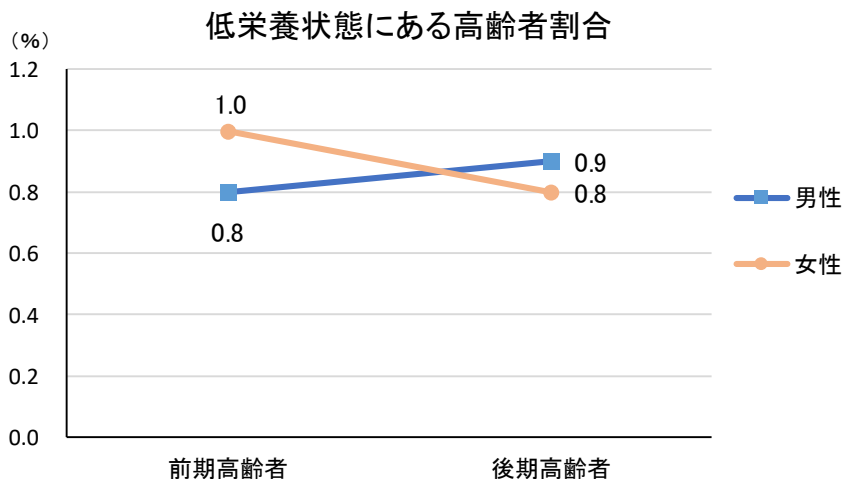
在宅で閉じこもり傾向のある高齢者割合は、男性に比べて女性のほうが年齢による増加の割合が大きい。

介護度別でみると、リスク該当者割合は、非認定で13.8%、要支援1で52.9%まで増加し、約4倍となっている。

(4) 低栄養状態にある高齢者割合

Q 身長・体重 (BMI (体重 kg ÷ (身長 m × 身長 m)) 18.5 未満)
 Q 6 か月間で 2 ~ 3 kg 以上の体重減少がありましたか (「はい」)

○低栄養状態にある高齢者割合



※低栄養状態：上記2問 (BMI18.5 未満、体重減少) とともに該当する方

【性・年齢別 介護度別】(単位:人、%)

		調査数	低栄養状態にある 高齢者割合	該当なし
全体		2,567	0.9	99.1
性・年齢別	男性 前期高齢者	628	0.8	99.2
	後期高齢者	443	0.9	99.1
	女性 前期高齢者	737	1.0	99.0
	後期高齢者	728	0.8	99.2
介護度別	非認定	2,438	0.9	99.1
	要支援1	51	0.0	100.0
	要支援2	47	0.0	100.0

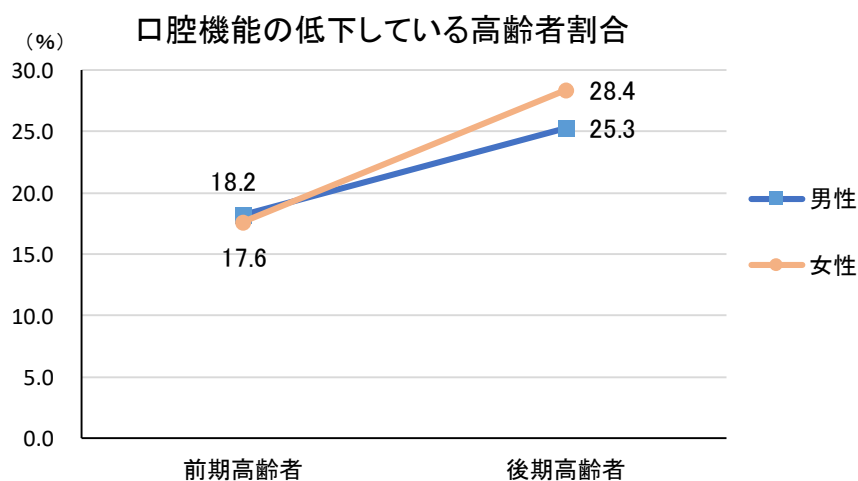
低栄養状態にある高齢者割合は、男性がわずかに増加、女性はわずかに減少の傾向がみられる。

介護度別でみると、リスク該当者割合は、非認定で0.9%、要支援1・要支援2ともに0.0%となっている。

(5) 口腔機能の低下している高齢者割合

- Q 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（「はい」）
 Q お茶や汁物等でむせることがありますか（「はい」）
 Q 口の渇きが気になりますか（「はい」）

○口腔機能の低下している高齢者割合



※口腔機能の低下：上記3問のうち、2項目以上、該当するものがある方

【性・年齢別 介護度別】(単位:人、%)

		調査数	口腔機能の低下している 高齢者割合	該当なし
全体		2,567	22.3	77.7
性・年齢別	男性 前期高齢者	628	18.2	81.8
	後期高齢者	443	25.3	74.7
	女性 前期高齢者	737	17.6	82.4
	後期高齢者	728	28.4	71.6
介護度別	非認定	2,438	21.0	79.0
	要支援1	51	47.1	52.9
	要支援2	47	59.6	40.4

口腔機能の低下している高齢者割合は、性別による差はあまりみられない。年齢により増加している。

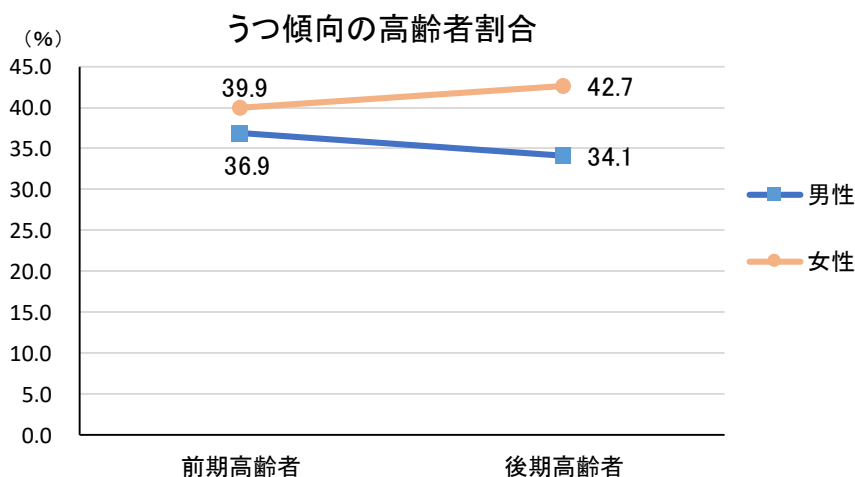
介護度別でみると、リスク該当者割合は、非認定で21.0%、要支援1で47.1%まで増加し、約2倍となっている。

(6) うつ傾向の高齢者割合

Q この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（「はい」）

Q この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（「はい」）

○うつ傾向の高齢者割合



※うつ傾向あり：上記2問のうち、1つでも該当する方

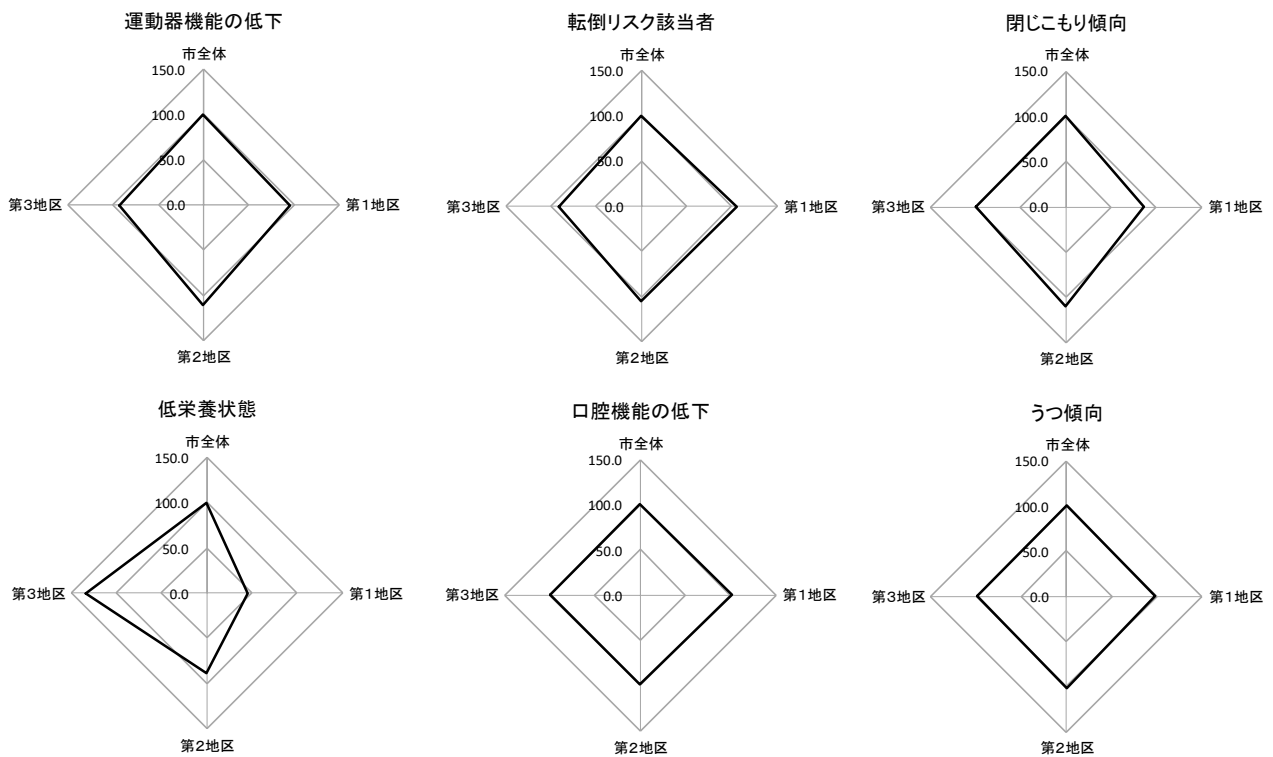
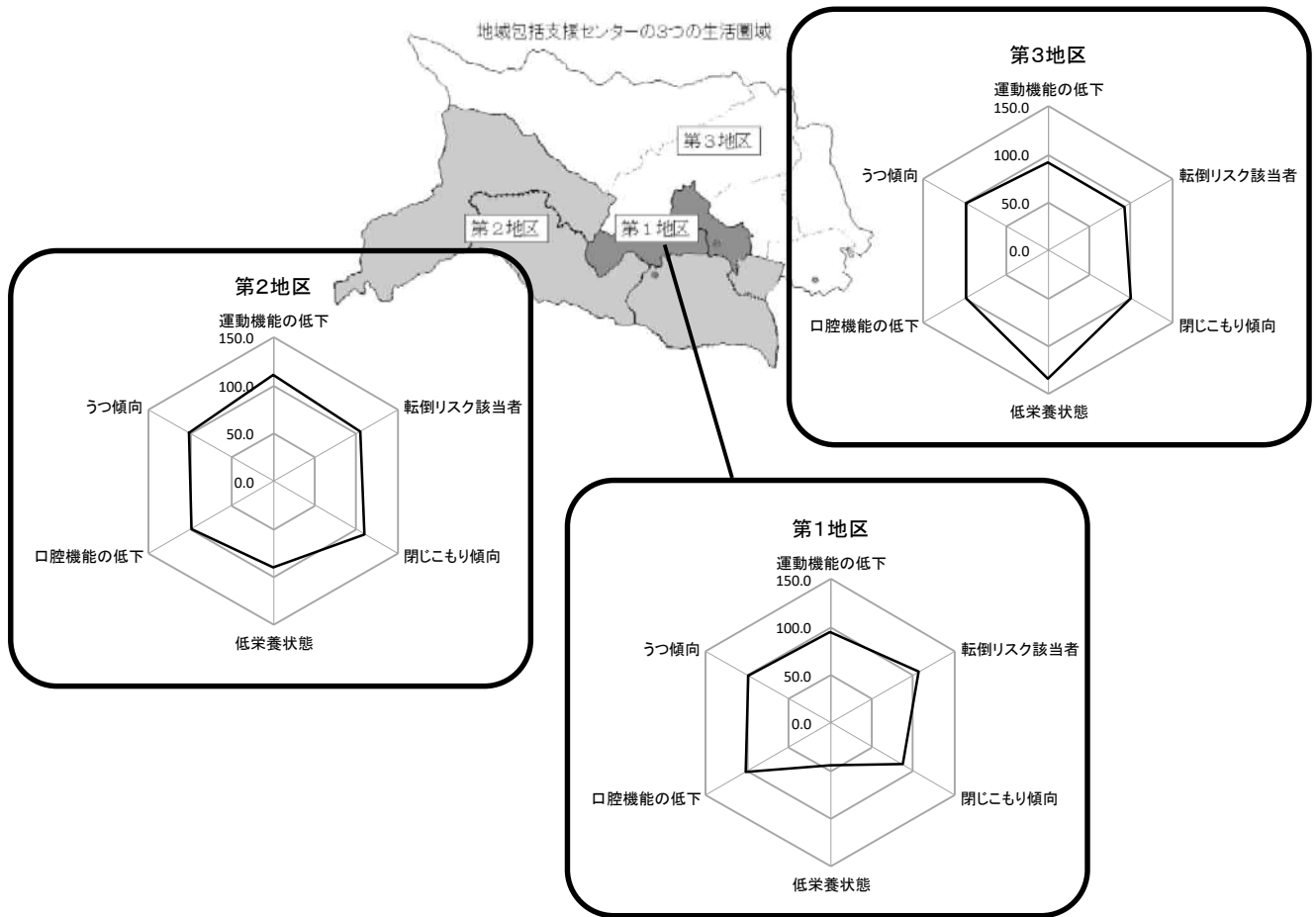
【性・年齢別 介護度別】(単位:人、%)

		調査数	うつ傾向の高齢者割合	該当なし
全体		2,567	39.0	61.0
性・年齢別	男性 前期高齢者	628	36.9	63.1
	後期高齢者	443	34.1	65.9
	女性 前期高齢者	737	39.9	60.1
	後期高齢者	728	42.7	57.3
介護度別	非認定	2,438	37.9	62.1
	要支援1	51	62.8	37.2
	要支援2	47	70.2	29.8

うつ傾向の高齢者割合は、前期高齢者では、男性よりも女性のほうが多く、後期高齢者ではさらにその差が大きくなっている。

介護度別でみると、うつ傾向の割合は、非認定で37.9%、要支援2で70.2%まで増加し、約2倍となっている。

(7) 日常生活圏域別にみたリスク項目別指標の比較 (市域全体を100とした場合)



※値は市全体を100とした場合の各地区の割合

第2章 調査結果の詳細

【地区別】(単位:人、%)

	調査数	運動機能の低下	転倒リスク該当者	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下	うつ傾向
市全体	2,567	13.0	27.3	15.1	0.9	22.3	39.0
第1地区	563	12.4	29.0	13.1	0.4	22.7	38.2
第2地区	1,021	14.4	28.6	16.5	0.8	22.0	39.8
第3地区	952	12.0	25.0	15.0	1.2	22.1	38.6

【地区別】(市全体を100とした場合の各地区の指標)

	運動機能の低下	転倒リスク該当者	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下	うつ傾向
市全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
第1地区	95.4	106.2	86.8	44.4	101.8	98.0
第2地区	110.8	104.8	109.3	88.9	98.7	102.1
第3地区	92.3	91.6	99.3	133.3	99.1	99.0

市全体を100として地区別に見ると、第1地区は、市全体と比べて「転倒リスク該当者」が高く、「低栄養状態」は市全体より低い。

第2地区は、市全体と比べて「運動機能の低下」が高く、「低栄養状態」は市全体よりも低い。

第3地区は、市全体と比べて「低栄養状態」が高く、他の指標は市全体よりも低い。

